

平成 29 年度

# 植物防疫年報

三重県病虫害防除所

## 三重県内で発生が目立った病害虫

### タバコミハムシ

(病害虫発生特殊報第1号、平成29年7月27日発表)



写真1 タバコミハムシ成虫



写真2 タバコミハムシの被害(ナス)



写真3 ハクサイ黒腐病



写真4 ツヤアオカメムシ

# 目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	6
2.	病虫害発生予察の調査圃場	7
(1)	県予察圃場	7
(2)	予察灯・トラップ	7
(3)	その他の調査圃場	7
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	10
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	10
(6)	調査地点図	11
3.	作物別の病虫害発生状況	12
(1)	水稲	12
(2)	麦類	15
(3)	大豆	16
(4)	果樹	18
(5)	茶	23
(6)	野菜	25
(7)	全作物一覧	26
4.	病虫害の発生面積と防除面積	30
5.	発行された予察情報	33
(1)	発生予察情報の一覧	33
(2)	予報	34
(3)	特殊報	83
(4)	技術情報	84
IV	事業関係の試験成績	95
1.	診断対策	95
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	95
(2)	ミカンハダニの薬剤感受性検定	98

V	農薬の指導に関する業務	99
1.	農薬危害防止対策	99
	(1) 農薬危害防止運動の実施	99
	(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	99
	(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	100
	(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	101
2.	産業用無人ヘリコプターによる防除	104
VI	各種データ	105
1.	トラップ等データ	105
	(1) 予察灯	105
	(2) フェロモントラップ	118
	(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	121
	(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	122
	(5) ミバエ類等侵入警戒調査	123
	(6) 火傷病侵入警戒調査	124
2.	巡回等データ	125
	(1) 水稲	125
	(2) 麦類	138
	(3) 大豆	139
	(4) 果樹	141
	(5) 茶	166
	(6) 野菜	175
3.	気象データ	190
	(1) 気象概況	190
	(2) 旬別気象表	191
	(3) 気象グラフ	192

# I 病虫害防除所の組織と業務

## 1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

## 2. 病虫害防除所の組織図

### (1) 事務の体制



#### 発生予察従事職員

農業研究所	農産物安全安心研究課	主幹研究員	西野 実
	茶業研究室	主査研究員	田中 千晴
	伊賀農業研究室	主幹研究員	近藤 宏哉
	紀南果樹研究室	研究員	駒田 達哉

## (2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

### ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

予察灯調査委託

・県予察灯 2人

### ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

### イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

### イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産園芸課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

### ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ( )は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・低温恒温器 1台(S62)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

### ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	AC	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	AC	C
報告						AC	

### イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

### ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産園芸課・病虫害防除所)

E:ホームページ



## Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

### 1. 病虫害防除員の配置

#### (1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	1	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7	43

#### (2) 病虫害防除員所属

##### ①市町関係(29名)

市町名	所属	市町名	所属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林振興課	玉城町	産業振興課
木曾岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	農政室	尾鷲市	木のまち推進課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	産業建設課
多気町	農林課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

##### ②農業共済組合(7名)

組合名
三重県農業共済組合 桑員支所
三重県農業共済組合 三泗鈴亀支所
三重県農業共済組合 津支所
三重県農業共済組合 松阪飯多支所
三重県農業共済組合 伊勢地域支所
三重県農業共済組合 伊賀名張支所
三重県農業共済組合 東紀州支所

③広域関係(7名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
鈴亀地域	早川 喬
津市地域	河野 満
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	福井 敏
伊賀地域	谷口 雄
東紀州地域	菊山 竜二

## 2. 病虫害防除員の活動状況

### (1) 主な活動内容

#### ①防除指導

水稲等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

#### ②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稲、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

#### ③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

#### ④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除歴作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

#### ⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

### (2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生 状況調査	農薬安全 使用指導	関係機関との打 ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
16.2	35.6	1.6	6.0	8.0	2.0	69.3

### Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

#### 1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

##### (1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 109 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

##### (2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 62 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ
	ムギ	さび病類、縞萎縮病、黒穂病類、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダイズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カキ	うどんこ病
	ナシ	赤星病、うどんこ病、輪紋病、クワコナカイガラムシ、アブラムシ類
	ブドウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、クワコナカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	ウメ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チャ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野菜	トマト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ
	ネギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類

## 2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

### (1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究室担当
チャ	茶業研究室	1	茶業研究室担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

### (2) 予察灯・トラップ (8 地点 22 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町前山	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ

### (3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 140 地点 368 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 59 地点 236 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 59 地点 217 圃場＝40 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町小山、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林
四日市鈴鹿	菰野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 29 年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場＝9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町池底、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 12 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 10 地点 11 圃場=9 地点各 9 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町海野(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和・中立(2)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市笹川町(1)		

- ⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町船越		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町棚橋・牧戸(2)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 40 地点 51 圃場(地区予察圃場 10 地点 10 圃場=10 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 34 地点 41 圃場  
=33 地点 40 圃場+地区予察圃場 1 地点併設の 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町見入(1)、 <b>木曾岬町源緑輪中</b> (1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
秋冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	<b>四日市市貝家町</b> (1)、四日市市下海老町(2)、菰野町池底(1)、 <b>鈴鹿市国分町</b> (2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町志貴(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	<b>菰野町池底</b> (1)、四日市市下海老町(1)、四日市市貝家町(1)、鈴鹿市国府町(2) <b>津市芸濃町</b> (2)、津市久居野口町(1)、津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	12 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市平尾町(1)、菰野町池底(1) <b>津市川方町</b> (2)、津市新家町(2)		
ネギ	松阪 伊勢	明和町川尻(2) <b>伊勢市東豊浜町</b> (4)	1 地点 1 圃場	2 地点 5 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市一志町石橋(1) <b>松阪市藤之木町</b> (1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) <b>玉城町勝田</b> (1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、鳥羽市堅 神町(1)、志摩市磯部町栗木広(1)	3 地点 3 圃場	8 地点 8 圃場

#### (4)ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町海野	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

#### (5)火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市笹川町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町



### 3. 作物別の病虫害発生状況

#### (1) 水稲

##### a 生育状況

##### (a) 育苗期

今回巡回調査を行った県内 20 育苗施設のうち、育苗箱におけるばか苗病の調査を行った 16 施設において、発生施設率は 50%で、昨年(43%)より高かったが、発生箱率は 0.4%と発生が多かった昨年(2.5%)より低かった。それ以外の病虫害は平年より少い傾向であった。

生育は概ね順調推移したが、夜温が確保できなかった施設では苗丈がやや短かった。

##### (b) 移植～活着期

苗丈が短かったため、移植作業を遅らせたところがあったが、比較的好天に恵まれたことから、移植作業は順調に進んだ。移植以降、5 月の気温が高く、日照時間も平年並から長く推移したため、苗の活着、初期生育は順調であった。

##### (c) 分けつ期

6 月、梅雨に入ってから気温が平年並からやや低く推移し、生育の進展はゆるやかとなった。茎数は例年よりやや少なかったが有効茎数は確保された。

少雨の影響で一部地域では茎数例年より少なくなった。また移植が遅かったところでは、茎数の確保も遅れた。

##### (d) 幼穂形成期～出穂期

7 月上旬以降は、気温が平年より高く推移したため、生育は早まり、茎数は平年並からやや多くなった。

出穂期は例年より3日程度早かった。

##### (e) 登熟期

出穂期以降は、高温の日が多かったが、日照時間が短く推移したため、登熟日数は例年より長くなった。幼穂形成期の生育量が多かったところでは、籾数が確保されたが、日照不足により1穂籾数が少ないところがあった。また、日照不足により粒の充実が平年より悪くなった。

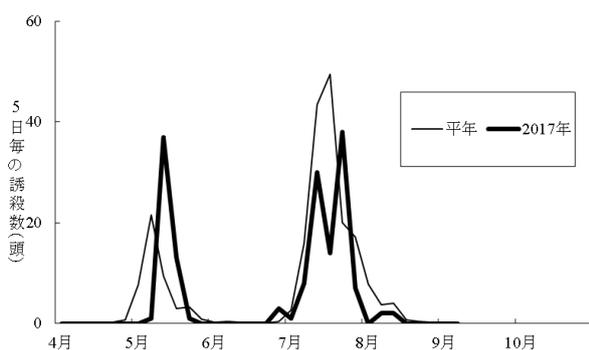
##### (f) 作柄

収量は 480kg/10a、作況指数 95 とやや不良であった。コシヒカリの 1 等米比率は 29.8% (うるち米全体 36.2%)と昨年(65.7% (65.5%))を大きく下回った。

#### b 病虫害の発生状況

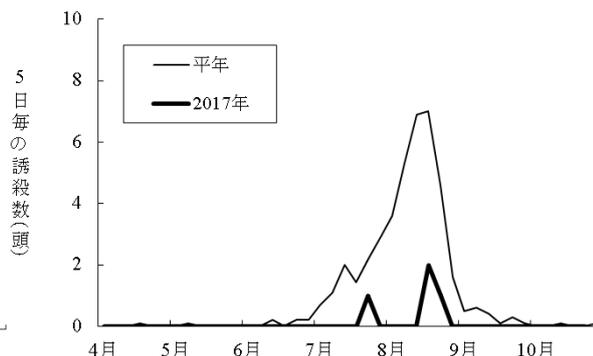
##### (a) 予察灯での誘殺状況(水田は 60 ワット白熱灯、畑地は 100 ワット水銀灯)

##### ・イネミズゾウムシ



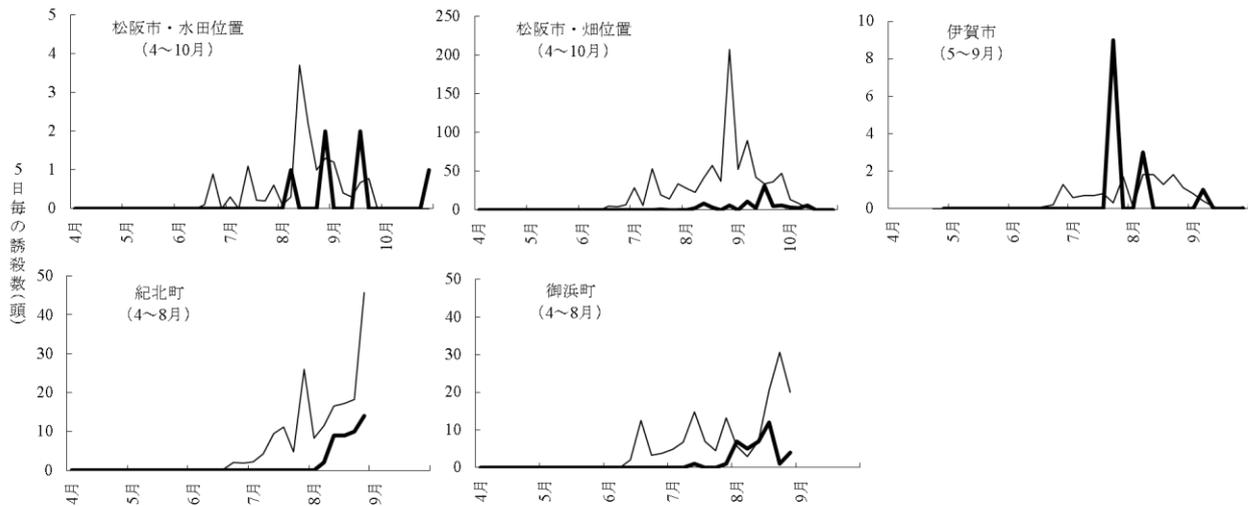
水田予察灯におけるイネミズゾウムシ 誘殺数の推移(松阪市)

##### ・フタオビコヤガ

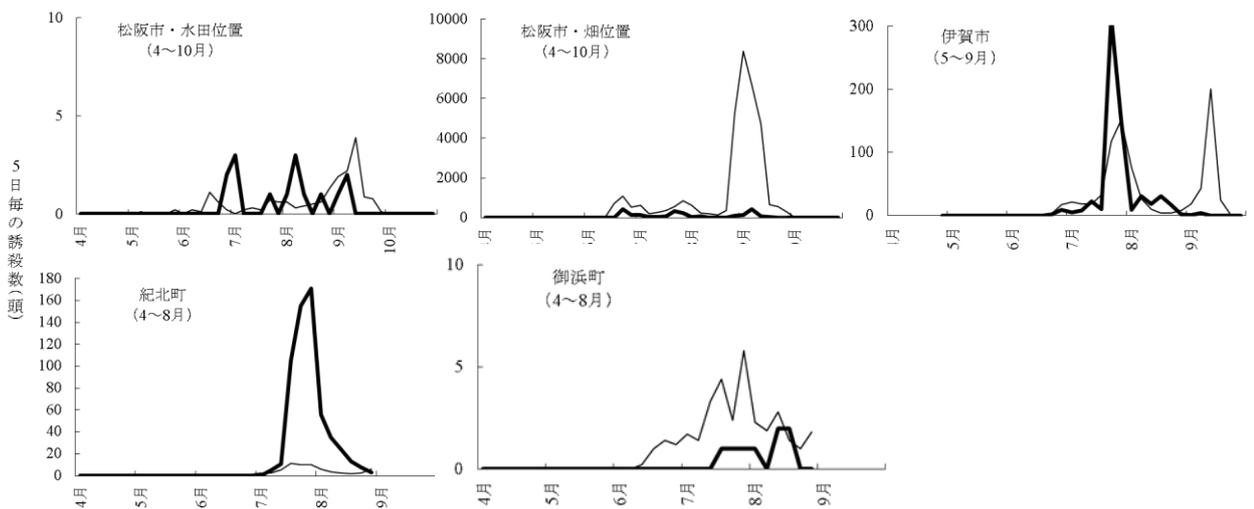


予察灯におけるフタオビコヤガ誘殺数の推移(松阪市)

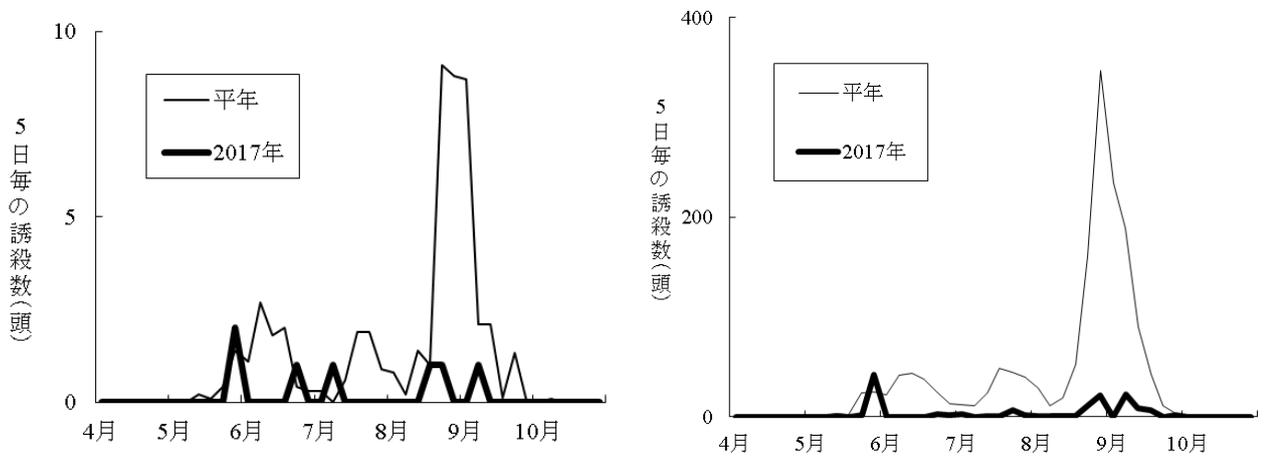
・セジロウシ



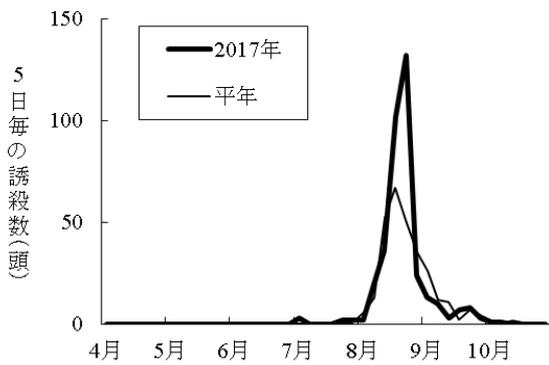
・ツマグロヨコバイ



・イネクロカメムシ

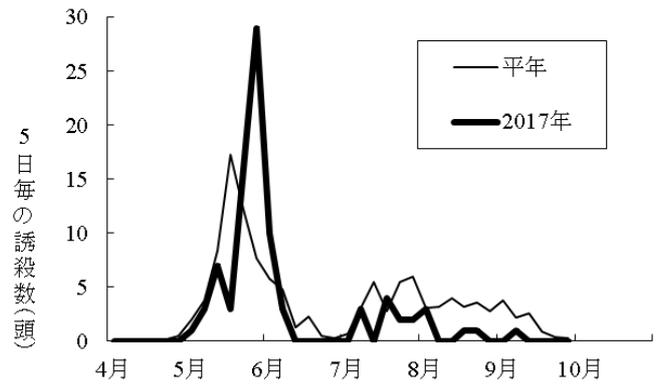


・クモヘリカメムシ



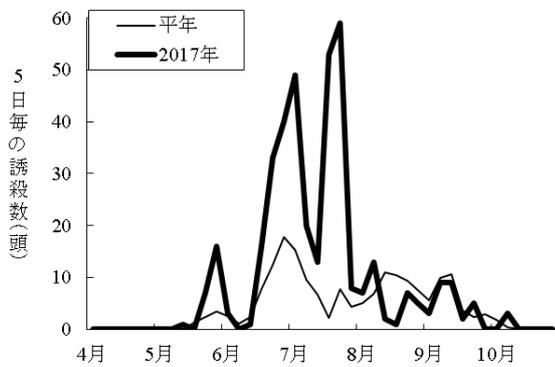
畑地の子察灯におけるクモヘリカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・ニカメイガ



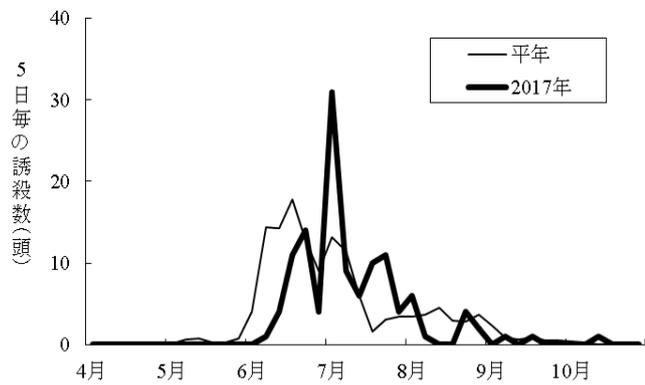
予察灯におけるニカメイガ誘殺数の推移(松阪市)

・アサジカスミカメ



水田予察灯におけるアサジカスミカメ誘殺数の推移(松阪市)

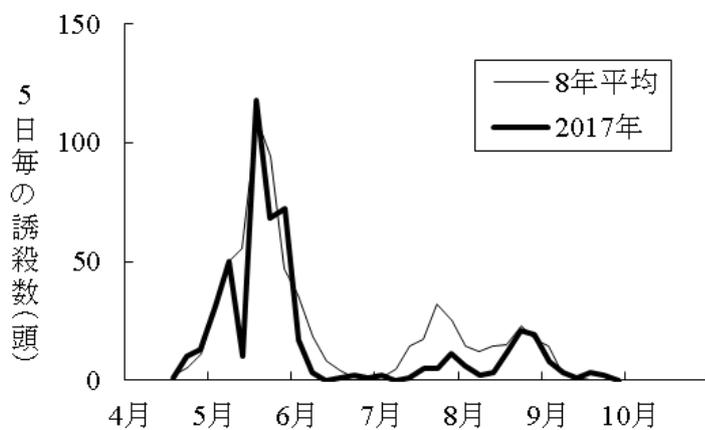
・アカヒゲホソミドリカスミカメ



水田予察灯におけるアカヒゲホソミドリカスミカメ誘殺数の推移(松阪市)

(b) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



フェロモントラップによるニカメイガ誘殺数の推移(松阪市)

## (2) 麦類(29年産)

### a 生育状況

#### (a) 播種期

水稲収穫後に定期的な降雨があり、水はけの悪い圃場では、溝掘り等の播種前作業が遅れた。このため、播種は早いところでは10月下旬から始まったが、例年に比べると全体的に遅れ気味となった。11月中に全体の75%程度が播種された。

#### (b) 生育期

11月中に播種されたものは、播種後に降雨があったものの、1日の降水量がそれほど多くなかったため、湿害は少なく、生育は順調に進んだ。一方、12月以降に播種されたものは12月中下旬以降にまとまった降雨があり、湿害の圃場が散見された。

11月中に播種されたものは、播種以降1月上旬まで暖冬傾向で推移し、降雨も適度であったため、麦の生育は早まり、生育量は確保された。特に11月1半旬までに播種されたものは例年よりも2週間以上早いところがあったが、多くは1月中旬以降の気温が低めに推移したこと、その後は平年並みに推移したことから、生育速度は平年並みになった。12月以降に播種されたものは、湿害と1月中旬以降の気温が低めに推移したことが影響し、生育は遅く、生育量は例年よりやや少なめになった。

ファイバースノウでは中山間地域の一部で凍霜害が発生し、タマイズミではコムギ縞萎縮病が例年よりも発生が多く、作柄に影響があったと思われる。

#### (c) 出穂期

出穂期は平年並であったが、出穂以降の天候が安定し、成熟期は平年並からやや早くなった。赤かび病の発生は少なかった。

#### (d) 登熟期

5月末から6月中旬まで雨が非常に少なく、収穫は例年になく順調に進んだ。生育に応じた管理が徹底したこともあり、生育量は確保され、収穫も進んだことから、作柄は平年を上回った。農林水産省が9月26日に公表した小麦の収量は295kg/10aと同平均収量253kg/10aを上回った。

29年産麦の集荷数量(JA全農みえ資料:10月3日現在)は大麦、小麦の1、2等麦合計が約18,059tと28年産と比較すると約25%多く、過去最大となった26年産に次ぐ集荷数量となった。

### b 病害虫の発生状況

コムギ縞萎縮病は「タマイズミ」では発生したが、病徴は4月中にマスキングされた。耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、開花期に降雨が少なかったこと、注意喚起による適期防除の実施により、発生量は少なく抑えられた。

### (3) 大豆

#### a 生育状況

##### (a) 播種期

麦の収穫が順調に進んだことから、播種は、摘心を予定している圃場では 6 月中旬から始まった。一部地域では播種が遅れたが、7 月は雨が少なかったことから、全体的に播種は順調に進み、苗立ちは良好だった。

##### (b) 生育期

播種後、比較的天候に恵まれ、生育は順調で生育量は確保された。

8 月上旬の台風 5 号の影響は限定的であった。

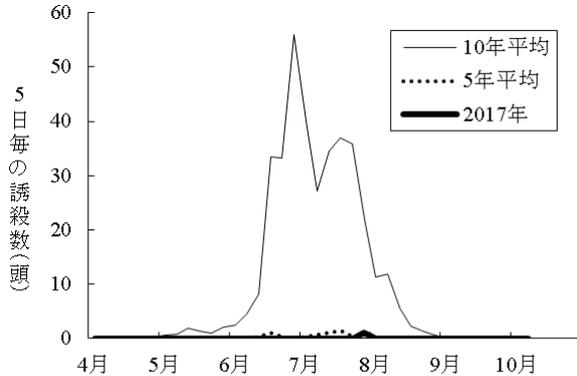
##### (c) 成熟期

9 月中旬の台風 18 号、10 月の台風 21, 22 号の強風により、草姿の乱れや倒伏が発生するとともに、大雨による冠水もあり、粒の肥大に影響を与え、小粒化、腐敗粒、しわ粒の発生、収穫ロスにつながった。また、吸実性カメムシ類の発生が多く防除が十分でない圃場では扁平粒の発生や減収につながった。

台風の影響が小さかった地域もあったが、県全体としては 5 年連続の低反収になった。農林水産省が平成 30 年 2 月 22 日に公表した大豆の収量は 80kg/10a(同平均収量 95kg/10a)であった。

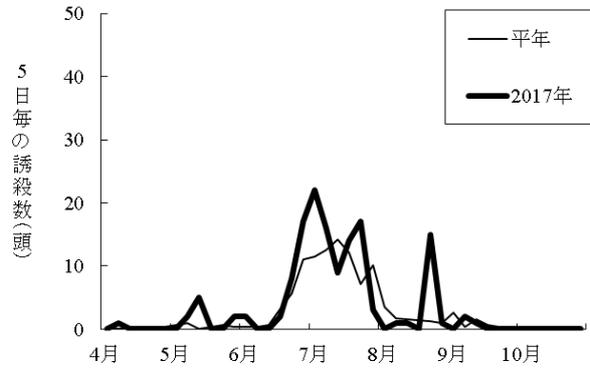
#### b 病害虫の発生状況

##### ・アオクサカメムシ



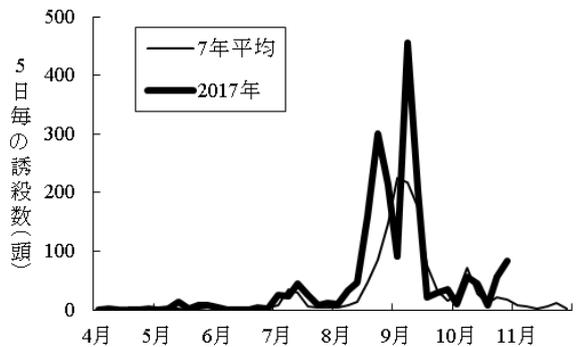
予察灯におけるアオクサカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

##### ・イチモンジカメムシ



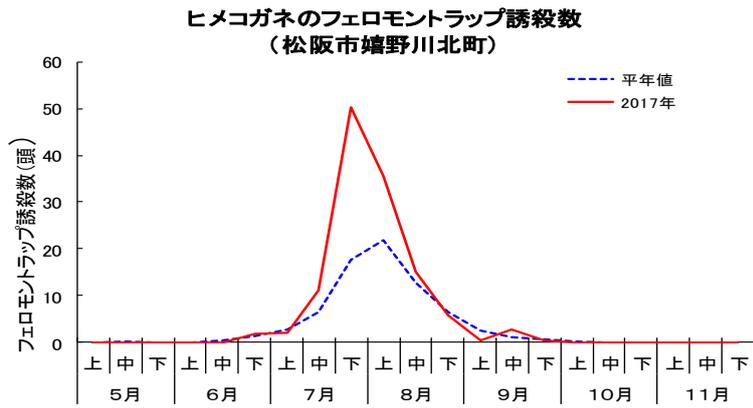
畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

##### ・ミナミアオカメムシ

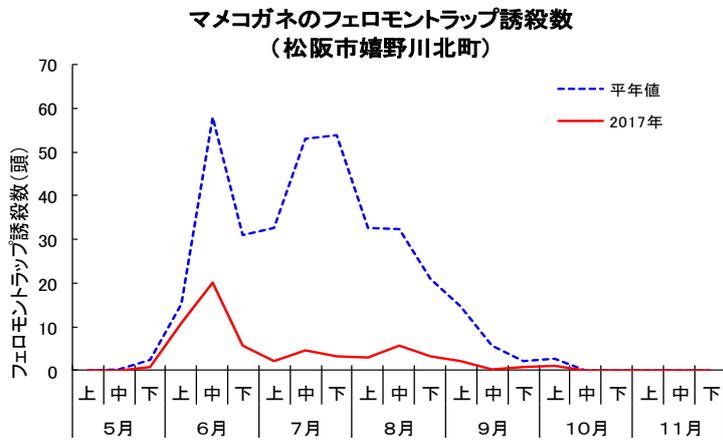


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

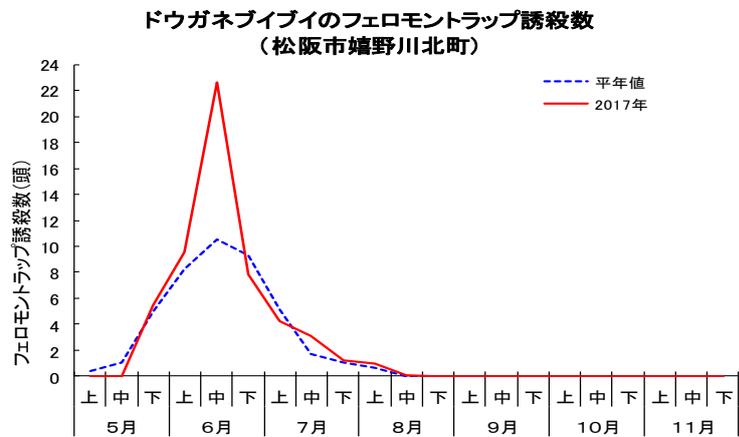
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ



## (4) 果樹

### ①生育状況

#### ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では6日、早生温州では8日遅かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州では1日、早生温州では4～6日遅かった。
- ・着花量は、紀州地域では極早生温州、早生温州、普通温州すべて平年並であったが、北勢・中南勢地域では稔年傾向でバラツキが大きかった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は0.2mm 平年より大きく、早生温州は1.3mm 平年より小さかった。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は0.8度低く、早生温州は0.7度低くなった。クエン酸については、極早生・早生温州ともに平年並みだった。

#### イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年より1日遅い、4月16日であった。開花後は気温が比較的高く、結実は良好な年であった。収穫盛期は平年より3日早く、8月15日であった。
- ・果実の成長は良好であり、収穫期における果実は平年より大きくなったが、収穫直前の8月上旬の降雨が平年より多く、糖度はやや低い傾向であった。

#### ウ カキ(前川次郎)

- ・5月上旬から下旬にかけて気温が高く、開花盛期は2日程度早くなり、5月19日であった。
- ・果実肥大は8月末まで平年を上回ったが、それ以降は肥大が鈍くなり、収穫時は平年をやや下回った。
- ・10月に降水量が多く、日照量も少なかったことに加え11月に入ると気温が低く推移し、着色が遅れた。
- ・収穫盛期は平年より10日遅い、11月22日であった。
- ・果実品質は平年と比較して糖度は平年並み、果重はやや小さかった。

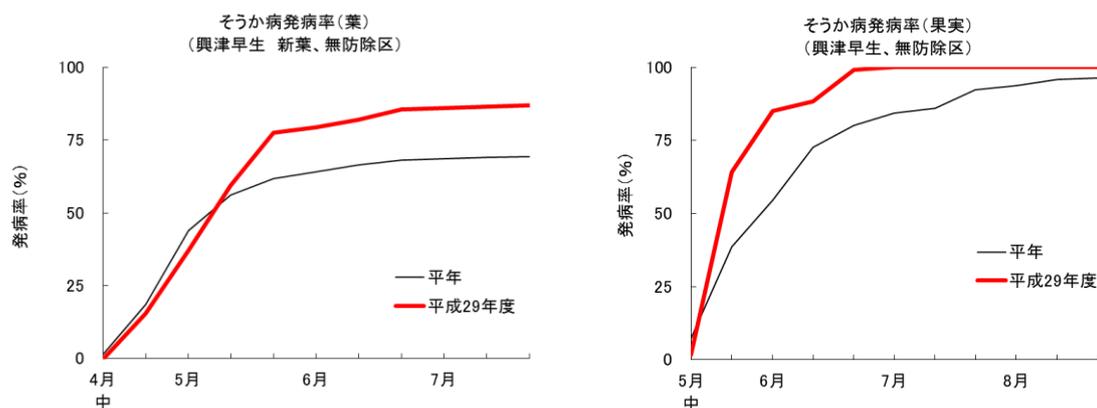
#### エ ブドウ(巨峰)

- ・発芽期は露地栽培で平年より3日早くなったが、その後やや気温が低く推移したため開花盛期は平年より1日遅くなった。有核栽培の結実は良好であった。
- ・梅雨の時期は降水量が少なかったが、7月下旬から8月中旬まで日照時間が少なく収穫期は露地栽培で平年より遅れた。果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも同程度であった。

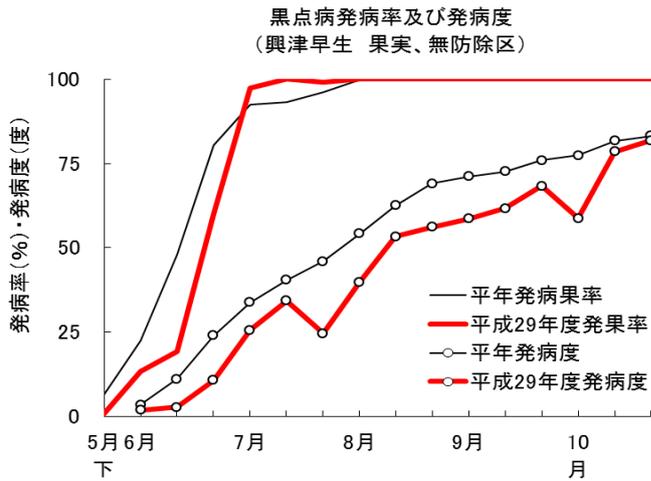
### ②病害虫の発生状況

#### ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

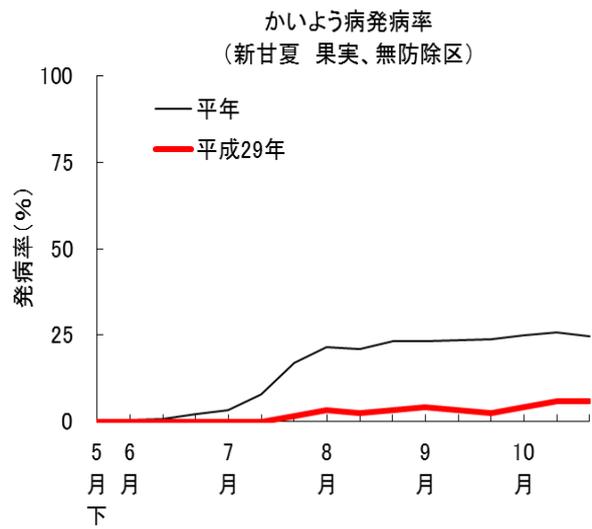
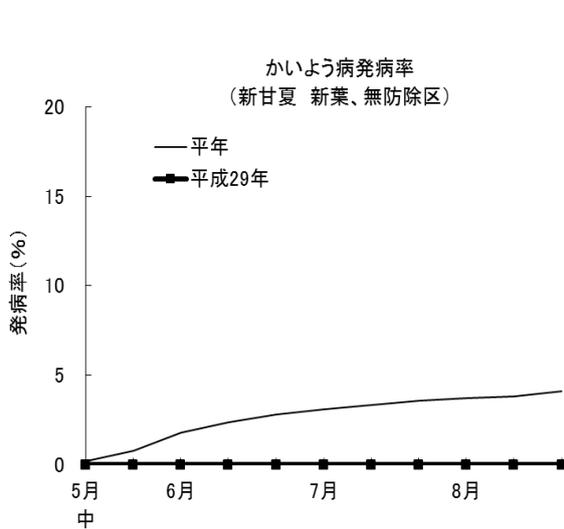
##### ア) そうか病



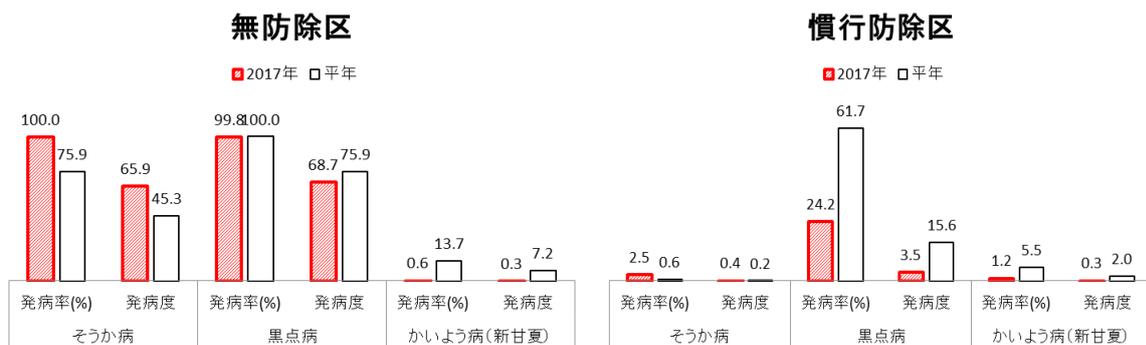
イ) 黒点病



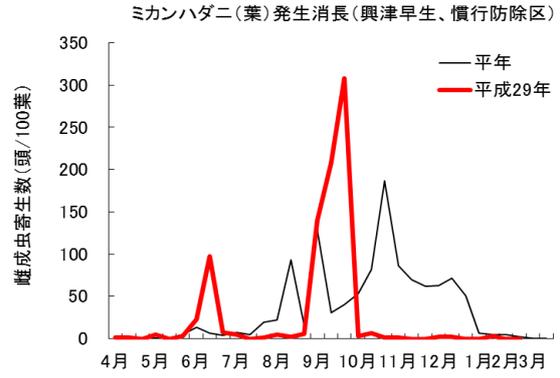
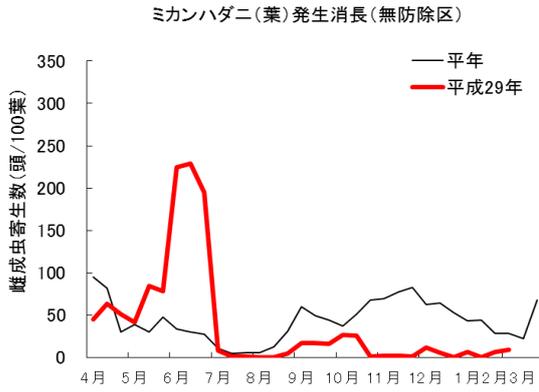
ウ) かいよう病



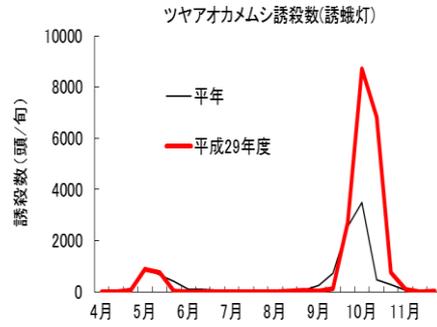
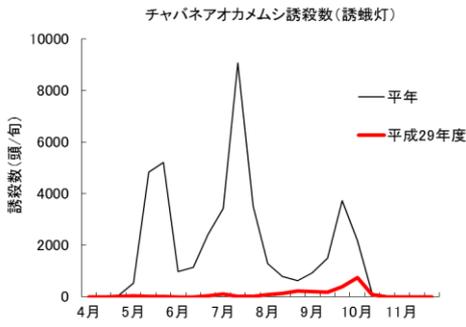
エ) 収穫果実(外観果実調査)



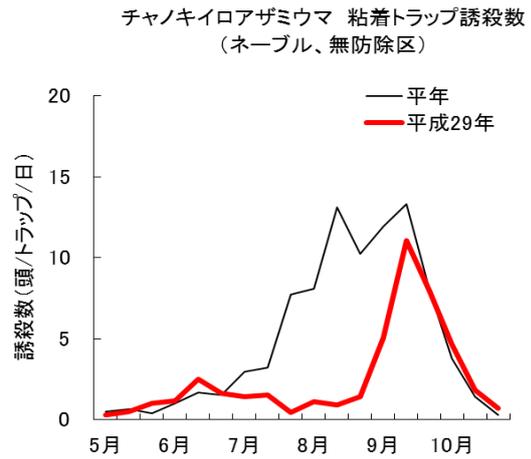
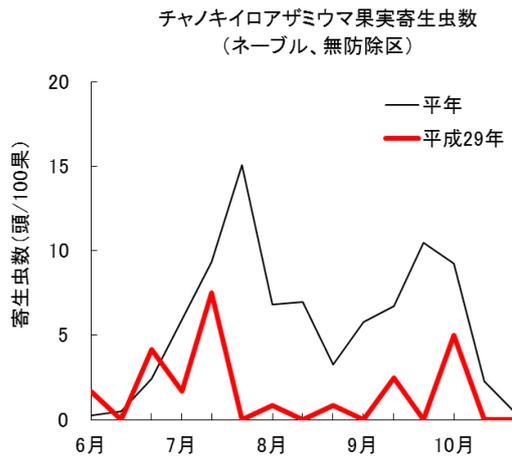
オ)ミカンハダニ



カ)カメムシ類の予察灯への飛来状況

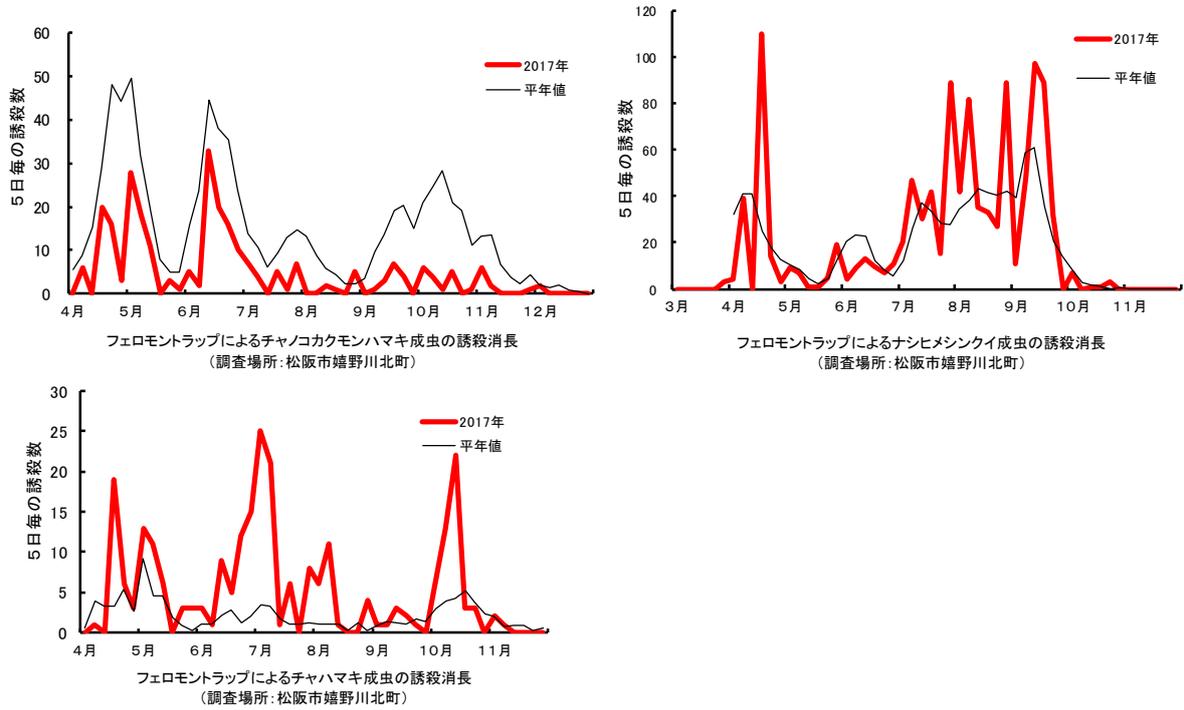


キ)チャノキイロアザミウマ

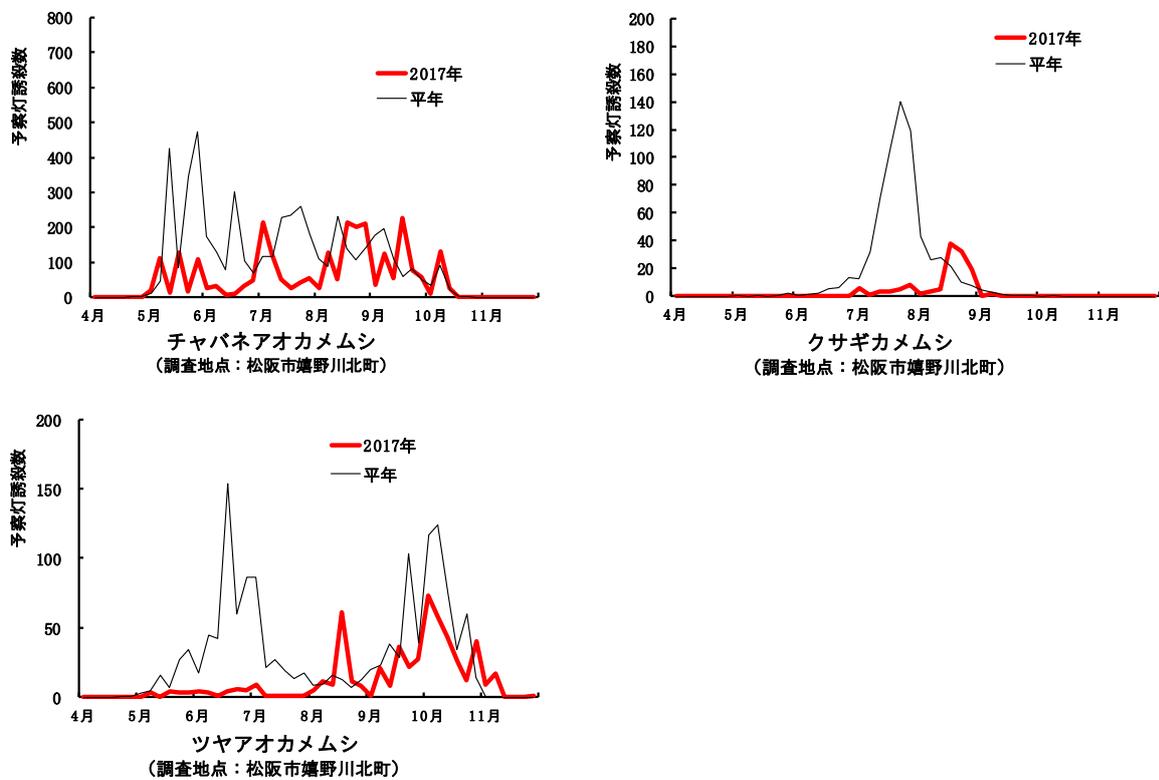


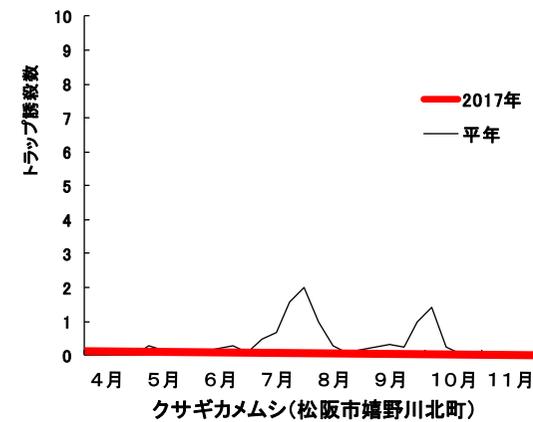
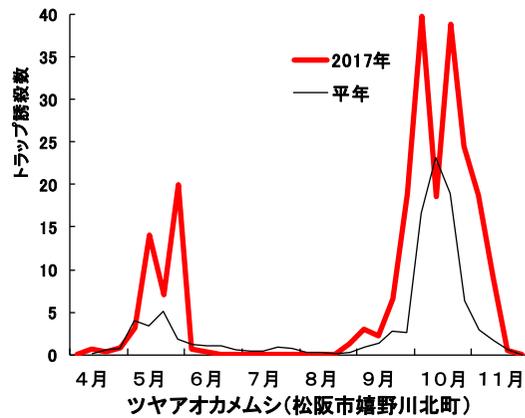
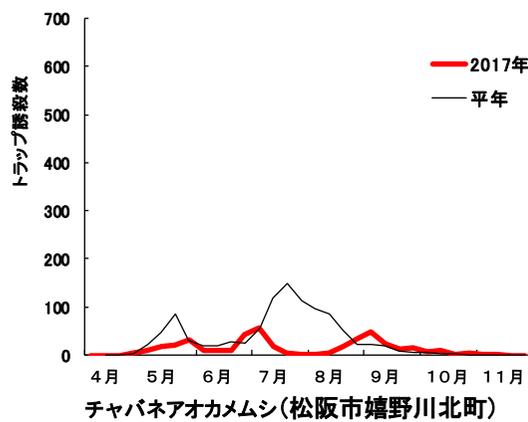
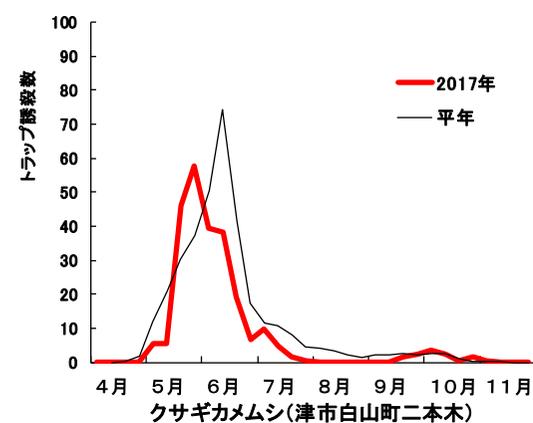
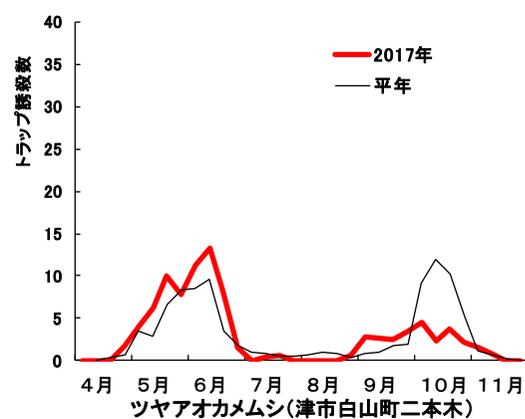
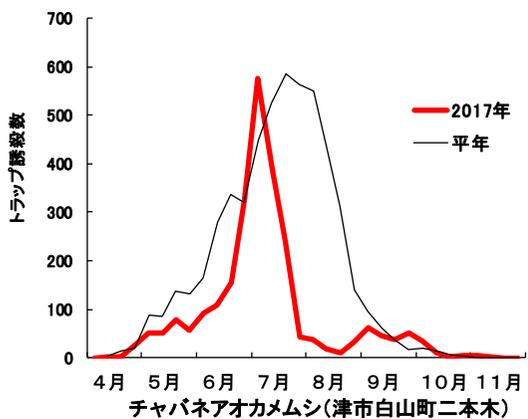
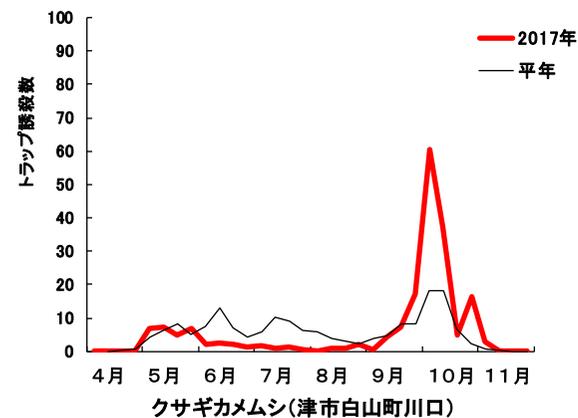
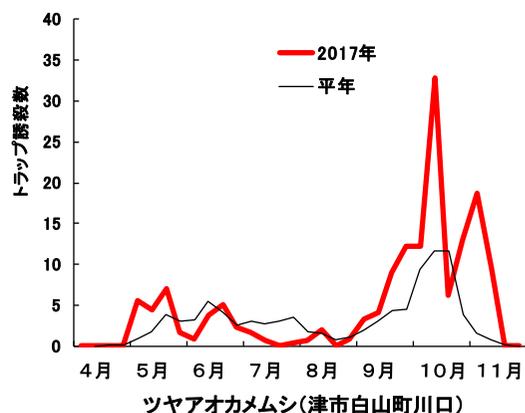
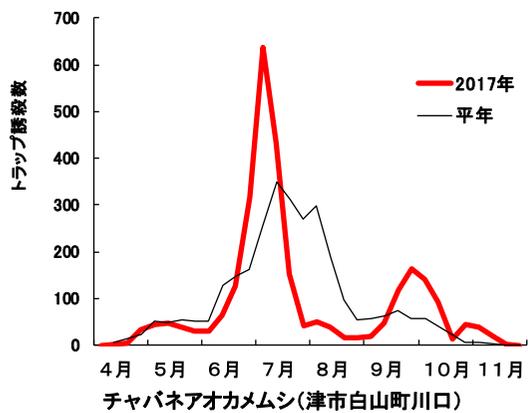
イ ナシ

ア)フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



イ)カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)





## (5) 茶

### ①生育状況

- ・ 一番茶の萌芽と摘採時期は平年並みであった。収量はやや少なかった。
- ・ 二番茶の生育時期は少雨であったため収量が少なかった。

(生育に関するデータ)

東海農政局 8月18日発表

一番茶摘採面積 2720ha(前年比 98%)、反収 464kg(前年比 91%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

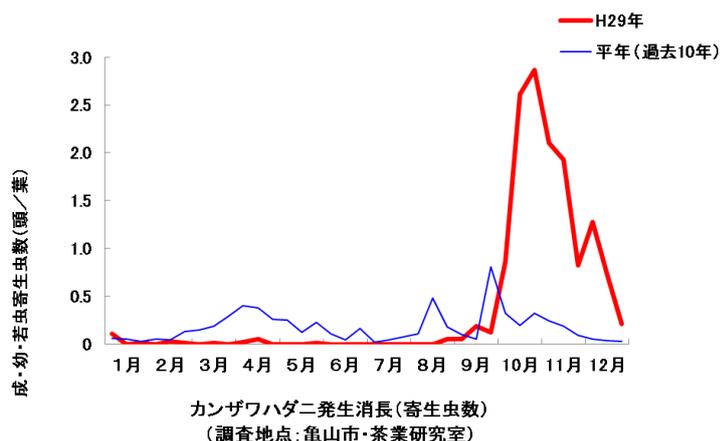
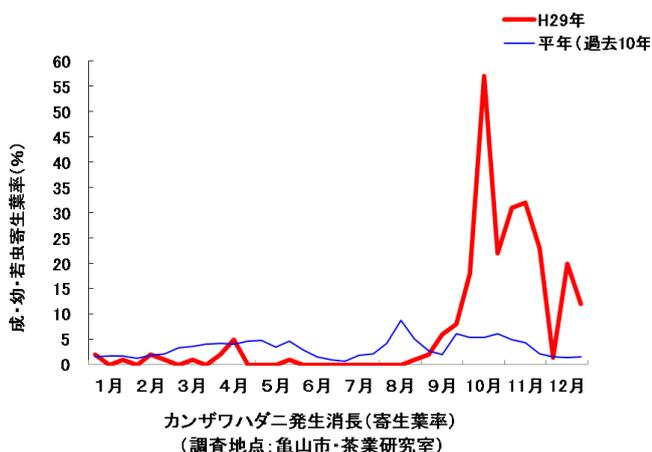
一番茶:萌芽4/7(平年 4/8)、摘採時期5/7(平年 5/6)、反収 584kg(平年 566kg)

二番茶:摘採時期7/3(平年 6/27)、反収 464kg(平年 640kg)

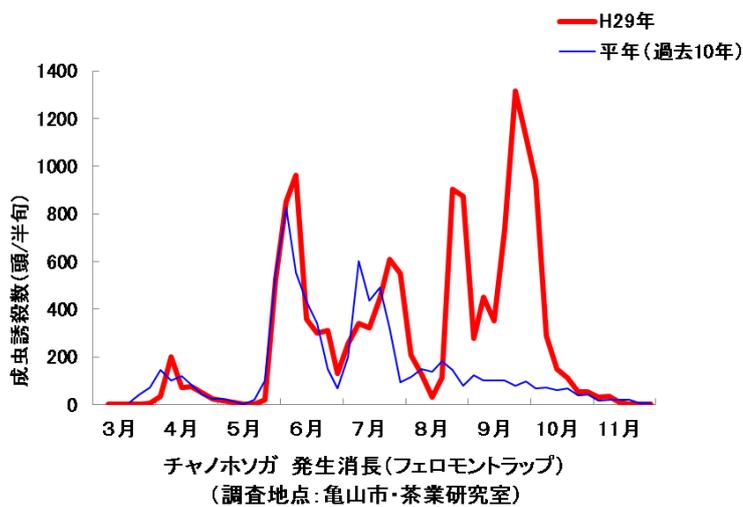
### ②病虫害発生状況

- ・ 炭疽病と輪斑病は期間を通じてやや少なくて推移した。もち病は期間を通じて平年並に少発生で推移した。
- ・ カンザワハダニは梅雨後と秋期に密度が高い圃場があったが、概ね少発生で推移した。チャノコカクモンハマキとチャノホソガは北勢地域で発生がやや多く、その他の害虫について多発生はなかった。

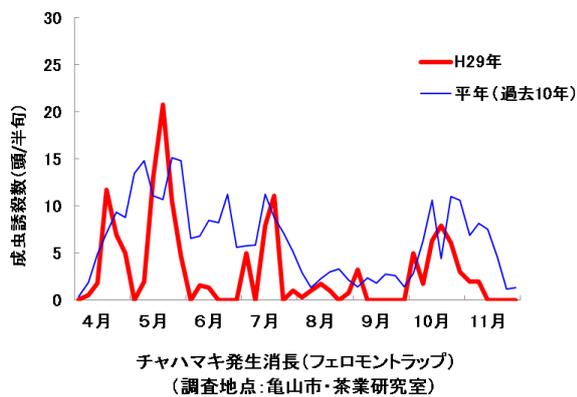
#### ア) カンザワハダニ



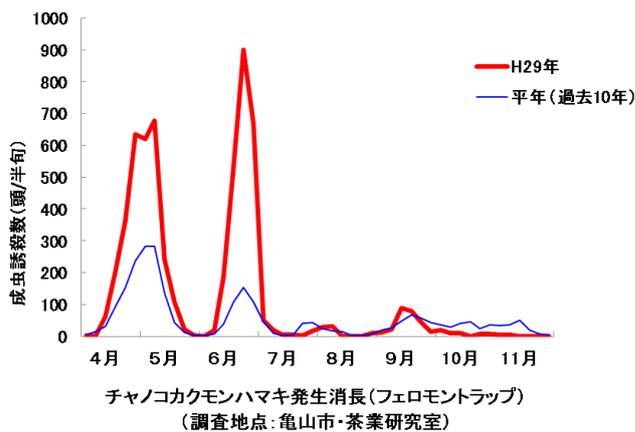
イ) チャノホソガ



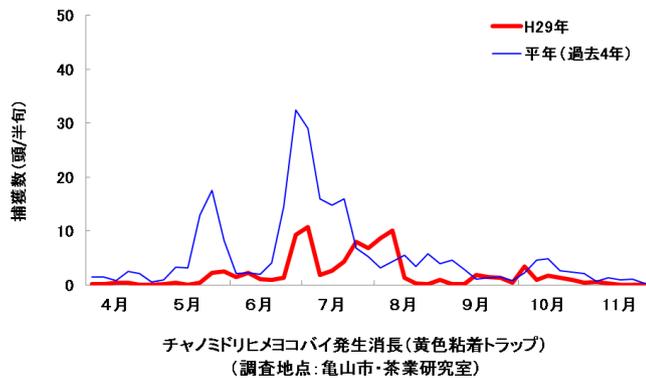
ウ) チャハマキ



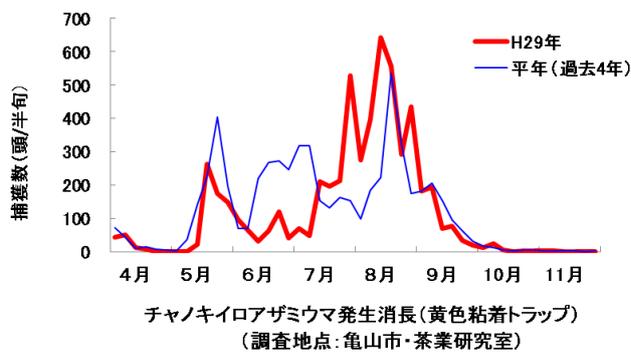
エ) チャノココクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

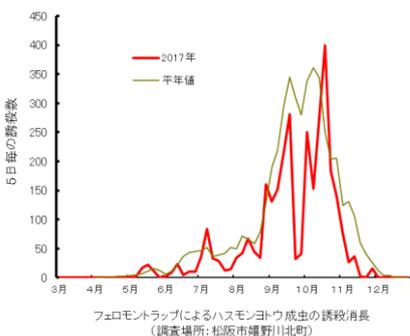
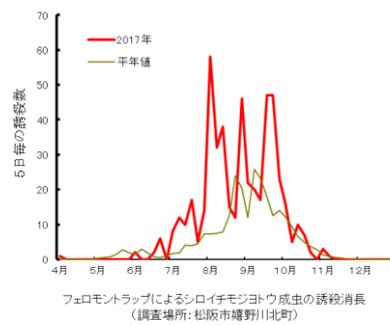
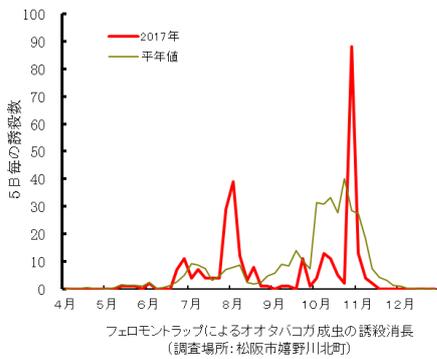
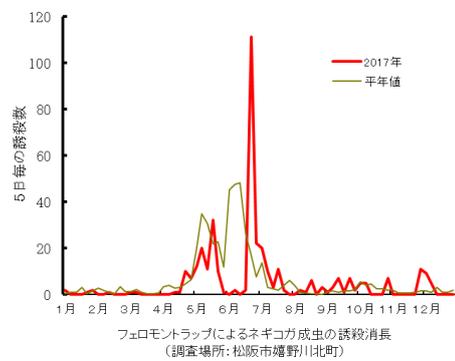
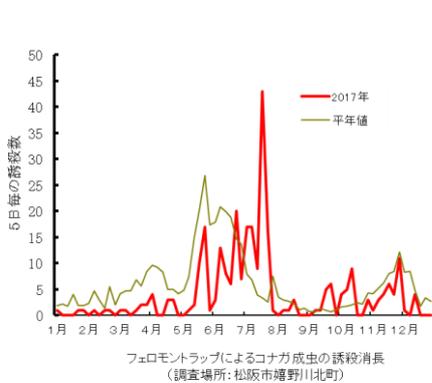


## (6) 野菜

### a 生育及び病害虫の発生状況

- ・イチゴでは、6月にアブラムシ類が多く確認された。また、圃場によっては萎黄病の被害が多く見られた。ハダニ類は育苗時は全体的に少なかったが、徐々に平年並程度の発生となった。
- ・トマトでは、全体的に病害虫は少ない傾向で推移し、圃場によっては、すすかび病の発生が一部ほ場で発生が多く見られた。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、全般的に病害の発生は少なく経過し、キャベツでは、生育初期にアブラムシ類の多発圃場が見られ、また、菌核病が散見された。
- ・ネギでは、ネギアザミウマが夏から秋にかけて多い発生が認められた。

### b フェロモントラップ



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ (早期)	葉いもち	6月中旬～8月上旬	平年:少 前年:少	育苗期間中および置き苗での発生なし。7月上旬の発生面積、発病程度はともに平年より少なかった。	感染好適条件は5月下旬及び6月下旬に出現したが、それ以降の出現はなかった。箱施用や本田防除による予防が行われたこと、前年の穂いもちの発生が少なく感染源の持ち込みが少なかったこと、感染好適条件出現が少なかったこと等の要因で発生が抑えられた。	箱施用、本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第5号(6月28日発表)による注意喚起を行った。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬	平年:少 前年:少	発生面積、発病率ともに少ない状況であった。	葉いもちの発生が少なく、晴天が続いたため、発生量は少なく抑えられた。	本田防除が行われた。
	紋枯病	7～8月	平年:並 前年:やや多	7月上旬の発生は少なかったが、8月上旬は発生は場率がやや高く、発病株率、発病度は平年並みであった。発生は場内で水平進展は見られたが、垂直進展は少	梅雨期は高温で推移したが、降雨は少なく、高温多湿条件とはならなかった。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われ、実害は出ていない。
	斑点米カメシ類	6月～9月	平年:やや多 前年:並	6月上旬頃から7月まで、アカスジカメシなど小型種が畦畔のイネ科雑草で発生が確認され、一部圃場では、ホソリカメシ、シラホシカメシも確認できた。クモヘリカメシは7月以降に多く見られた。全般的にはアカスジカメシなどの小型種などの発生目立ちや多い状況であった。	梅雨期に降雨が少なく、その後も高温少雨で推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生がやや多くなったと思われる。	畦畔の雑草管理は概ね良好であったが、一部圃場では畦畔の雑草管理は行き届いていなかった。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫発生予察注意報第7号(7月19日発表)による注意喚起を行った。
	イネミスズムシ	5月～6月	平年:並 前年:並	移植後の5～6月における越冬世代成虫の発生量、8月上旬における第一世代成虫の発生量ともに平年並であった。	昨年夏の越冬成虫量は平年並、第一世代の発生量はやや少であった。近年の過度な高温によって発生密度が抑制されたと思われる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われ、実害は出ていない。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月	平年:並 前年:並	発生量は平年並であったが、ほ場、地域、時期による差が大きかった。	発生密度が平年並であったことについての要因は見あたらない。	本種を対象とした防除は行われていないが、箱施用等により被害が発生しない程度に抑制されていると思われる。
	セジロウカ	6月～9月	平年:少 前年:少	発生は少なかった。	7月中旬まで予察灯への飛来がなかった。	本種を対象とした防除は行われなかった。
	トビイロウカ	7～9月	平年:並 前年:並	発生はわずかであった。	飛来量が少なく、本田での発生はほとんどなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ヒメトビウカ	6月～9月	平年:やや多 前年:並	発生面積・発生量は平年よりやや多かった。	梅雨期に降雨が少なく、その後も高温少雨で推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生がやや多くなったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はほとんどないと考えられる。
	ニカメイガ	6月～8月	平年:やや少 前年:少	近年増加傾向にあったが、本年は越冬世代、第一世代ともに発生量はやや少なかった。	近年増加傾向であったのが、本年度の発生がやや少となった原因は不明である。フェロモントラップの誘殺数は、越冬世代では平年並、第一世代ではやや少であった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月	平年:少 前年:並	7、8月ともに発生量は少なかった。	飛来量が少なく、本田での発生量は少なかった。	本種を対象とした防除は行われなかった。
	白葉枯病	8月	平年:少 前年:少	発生は少なかった。	強風を伴う降雨が少なく、感染の機会は少なかった。近年発生は少ない。	本病害を対象とした防除は行われなかった。
	もみ枯細菌病 (細菌性苗腐敗症)	4月中旬～5月上旬、8月	平年:並 前年:並	平年並に少ない状況であった。	健全な種子が供給されるようになり、また、育苗施設の環境も良くなったため、近年発生は少ない。	種子消毒で防除した。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬	平年:並 前年:並	育苗期間中に一部でリゾプス、フザリウム、トリコデルマの発生があったが、全体としては平年並に少ない状況であった。本ほへの影響はなかった。	育苗期間中に夜温が低かったり、日中高温となった地域では苗の生育が不良となり、発病を誘発する要因となった可能性がある。	種子消毒及び育苗箱散布を行った。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月	平年:並 前年:並	育苗期間中、本田ともに発生は平年並に少ない状況であった。	温湯による種子消毒の操作に不備があり、発生したと考えられる事例があったが、昨年より少ない。	種子消毒で防除した。育苗期間中も防除、適正管理の指導が行われている。採種圃および周辺圃場でも対策が徹底されている。
	縞葉枯病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬	平年:やや少 前年:少	発生量は少なかった。例年実害は少ない。	過度の高温によって発生密度が抑制されたと考えられる。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネクロカメシ	5月中旬～9月	平年:少 前年:並	発生は少なかったが、一部地域では6月上旬頃から発生が確認された。	近年の一時期、被害が多発したことがあったが、本年は発生が少なかった。原因は不明である。	本種を対象とした防除は行われなかった。実害はなかった。
イチモンジセセリ	7月～8月	平年:少 前年:少	発生は少なかった。	数年に1度、発生が少ない年があり、変動の範囲内であると思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。	
アワヨトウ	7月～8月	平年:少 前年:並	7～8月の発生はほとんどなかった。	近年増加傾向にあったが、減少に転じた。原因は不明である。	本種を対象とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月	平年:少 前年:少	6～8月の発生は少なかった。	数年に1度、発生が少ない年があり、変動の範囲内であると思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はなかった。	
イナゴ類	6月～9月	平年:やや多 前年:並	圃場、地域による差が大きかったが、7～8月の発生量は平年並であった。8月には葉の食害が目立つ圃場が見られた。	近年増加傾向にあり、本年もその状況は続いている。	本種を対象とした防除は行われていない。実害は少なかったと思われる。	
イネシガレセンチュウ	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	種子更新・種子消毒が徹底された。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月	平年:やや少 前年:並	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月	平年:やや少 前年:並	発生はほとんどなかった。	4月5月の少雨により感染の機会が低く、また注意喚起による適期防除の実施により、発生量は少なく抑えられた。	開花期の薬剤防除を実施した。病害虫防除技術情報第1号(4月11日発表)による注意喚起を行った。
	さび病類	4月～6月上旬	平年:やや少 前年:並	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月	平年:やや少 前年:やや少	一部の品種では発生したが、5月中には順調にマスクングされた。	耐病性品種の作付が増えた。罹病性品種では極端な早播きを避けたほか、感染の機会があったものの健全な生育を維持することで、平年よりも発生が抑えられた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月	平年:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はない。	本病を対象とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月	平年:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	連作圃場では発生があるがわずかである。	連作回避で防除した圃場が多い。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5月上旬の発生量は平年並であったが、被害はなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を対象とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	平年並に発生量はやや少なくなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	8月上旬から白変葉が地域によっては見られたが、9月以降は発生量が少なかった。	飛来数は平年より少ない。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	吸害性カメムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	9月上旬から圃場内で発生、伊勢平野地では主にミナミアオカメムシが確認された。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稲の収穫に伴ってダイズへ飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。病害虫防除技術情報第10号(9月15日発表)による注意喚起を行った。
	紫斑病		平年：やや少 前年：やや多	紫斑病の発生量はやや少なかった。	前年に紫斑病が多発した地域では、巡回を実施して薬剤散布を徹底した。	健全種子の使用、種子消毒の実施。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	圃場での発生は確認されたが、平年並に少なくなかった。	フェロモントラップの状況から今年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年：並 前年：やや多	被害による被害粒の発生量は平年並であった。	例年の発生変動の範囲内である。	適期防除を行なうことが困難であった。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年：並 前年：遅い 果実 5～9月 平年：やや早い 前年：並	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月17日(平年4月16日)と平年並で、果実では5月14日(平年5月17日)とやや早かった。発生量は、春葉では発生のピークである4～5月ごろをどらえて平年並としたが、その後は少なくなかった。果実では期間を通じてやや少ない発生であった。一般圃場での発生は少ないが近年増加傾向。	越冬病斑が平年より多い圃地があったが、5～6月の雨が少なく、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	イメベンコナゾール剤、ジチアンノ剤、銅剤、EBI等による発芽期防除が実施されている。
	黒点病	果実 5月～ 平年：並 前年：やや早い 前年：並	平年：並 前年：やや少	果実での初発は5月中旬でやや早かった(果予察圃)。一般圃場では概ね適切に防除できており、発生は夏場を中心に少なくなかった。	6月は降雨が多かったが、梅雨後半の7月上旬は晴れの日が多く発生は抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカーボメート剤等による防除が実施された。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：やや遅い 前年：やや遅い 果実 6～9月 平年：遅い 前年：遅い	平年：やや少 前年：やや少	温州みかんの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。中晩柑では期間を通じて春葉・果実とも発生量は比較的少なかった。	5月下旬から6月中旬までほとんど雨が少なく発生が抑えられた。中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが期間全体で発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前には銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	夏ダニのピークは6月で樹勢の弱い圃地などで増加。その後も9月下旬から10月にかけて秋ダニがやや多い圃地があったが10月後半の台風21号22号により収束。	発生が増える6月中旬まで雨が少なく乾燥した状態が続いたためハダニの増加に好適な条件となった。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキシル剤、シフルトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	一部の圃地で6月の少雨のため増加したが大きく見れば期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	9月時点での発生は平年並に少ない。	8月下旬～9月は比較的少雨だったため、平年並に少なくなかった。	マンゼブ剤、シアノファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	近年全般的に発生量自体少ないが、防除の差が局所的に発生が見られる圃場もある。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	7月に果実への寄生が多い圃地が散見された。その後は全般に平年並で推移した。	5月中下旬の高湿、6月上旬の乾燥が増加要因だと考えられるが、その後は防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェニル剤等による定期防除に加え、追加防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	6月上旬までの乾燥で新葉に局発している圃地が増えたがその後は防除により平年並に収束した。	発生が増える6月中旬まで雨が少なく乾燥した状態が続いたためアブラムシ類の増加に好適な条件となった。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	6月以降発生が増え、春芽の多い圃地、硬化が遅い新梢や苗木などで被害が増えた。	中晩柑で夏秋梢の発生が多い圃場や、幼木圃、高接樹等を中心に発生しているが、今年は6月上旬の乾燥などにより発生初期の成虫密度が高まったと考えられる。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤、ネオニコチノイド剤による防除が実施された。
	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	紀州地域に限定して発生しており、近年増加傾向。発生ピークは6月下旬。	昨年冬以降、天候により防除が徹底できなかった圃地でとりまがかり春先はいくらか発生を確認。多発圃地では秋にも見られるようになってきた。	マシン油剤、DMTP剤、プロフोजェン剤、アラニカルブ剤等による防除が実施された。
かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて平年並に少なくなかった。	例年少なからず発生は確認されているが防除により概ねおさえられている。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロバトリン剤等による防除が実施された。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6月ごろから発生は確認されたが、期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	カキタガアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本書虫を対象とした防除は通常実施されていない。
	フジコナガイガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5～7月はやや多い状況で推移した。圃地間の差が大きい。防除のタイミングと前年の落葉処理等による圃地ごとの菌密度の差が原因と考えられる。	春先～6月中旬ごろまでは雨の少ない状態が続いており、病気の発生に対してはマイナス要因だったはずだが、去年おとしと発生が多い年が続いており、前年の落葉処理が不徹底だった圃地において発生が増えたと思われる。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビリン系剤、DMI剤、ジチアンノ剤等による防除が実施された。
	ナシヒメシンクイ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップ(松阪市)では4月と7～9月に誘殺数が多かった。一般圃場における発生量も防除等による差があったが発生量は概して平年並であった。	圃場内トラップでは無処理区があるため発生が防ぎきれない。一般圃場ではバラスキはあるものの薬剤防除によって概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ(松阪市)では平年並みの発生動向であったが、チャノハキは4月と7月に大きな発生ピークがあった。ただし、一般圃場	3月以降全体的に少雨過湿で虫種によっては動きが例年とは異なる可能性があると考えられる。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要	
	ハダニ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	7月を中心に発生が多かった。	発生が増える6月中旬まで雨が少なかったため発生が増えたと考えられるが、その後は降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ビフェンザート剤、ミルベクテン剤等による防除が実施された。	
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	6月頃に発生が散見された。	近年、典型的な被害の発生は、放任園地以外ではほとんど見られず、発生密度そのものが低いと考えられていたが、今年は4月中旬に強風を伴った雨が降り発生が助長された可能性がある。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6月には県内各地で発生を確認したが、その後は少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	イミノクダジン剤、EBI剤等による防除が実施された。	
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルベート剤塗布による防除が実施された。	
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5～6月頃発生が目立ったが、概ね平年並で推移した。	5～6月頃は乾燥しており一時的に多かったが、その後は的確な防除により発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。	
	クワコナガイガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。	
	ぶどう	ベト病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	夏を中心に発生があったが期間を通じて発生量は平年並で推移した。	6～7月に雨が少なかったこと、適期防除により発生は抑制された。	シアゾファミド剤、ストロビルリン系剤、銅剤等による防除が実施された。
ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジン剤等による防除が実施された。		
晩腐病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6月をピークに発生したが、期間を通じて大きく見れば発生量は平年並で推移した。	6～7月に雨が少なかったこと、適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。		
黒とう病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	4～5月の少雨がマイナスに働いた。発生密度そのものも低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベノル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。		
チャノキイロアザミウマ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アセフェート剤、ベルメリン剤等による防除が実施された。		
クワコナガイガラムシ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジン剤による防除が実施された。		
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	越冬成虫の量が少なかったため春はやや少ない状態が続いた。新成虫に変わり始める6～7月頃にある程度まとまった量の発生が確認されたがそれ以降はそれほど発生量は増えなかった。8月以降周辺県での発生が増えてきてからも県内園地ではそれほど見られなかったが、9月下旬以降ツヤアカカメムシを中心にチャバネアオカメムシと合わせて増加に転じ、例年よりも遅くまでピークが続いた。	越冬量が少なかったため、夏前までは比較的少なかったが、スギ・ヒノキ産果着生量が昨年より多かったため、夏以降の新成虫個体数は多かったと考えられる。ただし、そのまま果樹園に飛来したわけではなく、9月の台風18号をきっかけに、ツヤアカカメムシを中心に増加した。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が実施された。秋に発生が増え始めからは各生産地JAの呼びかけなどにより防除も行われた。	
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	病斑葉数は、4月5月は平年並であった。7月以降はやや少なくなると推移した。	4月から9月の降水量は8月を除き平年より少なく、少発生の要因と考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。	
	もち病	4月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	各茶期摘採後の整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。	
	輪紋病	4月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じてやや少なくなると推移した。	4月から9月の降水量は8月を除き平年より少なく、少発生の要因と考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。	
	カンザワハダニ	4月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	7月と9月に多発生の園地が見られたが、全体的に少発生傾向で推移した。	二番茶摘採後に深刈整枝がおこなわれており、7月8月の高温など、発生に適した条件でなかったと考えられる。	エトキサゾール剤、シクルメフエン剤等による防除が行われた。	
	チャノココカモンハマキ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	越冬世代から飛来数は平年よりも多かった。	越冬量がやや多く、5月7月8月の気温が高かったことから、平年より発生量が多かったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤、外キシフェノジド剤等による防除が行われた。	
	チャハマキ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	越冬世代から飛来数は平年よりも多かった。	5月7月9月は気温が高かったが、越冬量が少なかったため平年並の発生量になったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤、外キシフェノジド剤等による防除が行われた。	
	チャノホソガ	4月～9月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：やや少	平年並～やや多く推移した。	5月7月8月は気温が高く、飛来数がやや増加したと考えられる。	ミルベクテン剤、外キシフェノジド剤、クロラントラプルーラ剤等による防除が行われた。	
	チャノミドリヒメコバイ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	期間を通じて平年並～やや多く推移した。	4月から9月の降水量は8月を除き平年より少なかったが、慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤、ジノテフラン剤等による防除が行われた。	
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：－	全体的には平年並～やや少で推移した。	4月から9月の降水量は8月を除き平年より少なかったが、慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。	
	ツマグロアオカミカメ	4月～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	隣接地に雑草が多い圃場に発生がみられた。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤、ジノテフラン剤等による防除が行われた。	
	クワシロカイガラムシ	第1世代(5月) 平年：並 前年：早 第2世代(7月) 平年：やや早 前年：早	平年：並 前年：並	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第5半旬と平年並、第2世代幼虫は7月第4半旬とやや早かった。発生量は平年並であった。	第1世代は、被覆時期のため通常は防除は実施されないが、新規薬剤による冬季防除が近年高い効果を示している。被覆栽培の拡大と乗用摘採機の普及が発生拡大を促していると考えられる。	ピリロキシフェン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェンジン剤等による幼虫孵化期を中心とした防除が行われた。 病害虫防除技術情報第2号(5月15日)および第6号(7月10日)発表。	
	ヨモギエダシヤク	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少発生で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生にとどまった。	外キシフェノジド剤等により防除が行われた。	
	冬春トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年：並 前年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
		灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年：平年並 前年：やや多 前年：やや少 前年：平年並	発生は、4～5月に果実において平年より多い発生であったが、葉は平年より少ない発生となった。冬期間は、発生は全体的に少なかった。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
アブラムシ類		4月～6月 9月～3月	平年：並 前年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。	
ハスモンヨトウ		9月～10月	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並みに少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。 病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	葉かび病	4月～6月 10月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	発生は一部圃場であり、偏りが認められたが、期間を通しての発生は平年並であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、すずかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	期間を通しての発生は平年並で、一部は場で発生がある程度である。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置による感染が回避され、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置や発病株の除去などが行われている。
	ハモグリバエ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:少 前年:並	期間を通して発生量は平年並みに少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	コナジラミ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	一部圃場で成虫の生息が確認されたが、全体的に発生は平年並であった。一部圃場で発生が見られたが、春期(4～6月)は全般的に平年よりやや少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置による物理的防除や薬剤による防除が行われた。
	オオタバコガ	9月～11月	平年:並 前年:並	場内フェロモントラップ誘殺数は、4～12月で218頭、平年375頭と平年に比べて少なかった。	コナジラミ類の侵入を阻止するネットの設置により回避されている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:並	一般圃場における発生は平年並である。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:やや少	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	軟腐病	9月～11月	平年:やや多 前年:少	発生は一部は場でやや多かった。	温田に作付けしたほ場で特に多かった。	早期収穫、薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年:やや少 前年:少	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月	平年:並 前年:少	発生は平年並であった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨウガ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	黒腐病	10月～12月	平年:並 前年:やや少	発生は平年より少なかった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
冬キャベツ	菌核病	11月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	根こぶ病	11月～2月	平年:並 前年:並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:並 前年:少	発生は平年並であった。	防除により発生は抑制された。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	ヨウガ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	菌核病	4月～5月 3月	平年:並 前年:並 前年:並	発生は平年並であった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月	平年:並 前年:並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。近年、耐病性品種の導入が進んでいる。
	コナガ	4月～5月 12月～3月	平年:やや少 前年:並 前年:並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
春キャベツ	モンシロチョウ	4月～5月	平年:やや少 前年:並	発生量は平年より少なかった。	防除により抑制されており、例年発生は少ない。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	4月～5月 12月～3月	平年:並 前年:やや少 前年:並 前年:やや少	期間を通して発生は平年並にやや少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	さび病	4月～5月 10月～3月	平年:やや少 前年:並 前年:やや少 前年:並	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月	平年:並 前年:並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	葉ネギではほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年:やや多 前年:並	期間を通して平年よりやや多かった。	ネギアザミウマは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られている。	薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年:並 前年:やや少	やや多～やや少を繰り返し、期間を通して平均すると発生は並である。	防除により発生は抑制された期間があった。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年:やや多 前年:やや少	4～12月中のフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は217頭(平年268.1頭)と平年よりやや少なかったが、被害量はやや多かった。	初期防除の遅れが原因と推察される。	薬剤による防除が行われた。
	灰色かび病	4月 12月～3月	平年:やや多 前年:並 前年:やや多 前年:並	4月の発生はやや多であった。3月以降増加し、発生は平年よりやや多かった。果実での発病果が多かった。	防除の遅れなどによりいったん多発生すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月	平年:並 前年:やや少	目立った発生はなく、発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	8月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
冬春イチゴ	うどんこ病	6月～3月	平年:並 前年:並	巡回調査では、定植当初、発生量はやや少であったが、その後平年並で推移した。11月に薬剤防除で抑制されたが、その他の期間では発生量は平年並であった。	防除により発生は抑制された。	くん蒸器等による薬剤防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月	平年:並 前年:並	育苗時に圃場によっては多発したが、定植後は平年並で推移した。	主力品種は罹病性の「産産」であるが、近年は果育成の抵抗性品種「かおり野」の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入(雨よけ育苗、底面給水等)、抵抗性品種(かおり野)の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	4月 3月	平年:やや少 前年:やや少 前年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月	平年:やや少 前年:やや多	定植時からやや少なく、その後も少ない状況で推移した。3月以降、気温が上昇するとともに増加傾向が見られた。	定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材(カブリダニ)や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。

#### 4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 Ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	25460	葉いもち				127	127	8758	8758
		穂いもち				216	216	9904	12826
		紋枯病				8415	8415	9904	12828
		イネミズゾウムシ			821	11146	11967	7562	7562
		セジロウンカ				432	432	7568	10822
		トビイロウンカ				0	0	0	0
		ヒメトビウンカ				10788	10788	7568	10822
		ツマグロヨコバイ				12622	12622	7568	10822
		ニカメイチュウ第1世代				432	432	160	160
		ニカメイチュウ第2世代				216	216	0	0
		斑点米カメムシ類	102	535	2622	9471	12730	11686	15075
		コブノメイガ				324	324	0	0
		苗立枯病				0	0	25460	25460
		ばか苗病				25	25	25460	25460
		籾枯細菌病				8	8		
		籾枯細菌病(種子消毒)						25460	25460
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				3	3	0	0
		萎縮病					0		
		イネシンガレセンチュウ				3	3		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						25460	25460
		イネドロオイムシ				108	108	0	0
		イネクロカメムシ				647	1647	125	125
フタオビコヤガ				2805	2805	0	0		
イチモンジセセリ				25	25	0	0		
アワヨトウ				0	0	0	0		
イネ (普通期 水稲)	1340	葉いもち				4	4	461	461
		穂いもち				7	7	521	675
		紋枯病			84	838	921	521	675
		イネミズゾウムシ			43	587	630	398	398
		セジロウンカ				0	0	398	570
		トビイロウンカ				0	0	398	570
		ヒメトビウンカ				754	754	398	570
		ツマグロヨコバイ				921	921	398	570
		ニカメイチュウ第1世代				23	23	8	8
		ニカメイチュウ第2世代				460	460	0	0
		斑点米カメムシ類				0	0	0	0
		コブノメイガ				17	17	0	0
		苗立枯病				0	0	1340	1340
		ばか苗病				6	6	1340	1340
		もみ枯細菌病					0		
		もみ枯細菌病(種子消毒)						1380	1380
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				0	0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						1380	1380
		イネドロオイムシ				6	6	0	0
		イネクロカメムシ				34	34	7	7
フタオビコヤガ				148	148	0	0		
イチモンジセセリ				6	6	0	0		
アワヨトウ				0	0	0	0		
コムギ 29年産	6430	さび病類				0	0	0	0
		うどんこ病				0	0	0	0
		赤かび病				357	357	6430	6430

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(コムギ続き)		黒穂病類				0	0	0	0
		縞萎縮病				179	179	0	0
		アブラムシ類				2679	2679	0	0
		ムギアカタマバエ				0	0	0	0
ダイズ	4420	ハスモンヨトウ		0	278	1383	1661	3288	3288
		吸害性カメムシ類	553	276	967	1381	3177	1295	1295
		紫斑病				0	0	4111	8221
		アブラムシ類				829	829	0	0
		コガネムシ類				691	691	0	0
		シロイチモジマダラメイガ				39	39	0	0
カンキツ	1624	そうか病			7	237	244	1,462	2,923
		黒点病		12	375	1,074	1,462	1,462	6,943
		かいよう病			6	205	211	1,462	3,654
		ヤノネカイガラムシ				41	41	1,462	2,558
		ミカンハダニ		10	540	587	1,137	1,462	4,750
		カメムシ類		5	143	502	650	1,462	1,462
		チャノキイロアザミウマ			5	807	812	1,462	5,846
		ミカンハモグリガ			15	229	244	1,462	1,462
		アブラムシ類				244	244	1,462	1,462
ナシ	155	黒星病		1	17	52	70	147	1,950
		赤星病				28	28	147	515
		うどんこ病				39	39	147	166
		輪紋病				8	8	147	884
		ハダニ類			3	28	31	147	442
		カメムシ類			10	43	53	147	147
カキ	432	炭疽病				13	13	302	1,285
		うどんこ病				26	26	302	1,588
		カキノヘタムシガ				22	22	302	680
		カメムシ類		3	52	101	156	302	302
ブドウ	118	べと病			3	50	53	112	897
		黒とう病				15	15	112	785
		チャノキイロアザミウマ				7	7	112	411
		晩腐病			1	29	30	112	524
チャ	2720	炭疽病			93	560	653	2367	5681
		もち病				136	136	1469	1469
		輪斑病			9	399	408	2448	2720
		チャノココクモンハマキ		124	190	1046	1360	2386	4295
		チャハマキ			17	745	762	1632	2122
		チャノホソガ			19	1503	1522	2291	4676
		チャノミドリヒメヨコバイ		1	24	1689	1714	2291	4676
		カンザワハダニ		13	50	1025	1088	2367	7240
		チャノキイロアザミウマ		20	160	1316	1496	2386	8112
		ツマグロアオカスミカメ				626	626	1904	1904
		クロシロカイガラムシ		4	126	1502	1632	2176	3046
ヨモギエダシヤク			2	542	544	1360	1632		
冬春トマト	65	疫病				3	3	50	50
		灰色かび病			3	35	38	65	390
		アブラムシ類				2	2	5	10
秋冬ハクサイ	192	軟腐病				5	5	80	80
		白斑病				7	7	156	156
		べと病				4	4	157	157
		アブラムシ類				32	32	192	221
		ヨトウガ				28	28	150	220
		コナガ				8	8	120	156
冬キャベツ	218	黒腐病				5	5	218	264
		菌核病				5	5	133	133
		モンシロチョウ				21	21	133	264
		コナガ				10	10	218	264

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(冬キャベツ続き)		ヨトウガ				32	32	133	264
		ハスモンヨトウ				21	21	199	199
		アブラムシ類				32	32	133	264
春キャベツ	143	菌核病			3	20	23	40	40
		モンシロチョウ				5	5	133	266
		コナガ				7	7	133	266
		アブラムシ類				25	25	132	260
秋冬ネギ	167	さび病				8	8	36	52
		黒斑病				10	10	20	20
		アブラムシ類				5	5	8	8
		ネギハモグリバエ			3	127	130	167	310
		ネギアザミウマ			4	150	154	167	660
		ネギコガ				11	11	36	36
冬春イチゴ	75	炭疽病				31	31	75	525
		灰色かび病				45	45	75	300
		うどんこ病				12	12	75	150
		アブラムシ類				17	17	75	300
		ハダニ類			3	45	48	75	450
		ハスモンヨトウ			1	9	10	75	75

## 5. 発行された予察情報

### (1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月20日	第2号 5月25日	第3号 6月22日	第4号 7月20日	第5号 8月24日	第6号 10月19日	第7号 3月22日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病虫害名	対象作物
特殊報第1号 平成29年7月27日	タバコノミハムシ	ナス

	病虫害名	対象作物
技術情報第1号 平成29年4月11日	コムギ赤かび病	コムギ
技術情報第2号 平成29年5月15日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第3号 平成28年6月15日	アブラムシ類	イチゴ(育苗ほ)
技術情報第4号 平成28年6月20日	ミカンハダニ	温州みかん、中晩柑類
技術情報第5号 平成29年6月28日	いもち病(葉いもち)	イネ
技術情報第6号 平成28年7月10日	クワシロカイガラムシ第2世代幼虫	チャ
技術情報第7号 平成29年7月19日	斑点米カメムシ類	イネ
技術情報第8号 平成29年8月8日	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ	野菜類(果菜類)、花き類
技術情報第9号 平成29年8月24日	クビアカツヤカミキリ	ウメ、カキ、モモ、スモモ、サクラ類
技術情報第10号 平成29年9月15日	吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)	ダイズ
技術情報第11号 平成29年10月11日	果樹カメムシ類(特にツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	果樹全般(カンキツ、カキなど)
技術情報第12号 平成29年10月12日	吸実性カメムシ類	ダイズ
技術情報第13号 平成29年11月15日	黒腐病	アブラナ科野菜(ハクサイ、ブロッコリー、キャベツ等)
技術情報第14号 平成29年12月13日	菌核病	イチゴ、アブラナ科野菜(ハクサイ、キャベツ等)
技術情報第15号 平成30年3月22日	カンザワハダニ	チャ
技術情報第16号 平成30年3月22日	チャノコカクモンハマキ	チャ
技術情報第17号 平成30年3月22日	果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	果樹全般

## (2) 予報

平成 29 年度

### 病害虫発生予報第 1 号

平成 29 年 4 月 20 日

#### 三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

#### 目次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

## 1. 向こう 1 か月の予報と対策

### 1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**平年並**、発生量は**少**と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は**やや多**と予想されます。開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花始めから開花盛期が防除適期です。開花前の防除は効果が劣るので注意してください。

### 2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいはよう病の発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

### 3) 茶

チャでは、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、クワシロカイガラムシ、チャノカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。

カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

### 4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生は**やや多**と予想されます。ほ場の発生状況の確認に努め、早期に防除を行って下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

三重県病害虫防除所

## 2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								4月	5月			
						下旬	上旬	中旬	下旬			
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	少	小	低		成虫誘殺数				1) 近年発生が少ないので、移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。	
コムギ	赤かび病	—	やや多	小	高		感染	発病			1) 病害虫防除技術情報第 1 号(4 月 11 日発表)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	低		葉枝の発病				1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。	
	かいはよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通		発病密度				1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4 月に防除を実施していない圃場では、5 月に防除を実施してください。	
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通		成ダニ密度				1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が 1 葉当たり 0.5~1.0 頭になったら防除を計画してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生圃場率	程度		4月		5月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通	発病密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。</li> <li>2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。</li> </ol>
	赤星病	—	平年並	小	普通	ビャクシン類の冬胎発芽			ナシの発病	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。</li> <li>2) 病原菌は雨滴によって飛散し、主に降雨中に感染します。</li> </ol>
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	成ダニ密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。</li> </ol>
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通	ナシノアブラムシ	ナシミドリオオアブラムシ		ワタアブラムシ ユキヤナキアブラムシ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 初期の寄生を見つけることが重要です。</li> <li>2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。</li> </ol>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低	トラップ誘殺数	ツキアオカメムシ	チャバネアオカメムシ		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本年は越冬量が少なく、初夏までの圃場への飛来はやや少ないと考えられます。</li> <li>2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。</li> <li>3) 果樹カメムシ類は、4月にはウメ、5月にはナシ、ビワ、モモに飛来します。</li> <li>4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。</li> <li>5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生圃場率	程度		4月		5月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	成ダニ密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば防除してください。</li> <li>2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をいねいに散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> <li>4) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。</li> </ol>
	チャノホソガ	—	平年並	小	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。</li> <li>2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。</li> </ol>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	低	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。</li> <li>2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。</li> </ol>
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	中	普通				第1世代成虫密度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 4月19日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は5月24日で平年(亀山9年平年値 5月17日)よりやや遅く、防除適期は5月第6半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。</li> <li>2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。</li> <li>3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考してください。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 葉液がかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	少	要因 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、移植時期にあたる予報期間(4月22日~5月12日)の気温の変動は大きい予想(発生時期±) 2) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月2日初飛来)と平年並(発生時期±) 3) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は67頭(平年164.5頭)と少(—) 4) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率4.2%(平年12.1%)と少、払い落とし虫数0.1頭(平年0.5頭)と少(—) 考察: 今後の気象条件から、発生時期は平年並と考えます。また、昨年の予察灯および巡回調査結果から、越冬成虫の予想発生量は少と考えます。
コムギ	赤かび病	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、開花期にあたる予報期間(4月15日~5月14日)の気温の変動が大きく、降水量は平年並が多い予想(+) 2) 作況試験田(11月10日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は4月8日(平年4月11日)とやや早い(—) 3) 一般圃場では、播種時期が遅いものは生育が遅れており、出穂期は平年並または遅い(+) 考察: 今後の気象条件および一般圃場を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想(+) 2) 巡回調査圃場(4月第2~3週)では、旧葉発病度0(平年0.02)とやや少(—) 3) 一般圃場での発生量は平年並(±) 考察: 今後の気象条件および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想(+) 2) 県予察圃(中晩柑類1月)では、越冬病斑の発病率率35.0%(平年28.9%)とやや多(+) 3) 巡回調査圃場(4月第2~3週)では、温州みかんでは旧葉発病度0(平年0.1)と平年並、中晩柑類では旧葉発病度2.9(平年4.6)と少(—) 4) 一般圃場での発生量はやや少(—) 考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	カンキツ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(4月上旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区44.4頭(平年95.1頭)とやや少、慣行防除区1.1頭(平年3.3頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、寄生葉率3.2%(平年6.3%)と少、寄生虫数/葉は0.32頭(平年0.25頭)とやや多(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、大きな増加の要因はないことから、予想発生量は引き続きやや少と考えます。</p>
	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、発病芽率0%(平年0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、発病葉率0%(6年平均0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、寄生葉率0%(6年平均0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高いが晴れの日は少なく、降水量は平年並または多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、寄生枝率0%(8年平均0.3%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>	

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年4.8頭)と少、ツヤアオカメムシ0頭(平年6.8頭)と少 (—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市4月第1半旬～第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年0頭)、ツヤアオカメムシ0頭(平年0頭)といずれも平年並 (±)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1～10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は0頭(平年2.3頭)と少、ツヤアオカメムシ0頭(平年0.5頭)と少 (—)</p> <p>4) フェロモントラップ(4月1～8日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)0頭(平年1.5頭)とやや少、中間地(津市白山町二本木)0頭(平年1.1頭)とやや少、平坦地(松阪市嬉野川北町)0頭(平年0.1頭)とやや少(—)</p> <p>5) 昨年度(平成28年10月1～11月30日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)122.2頭(平年124.7頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)34.2頭(平年50.0頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)17.8頭(平年11.4頭)とやや多 (±)</p> <p>6) チャバネアオカメムシの越冬量は、1.8頭/地点(平年4.4頭)と少、クサギカメムシの越冬量は、18.0頭/地点(平年54.4頭)と少 (—)</p> <p>7) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認 (±)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや少と考えられ、越冬量も少ないことから、今後の圃場への飛来数の予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャ	カンザワハダニ	—	やや少
	チャノホソガ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温の変動が大きく、降水量は平年並か多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は4月7日(平年4月8日)と平年並、初飛来は3月30日(平年3月17日)と遅、フェロモントラップ(3月第6半旬～4月第3半旬)では誘殺数311.4頭(平年438.5頭)とやや少で産卵は未確認 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、萌芽への産卵は未確認 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温の変動が大きく、降水量は平年並か多い予想 (±) 2) 県予察圃(4月第1～第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数 106.6頭(平年 122.7頭)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数 0.06頭(平年 2.5頭)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) <b>考察:</b> 県予察圃および一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温の変動が大きく、降水量は平年並か多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率 16.7%(平年 15.0%)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) <b>考察:</b> 巡回調査圃場および一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温の変動が大きく、降水量は平年並か多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第3半旬)では、誘殺数 65.7頭(平年 51.7頭)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.1枚/m <sup>2</sup> (平年 0.4枚/m <sup>2</sup> )と少 (－) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±) <b>考察:</b> 県予察圃および一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2～3週)では、寄生株率 15.5%(平年 14.7%)と平年並、寄生程度 6.2%(平年 7.7%)と平年並(±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並～多(概してやや多) (+) <b>考察:</b> 現状の発生量は平年並と考えられるが、今後の気象条件および一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比):** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

**発生量(平年比):** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

**発生量(程度):** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比):** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例:** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項:** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(－): 発生量減少または発生時期早期化の要因

## 5. 気象のデータ

### 東海地方 1 か月予報 (平成 29 年 4 月 13 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう 1 か月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

1 週目 4 月 15 日～ 21 日	低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の 日が多い見込みです。	津の降水日数・晴 れ日数の平年値 2.1 日・4.3 日
2 週目 4 月 22 日～ 28 日	天気は数日の周期で変わりますが、前線や 湿った空気の影響で、平年に比べ晴れの 日が少ない見込みです。	同 2.0 日・4.3 日
3～4 週目 4 月 29 日～ 5 月 13 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に 晴れの日が多い見込みです。	同 4.6 日・8.0 日

### 東海地方週間天気予報 (平成 29 年 4 月 18 日 10 時 35 分 名古屋地方気象台 発表)

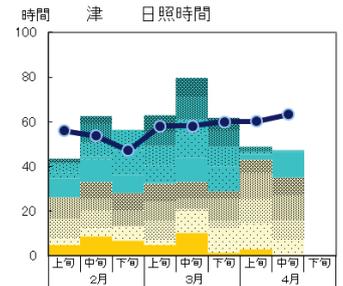
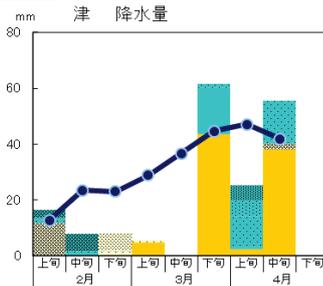
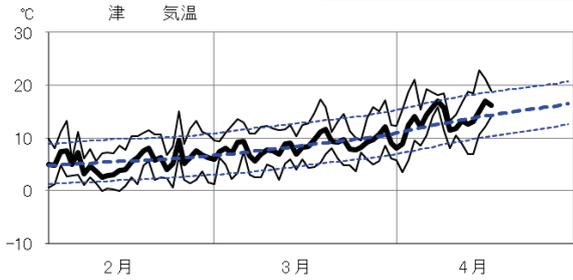
予報期間 4 月 19 日～4 月 25 日

向こう 1 週間は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の中頃に低気圧や前線の影響で雨の降る所がある見込みです。

最高気温と最低気温はともに、おおむね平年並でしょう。

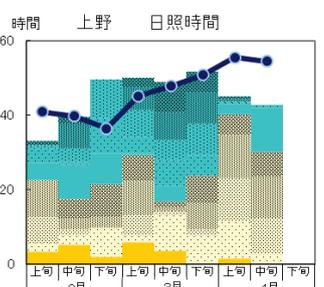
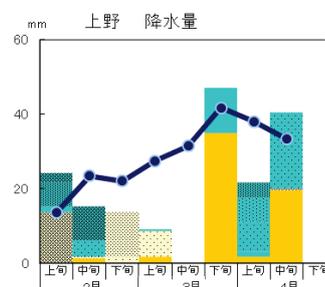
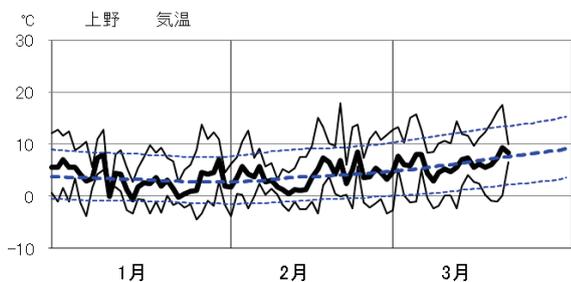
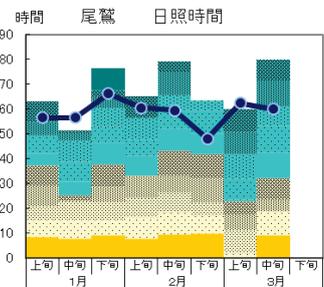
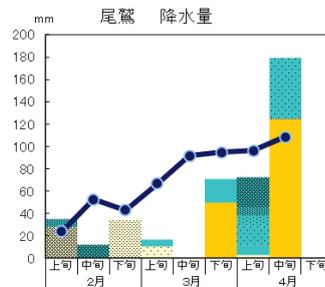
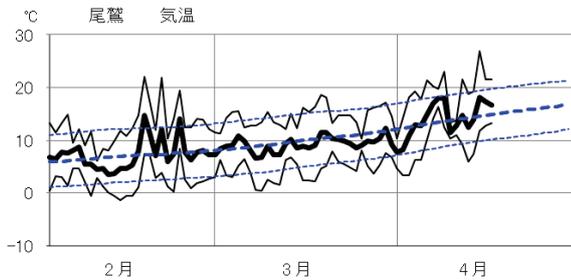
降水量は、平年より少ない見込みです。

### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (4 月 17 日まで)



11

三重県病害虫防除所



凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例

■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 20日  
 ■ 19日  
 ■ 18日  
 ■ 17日  
 ■ 16日  
 ■ 15日  
 ■ 14日  
 ■ 13日  
 ■ 12日  
 ■ 11日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 ■ 旬平年値

12

凡例

■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 20日  
 ■ 19日  
 ■ 18日  
 ■ 17日  
 ■ 16日  
 ■ 15日  
 ■ 14日  
 ■ 13日  
 ■ 12日  
 ■ 11日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 ■ 旬平年値

三重県病害虫防除所

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回	4月20日(今回)	第2回	5月25日(木)
第3回	6月22日(木)	第4回	7月20日(木)
第5回	8月24日(木)	第6回	10月19日(木)
第7回	3月22日(木)		

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

13

三重県病害虫防除所

平成 29 年度

# 病害虫発生予報第 2 号

平成 29 年 5 月 25 日

**三重県病害虫防除所**

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530  
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568  
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

## 目次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	12
5. 気象のデータ	13
6. おしらせ	15

## 1. 向こう1か月の予報と対策

### 1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量は少、イネミズウムシの発生時期は平年並、発生量はやや少と予想されます。

### 2) 果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。かいよう病(温州みかん・中晩柑)、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量はやや多と予想されます。発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

### 3) 茶

チャでは、炭疽病、もち病、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。チャノミドリヒメコバエ、カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。

### 4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量は平年並と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量はやや少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月	6月			
						平年比	下旬	中旬	下旬	
イネ	葉いもち	平年並	平年並	小	普通	置苗で発生	本田で発生			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 浦植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。</li> <li>2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。</li> <li>3) 葉いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。</li> <li>4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。</li> </ol>
	イネクロカメムシ	-	少	小	低	成虫誘殺数	被害量			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。</li> </ol>
	イネミズノウムシ	平年並	やや少	小	低	成虫誘殺数			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 株当り0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。</li> </ol>	
カンキツ	そが病	-	平年並	小	普通	葉枝	果実			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 梅雨明けまで幼果に感染します。</li> <li>2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。</li> </ol>
	黒点病	-	平年並	小	普通	発病密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生理落果盛期~後期に予防散布を実施してください。</li> <li>2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。</li> <li>3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。</li> </ol>	

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月	6月			
						平年比	下旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	-	温州 やや少	温州 小	温州 低	発病密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。</li> <li>2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カウ、セミノールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。</li> <li>3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。</li> </ol>	
	ミカンハダニ	-	平年並	中	普通	雌ダニ密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。</li> <li>2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。</li> </ol>	
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	小	普通	成虫密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 別年被害の多い圃場では、6月上旬~中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次回防除を行ってください。</li> </ol>	
ナシ	黒星病	-	やや多	中	普通	発病密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。</li> <li>2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。</li> <li>3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。</li> </ol>	
	ハダニ類	-	やや少	小	普通	雌ダニ密度			<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 防除の目安は成虫の1葉当り寄生頭数が1頭以上の時です。</li> <li>2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。</li> </ol>	

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	5月			6月	
								下旬	中旬		下旬	下旬
ブドウ	べと病	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>雨が続きと急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。</li> <li>葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。</li> <li>被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。</li> </ol>		
果樹共通	カメムシ類	-	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。</li> <li>山林に近い圃場では特に注意が必要です。</li> <li>薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。</li> <li>夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。</li> <li>合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。</li> </ol>		
チャ	炭疽病	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>気温が25前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。</li> <li>5月上旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。</li> <li>旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。</li> <li>開葉初期に防除してください。</li> </ol>		
	もち病	-	平年並	小	低					<ol style="list-style-type: none"> <li>気温が低い(15-22)と多発します。</li> <li>山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。</li> <li>萌芽期が防除適期です。</li> </ol>		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	5月			6月	
								下旬	中旬		下旬	下旬
チャ	カンザワハダニ	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。</li> <li>葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。</li> <li>天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。</li> <li>薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>		
	チャノソガ	-	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。</li> <li>成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。</li> <li>成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。</li> </ol>		
	チャノミドリヒメヨコバイ	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。</li> <li>新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。</li> <li>二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。</li> </ol>		
	チャノキイロアザミマ	-	平年並	小	低					<ol style="list-style-type: none"> <li>成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。</li> <li>二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。</li> </ol>		
イチゴ	うどんこ病	-	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。</li> <li>育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなる傾向があるので注意して下さい。</li> <li>薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>		



作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃 (無防除区)では、昨年10月下旬の果実発病度は97.4 (平年81.2)で多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度2.3 (平年19.1)と少 (-)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並 (±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	-	温州 やや少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃 (6月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0% (平年0.2%)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、旧葉発病率は温州みかんでは0% (平年0.1%)と少、中晩柑類では4.0% (平年8.4%)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ミカンハダニ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃 (6月15日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区84.4頭 (平年30.4頭)と多、慣行防除区0頭 (平年0.9頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、旧葉寄生率0.2% (平年10.0%)と少、寄生頭数0.002頭/葉 (平年0.81頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃における5月上旬のイエロー粘着トラップ誘殺数0.30頭/日 (平年値0.49頭/日)とやや少</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-)</p> <p>考察: 県予察圃および一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、発病率0.86% (平年0.4%)と多 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	ハダニ類	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、寄生率0% (平年0.04%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。</p>
ブドウ	べと病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月18日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、発病率0% (平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯 (御浜町 5月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ33頭 (平年525.5頭)と少、ツヤアオカメムシ874頭 (平年957.3頭)と平年並 (±)</p> <p>2) 予察灯 (細 松阪市 5月1日~15日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ142頭 (平年484.6頭)とやや少、ツヤアオカメムシ6頭 (平年23.2頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ (6月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地 (津市白山町川口)で46頭 (平年49.3頭)と平年並、中間地 (津市白山町二本木)で51.6頭 (平年86.2頭)と少、平地地 (松阪市嬬野川北町)で17頭 (平年48頭)とやや少 (-)</p> <p>4) フェロモントラップ (6月第2週)では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地 (津市白山町川口)で4.4頭 (平年1.8頭)と多、中間地 (津市白山町二本木)で6.2頭 (平年2.9頭)と多、平地地 (松阪市嬬野川北町)で14頭 (平年3.3頭)と多 (+)</p> <p>5) 巡回調査圃場 (6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落し虫数0頭 (平年0.2頭)と少 (-)</p> <p>6) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は、種による差が見られるものの平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃 (一番茶期) では、発生は未確認 (±) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、新葉発病葉数 0 葉 / m <sup>2</sup> (平年 0.13 葉 / m <sup>2</sup> ) と平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。
	もち病	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃 (一番茶期) では、発生は未確認 (±) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、新葉発病枚数 0 枚 (平年 0 枚) と平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃 6 月中旬) では、寄生葉率 0% (平年 3.4%) と少、寄生頭数 0 頭 / 葉 (平年 0.13 頭 / 葉) と少 (-) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、発生圃場率 23.0% (平年 33.0%) と平年並、寄生葉率 1.5% (平年 5.2%) と少、寄生頭数 0.02 頭 / 葉 (平年 0.12 頭 / 葉) と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察：現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。
	チャノホソガ	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃 6 月第 6 半句 ~ 5 月第 3 半句) では、フェロモントラップ誘殺数 491 頭 (平年 623.1 頭) とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、巻葉数 0.4 枚 / m <sup>2</sup> (4 年平均 0.1 枚 / m <sup>2</sup> ) と多の傾向 (+) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察：県予察圃と巡回調査圃場の発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	チャノミドリヒメコバエ	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃 (4 月第 1 半句 ~ 5 月第 3 半句) では、黄色粘着トラップ捕殺数 1.5 頭 (平年 16.4 頭) と少の傾向 (-) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、叩き落とし虫数 0.4 頭 (平年 1.0 頭) とやや少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察：巡回調査圃場での発生状況を重視して予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミ	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃 (4 月第 1 半句 ~ 5 月第 3 半句) では、黄色粘着トラップ捕殺数 138.9 頭 (平年 330.0 頭) と平年並の傾向 (±) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、叩き落とし虫数 0 頭 (平年 4.2 頭) と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察：県予察圃での発生状況を重視して、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	うどんこ病	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (±) 2) 一般圃場では、発生量はやや少 ~ 平年並 (概してやや少) (±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ (4 月第 5 半句 ~ 5 月第 4 半句) では、誘殺数 92 頭 (平年 118.6 頭) とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場 6 月第 2 週) では、被害葉率 0% (平年 0.1%) と平年並に少 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられるが、気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
野菜共通	コナガ	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 6 月 18 日発表 )によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ (4 月第 5 半句 ~ 5 月第 4 半句) では、誘殺数 16 頭 (平年 56.5 頭) と少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は少 ~ やや少 (概してやや少) (-) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期 (平年比) :** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

**発生量 (平年比) :** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

平年値 ↓

**発生量 (程度) :** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率 (平年比) :** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例 :** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項 :** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量 (平年日) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報 (平成29年5月18日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の平均気温は高い見込みです。

1週目 5月20日~26日	期間の前半は高気圧に覆われて晴れますが、後半は気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう	津の降水日数 晴れ日数の平年値 2.2日 4.1日
2週目 5月27日~6月2日	高気圧と低気圧が交互に通じ、天気は数日の周期で変わると見込みです	同 1.9日 4.2日
3~4週目 6月3日~16日	低気圧や前線の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう	同 4.6日 6.8日

##### 東海地方週間天気予報 (平成29年5月23日 10時30分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5月24日~5月30日

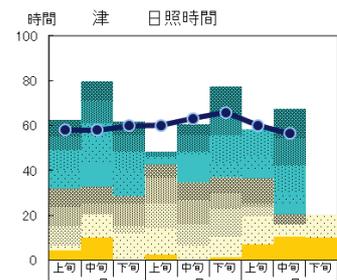
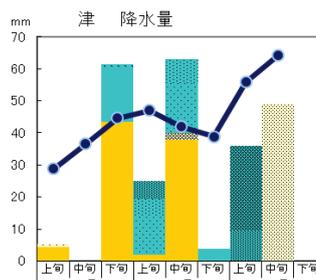
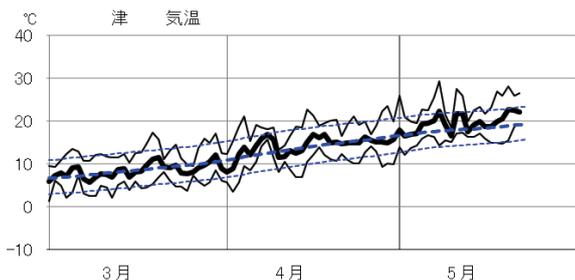
向こう週間は、期間の前半は気圧の谷や湿った空気の影響で天気がぐずぐずしますが、後半は高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

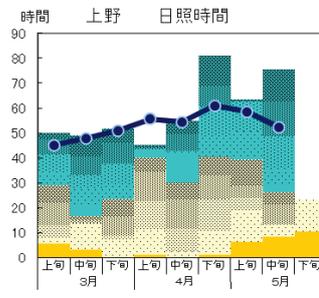
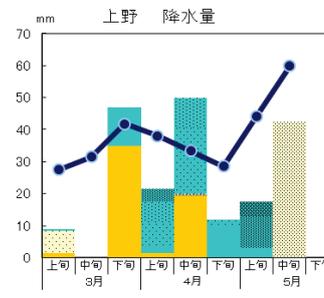
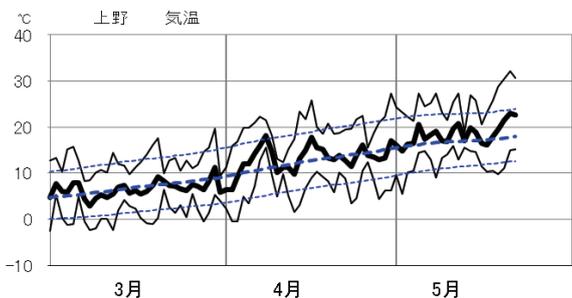
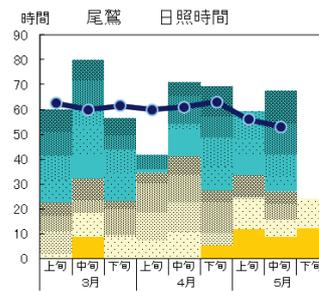
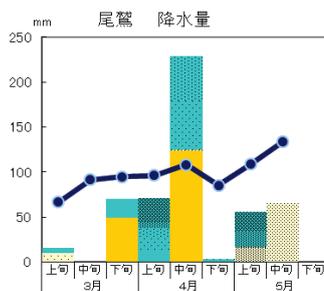
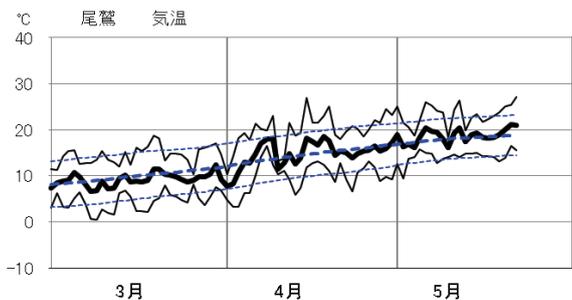
最高気温は、平年並か平年より高いでしょう

最低気温は、平年より高いでしょう

降水量は、平年並の見込みです。

##### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (5月22日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■■■■■ 旬10日目  
 ■■■■■ 旬9日目  
 ■■■■■ 旬8日目  
 ■■■■■ 旬7日目  
 ■■■■■ 旬6日目  
 ■■■■■ 旬5日目  
 ■■■■■ 旬4日目  
 ■■■■■ 旬3日目  
 ■■■■■ 旬2日目  
 ■■■■■ 旬1日目  
 ■■■■■ 旬平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■■■■■ 旬10日目  
 ■■■■■ 旬9日目  
 ■■■■■ 旬8日目  
 ■■■■■ 旬7日目  
 ■■■■■ 旬6日目  
 ■■■■■ 旬5日目  
 ■■■■■ 旬4日目  
 ■■■■■ 旬3日目  
 ■■■■■ 旬2日目  
 ■■■■■ 旬1日目  
 ■■■■■ 旬平年値

三重県病害虫防除所

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、発生量程度を「小」と記述しています。

### 2 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月20日(木) (済み)
- 第2回 5月25日(木) (今回)
- 第3回 6月22日(木)
- 第4回 7月20日(木)
- 第5回 8月24日(木)
- 第6回 10月19日(木)
- 第7回 3月22日(木)

### 3 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようご注意ください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

### 5)メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6)農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7)PM (総合的病害虫 雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

1. 向こう1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量 (平年比) の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

1. 向こう1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類、ツマグロヨコバイの発生量は平年並と予想されます。穂いもち、セジロウンカの発生時期および発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量はやや少と予想されます。紋枯病の発生時期は平年並、発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量はやや多と予想されます。発生密度が高くなると防除が困難になります。1 葉当りの雌成虫発生数が 0.5 ~ 1.0 頭程度を目安に防除してください。黒点病、チャノキイロアザミユマの発生量は平年並と予想されます。そうか病、かいよう病 (温州みかん、中晩柑) の発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノソノガ、チャノコカクモンハマキの発生量はやや多と予想されます。適期防除を心掛けてください。チャノキイロアザミユマ、クワシロカイガラムシの発生量は平年並と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期はやや早と予想されます。炭疽病、チャノミドリメコバイの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病はやや少と予想されます。

ネギでは、ネギゴガの発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活動の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								6月	7月			
					下旬	中旬	下旬	下旬				
イネ	葉いもち	-	平年並	中	普通					1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) 感染適温は 24 で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4) 雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。		
	穂いもち	平年並	平年並	中	普通					1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。		
	紋枯病	平年並	やや少	小	普通					1) 幼穂形成期頃 (穂肥時期) から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。		
	白葉枯病	-	平年並	小	低					1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布は効果が高いです。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。		
	斑点米カメムシ類	-	平年並	小	普通					1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 草刈りは出穂 10 日前までに行いましょう。出穂直前および出穂後の草刈りは、水田への侵入を助長するおそれがあります。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月	7月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	-	やや少	小	普通		1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。			
	ツマグロヨコバイ	-	平年並	中	低		1) 萎縮病を媒介するが、本県での発生は少ないとされています。 2) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。			
	セジロウノカ	平年並	平年並	小	低		1) 別年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 防除不要な年が多いですが、多発時は発生予察情報に従い防除してください。			
カンキツ	そとか病	-	やや少	小	普通		1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新圃場の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までとされています。			
	黒点病	-	平年並	小	普通		1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200~300mmに達した時を目安に実施してください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月	7月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	-	温州 やや少	温州 小	温州 低		1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。			
	ミカンハダニ	-	やや多	大	高		1) 病害虫防除技術情報第4号(6月20日発表) 2) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当りの雌成虫発生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 4) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			
	チャノキイロアザミマ	-	平年並	中	普通		1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。			
ナシ	黒星病	-	平年並	小	普通		1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。			
	ハダニ類	-	平年並	中	普通		1) 1葉当り寄生数が1~2頭で防除を実施してください。 2) 7~8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
ブドウ	べと病	-	平年並	小	普通					1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	小	普通					1) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 2) ナシ(無袋栽培) カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 3) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。
チャ	炭疽病	-	やや少	小	普通					1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。
	カンザワハダニ	-	やや多	中	普通					1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノソガ	-	やや多	小	普通					1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) 二番茶期にジアミ系薬剤を使用した場合は、7月以降は他の系統の薬剤を使用してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノミドリヒメコバエ	-	やや少	小	普通					1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミマ	-	平年並	中	普通					1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。
	クワシロカイガラムシ	やや早	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第2号(6月15日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生活長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年よりやや早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から2週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
	チャノコカクモンハマキ	-	やや多	小	普通					1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~10日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるすることができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため同一系統の薬剤の連用は避けてください。



作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	-	平年並	<p>要因</p> <p>1)水田位置予察灯(4月第1半旬~6月第3半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ28頭(平年13.1頭)と多、アカヒゲホソミカスミカメ5頭(平年36.1頭)と少(±)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくみ取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで3.4%(平年8.7%)と少、クモヘリカメムシで0%(平年0.2%)と平年並に少、シラホシカメムシ類で2.5%(平年5.1%)と少、アカスジカスミカメで40.7%(平年36.9%)とやや多(±)</p> <p>3)の調査で捕獲した成幼虫数は、ホソハリカメムシで0.03頭(平年0.15頭)と少、クモヘリカメムシで0頭(平年0.01頭)と平年並に少、シラホシカメムシ類で0.07頭(平年0.09頭)とやや少、アカスジカスミカメ2.5頭(平年2.1頭)とやや多(-)</p> <p>考察:予察灯、巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1)予察灯(4月第1半旬~6月第3半旬)では、誘殺数は水田位置2頭(平年7.7頭)とやや少、畑位置45頭(平年163.9頭)と少(-)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0.4%(平年3.4%)と少、25株当り成虫数0.004頭(平年0.02頭)とやや少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は無~少(-)</p> <p>考察:予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1)予察灯(4月第1半旬~6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.5頭)、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町0頭(平年0頭)、伊賀市(6月第1半旬~6月第1半旬)0頭(平年0頭)とそれぞれ平年並に少、松阪市・畑位置12頭(平年136.9頭)と少(-)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成幼虫数0.4頭(平年0.2頭)とやや多(+)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は無(概して平年並に少)(±)</p> <p>考察:予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並みと考えます。</p>
	セジロウソバ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1)予察灯(松阪市、紀北町、御浜町)では、6月15日現在、伊賀市では6月6日現在、未飛来、(松阪市・平年初飛来7月8日、昨年初飛来6月22日)(発生時期±)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.002頭)と平年並に少(±)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察:これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そでか病	-	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想(-)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、無防除)では、春葉発病率79.5%(平年64.2%)と平年並、発病果率85%(平年54.5%)とやや多(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0(平年0.04)と少(-)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少)(-)</p> <p>考察:巡回調査結果、一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	黒点病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想(-)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、無防除)では、果実発病率13.3%(平年22.4%)と少(-)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0.15(平年1.24)と少(-)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>5)感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察:一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	-	温州 やや少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想(-)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率0%(平年1.8%)とやや少、発病果率0%(平年0.5%)と平年並(-)</p> <p>4)巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.14%)と少、中晩柑では2.33%(平年2.95%)とやや少(-)</p> <p>5)中晩柑類の一般圃場での発生量は少(-)</p> <p>考察:温州みかんでは、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	モンハダニ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数は無防除区224.4頭/100葉(平年33.2頭/100葉)と多、慣行防除区23.3頭/100葉(平年13.4頭/100葉)と多(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第2週 調査日雨天)では、春葉寄生率2.25%(平年11.5%)と少、寄生頭数0.03頭/葉(平年0.44頭/葉)と少(-)</p> <p>4)一般圃場のうち、紀州地域では多、それ以外では平年並(概してやや多)(+)</p> <p>考察:一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミマ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数1.2頭/日(平年0.99頭/日)とやや多 (+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、寄生虫数1.7頭/100果(平年0.25頭/100果)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害果率0%(平年0.5%)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率0.9%(平年2.2%)とやや少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられますが、今後の気象予報を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生葉率0%(平年0.02%)と平年並、寄生頭数0頭/葉(平年0.00頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率0%(平年0.05%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町6月上旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシは11頭(平年97.3頭)と少、チャバネアオカメムシは0頭(平年971.3頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(細松町6月第2半旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ3頭(平年44.7頭)と少、チャバネアオカメムシ32頭(平年127.9頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平地地(松阪市嬉野川北町)で9.3頭(平年18.5頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)で92.8頭(平年165.2頭)と平年並、山地(津市白山町川口)で30.9頭(平年51.9頭)と平年並 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は0.08頭(平年0.07頭)と平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率11.1%(平年8.8%)とやや多、新葉発病葉数0.1枚/m<sup>2</sup>(平年0.2枚/m<sup>2</sup>)とやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数0頭/葉(平年0.11頭/葉)と少、寄生葉率0%(平年3.0%)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率61.2%(平年32.1%)と多、寄生葉率4.7%(平年4.0%)と平年並、寄生頭数0.10頭/葉(平年0.09頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 巡回調査圃場の発生状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、今後の気象予報を考慮し、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノソウガ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第3半旬~6月第2半旬)では、誘殺数2,361頭(平年2,053.4頭)とやや多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数0.3枚/m<sup>2</sup>(平年0.2枚/m<sup>2</sup>)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 県予察圃と巡回調査圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノミドリヒメヨコバエ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ (6月第3半旬~6月第2半旬)では、捕殺数9頭 (平年46.1頭)と少の傾向 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、叩き落とし虫数1.7頭 (平年1.8頭)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察：県予察圃および一般圃場の状況を重視して現状の発生量は少と考えられ、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミマ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ (6月第3半旬~6月第2半旬)では、捕殺数768頭 (平年1,105.5頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、叩き落とし虫数0.6頭 (平年11.2頭)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：県予察圃および一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	やや早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月18日頃 (平年7月21日頃) (発生時期-)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、雌寄生株率2.8% (平年7.4%)と少、雄寄生株率3.6% (平年8.5%)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察：発生時期、やや早、一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象予報を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ (6月第3半旬~6月第2半旬)では、誘殺数394頭 (平年203.9頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.7枚/m<sup>2</sup> (平年0.48枚/m<sup>2</sup>)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや多 (+)</p> <p>考察：現状の発生状況はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、発病株率0.2% (平年6.4%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無~やや少 (概して少) (-)</p> <p>考察：現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	炭疽病		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、発病株率0% (平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無~やや少 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は、平年並に少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、寄生株率1.8% (平年8.2%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~平年並 (概してやや少) (-)</p> <p>考察：現状の発生量はやや少と考えられ、気象条件による増加の見込みから予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (6月15日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ (6月第4半旬~6月第3半旬)では、誘殺数は45頭 (平年197.3頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (6月第2週)では、被害葉率0% (平年0.3%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無 (-)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期 (平年比) :** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早		やや早			平年並			やや遅			遅	

**発生量 (平年比) :** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

平年値 ↓

**発生量 (程度) :** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率 (平年比) :** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例 :** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項 :** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量 (平年日) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報 (平成29年6月15日 名古屋地方気象台発表)

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

1週目 6月17日~ 23日	期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多いでしょう	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.6日・3.2日
2週目 6月24日 30日	前線や低気圧の影響で平年同様に曇り雨の日が多いでしょう	同 2.5日・3.1日
3~4週目 7月1日~ 14日	前線や低気圧の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう	同 5.7日・5.6日

##### 東海地方週間天気予報 (平成29年6月20日10時35分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 6月21日~6月27日

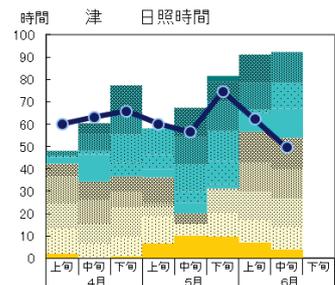
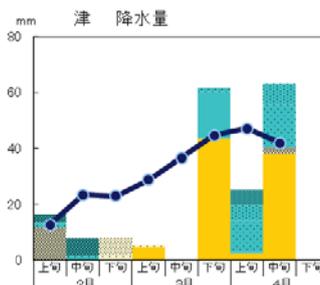
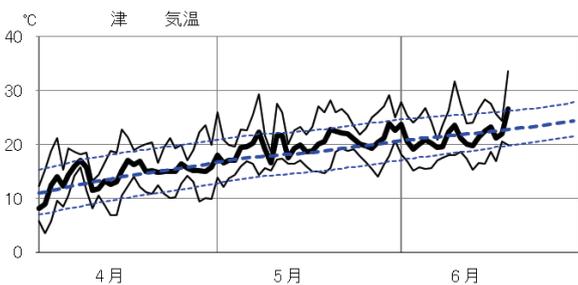
向こう1週間は、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が続くでしょう

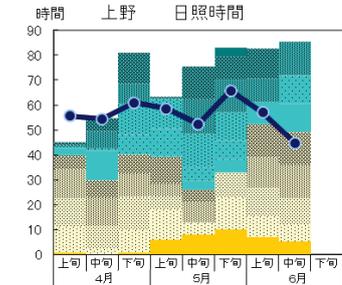
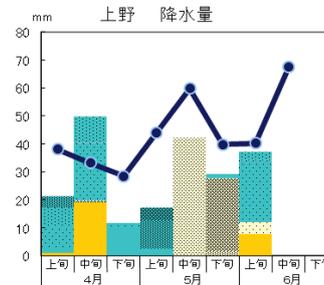
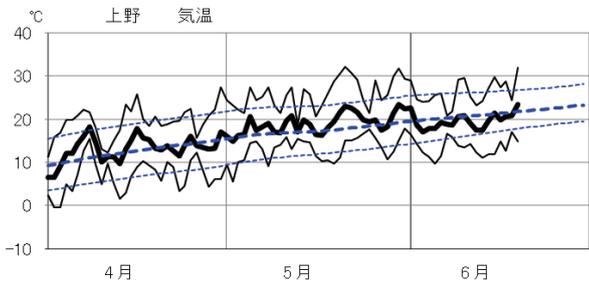
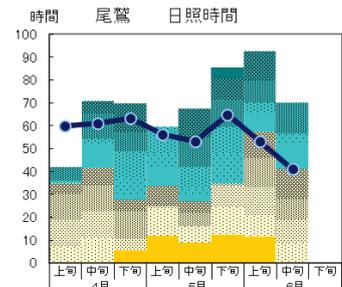
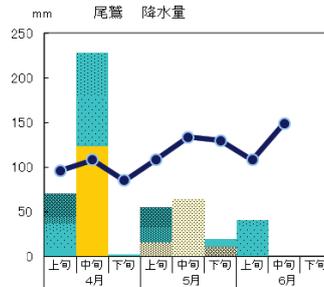
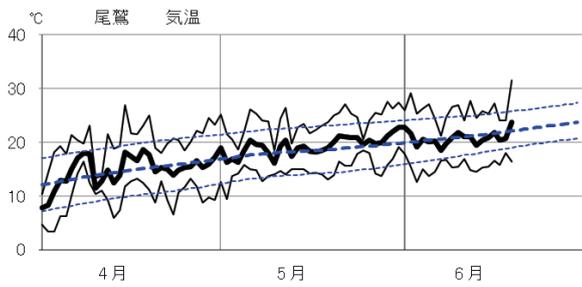
最高気温は、21日は平年より低いですが、その後は平年並か平年より高いでしょう

最低気温は、21日は平年より高い見込みです。

降水量は、平年より多いでしょう

##### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (6月19日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ● 旬平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ● 旬平年値

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を平年並、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月20日(木) (済み)
- 第2回 5月25日(木) (済み)
- 第3回 6月22日(木) (今回)
- 第4回 7月20日(木)
- 第5回 8月24日(木)
- 第6回 10月19日(木)
- 第7回 3月22日(木)

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧 配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようご注意ください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. おしらせ	16

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、斑点米カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。発生状況に応じて薬剤防除をしてください。白葉枯病の発生量は平年並と予想されます。穂いもち、紋枯病の発生量はやや少と予想されます。イネクロカメムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、ヒビロウンカの発生量は少と予想されます。

ダイズでは、吸実性カメムシの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意してください。ハスモンヨウの発生量は平年並と予想されます。紫斑病、コガネムシ類の発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。かいよう病(温州、中晩柑)黒点病、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノコカクモンハマキの発生量はやや多と予想されます。フェロモントラップの誘殺状況を参考に防除してください。カンザワハダニ、チャノミドリムシヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並、炭疽病の発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴの炭疽病は、やや少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活動の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		7月		8月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イネ	穂いもち	-	やや少	中	普通	出穂	発病密度			1)病害虫防除技術情報第5号(6月28日発表) 2)穂いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3)これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。
	紋枯病	-	やや少	中	低	出穂	発病密度			1)高温多湿条件で発病が助長されます。 2)多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3)薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。
	白葉枯病	-	平年並	小	低		発病密度			1)常発地では、台風や集中豪雨の遭遇直後に薬剤散布してください。 2)「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。
	斑点米カメムシ類	-	やや多	中	普通	アカヒゲホソムシ アカスミカメ	アカスミカメ	ホソハリカメムシ シクモヘリカメムシ		1)薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 2)中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 3)平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 4)周囲より先出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。
	イネクロカメムシ	-	少	小	低	被害量		誘殺密度		1)発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2)常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
イネ	ツマグロヨコバイ	-	少	小	低	成虫密度					1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	-	少	小	低	成虫密度					1) 本年は多飛来がありません。
	トビロウンカ	-	少	小	低	成虫密度					1) 本年は多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	-	やや少	小	普通	発病密度					1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 茨が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	-	やや少	中	普通	成虫密度					1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとトウガネブイイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	-	平年並	小	普通	被害量					1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
ダイズ	吸実性カメムシ類	-	やや多	中	普通			開花 ↓			1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 遅くとも9月下旬(開花30日後・子実肥大初期)までに1回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	-	やや少	小	普通	発病密度					1) 薬剤散布を定期的の実施し、8月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があれば2回目の防除を実施してください。
	かいよう病	-	温州やや少 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑低	発病密度					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の影響が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。
	ミカンハダニ	-	やや少	中	普通	成ダニ密度					1) 葉当りの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
カンキツ	チャノキイロアザミマ	-	平年並	中	普通					1) 寄生果率 10% になった時を防除の目安にしてください。 2) 7 月以降は寄生部位が果頂部に移ります。
果樹共通	カメムシ類	-	平年並	中	普通					1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場 (特にナシ、カキ) によっては局所的に飛来してることがあります。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。
チャ	炭疽病	-	やや少	小	普通					1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は 1 ~ 2 葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	-	平年並	小	普通					1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノミドリヒメヨコバイ	-	平年並	小	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミマ	-	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽 ~ 開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノコカクモンハマキ	-	やや多	中	普通					1) 第 2 世代成虫発生時期は、第 1 世代成虫発生時期が平年並であったため平年並と予想されます。 2) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから 7 日 ~ 10 日後頃です。 3) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
イチゴ	炭疽病	-	やや少	小	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並の予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、葉いもちの発生圃場率0%(平年18.3%)と少、発病度0(平年1.9%)と少、発病株における上位葉への進展率0%(平年3.1%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、葉いもちの発生量は少~やや少(概して少)、一部地域では多発を確認 (±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	紋枯病	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年6.8%)と少、発病株率0%(平年0.8%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~やや多(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果、一般ほ場での発生状況から、予想発生量はやや少と考えます</p>
	白葉枯病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	斑点米カメムシ類	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 予察灯(松阪市6月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ93頭(平年43.8頭)と多、アカヒゲホソミドリカスミカメ34頭(平年72.5頭)とやや少、クモヘリカメムシ0頭(平年0.1頭)とやや少 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる、ホソハリカメムシの発生地点率13.7%(平年22.5%)とやや少、すくい取り成幼虫数0.2頭(平年0.5頭)と少、クモヘリカメムシ発生地点率5.1%(平年6.7%)とやや少、すくい取り成幼虫数0.4頭(平年0.5頭)とやや少、シラホシカメムシ類の発生地点率16.2%(平年10.2%)と多、すくい取り成幼虫数0.22頭(平年0.15頭)とやや多、アカスジカスミカメの発生地点率51.3%(平年29.2%)と多、すくい取り成幼虫数3.9頭(平年3.5頭)と平年並、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生地点率14.5%(年平均9.0%)と多い傾向、すくい取り成幼虫数0.5頭(年平均0.3頭)と多い傾向 (+)</p> <p>4) 広域病害虫防除員調査(7月2日~11日)では、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類のすくい取り成虫数がそれぞれ、0.84頭(平年0.34頭)、0.95頭(平年0.26頭)、0.30頭(平年0.05頭)と多 (+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少~やや多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果、広域防除員調査結果を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	-	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市4月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は水田位置3頭(平年10.4頭)と少、畑位置50頭(平年239.2頭)と少 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率2.5%(平年20.4%)と少、被害株率0.1%(平年2.7%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~中(概して少) (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	-	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市 水田位置2頭(平年2.2頭)と平年並、松阪市 畑位置600頭(平年2,468.9頭)と少、伊賀市11頭(平年20.6頭)とやや少、紀北町0頭(平年3.1頭)と少、御浜町0頭(平年3.8頭)と少 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率16.9%(平年31.4%)とやや少、払い落とし成幼虫数0.3頭(平年2.3頭)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~やや少(概して少) (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウカ	-	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市 水田位置0頭(平年1.0頭)と少、松阪市 畑位置0頭(平年15.8頭)と少、伊賀市0頭(平年1.6頭)と少、紀北町0頭(平年4.0頭)と少、御浜町0頭(平年21.8頭)とやや少 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、紀州地域では、発生圃場率6.3%(平年25.8%)と少、払い落とし成虫数0.06頭(平年0.6頭)と少、県全体では、発生圃場率0.4%(平年4.3%)と少、払い落とし成虫数0.004頭(平年0.2頭)と少 (-)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	ヒイロウカ	-	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬~6月第6半旬)では、4か所ともに未飛来(平年7月上旬まで未飛来) (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.06%)と少、払い落とし成虫数0頭(平年0.0006頭)とやや少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 (7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並の予想 (-) 2) 巡回調査圃場 (昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.03% (平年0.44%)とやや少 (-) 考察：今後の気象条件、昨年の紫斑粒発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	-	やや少	要因 1) 予察灯 (松阪市 4月第1半旬~7月第2半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ123頭 (平年195.7頭)と少、ヒメコガネ13頭 (平年48.7頭)と少 (-) 2) 県予察圃フェロモントラップ (6月上旬~7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ40頭 (平年152.8頭)と少、ドウガネブイブイ50頭 (平年36.6頭)とやや多、ヒメコガネ4頭 (平年4.9頭)とやや少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は無~少 (-) 考察：フェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	-	平年並	要因 1) 1) 月予報 (7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ (6月第4半旬~7月第2半旬)では、誘殺数は134頭 (平年224.0頭)とやや少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は無 (-) 考察：今後の気象条件、フェロモントラップの誘殺状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	吸食性カメムシ類	-	やや多	要因 1) 予察灯 (松阪市 6月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ29頭 (平年21.3頭)と多、ミナミアオカメムシ水田位置6頭 (年平均1.3頭)と多の傾向、畑位置13頭 (平年10.5頭)とやや多、クサギカメムシ0頭 (平年28.5頭)と少 (+) 考察：予察灯の誘殺状況から、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 (7月13日発表)によると、平年に比べて気温は高く降水量は平年並の予想 (-) 2) 県予察圃 (7月上旬)では、果実発病度25.6 (平年33.8)と少 (-) 3) 巡回調査圃場 (7月第2週)では、果実発病度0 (平年1.6)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-) 5) 感染源となる枯枝は平年並 (±) 考察：一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	-	温州 やや少 中晩柑 やや少	要因 1) 1) 月予報 (7月13日発表)によると、平年に比べて気温は高く降水量は平年並の予想 (-) 2) 県予察圃 (7月上旬、新甘夏)では、発病葉率0% (平年3.1%)と少、発病果率0% (平年3.4%)と少 (-) 3) 巡回調査圃場 (7月第2週)では、温州みかんは発病葉率0% (平年0.2%)と平年並、発病果率0% (平年0.09%)とやや少、中晩柑は発病葉率1.0% (平年8.1%)と少、発病果率1.0% (平年2.6%)とやや少 (温州-、中晩柑-) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察：温州みかん、中晩柑ともに現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ミカンハダニ	-	やや少	要因 1) 1) 月予報 (7月13日発表)によると、平年に比べて気温は高く降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃 (7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で7.8頭 (平年10.3頭)とやや少、慣行防除区で4.4頭 (平年7.4頭)とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場 (7月第2週)では、新葉における寄生葉率9.1% (平年8.6%)と平年並、寄生頭数0.31頭/葉 (平年0.34頭/葉)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノキイロアザミマ	-	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ (7月上旬)では、誘殺数1.4頭/日 (平年3.0頭/日)と平年並 (±) 2) 県予察圃 (7月上旬)では、100葉当り寄生虫数1.7頭 (平年5.9頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場 (7月第2週)では、被害果率0% (平年1.0%)とやや少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少~やや多 (概して平年並) (±) 考察：一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。



#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期 (平年比) :** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

**発生量 (平年比) :** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

平年値 ↓

**発生量 (程度) :** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率 (平年比) :** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発消長の一例 :** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項 :** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量 (平年日) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報 (平成29年7月13日 名古屋地方気象台発表)

平年と同様に晴れの日が多いでしょう

暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高いでしょう

1週目 7月15日~ 21日	梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の終わりは晴れ間が広がる見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 3.6日・2.6日
2週目 7月22日~ 28日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう	同 4.4日・2.2日
3~4週目 7月29日~ 8月4日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう	同 9.5日・3.9日

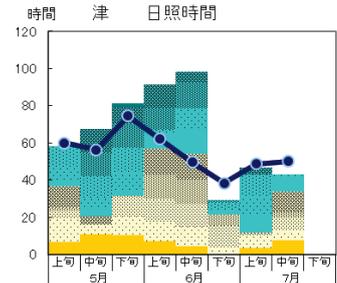
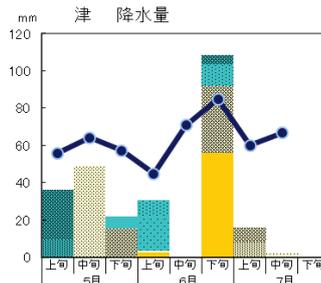
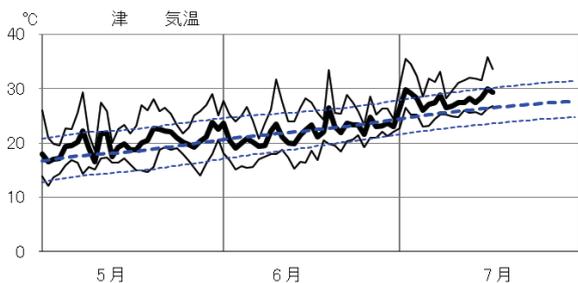
##### 東海地方週間天気予報 (平成29年7月18日 10時32分 名古屋地方気象台発表)

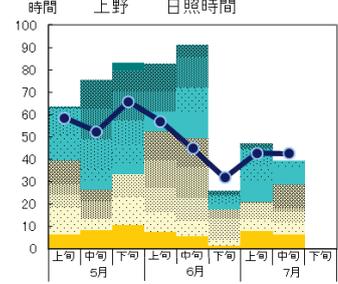
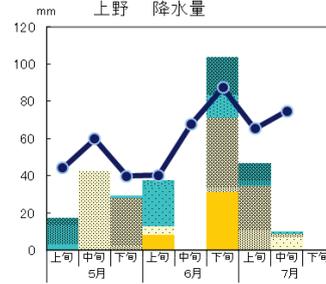
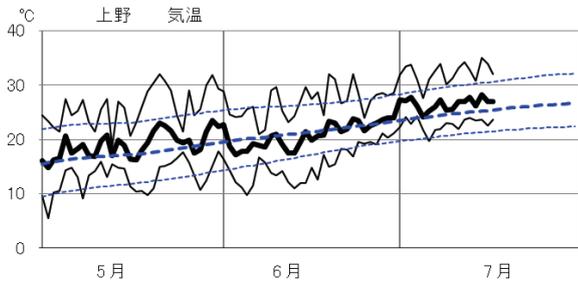
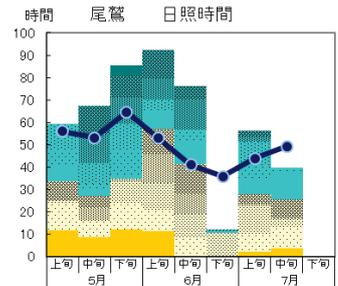
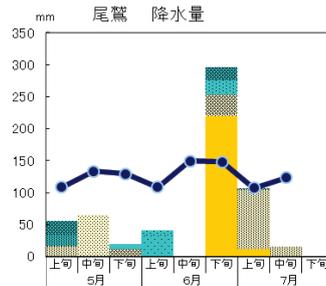
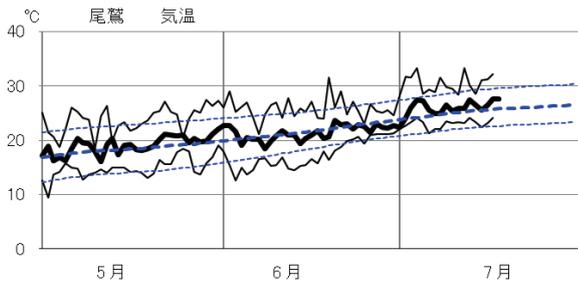
予報期間 7月19日~7月25日

向こう1週間は、期間の前半は高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の後半は湿った空気や気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所もある見込みです。

最高気温は平年並か平年より高く、最低気温は平年より高いでしょう。降水量は、平年より少ない見込みです。

##### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (7月18日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬平年値

6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、発生量程度を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月20日(木) (済み)
- 第2回 5月25日(木) (済み)
- 第3回 6月22日(木) (済み)
- 第4回 7月20日(木) (今回)
- 第5回 8月24日(木)
- 第6回 10月19日(木)
- 第7回 3月22日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようご注意ください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

7) PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。ツマグロヨコバイ、ヒビロウンカの発生量はやや少と予想されます。

ダイズでは、吸実性カメムシ類の発生量は平年並、ハスモンヨトウ発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並、炭疽病、カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は早、発生量はやや少、チャノホソガの発生時期はやや遅、発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量はやや多と予想されます。ほ場をよく観察し、発生初期の防除に努めて下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	8月			9月	
								下旬	中旬		下旬	中旬
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	-	やや多	中	普通	被害量 				1)病害虫防除技術情報第7号(7月19日発表) 2)周辺圃場で収穫作業がある時は、侵入に注意してください。 3)薬剤散布は穂揃い期に実施してください。 4)防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 5)薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してください。		
	ツマグロヨコバイ	-	やや少	中	低	成虫密度 				1)発生量がやや少ないので、実害は少ないと思われます。		
	ヒビロウンカ	-	やや少	小	低	成虫密度 				1)多飛来が確認されていないので、防除の必要はありません。		
ダイズ	ハスモンヨトウ	-	やや少	中	普通	被害量 				1)一部の圃場では、既に発生が確認されています。圃場を見回し、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2)薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		8月		9月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	-	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。</li> <li>薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と10月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。</li> <li>1) 回散布の場合は、9月下旬頃(開花 30 日後・子実肥大初期)に散布してください。</li> <li>移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。</li> <li>エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。</li> </ol>
カンキツ	黒点病	-	やや少	少	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。</li> <li>9月後は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。</li> </ol>
	かいよう病	-	温州やや少 中晩柑やや少	温州小 中晩柑少	温州低 中晩柑低					<ol style="list-style-type: none"> <li>発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。</li> <li>防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。</li> <li>高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も実施してください。</li> </ol>
	ミカンハダニ	-	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。</li> <li>1) 葉当りの雌成虫寄生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。</li> <li>薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。</li> </ol>
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。</li> <li>イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。</li> </ol>

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		8月		9月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。</li> <li>2) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。</li> <li>3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあるので注意してください。</li> </ol>
チャ	炭疽病	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 防除時期は秋芽1～2葉開葉期です。</li> <li>2) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。</li> <li>3) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後は治療剤で防除してください。</li> <li>4) 治療剤(EBI剤など)は耐性菌が出現しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>
	カンザワハダニ	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しています。</li> <li>2) 寄生葉率が高い場合は丁寧に薬剤散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>
	チャノホナガ(第4世代幼虫)	やや遅	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。</li> <li>2) 本年の発生時期は、平年よりやや遅くなっていますので注意してください。</li> <li>3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。</li> </ol>
	チャノミドリヒメヨコバイ	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。</li> <li>2) 晴天が続くと発生が多くなります。</li> <li>3) 秋芽の開葉初期に防除してください。</li> <li>4) 一斉防除が効果的です。</li> </ol>

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量 平年比	程度		8月		9月		
						平年比	程度	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミマ	-	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	クワシロカイガラムシ	早	やや少	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第6号(7月10日発表) 2) 有効積算温度による予測式では第3世代幼虫孵化最盛日は早(予測日は予報根拠を参照)と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から2~4日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	-	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	-	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第8号(8月8日発表) 2) 幼虫の発生は8~10月に多くなります。 3) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	-	やや多	要因 1) 予察灯(8月第1半旬~第3半旬 松阪市)では、クモヘリカメムシ誘殺数は水田位置で5頭(平年5.5頭)と平年並、畑位置で57頭(平年70.4頭)とやや少、ミナミアオカメムシ誘殺数は水田位置で33頭(年平均4.4頭)と多の傾向、畑位置で89頭(平年18.0頭)と多(+)。 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率50.0%(平年37.8%)と多、すくい取り虫数1.8頭(平年1.7頭)と平年並(+) 3) 一般圃場では、発生量はやや少~やや多(概して平年並)(±) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	-	やや少	要因 1) 予察灯(7月第3半旬~8月第2半旬 松阪市)では、誘殺数は水田位置で5頭(平年2.7頭)と多、畑位置で809頭(平年2,922.4頭)と少(±) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率49.6%(平年37.8%)と多、払い落とし成幼虫数4.9頭(平年6.0頭)とやや少、すくい取り成幼虫数9.6頭(平年19.1頭)と少(±) 3) 一般圃場では、発生量は無~中(概して少)(-) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	トビイロウンカ	-	やや少	要因 1) 予察灯(8月第1半旬~8月第3半旬)では、松阪市で0頭(平年0.4頭)とやや少(-) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)とやや少、払い落とし成虫数0頭(平年0.001頭)とやや少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無~少(概して無)(-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	-	やや少	要因 1) フェロモントラップ(7月第4半旬~8月第3半旬)では、松阪市嬉野川北町で200頭(平年321.0頭)とやや少(-) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、葉食害度0.13(平年0.18)とやや少、1a当り白変か所数0.09か所(平年0.44か所)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無~平年並(概してやや少)(-) 考察: フェロモントラップ、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(7月第3半旬~8月第2半旬 松阪市)では、誘殺数はミナアオカメムシ水田位置 19 頭(7年平均 4.3 頭)と多の傾向、畑位置 134 頭(平年 39.0 頭)と多、イチモンジカメムシ 44 頭(平年 48.9 頭)と平年並、ホソヘリカメムシ 52 頭(平年 40.1 頭)とやや多 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、25 株当り寄生虫数 0 頭(平年 0.01 頭)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 水稲巡回調査圃場(8月第1週)では、ミナアオカメムシ発生圃場率 2.1% (7年平均 1.9%)と平年並の傾向、すくい取り虫数 0.04 頭(7年平均 0.04 頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無~やや少(概して少) (-)</p> <p>考察: 巡回調査結果、水稲巡回調査結果の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月17日発表)によると、気温は平年並が高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、果実発病度 39.8 (平年 54.2)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、果実発病度 0.1 (平年 5.4)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、気象要因および枯枝量を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	かいよう病	-	温州 やや少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月17日発表)によると、気温は平年並が高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、新甘夏、無防除)では、発病率 0% (平年 3.7%)と少、発病率 3.3% (平年 21.6%)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、温州みかんでは春葉発病度 0 (平年 0.04)と少、果実発病度 0 (平年 0.006)とやや少 (-)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、中晩柑では春葉発病度 1.3 (平年 3.0)と平年並、果実発病度 0.1 (平年 3.9)と少 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 温州みかん、中晩柑類ともに現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象を考慮して、予想発生量はいずれもやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月17日発表)によると、気温は平年並が高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当り寄生頭数は慣行防除区で 4.4 頭(平年 22.2 頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、春葉における寄生率 8.3% (平年 5.6%)とやや多、寄生虫数 0.42 頭/葉(平年 0.30 頭/葉)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月17日発表)によると、気温は平年並が高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(黄色粘着トラップ(7月下旬)では、誘殺数 0.4 頭/日(平年 7.7 頭)と少 (-)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、100 果当り寄生虫数 0.8 頭(平年 6.8 頭)と少 (-)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、被害率 0.5% (平年 1.2%)と少 (-)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町(7月下旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 27 頭(平年 3,508 頭)と少、ツヤアオカメムシ 4 頭(平年 19.5 頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(松阪市(7月第4半旬~8月第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 327 頭(平年 1,102 頭)と少、ツヤアオカメムシ 28 頭(平年 82 頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(7月17日~8月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 281.7 頭(平年 1,067.3 頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で 338.1 頭(平年 2,130.6 頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 8.4 頭(平年 443.9 頭)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 予察灯、フェロモントラップ、巡回調査の結果を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月17日発表)によると、気温は平年並が高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数 0 枚/m<sup>2</sup>(7年平均 0.2 枚/m<sup>2</sup>)と少の傾向 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、病葉数 0.1 枚/m<sup>2</sup>(平年 1.4 枚/m<sup>2</sup>)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、気象状況を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>



#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期 (平年比) :** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

**発生量 (平年比) :** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

平年値 ↓

**発生量 (程度) :** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。基になるほど見た目は多くなり小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」が平年並の発生量である「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率 (平年比) :** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例 :** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項 :** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量 (平年日) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報 (平成29年8月17日 名古屋地方気象台発表)

1週目 8月19日~25日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇る日が多く、雨の降る日もあるでしょう	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0日・4.6日
2週目 8月26日~9月1日	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう	同 1.9日・4.5日
3~4週目 9月2日~15日	低気圧と高気圧が交互に通じ、天気は数日の周期で変わると見えます	同 4.7日・8.0日

##### 東海地方週間天気予報 (平成29年8月22日 10時35分 名古屋地方気象台発表)

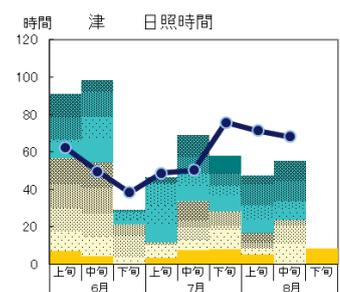
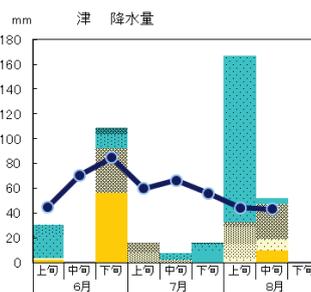
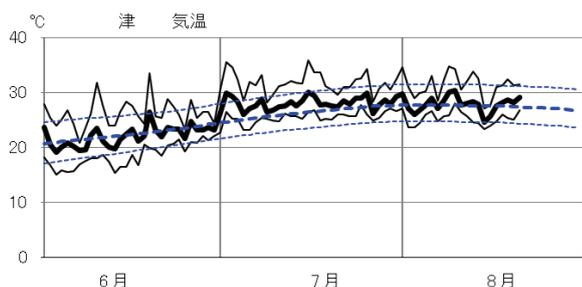
予報期間 8月23日~8月29日

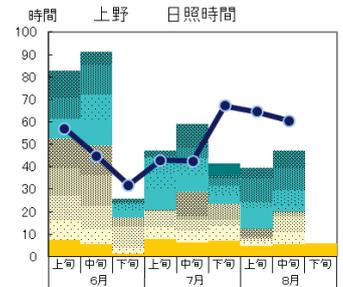
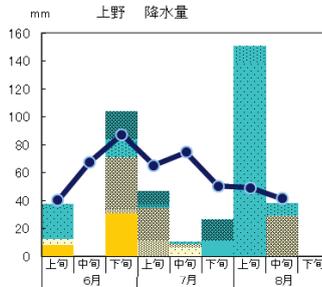
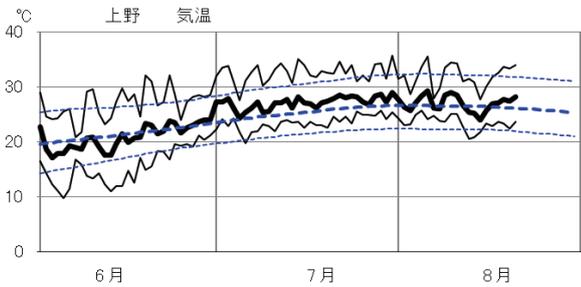
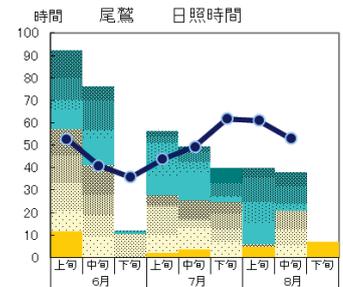
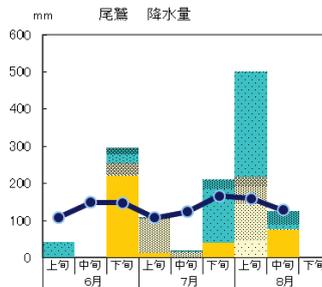
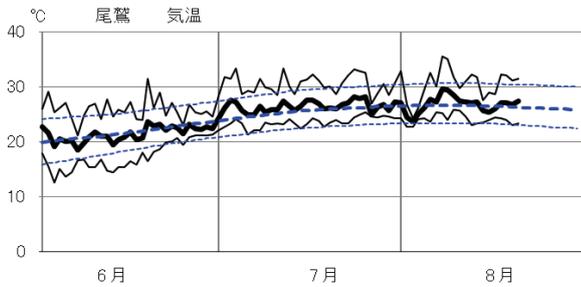
向こう1週間は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所があるでしょう

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い日が多く、かなり高い所もある見込みです。

降水量は、平年並か平年より少ないでしょう

##### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (8月21日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 前10日目  
 ■ 前9日目  
 ■ 前8日目  
 ■ 前7日目  
 ■ 前6日目  
 ■ 前5日目  
 ■ 前4日目  
 ■ 前3日目  
 ■ 前2日目  
 ■ 前1日目  
 ■ 前年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 前10日目  
 ■ 前9日目  
 ■ 前8日目  
 ■ 前7日目  
 ■ 前6日目  
 ■ 前5日目  
 ■ 前4日目  
 ■ 前3日目  
 ■ 前2日目  
 ■ 前1日目  
 ■ 前年値

13

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を平年並、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月20日(木) (済み)
- 第2回 5月25日(木) (済み)
- 第3回 6月22日(木) (済み)
- 第4回 7月20日(木) (済み)
- 第5回 8月24日(木) (今回)
- 第6回 10月19日(木)
- 第7回 3月22日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようご注意ください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農業登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農業登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農業登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農業登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

7) PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬬野川北町 530  
 TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568  
 ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。発生密度が高い圃場では防除してください。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、ハダニ類の発生量は平年並、うどんこ病、炭疽病の発生量はやや少と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量は平年並と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は平年並、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量は平年並、ハスモンヨトウの発生量はやや少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		10月		11月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
カンキツ	ミカンハダニ	-	平年並	中	普通					1) 葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
チャ	カンザワハダニ	-	やや多	中	普通					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
トマト	疫病	-	平年並	小	普通					1) 病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃程度の温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。
イチゴ	うどんこ病	-	やや少	小	普通					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めるときは、葉裏に薬液がかかるよう下葉を除去して丁寧に防除してください。
	炭疽病	-	やや少	小	普通					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比		程度	10月		11月		
							平年比	下旬	下旬		中旬
イチゴ	ハダニ類	-	平年並	小	普通					1) 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 2) 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 3) 薬剤をかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
ハクサイ	白斑病	-	平年並	小	普通					1) 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 2) 肥料切れすると発病を助長します。 3) 発病初期の薬剤防除を徹底してください。	
キャベツ	黒腐病	-	平年並	小	普通					1) 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 2) 発病株は翌年の伝染源となるので、圃場外に持ち出して処分してください。	
ネギ	ネギコガ	-	やや少	小	普通					1) 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。	
	シロイチモジヨトウ	-	平年並	中	普通					1) 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 2) 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比		程度	10月		11月		
							平年比	下旬	下旬		中旬
野菜共通	コナガ	-	平年並	小	低					1) 冬でも生育を続けて加害します。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
	ハスモンヨトウ	-	やや少	中	普通					1) 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 2) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 3) 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。	



作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜共通	コナガ	-	平年並	<b>要因</b> 1) 11月予報(10月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第4半旬～10月第3半旬)では、誘殺数29頭(平年8.2頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、ハクサイの寄生株率0.2%(平年0.2%)と平年並(±)、キャベツの寄生株率1.5%(平年1.3%)と平年並(±) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) <b>考察</b> 現状の発生量はやや少と考えられるが、フェロモントラップの誘殺状況から予想発生量は平年並と考えます。
	ハスモンヨトウ	-	やや少	<b>要因</b> 1) 11月予報(10月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第4半旬～10月第3半旬)では、誘殺数1,032頭(平年1977.1頭)と少(-) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、イチゴの寄生株率0.2%(平年2.6%)と少、ハクサイの寄生株率0%(平年0.7%)と少、キャベツの寄生株率0.2%(平年4.8%)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(-) <b>考察</b> 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期(平年比)**: 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並				やや遅	遅						

**発生量(平年比)**: 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

平年値 ↓

**発生量(程度)**: 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。基になるほど見た目は多くなり小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」が平年並の発生量である。「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)**: 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例**: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項**: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

## 5. 気象のデータ

### 東海地方 1 か月予報 (平成 29 年 10 月 12 日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。特に2週目は気温がかなり高くなる可能性があります。

前線や湿った空気の影響を受けやすく、向こう1か月の日照時間は少なく、降水量は多い見込みです。

1 週目 10 月 14 日 ~ 20 日	前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつき、雨の降る日が多い見込みです。	津の降水日数 晴れ日数の平年値 1.9 日 4.2 日
2 週目 10 月 21 日 ~ 27 日	前線や暖かく湿った空気の影響で、平年に比べ、曇りや雨の日が多いでしょう	同 1.7 日 4.3 日
3~4 週目 10 月 28 日 ~ 11 月 10 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう	同 3.1 日 8.7 日

### 東海地方週間天気予報 (平成 29 年 10 月 17 日 10 時 35 分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 10 月 18 日 ~ 10 月 24 日

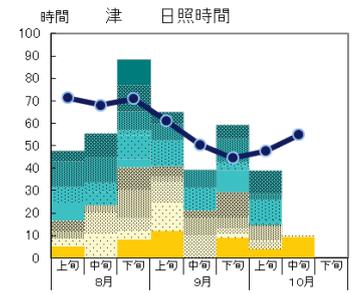
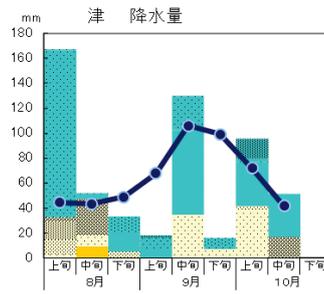
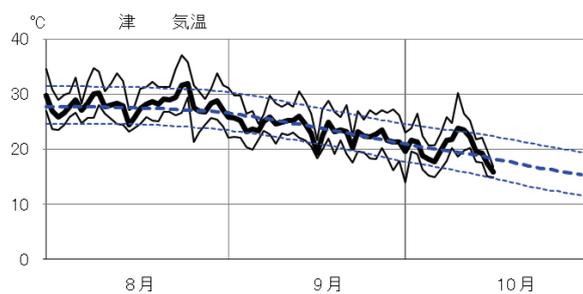
向こう1週間は、前線や台風第 21 号の影響で雨の降る日が続くでしょう

なお、台風第 21 号の進路等によっては 22 日頃から大雨や大しけとなるおそれがあります。

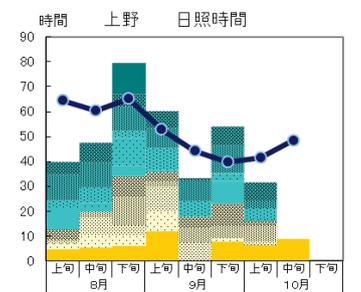
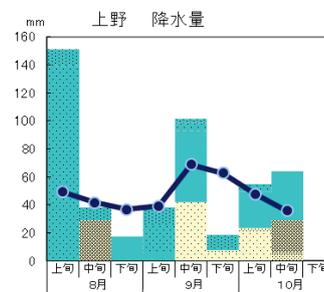
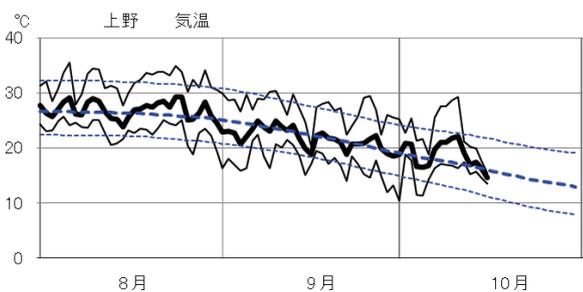
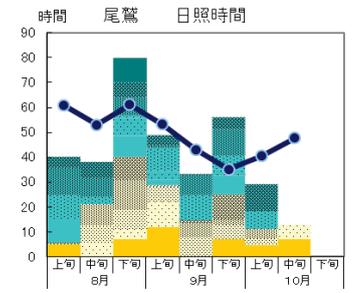
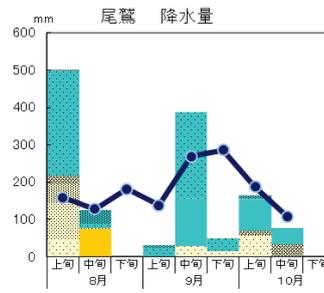
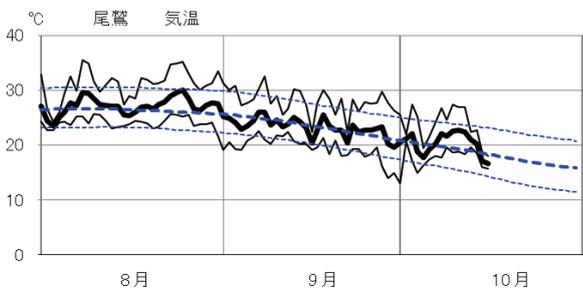
最高気温と最低気温はともに、期間の中頃までは平年並か平年より低いですが、期間の終わりは平年より高いでしょう

降水量は、平年より多く、かなり多くなるおそれもあります。

### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (10 月 16 日まで)



三重県病害虫防除所



凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 — 平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 — 平年値

三重県病害虫防除所

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、発生量程度を「小」と記述しています。

### 2 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 第1回 4月20日(木) (済み) | 第2回 5月25日(木) (済み)  |
| 第3回 6月22日(木) (済み) | 第4回 7月20日(木) (済み)  |
| 第5回 8月24日(木) (済み) | 第6回 10月19日(木) (今回) |
| 第7回 3月22日(木)      |                    |

### 3 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

### 5 メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたといづ掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7 PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

平成 29 年度

# 病害虫発生予報第 7 号

平成 30 年 3 月 22 日

**三重県病害虫防除所**

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530  
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568  
ホームページ<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

## 目次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

## 1. 向こう1か月の予報と対策

### 1 作物

イネ(注1)では、イネミズソウムシの発生量はやや少と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月上旬までに播種した圃場を対象。

### 2 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(中晩柑)の発生量は平年並と予想されます。

す。かいよう病(温州みかん)、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病の発生量は平年並と予想されます。

### 3 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に務めてください。チャノボソガの発生時期は早と予想されます。

### 4 野菜

イチゴでは、うどんこ病、ハダニ類の発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に務めてください。灰色かび病の発生量は平年並と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		3月	4月			
						下旬	中旬	下旬		
イネ	イネミズウムシ	-	やや少	小	低				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。</li> <li>2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。</li> </ul>
コムギ	赤かび病	-	平年並	小	普通				出穂期 開花期 感染 発病	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。</li> <li>2) 防除所ホームページの「コムギ赤かび病 防除情報」において、出穂期および防除適期の予測(随時更新)を公開しています。</li> </ul>
カンキツ	そうか病	-	平年並	小	普通	葉枝の発病			発芽	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。</li> <li>2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。</li> <li>3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。</li> </ul>
	かいよう病	-	温州 やや少	温州 小	温州 低				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。</li> <li>2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。</li> <li>3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による薬害に注意してください。</li> </ul>
	マンハダニ	-	やや少	中	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 成虫が1葉当たり1頭前後になったら防除してください。</li> <li>2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		3月	4月			
						下旬	中旬	下旬		
ナシ	黒星病	-	平年並	小	普通	発病密度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。</li> <li>2) 別年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。</li> </ul>
	赤星病	-	平年並	小	普通	ビャクシン類の冬胞子発芽				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。</li> <li>2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。</li> </ul>
チャ	カンザワハダニ	-	やや多	中	普通	成ダニ密度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。</li> <li>2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。</li> </ul>
	チャノボウガ	早	-	-	-	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽の葉裏に産卵します。</li> <li>2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。</li> </ul>
イチゴ	灰色かび病	-	平年並	小	普通	発病密度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。</li> <li>2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。</li> <li>3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。</li> <li>4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量 平年比	程度		3月		4月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	-	やや多	中	普通					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	-	やや多	中	高					1) 薬液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	-	平年並	小	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球初期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズウムシ	-	やや少	<b>要因</b> 1) 1か月予報(6月15日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)。 2) 県予察灯(平成29年7月第1半旬~9月第2半旬 松阪市・水田位置)では、誘殺数は102頭(平年161.0頭)とやや少(-)。 3) 巡回調査圃場(平成29年8月)では、発生圃場率4.2%(平年11.8%)と少、払い落とし虫数0.05頭(平年0.38頭)と少(-)。 <b>考察:</b> 昨年の予察灯の誘殺数と巡回調査の結果から、越冬成虫は少ないと考えますが、今後の気象条件を加味し、予想発生量はやや少と考えます。
コムギ	赤かび病	-	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(6月15日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)。 2) 農業研究所作況試験田(11月10日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は平年並(±)。 3) 生育予測システム(11月10日播種・あやひかり津。気温の設定3月やや高、4月やや高い。3月15日現在)によると、予想出穂期は4月16日頃(平年4月13日)とやや遅(+) <b>考察:</b> 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	-	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(6月15日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)。 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月下旬の春葉発病率86.0%(平年68.7%)と平年並(±)。 3) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±)。 <b>考察:</b> 県予察圃、一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいはう病	-	温州 やや少 中晩柑 平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(6月15日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)。 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月15日調査)では、越冬病斑の発病率39.0%(平年29.1%)と多、発病度14.9(平年6.5)と多(+) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0.0%(平年0.1%)と少、発病度0(平年0.02)と少、中晩柑類旧葉での発病率2.7%(平年8.5%)と少、発病度1.3(平年3.8)と少(-)。 4) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概してやや少)(-)。 <b>考察:</b> 温州みかんでは、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。



#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 作物別の状況の見方

**発生時期 (平年比) :** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

**発生量 (平年比) :** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

平年値 ↓

**発生量 (程度) :** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率 (平年比) :** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例 :** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項 :** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 発生時期・発生量 (平年比) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報 (平成30年3月15日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気が流れ込みやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。期間のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。その後は天気は数日の周期で変わりますが、高気圧で覆われて晴れる日が多い見込みです。

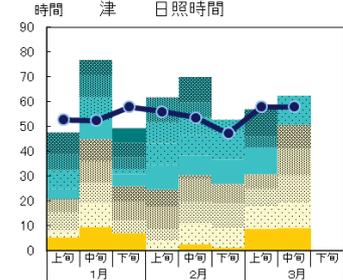
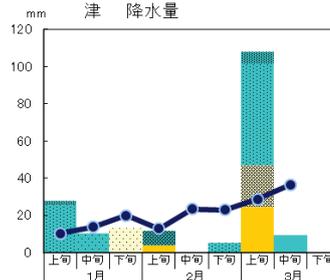
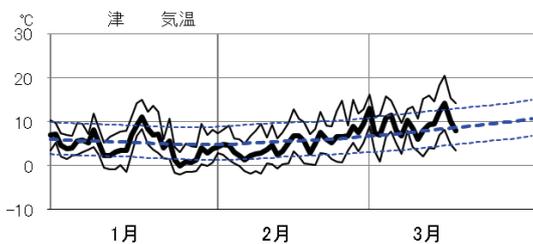
1週目 3月17日~ 23日	天気が短い周期で変わりますが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。	津の降水日数 晴れ日数の平年値 2.4日 4.2日
2週目 3月24日~ 30日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ、晴れの日が多い見込みです。	同 2.4日 4.0日
3~4週目 3月31日~ 4月13日	平年と同様に、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。	同 4.4日 8.4日

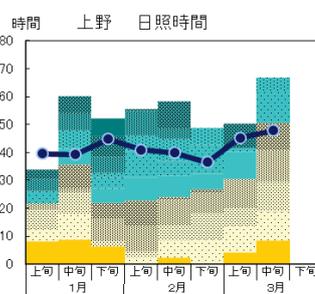
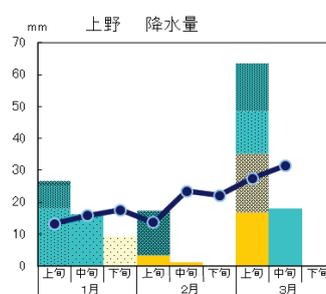
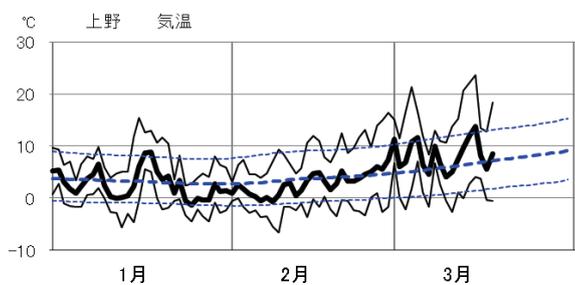
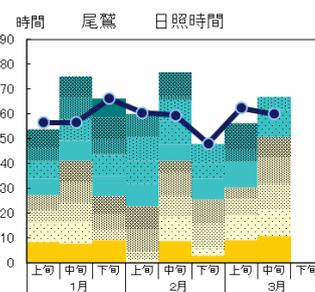
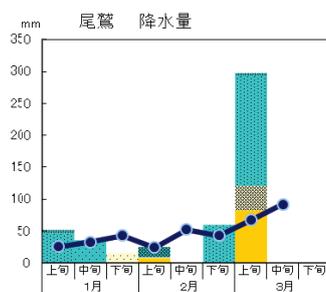
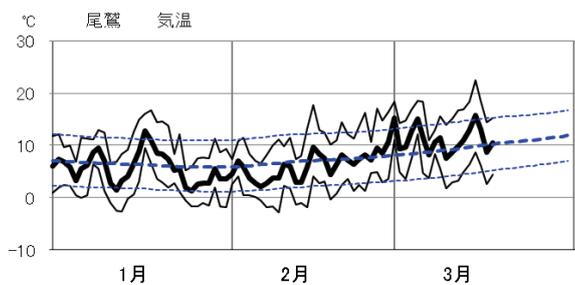
##### 東海地方週間天気予報 (平成30年3月19日 10時34分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 3月20日~3月26日

向こう1週間は、はじめは低気圧や前線の影響で雨の降る日が続くでしょう。その後は、気圧の谷や寒気の影響で曇りが広がりやすい見込みです。最高気温は、平年並か平年より高いですが、期間のはじめは平年より低い日があるでしょう。最低気温は、平年並か平年より低い日が多いでしょう。降水量は、平年より多い見込みです。

##### 気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) 3月17日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 平年値

10

三重県病害虫防除所

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、発生量程度を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月20日(木) (済み)
- 第2回 5月25日(水) (済み)
- 第3回 6月22日(木) (済み)
- 第4回 7月20日(木) (済み)
- 第5回 8月24日(木) (済み)
- 第6回 10月19日(木) (済み)
- 第7回 3月22日(木) (今回)

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようご注意ください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

### (3) 特殊報

## 病害虫発生予察特殊報第1号

平成29年7月27日  
三重県病害虫防除所

本県のナスにおいて、タバコノミハムシが確認されましたので、特殊報として発表します。

タバコノミハムシは、ナス科植物(主としてナス)の葉を食害する害虫です。葉に無数の小さい点状の丸い穴をあけることが特徴です。

1 病害虫名：タバコノミハムシ(*Epirix hirtipennis* (Meisheimer))

2 発生確認作物：ナス

3 発生確認地域：松阪市

4 発生確認の経過

平成29年6月27日、松阪市内の露地栽培ほ場において、ミハムシ類の成虫によるナスの葉の食害が確認されたので、その成虫を採取し、農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、7月18日にタバコノミハムシであることが同定された。

また、病害虫防除所の追加調査で、県内の他地域でも発生を確認している。

本種は、北アメリカおよび中央アメリカに分布が確認されているタバコの害虫であり、平成23年に国内で初めて確認され、現在までに栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、4県で特殊報が発表されている。

5 本種の形態および特徴

成虫の体長は1.5~2.5mm。長楕円形で、色彩はやや光沢のある赤褐色であり、上翅には不明瞭な黒斑をもっている。(図1)

卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。気温27℃、湿度80%および明期14時間・暗期10時間の条件下では、卵から成虫までに24日間を要する。成虫は落葉等の下で越冬する。

アメリカ合衆国のバージニア州では、年に4世代を経過するという報告がある。国内での詳細な生活史はまだ明らかではないが、関東地方では5月から11月まで成虫が確認されている。

#### 6 被害

本種は、葉の片側の表皮を残して食害したり、葉を貫通して食害したりするため、直径1~2mm程度の無数の小さな白い点状の丸い穴があく食害痕が観察される。(図2)

ナスにおいては、果実への食害は確認されていない。

#### 7 寄主植物

本種は、野菜・花き類のナス科の植物を寄主とし、特にアメリカ合衆国では、タバコの重要害虫とされている。

国内では、ナス、トマト、ジャガイモ、ほおずき等の他に雑草のワルナスビでも確認されている。



図1. タバコノミハムシ成虫

図2. 葉の食害痕

#### 8 防除対策及び注意事項

(1) 平成29年7月18日現在、主な寄主植物であるナスについては、本種に登録のある農薬はありません。

(2) 本種が寄生していた作物の栽培終了時には、付近のナス科植物に本種が移動しないようにすみやかに片付けてください。

(3) 本種は家庭菜園ほ場等を中心に発生が確認されており、通常の病害虫対策を行っているほ場では、ほとんど確認されていません。

#### 9 問い合わせ先

三重県病害虫防除所 電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報第2号

平成29年5月15日  
三重県病害虫防除所

**クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期です。**

- 1 対象作物：チャ
- 2 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ
- 3 発生時期： 平年並～やや遅い
- 4 発生状況： 平年並

- 1) 1 か月予報(5月11日発表)によると、天気は平年に比べ晴れの日が多く、平均気温は高い見込みです。
- 2) 有効積算温度による予測式(5月12日)では、発生時期は平年並～やや遅いと予想されます(表)。
- 3) 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率16.7%(平年15.0%)と平年並の状況でした。
- 4) 一般圃場(4月)では、発生量は平年並でした。

### 5 防除対策

- 1) 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
- 2) 実際の孵化状況に関する情報や、自園の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
- 3) 葉液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
- 4) 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採園へのドリフトに十分注意して行ってください。

表 有効積算温度による第一世代幼虫孵化最盛予測日

年度	地点	予測日	亀山実測	防除適期
H28	亀山	—	5月12日	—
H29	四日市	5月21日	—	5月23～25日
	亀山	5月21日	—	5月23～25日
	粥見	5月20日	—	5月22～24日
平年(9年平均)				5月18日

※ 第一世代幼虫孵化期に防除できない場合は、第二世代幼虫孵化期に防除を行ってください。

**農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。**

## 病害虫防除技術情報第1号

平成29年4月11日  
三重県病害虫防除所

**コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！  
出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください！**

1. 対象作物：コムギ
2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
3. 生育状況と出穂期の予測

本年のコムギの生育は冬場の気温と春先の気温が平年並みで推移したことから、**出穂期は平年並**で、**開花始めは伊勢平坦部で4月中下旬以降となる見込み**ですが、播種の早い圃場では、生育進度が早い場合があります。圃場の観察を日ごと、防除の準備をしてください。

- 1) 1 か月の平均気温は平年より高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込みです。出穂および開花状況とともに、今後の天候には注意してください。

### 4. 防除対策

- 1) **防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。**
- 2) 下表の予測を目安として、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。コムギの開花は出穂期の約7～10日後ですが、播種時期の遅い圃場では、開花までの日数が短くなる場合があります。
- 3) 薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は追加防除を行います。

表 コムギの出穂期予測および防除適期予測

播種日 H28年	伊勢平坦部		伊賀地域 タマイズミ			
	あやひかり・さとのそら	ニシノカオリ	出穂期	防除適期		
11/10	4/13	4/19～4/28	4/8	4/15～4/24	4/22	4/29～5/8
11/20	4/17	4/23～5/2	4/14	4/19～4/28	4/28	5/4～5/13
11/30	4/21	4/25～5/4	4/17	4/23～5/2	5/3	5/8～5/17
12/10	4/25	4/29～5/8	4/21	4/26～5/6	—	—

生育予測システム ver.2.2(三重県農業研究所)により出穂期および開花盛期を推定(4/6現在)。  
開花盛期の3日前を開花始期、開花始期から10日間を防除適期とした。  
伊勢平坦部は津、伊賀地域は上野アラスダス気温データから算出。気温データ入力最終日以降は、平年値('01～'10)による予測。気温設定:3月「平年並」、4～5月「やや高い」。

**農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。**

## 病害虫防除技術情報第3号

平成29年6月15日  
三重県病害虫防除所

### イチゴのアブラムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物： イチゴ（育苗ほ）
2. 対象病害虫名： アブラムシ類
3. 発生状況と今後の予測

6月の巡回調査（6月5日～9日）

におけるイチゴの育苗ほでのアブラムシ類の寄生株率は、10年平均値（青ライオン）より高く、また過去3年間の比較においても本年の寄生株率は、最も高くなっています。（図1）

1か月予報（6月8日・名古屋地方気象台発表）によると、気温、降水量ともにほぼ平年並の予想です。今後は、アブラムシ類の生育適温期となるため、注意が必要です。

#### 4. 防除対策

- (1) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (2) 新芽や若葉に寄生が多いので、寄生部位を重点的に防除して下さい。
- (3) イチゴの新芽が小さく、未展開の時は葉が重なって防除が行き届かないことがありまますので、防除後の観察も怠らないようにして下さい。
- (4) 育苗ほで十分防除し、本ほへ持ち込まないようにして下さい。
- (5) アブラムシ類は、梅雨明けとともに急激に増殖することがあるので、引き続き注意が必要です。

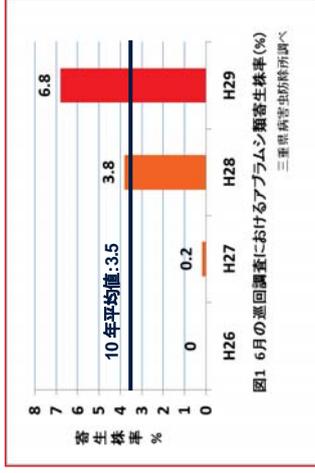


図2 イチゴの苗におけるアブラムシ類の寄生状況

## 病害虫防除技術情報第4号

平成29年6月20日  
三重県病害虫防除所

### ミカンハダニが増えています！

1. 対象作物 温州みかん、中晩柑類
2. 対象病害虫名 ミカンハダニ
3. 発生状況 紀州地域：多い

(1) 今年6月の県予察圃（御浜町：6月上旬）での調査では、寄生頭数は無防除区224.4頭/100葉（平年33.2頭/100葉）、慣行防除区23.3頭/100葉（平年13.4頭/100葉）といずれも平年より多い状況です（図1参照）。

(2) 一般圃場（6月）の発生量は、紀州地域で平年より多く、それ以外の地域では平年並です。

(3) 1か月予報（6月15日名古屋地方気象台発表）によると、降水量は平年より少なく、気温は平年並の見込みです。現在の乾燥状態が今後も続くこととミカンハダニの増加しやすい状況となるため注意が必要です。

#### 4. 防除対策

- (1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当たりの雌成虫寄生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。
- (2) マシン油乳剤での防除は、樹勢が衰弱している場合や高温時の散布では落葉等の葉害が発生しやすいため使用を避けてください。
- (3) ミカンハダニは葉裏に生息しているため、薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。
- (4) 薬剤抵抗性回避のため、同一年における同一系統薬剤の連用はできるだけ避けてください。

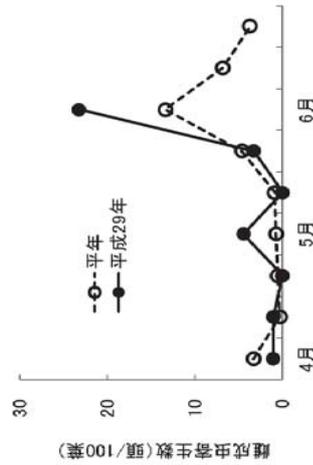


図1 県予察圃（御浜町）におけるミカンハダニの発生消長

※慣行防除区

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

# 病害虫防除技術情報第 5 号

平成 29 年 6 月 28 日  
三重県病害虫防除所

## 葉いもちの早期発見 早期防除に努めましょう!

1. 対象作物：イネ
  2. 対象病害虫名：いもち病 (葉いもち)
  3. 発生状況と今後の予測
    - 巡回調査圃場 (6月第2週)では、発生圃場率0% (平年0.0%)と平年並でした。
    - 追加調査 (10地点37ほ場 6月23日)では、本田でのいもち病の発生は確認できませんでした(が、補種の置き苗で発病が確認されました(1地点1ほ場))
- いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、6月7日及び27日に紀州地域の一部で感染好適条件が現れました(下表)
- 東海地方の1か月予報(6月22日 名古屋地方気象発表)によると、向こう1か月の降水量は、平年並か多い見込みで、注意が必要です。

4. いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)について
 

気象庁のアメダスの気象データをもとに、水稻のいもち病菌の感染に好適な条件を判定するシステムです。黒丸(●)で示される感染好適日から7~10日で葉いもちが発生するとされています。

2017年	美名	四日市	龜山	津	上野	羽曳	小浜	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新地	新宮
601													
602	●		(7)			●		(8)	(7)	(8)		(7)	
603													
604													
605													
606													
607							●						
608		●		(8)	(6)	(6)				(8)		(8)	(7)
609													
610													
611													●
612													
613													
614													
615													
616													
617													
618													
619													
620													
621													
622									(8)				
623													
624													
625													
626	●			(7)									
627				(8)						(7)	(7)		

好適条件 (いもち病発生の好適条件が全て満たされた)  
 発病好適条件 (発病時間の平均気温が比較的低い(発病時間10時間以上)  
 発病好適条件 (発病時間の平均気温は15~25 であり(発病時間10時間以上)  
 発病好適条件 (前5日の平均気温は25 以上(発病時間10時間以上)  
 発病好適条件 (前5日の平均気温は20 未満(発病時間10時間以上)  
 好適条件は満たされた(かつ)が、発病時間が5時間以上 (破線は発病時間)  
 好適条件-発病好適条件は満たされなかった。



図 1. ほ場に残された置き苗 (2017 年 6 月 28 日撮影)

5. 防除対策
  - (1) 補種の置き苗は発生源となりますので、速やかに取り除いてください(図1)
  - (2) 圃場を見回り 早期発見、早期防除に努めましょう
  - (3) 葉いもちが発生しているほ場では、出穂前に防除を徹底しましょう
  - (4) 雨天が続いた場合は、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行います
  - (5) 県内でもQoI 剤 (スロピルリン系殺菌剤 耐性イネいもち病菌が確認されています (平成 28 年病害虫防除技術情報第 8 号)) QoI 剤を使用したにもかかわらず、発病が抑えられない場合は、病害虫防除所等、関係団体にご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

# 病害虫防除技術情報第6号

平成 29 年 7 月 10 日  
三重県病害虫防除所

## クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょう

1. 対象作物： チャ
2. 対象病害虫名： クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
3. 発生状況  
有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（7月7日予測）は、四日市では7月19日（平成29年7月21日）、亀山市では7月19日（平成29年7月21日）、松阪市飯南町粥見では7月22日（平成29年7月24日）と予想されます（表）。
4. 防除対策  
(1) 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。  
(2) この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期(7月7日予測)

	孵化最盛予測日	平年比(日)	防除適期
四日市	7月19日	-2	7月21～23日
亀山	7月19日	-2	7月21～23日
粥見	7月22日	-2	7月24～26日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

# 病害虫防除技術情報第7号

平成 29 年 7 月 19 日  
三重県病害虫防除所

## 斑点米カメシ類の発生に注意し、斑点米の発生を防ぎましょう

1. 対象作物：イネ
2. 対象病害虫名 斑点米カメシ類
3. 発生状況、やや多  
(1) 巡回調査(7月第2週)における、畦畔イネ科雑草の20回振すく取り調査では、アカスジカメシ、アカヒガソノミドリカメシが多く捕獲されました。また、斑点米カメシ類合計の発生地点率は62.4%（平成28年7月）と平年に比べて多い状況でした（表）。
- ② クモヘリカメシは発生地点率5.1%（平成28年6.7%）すく取り成幼虫数0.4頭、（平成28年0.5頭）とやや少ない状況でした。しかしながら、クモヘリカメシが登熟初期に多発して初を加害すると、不稔となることから知られており、注意が必要です。
- ③ 広域防除員調査(7月1日～9日)によると、雑草の多い畦畔でホソハリカメシ、クモヘリカメシ、シラホシカメシ類が多く捕獲され、アカスジカメシ、ミヅオカメシの活動が確認されています。
- (4) 1か月予報(7月13日「名古屋地方気象台発表」)によると、平均気温が高い確率が60%で、斑点米カメシ類の増殖に助長的です。

表 畦畔イネ科雑草における、斑点米カメシ類の発生状況(2017年7月、20回振すく取り)

調査年	調査地点数	主な虫種													
		斑点米カメシ類合計	ホソハリカメシ成幼虫	クモヘリカメシ成幼虫	シラホシカメシ成幼虫	アカスジカメシ成幼虫	アカヒガソノミドリカメシ成幼虫	発生地点率(%)	発生虫数	発生地点率(%)	発生虫数	発生地点率(%)	発生虫数		
2017年	117	62.4	5.2	13.7	0.2	5.1	0.4	16.2	0.2	51.3	3.9	14.5	0.5	0.8	0.009
平年値		48.7	4.9	22.5	0.5	6.7	0.5	10.2	0.2	29.1	3.5	9.0	0.3	2.7	0.1

4. 防除上の注意事項  
(1) 出穂期まではイネ科雑草の穂を餌として増殖し、イネが出穂すると成虫が圃場に侵入して、イネの穂を加害します。また、成虫が圃場内で産卵すると孵化した幼虫も加害するため、被害が大きくなります。  
(2) 斑点米カメシ類は一般的に移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。  
(3) 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するのを避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報第9号

平成 29 年 8 月 24 日  
三重県病害虫防除所

### クビアカツヤカミキリが周辺府県で発生していますので

#### 侵入を警戒してください！

1. 対象作物 ウメ、カキ、モモ、スモモ、サクラ等
2. 対象病害虫名 クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*)
3. 全国の発生状況  
栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、愛知県、大阪府、徳島県でクビアカツヤカミキリの発生が確認されています(平成 29 年 8 月 23 日時点)。三重県内での発生は確認していませんが、周辺府県ではウメやモモ、サクラで本種の幼虫による加害が発生しており、県内でも発生する可能性がありますので十分に侵入を警戒して下さい。

#### 4. 生態と被害状況

- (1) 形態
  - 成虫の体長は約 2.5～4cm。全体的に光沢のある黒色で、胸部(首部)が赤い(海外では黒い)個体も確認されています。
- (2) 生態と被害の特徴
  - 幼虫が生木の内部を加害し、樹の中で 2～3 年かけて蛹となり 6 月中旬から 8 月上旬頃に成虫となり樹木の外に出ます。ひどい場合は樹木が枯死に至ります。
  - 雌成虫は交尾後、幹や主枝の樹皮の割れ目に産卵します。
  - 幼虫は樹木を加害する際に赤褐色でひき肉状のフラス(糞と木くずの混ざったもの)を排出します。
- (3) 寄主作物  
ウメ、カキ、モモ、サクラ、オリーブ、ハコヤナギ、セイヨウスモモ、コナラ、ヤナギ等で確認されています。

#### 5. 防除対策

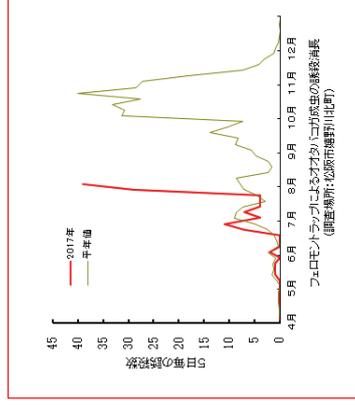
- (1) 成虫を見つけた場合はその場で捕殺します。
- (2) 幼虫の食入孔を見つけた場合は針金で刺殺するとともに、分散防止・産卵予防のため幹に網目 4mm 以下の防鳥ネットを巻きつけます。

## 病害虫防除技術情報第8号

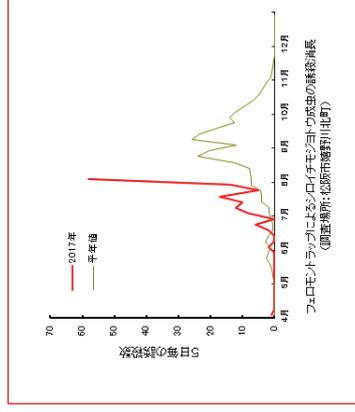
平成 29 年 8 月 8 日  
三重県病害虫防除所

### オオタバコガ、シロイチモジトウの発生が多いです

1. 対象作物： 野菜類(果菜類)、花き類
2. 対象病害虫名： オオタバコガ、シロイチモジトウ
3. 発生状況
  - (1) オオタバコガのフエロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、7月第5半旬から8月第1半旬のオオタバコガ雄成虫の誘殺数は72頭(平年：19.7頭)と平年の3倍以上の誘殺数である。(図1)
  - (2) シロイチモジトウのフエロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、7月第5半旬から8月第1半旬のシロイチモジトウ雄成虫の誘殺数は77頭(平年：19.1頭)と平年の4倍にあたる誘殺数である。(図2)
  - (3) 1ヶ月予報(名古屋地方気象台 8月3日発表)によると、平均気温が高いと予報されており、今後の発生も増加する見込みである。



(図1) オオタバコガ誘殺数  
フエロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺数  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



(図2) シロイチモジトウ誘殺数  
フエロモントラップによるシロイチモジトウ成虫の誘殺数  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

#### 4. 防除対策

- (1) オオタバコガ、シロイチモジトウともに老齢になるに従って薬剤の防除効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除するとともに、同一系統の薬剤の連続使用は避けてください。
- (2) 野菜類では、果菜類の果実内部やネギ類では葉身内部に侵入し食害されると防除が困難になるとともに、被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (3) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、農薬の適用に従って防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

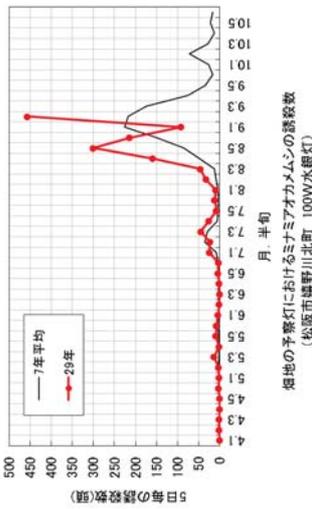
## 病害虫防除技術情報第10号

平成29年9月15日  
三重県病害虫防除所

### ダイズにおける吸美性カメムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象病害虫名：吸美性カメムシ類  
(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)
3. 発生状況と今後の予測  
近年、伊勢平野地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。  
巡回調査（9月第2週）では、発生圃場率68.8%（平年21.1%）、寄生採率5.9%（平年1.8%）、寄生虫数2.3頭/25株（平年1.3頭/25株）と平年より多い状況です。  
また、松阪市内設置の予察

灯では、ミナミアオカメムシの誘殺数は8月第3半旬～9月第2半旬では1,266頭（7年平均738.0頭）、イチモンジカメムシでは19頭（平年8.1頭）と多い状況です。



1か月予報（9月14日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、気温は平年並または高く、降水量は多い見込みです。

#### 4. 防除対策

- (1) 薬剤散布は、①莢伸長期（開花20日後）と、②子実肥大中期（開花40日後）を目安にして2回散布を基本としてください。
- (2) 2回散布ができない場合は、子実肥大初期（開花30日後）を目安にして薬剤散布してください。
- (3) 吸美性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除が効果的です。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

### (3) 登録農薬を用いて防除します。

表1 クビアカツヤカミキリに登録のある薬剤例(平成29年8月24日時点)

農薬の種類	作物名 果樹類※	適用病害虫名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェプロパトリン
						を含む農薬の総使用回数
フェプロパトリン ソエアル	うめ かき	がきりん類	収穫前日まで	2回以内	樹幹・樹枝の 食入孔にノズ ルを差し込み 噴射	5回以内(噴 射は2回以 内、散布は3 回以内)
	もも					7回以内(噴 射は2回以 内、散布は5 回以内)
	さくら					6回以内

※かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちじく、(種子)、くり、へちま、アーモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く。

#### 6. 発見した場合の連絡先

三重県病害虫防除所(電話:0598-42-6365)までご連絡ください。



ひき肉状のフラス (写真提供 徳島県)

雄成虫 (写真提供 徳島県)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

# 病害虫防除技術情報第11号

平成29年10月11日  
三重県病害虫防除所

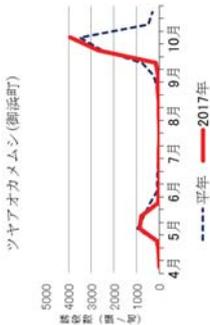


図2 予察灯誘殺数

## 4 防除上の注意事項

- (1) 降雨がない夜に盛んに飛翔し、圃場に飛来します。夜間の照明等への飛来を参考に、圃場をよく見回り、早期発見に努めてください。特に、山林に近い圃場や過去に多飛来が認められた圃場では注意してください。
- (2) 防除はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。なお、一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。
- (3) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、なるべく広い範囲で散布日を合わせ、一斉防除することによって効果が高くなります。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

果樹カメムシ類の発生が増加しています！  
圃場への飛来に注意してください！

- 1 対象作物 果樹全般 (カンキツ、カキなど)
- 2 対象病害虫名 果樹カメムシ類 (特にツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
- 3 発生状況 多
  - (1) フェロモントラップへの誘殺数は8月下旬から増加し、9月1か月間の誘殺数がツヤアオカメムシでは松阪市31頭 (平年7.5頭)、津市白山町川口29頭 (平年13.8頭)、多気町47頭 (平年14.4頭) と平年より多くなっています。クサギカメムシでは津市白山町川口で10月に入り急増しています (図1)。
  - (2) 予察灯 (御浜町) への誘殺数は9月上旬から増加し、9月下旬のツヤアオカメムシでは3,940頭 (平年3,502頭) と過去10年で3番目の多さになっています (図2)。
  - (3) 県内の一般圃場では、中南勢地域のカキや紀州地域のかんきつの一部で飛来、被害が確認されており、果実への吸汁加害が懸念されます。
  - (4) 今年は、近隣県も含め全国的に果樹カメムシ類の発生が増えています。
  - (5) 過去の多発年では10月中旬ごろまで発生が多い状態が続いているため、今後もうしばらく注意が必要です。

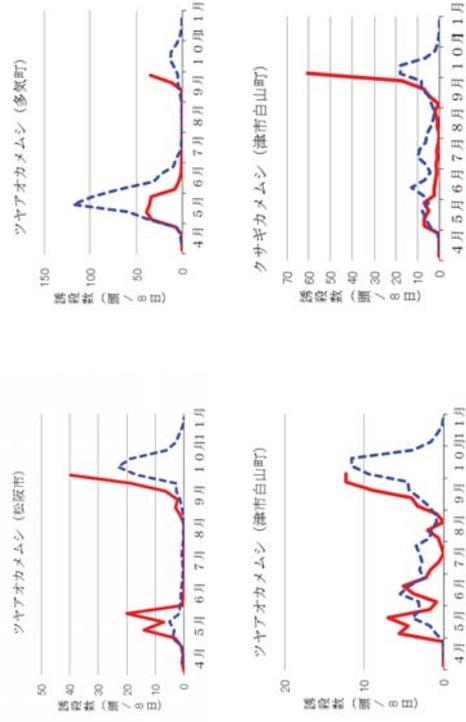


図1 フェロモントラップ誘殺数(いずれも実線が2017年、破線が平年)

## 病害虫防除技術情報第13号

平成29年11月15日  
三重県病害虫防除所

### 台風後の葉の傷みから黒腐病の発生が見られています

1. 対象作物： アブラナ科野菜（ハクサイ、ブロッコリー、キャベツ等）
2. 対象病害虫名： 黒腐病（病原細菌名：*Xanthomonas Campestris* pv. *campestris*）



（図1） ハクサイ（左）、ブロッコリー（右）黒腐病（いずれも発病株率100%のほ場）

#### 3. 発生状況

病害虫防除所の11月の巡回調査（11月6日～10日）におけるハクサイほ場での黒腐病発生ほ場率は、80%と高く、発生圃場での発病株率の高いところでは、100%でした。（図1）  
また、県内のブロッコリーほ場においても同じ病原細菌による黒腐病の発生を確認しています。  
これは、台風21号（10月22日～23日）、台風22号（10月29日）と連続して通過し、強風を伴う大雨や冠水がありこれらこれらの影響により、株が傷み、外葉を中心に感染したものとみられます。

#### 4. 防除対策

- (1) 台風などで茎葉が傷ついたときに発生しやすく、予防的な薬剤散布が有効です。
- (2) 病斑部の病原細菌は、風雨により飛散して周囲の葉に二次伝染します。
- (3) ヨトウムシ、アオムシ、コナガ、ハムシ類などの害虫の食害も本病の発生を助長します。
- (4) 本細菌は、被害茎葉とともに土壌中に残存して翌年の伝染源となります。
- (5) 収穫後の被害茎葉を含む残査は、ほ場外に持ち出し適切に処分して下さい。
- (6) 本細菌は、アブラナ科野菜の多くの作物に感染し発病します。

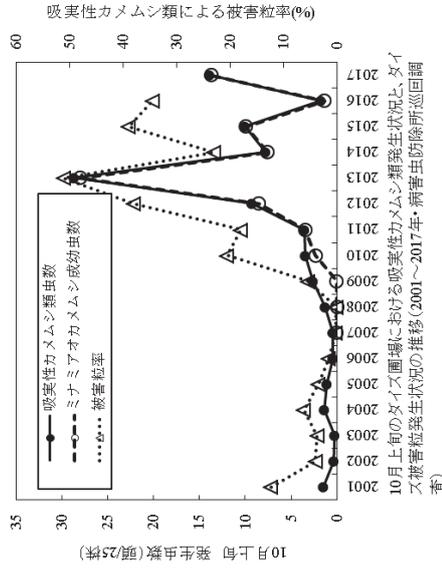
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用して下さい。

## 病害虫防除技術情報第12号

平成29年10月12日  
三重県病害虫防除所

### ダイズにおける吸美性カメムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物： ダイズ
2. 対象病害虫名： 吸美性カメムシ類
3. 発生状況
  - 近年、伊勢平野地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。
  - (1) 巡回調査（10月第2週）では、寄生株率21.6%（平成9.9%）、寄生虫数13.9頭/25株（平成6.9頭/25株）と平成より多い状況です。
  - (2) 上記調査において、最大値は寄生株率 71.0%、寄生虫数 58.8 頭/25 株であり、多発生の地点が確認されました。



#### 4. 防除対策

- (1) 多発生の圃場で防除適期の生育状況にある場合は速やかに防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用して下さい。

## 病害虫防除技術情報第14号

平成29年12月13日  
三重県病害虫防除所

### イチゴ、アブラナ科野菜で菌核病の発生が見られています

1. 対象作物： イチゴ、アブラナ科野菜（ハクサイ、キャベツ等）
2. 対象病害虫名： 菌核病



（図1）左からイチゴ、ハクサイ、キャベツの菌核病

#### 3. 発生状況

病害虫防除所の12月の巡回調査（12月5日～8日）における菌核病発生ほ場率は、イチゴほ場では、36%、冬キャベツほ場では50%、ハクサイほ場では10%といずれも高い状況でした。（図1）また、一般的に本病は比較的低温で、曇雨天が続く時に多く発生するとされています。今年の10月以降の気象をみると、本病の発病に好適な温度（15～20℃）が続き、その時期に大雨があつたり降雨が続いたため、多湿条件とも重なり、発生が多くなつたと考えられます。

#### 4. 防除対策

- （1）特に台風による冠水が見られたほ場では、予防的な薬剤散布が有効です。
- （2）発病後の薬剤散布は効果が低いです。
- （3）本菌は、病勢が進むと菌核を形成し、土壌中に残存して翌年の伝染源となります。
- （4）被害部位（イチゴの被害果実やアブラナ科野菜では発病株）を含む残渣は、早急に除去しほ場外で適切に処分して下さい。
- （5）被害茎葉等を長くほ場に放置しないようにして下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報第15号

平成30年3月22日  
三重県病害虫防除所

### 茶園においてカンザワハダニが多い状況です。

- 1 対象作物： チャ
- 2 対象病害虫名： カンザワハダニ
- 3 発生状況
  - （1）1か月予報（3月15日発表）によると、平年と同様に晴れの日が多く、気温は高い予想です。
  - （2）菓子寮園（亀山市）では、3月7日に産卵を確認。
  - （3）巡回調査圃場（県内18圃場、3月第2週）では、旧葉における発生圃場率44.4%（平年31.6%）と多、寄生葉率3.0%（平年1.3%）と多、寄生虫数0.10頭/葉（平年0.03頭/葉）と多の状況です。
  - （4）一般圃場（3月）では、北勢地域の一部で寄生葉率が高く、全体でやや少の状況です。

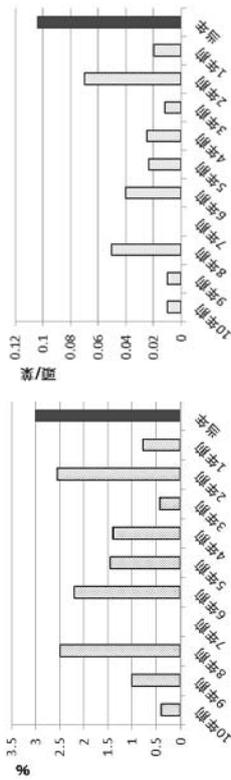


図1 巡回調査圃場における寄生葉率

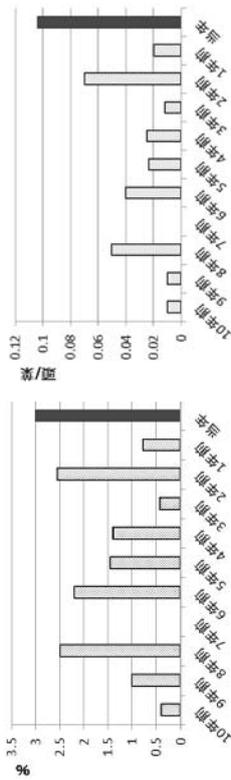


図2 巡回調査圃場における寄生虫数

#### 4 防除対策

- （1）圃場を確認して、多発状況であれば適宜防除しましょう。
- （2）葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に丁寧に散布してください。
- （3）世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
- （4）ケナガカブリダニやハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報第17号

平成30年3月22日  
三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の越冬量が多い状況です！  
4月以降の圃場への飛来に注意してください！

- 1 対象作物： 果樹全般
  - 2 対象病害虫名： 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
  - 3 発生状況(越冬量)： 多い
- (1)越冬量調査では、チャバネアオカメムシの越冬量が多く、過去10年間で3番目となっています(表)。
- (2)クサギカメムシの越冬量は平年並で過去10年間で5番目ですが、2016年、2017年と比べると3倍程度となっています(表)。
- (3)ツヤアオカメムシは、昨年の発生が多く、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシの越冬量調査の際にも確認されたことから、本種の越冬量も多いと考えられます。

### 表 果樹カメムシ類越冬個体数調査

調査地点\調査年月	単位:頭											
	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	10年平均	
津市白山町二本木(スズ、ヒメカキ)	3	2	4	0	1	0	1	1	0	0	5	1.2
津市白山町川口(スズ、ヒメカキ)	0	1	9	0	17	1	13	9	0	0	3	5.0
松阪市小阿原町(ヒメカキ)	1	0	0	0	4	1	27	1	0	1	1.4	3.5
松阪市小阿原町(ヒメカキ)	0	2	6	3	2	2	36	28	0	6	11	8.5
平均	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	1.8	8.3	4.6
採集地点率(%)	50	75	75	25	100	75	100	100	0	50	100	65.0

※1地点あたり1m<sup>2</sup>範囲内の落葉を3箇所採取(計3m<sup>2</sup>)、捕獲した数を計測。  
※調査は、例年1月～3月に実施。

### 表 b. クサギカメムシ越冬量調査

調査地点\調査年月	単位:頭											
	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	10年平均	
津市白山町二本木(スズ、ヒメカキ)	6	3	14	3	17	1	12	9	7	4	6	7.6
津市白山町川口(スズ、ヒメカキ)	52	23	174	23	294	8	658	543	46	38	172	185.9
津市白山町川口(カキ)	2	1	33	0	5	0	55	5	4	30	27	13.5
津市白山町川口(カキ)	0	1	1	0	1	0	3	10	1	0	3	1.7
平均	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	52.2
採集地点率(%)	75	100	100	50	100	50	100	100	100	75	100	85.0

※調査各小區(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。  
※例年小量の飛来は10月上旬、1月～2月に回収調査を実施。

## 病害虫防除技術情報第16号

平成30年3月22日  
三重県病害虫防除所

県内の圃場で捕獲されたチャノコカクモンハマキにジアミド剤(虫28)やジアシルヒドラジン系IGR剤(虫18)に対する感受性低下が確認されました。薬剤抵抗性の発達を避けるため、適切な使用を心掛けましょう。

1. 対象作物： チャ
  2. 対象病害虫名： チャノコカクモンハマキ
  3. 薬剤抵抗性の状況
- 1)三重県農業研究所では、2016年、2017年に県内茶産地(四日市市、鈴鹿市、亀山市、松阪市、度会町)で採取したチャノコカクモンハマキについて、薬剤感受性検定を行ったところ、一部のジアミド剤(虫28)やジアシルヒドラジン系IGR剤(虫18)に対する感受性低下を確認しました。
- 2)北勢地域ではクロラントラニプロロール剤(虫28)及びテプアフェノジド剤(虫18)の感受性低下が確認され、その他感受性低下の兆候を示す薬剤がありました。
- 3)中南勢地域では北勢地域の個体群に比べて抵抗性の発達程度は低いです。一部のジアミド剤(虫28)やジアシルヒドラジン系IGR剤(虫18)に対して感受性低下の兆候を示しました。

表 チャノコカクモンハマキ2～3齢幼虫に対する、殺虫剤処理10日後の補正死亡率<sup>1)</sup>(三重県農業研究所 2017年調査)

商品名 剤型銘柄	(有効成分名)	IRACコード <sup>2)</sup>	希釈倍数 (倍)	補正死亡率(%)					
				四日市市	鈴鹿市	亀山市	松阪市	度会町	度会町
サムコル	(クロラントラニプロロール)	28	2000	59.5	64.9	63.9	89.7	94.3	94.3
フェニックス	(フルベニジド)	28	2000	100.0	97.9	94.6	100.0	100.0	97.4
エクスセル	(シアントラニプロロール)	28	2000	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ロムタン	(テプアフェノジド)	18	1000	17.9	55.0	41.7	100.0	100.0	94.3

<sup>1)</sup>検定方法は、薬剤無散布圃から採取した成葉を用いたチャ葉浸漬法(小杉1998)にて実施。  
<sup>2)</sup>殺虫剤抵抗性管理委員会(IRAC)により、殺虫剤の有効成分の作用機構を分類し、コード化したもの。

4. 薬剤抵抗性チャノコカクモンハマキの防除対策
- 1)直接または間接での曝露による、抵抗性の発達を避けるため、ジアミド剤(虫28)、ジアシルヒドラジン系IGR剤(虫18)の使用は、年1回までとして、高い効果を持続させるよう努めましょう。
- 2)成虫効果の高い発生初期に散布し、多発時の使用を避けましょう。また、適用範囲内で最大濃度、最大量を散布するよう努めましょう。
- 3)以上の取り組みを地域一体となって実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

#### 4 防除上の注意事項

- (1) 例年、予察灯(松阪市)への初飛来は、チャバネアカメムシが4月下旬、ツヤアカメムシが5月中旬、クサギカメムシが6月上旬です。
- (2) 4月以降の気温の上昇に伴い、山林から離れて圃場に多数飛来する可能性があります。
- (3) 降雨がなく気温の高い夜に飛来(移動)が多いので、夜間の御灯への飛来に注意したり、圃場を見回ったりして、早期発見に努めてください。特に、山林に近い圃場では注意してください。
- (4) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

灰色かび病菌に対する殺菌剤感受性検定 2017年度調査結果

採取作物 トマト、イチゴ、キュウリ、ナス

三重県農業研究所農産物安全安心研究課

FRAC コード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
2	イブロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 22.2% 感受性菌 77.8%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域43地点における 果実・茎・葉の標微部から分離 した171菌株の 検定結果
12	フルジオクソニル剤 (フェニルピロール系)	感受性菌率 99.4% 再検定 0.6%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。	ほぼ全ての菌株が感受性菌であったことから、防除効果は高いと考えられた。	
11	アゾキシストロビン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 42.1% 感受性菌 57.9%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	感受性菌と同程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域43地点における 果実・茎・葉の標微部から分離 した171菌株の 検定結果
11	ピリベンカルブ剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 1.2% 弱耐性菌 34.5% 感受性菌 63.7% 再検定 0.6%	アゾキシストロビン剤耐性菌であり、かつピリベンカルブ100ppmとSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満を耐性菌、アゾキシストロビンの菌糸生育抑制率50%未満を弱耐性菌とした。	耐性菌、弱耐性菌が検出されたことから、防除には注意が必要である。	
9	メバニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 2.3% 感受性菌 95.9% 再検定 1.8%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 10.5% 感受性菌 87.7% 再検定 1.8%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	7地域43地点における 果実・茎・葉の標微部から分離 した171菌株の 検定結果
17	フェンピラザミン剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 15.8% 感受性菌 83.0% 再検定 1.2%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
7	ボスカリド剤 (SDHI系)	耐性菌 29.8% 感受性菌 69.0% 再検定 1.2%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域43地点における 果実・茎・葉の標微部から分離 した171菌株の 検定結果
7	ペンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 12.9% 感受性菌 86.5% 再検定 0.6%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
防除対策 前提条件					
①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れする管理をしない等、感染場所をつくらない ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する(多発後困難、初発前に行なう)					
薬剤防除					
①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する ④初発がみられたら直ちに散布する ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する ⑥生物農薬(バチルスズブテリス)のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する					

表1 供試薬剤別採取地域ごとの感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	(2016年)
2	イプロジオン剤	MR	15.0%	17.0%	25.0%	20.0%	75.0%	50.0%	0%	22.2%	20.7%
		S	85.0%	83.0%	75.0%	80.0%	25.0%	50.0%	100%	77.8%	79.3%
12	フルジオキシニル剤	再検定	0%	0%	12.5%	0%	0%	0%	0%	0.6%	0%
		S	100%	100%	87.5%	100%	100%	100%	100%	99.4%	100%
検定菌株数			40	47	8	40	16	4	16	171	188
11	アゾキシストロピン剤	R	42.5%	31.9%	62.5%	55.0%	50.0%	50.0%	18.8%	42.1%	49.2%
		S	57.5%	68.1%	37.5%	45.0%	50.0%	50.0%	81.2%	57.9%	50.8%
11	ピリベンカルブ剤	R	5.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1.2%	4.8%
		WR	35.0%	27.7%	37.5%	40.0%	50.0%	50.0%	18.8%	34.5%	44.4%
		再検定	0%	0%	0%	2.5%	0%	0%	0%	0.6%	0%
		S	60.0%	72.3%	62.5%	57.5%	50.0%	50.0%	81.2%	63.7%	50.8%
検定菌株数			40	47	8	40	16	4	16	171	187
9	メパニピリム剤	R	0%	0%	12.5%	7.5%	0%	0%	0%	2.3%	2.1%
		再検定	0%	0%	0%	2.5%	0%	50%	0%	1.8%	10.1%
		S	100%	100%	87.5%	90.0%	100%	50%	100%	95.9%	87.8%
17	フェンヘキサミド剤	R	2.5%	6.4%	12.5%	17.5%	6.3%	25.0%	25.0%	10.5%	0.5%
		再検定	0%	2.1%	0%	0%	6.3%	0%	6.3%	1.8%	13.2%
		S	97.5%	91.5%	87.5%	82.5%	87.4%	75%	68.7%	87.7%	86.2%
17	フェンピラザミン剤	R	2.5%	8.5%	25.0%	15.0%	25.0%	25.0%	56.2%	15.8%	1.1%
		再検定	0%	0%	12.5%	0%	0%	0%	6.3%	1.2%	21.2%
		S	97.5%	91.5%	62.5%	85.0%	75.0%	75.0%	37.5%	83.0%	77.8%
検定菌株数			40	47	8	40	16	4	16	171	189
7	ボスカリド剤	R	45.0%	21.3%	50%	10.0%	75.0%	50.0%	6.3%	29.8%	9.1%
		再検定	2.5%	0%	0%	2.5%	0%	0%	0%	1.2%	11.4%
		S	52.5%	78.7%	50.0%	87.5%	25.0%	50.0%	93.7%	69.0%	79.4%
7	ペンチオピラド剤	R	17.5%	8.5%	12.5%	2.5%	50.0%	25.0%	0%	12.9%	1.7%
		再検定	0%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	82.5%	91.5%	87.5%	97.5%	43.7%	75.0%	100%	86.5%	97.7%
検定菌株数			40	47	8	40	16	4	16	171	175

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 S: 感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WRは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育したが、胞子形成不良により生物検定で、感受性の評価ができなかった菌

表2 供試薬剤別作目毎の感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト	イチゴ	ナス	キュウリ	全体	(2016年)
2	イプロジオン剤	MR	15.1%	30.0%	0%	100%	22.2%	20.7%
		S	84.9%	70.0%	100%	0%	77.8%	79.3%
12	フルジオキシニル剤	再検定	0%	2.5%	0%	0%	0.6%	0%
		S	100%	97.5%	100%	100%	99.4%	100%
検定菌株数			119	40	8	4	171	188
11	アゾキシストロビン剤	R	37.0%	50.0%	50.0%	0%	42.1%	49.2%
		S	63.0%	50.0%	50.0%	100%	57.9%	50.8%
11	ピリベンカルブ剤	R	0.8%	0.0%	12.5%	0%	1.2%	4.8%
		WR	31.9%	35.0%	37.5%	0%	34.5%	44.4%
		再検定	0.0%	2.5%	0.0%	0%	0.6%	-
		S	67.3%	62.5%	50.0%	100%	63.7%	50.8%
検定菌株数			119	40	8	4	171	187
9	メパニピリム剤	R	0%	10%	0%	0%	2.3%	2.1%
		再検定	0%	7.5%	0%	0%	1.8%	10.1%
		S	100%	82.5%	100%	100%	95.9%	87.8%
17	フェンヘキサミド剤	R	8.4%	20.0%	12.5%	0%	10.5%	0.5%
		再検定	2.5%	2.5%	0%	0%	1.8%	13.2%
		S	89.1%	77.5%	87.5%	100%	87.7%	86.2%
17	フェンピラザミン剤	R	16.0%	27.5%	12.5%	0%	15.8%	1.1%
		再検定	0.8%	2.5%	0%	0%	1.2%	21.2%
		S	83.2%	70.0%	87.5%	100%	83.0%	77.8%
検定菌株数			119	40	8	4	171	189
7	ボスカリド剤	R	27.8%	35.0%	37.5%	50.0%	29.8%	9.1%
		再検定	0.8%	2.5%	0%	0%	1.2%	11.4%
		S	71.4%	62.5%	62.5%	50.0%	69.0%	79.4%
7	ペンチオピラド剤	R	15.1%	17.5%	0%	0%	12.9%	1.7%
		再検定	0.8%	0%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	84.1%	82.5%	100%	100%	86.5%	97.7%
検定菌株数			119	40	8	4	171	175

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 S: 感受性菌

R、MRIは防除効果が劣る恐れあり、WRは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育したが、胞子形成不良により生物検定で、感受性の評価ができなかった菌

## (2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当: 三重県農業研究所紀南果樹研究室

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100.0	96.8
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	-16.0	54.9
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	—	14.4
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	6.7	84.7
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100.0	100.0
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	49.8	80.7
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	-9.2	46.2
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	100.0	100.0
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	69.9	82.0

### ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	83.7	—
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	100.0	—
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	87.8	—
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	63.4	—
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	83.2	—
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	32.8	—
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	80.0	—
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	88.0	—
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	83.7	—

※補正死虫率=(蒸留水区の生存虫率-処理区の生存虫率)/蒸留水区の生存虫率×100  
 補正死卵率=(蒸留水区のふ化卵率-処理区のふ化卵率)/蒸留水区のふ化卵率×100

#### ※調査日

<紀南果樹研究室場内>

実用濃度;10/19(薬剤処理24時間後)

殺卵試験;9/22(9/14に産卵された卵に9/15に薬剤処理し、7日後)

<熊野A園>

実用濃度;9/11(薬剤処理24時間後)

殺卵試験;データなし

#### <試験方法概要>

サンプル採取場所	三重県紀南果樹研究室圃場 9、12号圃(青島温州、宮川早生温州 慣行) 熊野A園 (興津早生温州、慣行)
方 法	成虫感受性 寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。  卵感受性 成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を20匹接種して高温長日条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。

# V 農薬の指導に関する業務

## 1. 農薬危害防止対策

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病虫害発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに「三重県病虫害防除の手引き」を作成配布提供した。農水省植物防疫課、日本植物防疫協会から提供される使用制限のある変更登録情報は、電子メール、FAXにより県内の農薬流通業者へ提供するとともに、県庁内関係者には、病虫害防除所イントラネットホームページに掲載し、最新の登録情報とともに情報共有を図った。

### (1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 平成 29 年 6 月 1 日～8 月 31 日までの 3 か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

### (2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 開催場所	内 容	対象者
農薬管理指導士特別研修(新規)	平成 29 年 11/30～12/1 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	平成 30 年 2/26 松阪市	GAPと農薬安全使用について チャノコカクモンハマキにおける薬剤抵抗性の状況について 平成 29 年度に発令された特殊報について 輸出植物検疫協議の迅速化委託事業に係る調査について	病虫害防除員等
農薬安全使用等講習会	平成 29 年 11/27 津市	本年度の病虫害発生概況について	農薬販売者等

### (3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検・パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
平成29年10月24日 同年11月2日	近鉄浜島カントリークラブ 近鉄賢島カントリークラブ 伊勢志摩カントリークラブ・ロイヤルコース 合歓の郷ゴルフクラブ	志摩市浜島町迫子 1614-1 志摩市阿児町鶴方 3620-5 志摩市磯部町の矢白ヶ谷 187-1 志摩市迫子町 2692-3
平成29年10月26日	ジャパクラシックカントリー倶楽部 名張カントリークラブ 桔梗が丘ゴルフコース 名張サウスカントリー倶楽部	伊賀市榎山下田 17-1 名張市上小波田 1393 名張市滝之原字笹尾 3682 名張市神屋 2476
平成29年10月27日	美杉ゴルフ倶楽部 ザ・サードプレースカントリークラブ 榊原ゴルフ倶楽部 富士OGMエクセレントクラブー志温泉コース 西日本セブンスリーゴルフクラブ	津市美杉町下多気字漆 3437-34 津市美杉町竹原 4095 津市白山町三ヶ野 1071 津市一志町波瀬字長谷 581 松阪市嬉野島田町 1242-1

(調査・点検項目)

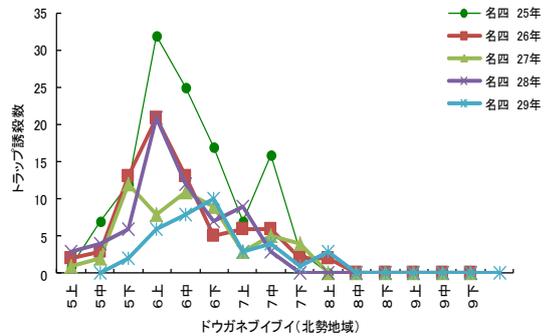
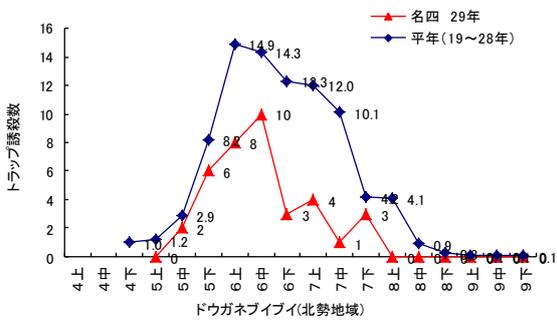
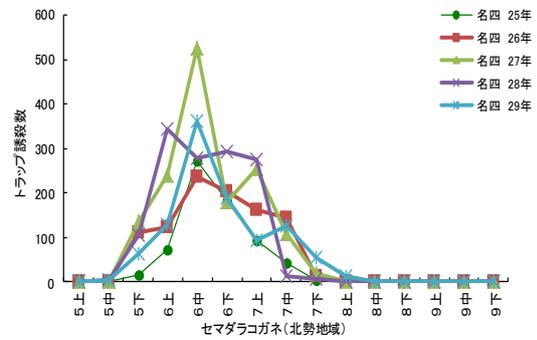
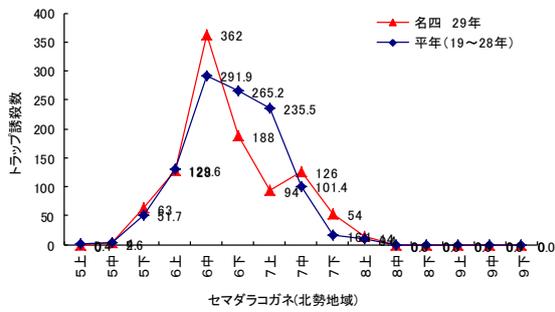
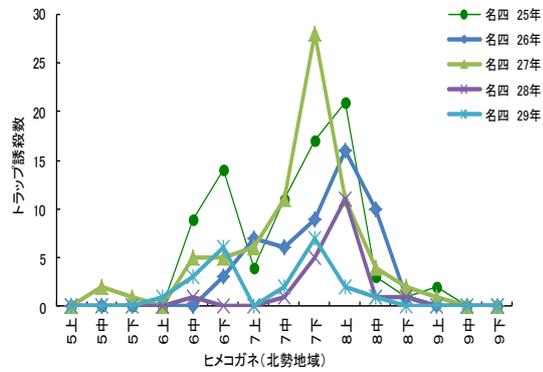
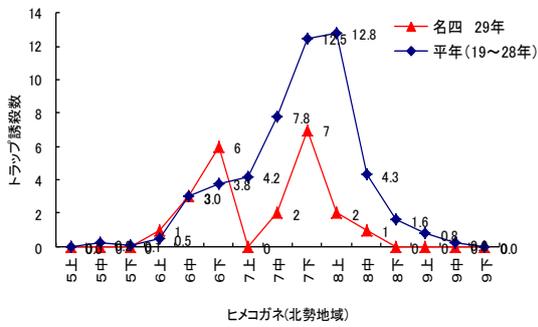
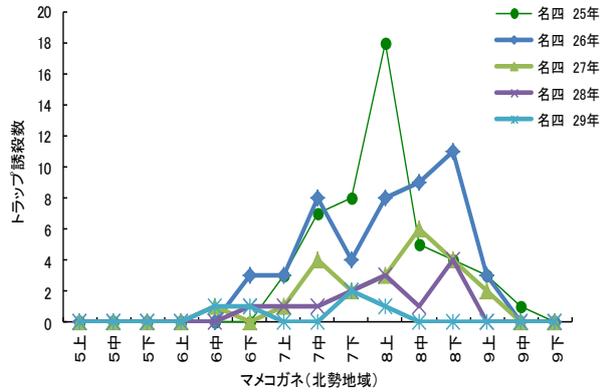
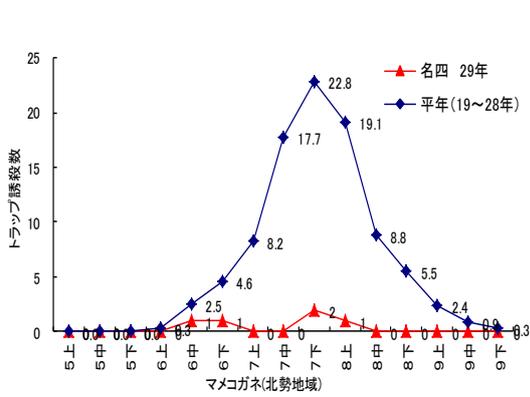
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

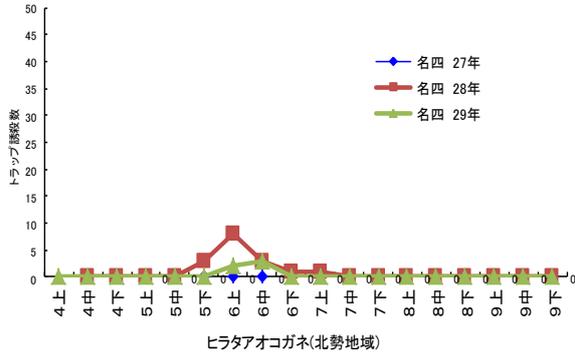
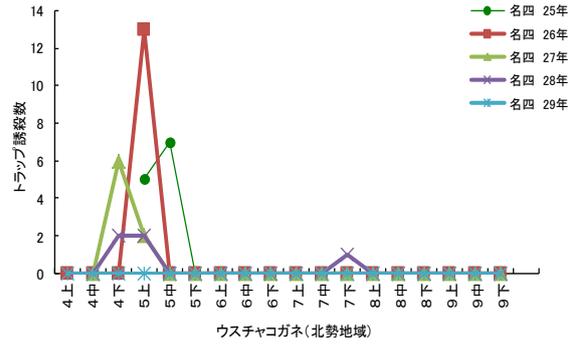
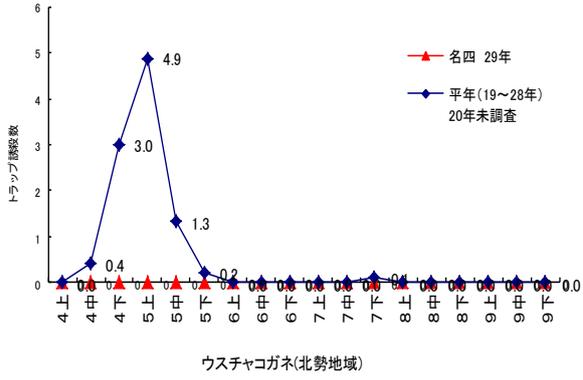
(調査・点検結果の概要)

期限切の農薬が保管されたままになっているなどの若干の不備は認められたものの、概ね適正に管理されていた。

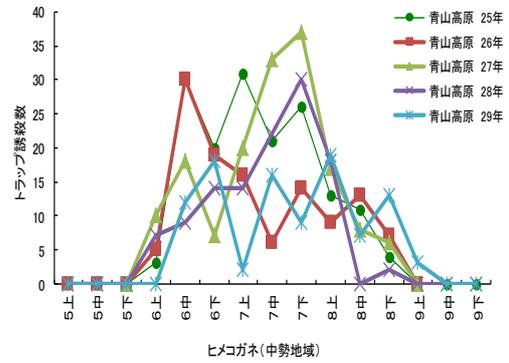
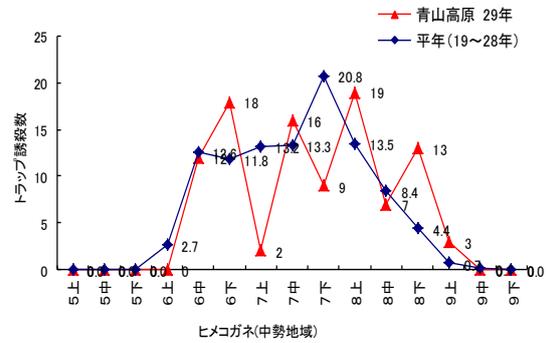
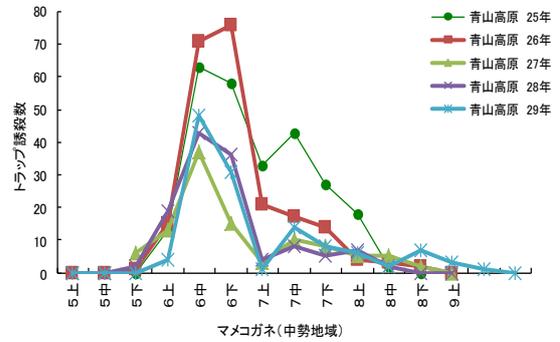
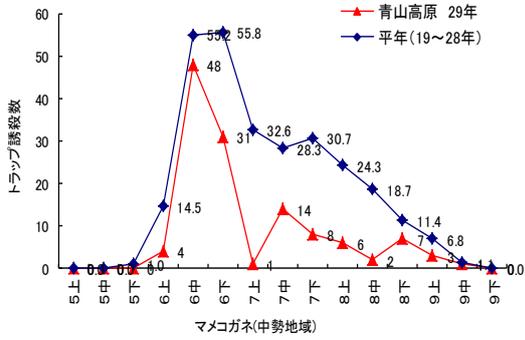
# (4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

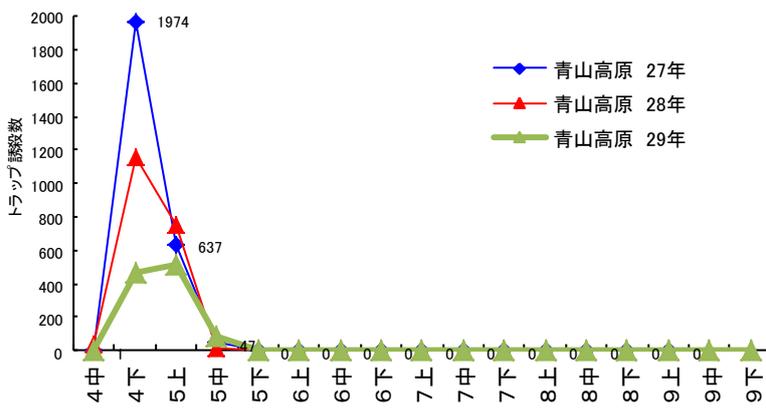
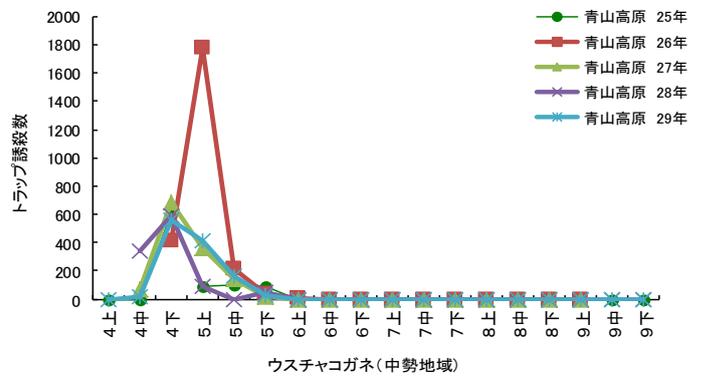
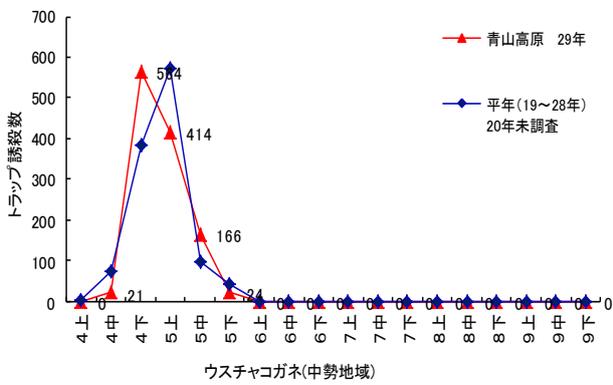
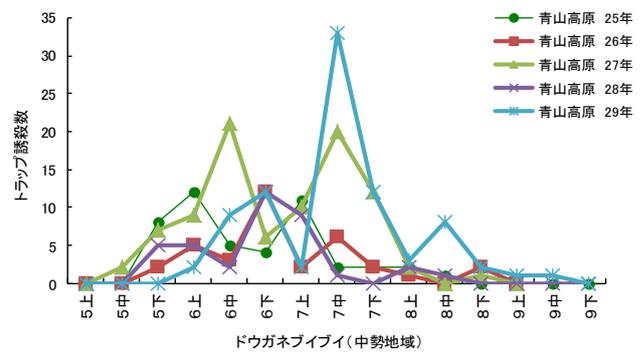
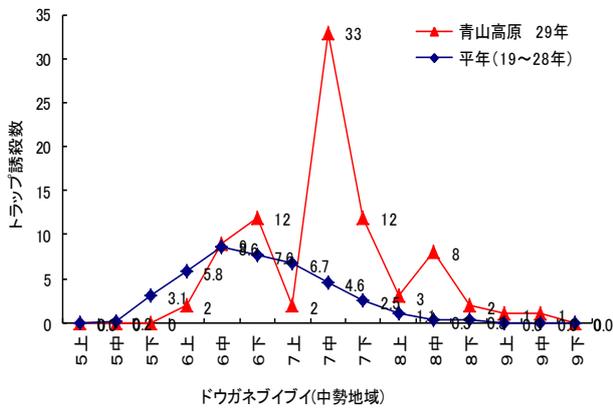
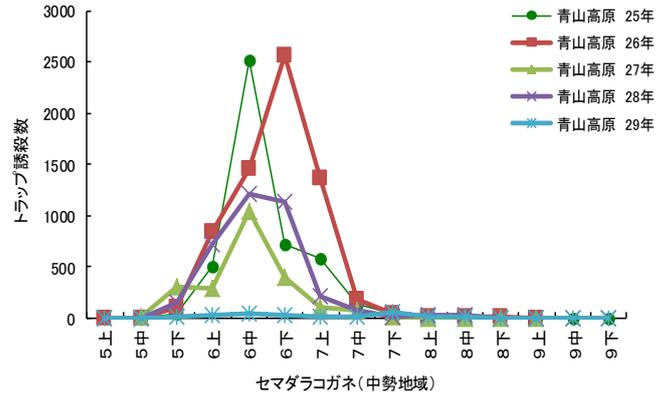
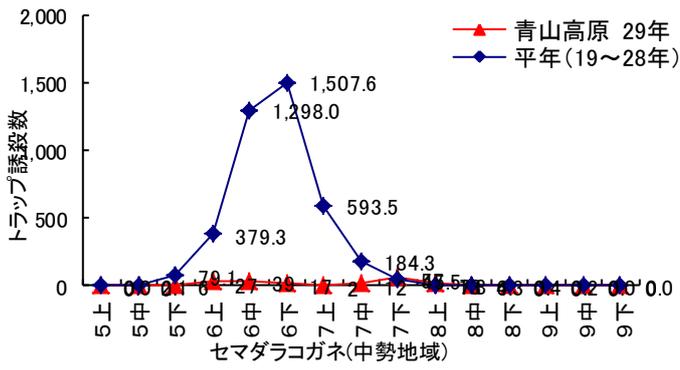
## 北勢地域





中勢地域





ヒラタアオコガネ(中勢地域)

## 2.産業用無人ヘリコプターによる防除

防除内容	散布地域	総散布面積(ha)	
		合 計	
水稻病害虫	県下全域	合 計	9174.3
		前年実績	9611.8
		前年対比(%)	95.4
麦赤かび病	県下全域	合 計	1597.3
		前年実績	1738.1
		前年対比(%)	91.9
大豆病害虫	県下全域	合 計	889.7
		前年実績	892.0
		前年対比(%)	99.7
ゴルフ場松くい虫	北勢地域	合 計	103.5
		前年実績	83.8
		前年対比(%)	123.5
その他	南勢地域	合 計	125.8
		前年実績	155.6
		前年対比(%)	80.9

# VI 各種データ

## 1. トラップ等データ

### (1) 予察灯

a 県予察灯・水田設置(松阪市嬉野川北町; 60ワット白熱灯)

水田 2017年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2017年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	10	0	0	1	0	0	0	2	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2017年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
7月1日	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	15	0	0	0	0	3	0	0	2	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	2	0	0	1	0
3日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	0	0	0	0	2	0	0	1	0
4日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	6	0
8日	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3	7	1	0	0	0	0	0	0	1	0
9日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
12日	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	4	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0
14日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	15	2	0	0	0	0	0	0	3	0
17日	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	13	1	0	0	0	0	0	0	1	0
19日	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	4	0	0	0	9	0	0	0	0	0	2	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0
24日	1	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	5	12	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25日	0	3	1	0	0	9	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	1	0	0	1	0
26日	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	5	2	0	0	0	1	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
4日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	1	13	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0
10日	2	17	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11日	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	1	11	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	11	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
17日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
19日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
20日	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
21日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0
23日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
24日	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
25日	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29日	0	14	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2017年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
9月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
21日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置(松阪市嬉野川北町; 100ワット水銀灯)

畑地 2017年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ピロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソドリカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	19	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7日	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8日	0	108	3	0	0	0	9	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
9日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	8	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	##
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20日	0	126	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
22日	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
24日	0	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	7	0	0	4	0	0	1	0	0	
25日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	3
29日	0	14	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	5	2	0	0	2	26	0	0	0	0	0	0	0	1
30日	0	81	2	0	0	0	4	0	0	7	0	1	1	0	1	0	37	2	0	2	23	0	1	3	0	0	1	8
31日	0	5	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	5	2	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2017年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ピロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソハリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソドリカスミカメ	ツマゲロヨコバイ	ヒメトビウシカ	セジロウシカ	トビイロウシカ	イナズマヨコバイ	イネミズノウムシ
6月1日	0	24	3	0	0	0	0	0	0	11	0	1	2	0	0	0	18	4	0	0	3	90	0	6	7	0	0	0	13
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	1	5	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	30	3	0	0	0	0	1	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	1	0	0	0	2
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	1	0	0	0	1	1	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21	3	0	0	2	0	0	0	0
14日	0	5	0	0	1	0	1	0	0	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0
15日	0	1	1	0	1	1	0	3	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	1	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	17	7	0	1	3	0	0	0	0
18日	0	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	7	3	0	0	1	5	3	0	10	1	3	1	0	0	1	0	1	0	0	45	15	0	14	8	0	0	0	0
20日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0	0	0	0	1
21日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	17	5	0	6	2	0	1	0	10	3	14	2	0	0	0	3	0	0	0	4	24	0	320	8	0	0	0	0
23日	0	5	1	0	2	1	0	2	1	17	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	18	4	0	18	2	0	0	0	0
24日	0	9	0	0	3	1	1	3	0	8	3	3	4	0	0	0	3	1	0	0	0	24	0	84	0	0	0	0	0
25日	0	1	0	0	4	2	0	1	0	6	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0
26日	0	3	1	0	3	0	0	3	0	9	4	7	4	0	0	0	2	0	0	0	5	15	0	1	3	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	22	0	66	10	0	0	0	0
28日	0	8	1	0	8	0	0	1	1	11	0	3	2	0	0	0	1	0	0	0	3	9	0	21	3	0	0	0	1
29日	0	18	1	0	0	0	5	0	0	25	0	11	6	1	2	0	1	1	0	0	8	24	0	36	1	0	0	0	0
30日	0	18	2	0	11	0	3	0	0	20	7	3	5	0	1	0	0	0	0	0	3	27	0	24	3	0	0	0	2
7月1日	0	114	5	2	11	0	2	1	0	17	7	19	9	0	2	20	3	9	0	0	0	25	0	44	0	0	0	0	0
2日	0	47	2	1	8	0	1	0	3	23	0	17	1	0	2	0	0	6	0	0	1	16	0	41	0	0	0	0	0
3日	0	27	0	3	26	0	5	2	0	24	3	17	12	0	0	0	0	4	0	3	5	47	0	33	3	0	0	0	8
4日	0	8	2	0	4	0	1	0	0	10	0	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	0
5日	0	19	0	0	2	0	0	1	3	15	0	9	0	0	0	0	0	5	0	0	6	14	0	4	4	0	0	0	5
6日	0	19	0	0	10	1	0	4	2	9	0	20	7	0	0	0	0	7	0	0	3	17	0	11	3	0	0	0	4
7日	0	18	0	1	6	2	0	0	2	9	0	13	2	0	0	0	0	3	0	0	2	10	0	1	0	0	0	1	2
8日	0	37	0	0	5	1	0	0	1	16	0	11	2	0	0	0	0	4	0	0	1	16	0	23	0	0	0	0	1
9日	0	37	1	0	2	2	2	0	0	23	0	19	4	4	0	1	0	4	0	0	5	16	0	12	0	0	0	0	2
10日	0	11	0	0	3	0	0	0	0	11	0	8	1	1	1	0	0	5	0	0	10	15	0	0	7	0	0	0	2
11日	0	25	1	0	4	0	0	0	7	18	0	24	3	1	0	1	0	12	0	0	25	35	0	17	75	0	0	5	43
12日	0	12	0	1	9	0	0	0	5	17	0	24	0	2	0	0	1	7	0	0	28	28	0	7	10	0	0	1	5
13日	0	7	0	0	6	0	3	0	3	21	0	10	1	2	0	0	0	9	0	0	18	16	0	12	67	0	0	3	79
14日	0	3	0	0	4	0	2	2	1	19	0	2	2	0	0	0	0	3	0	0	10	12	0	1	9	0	0	6	21
15日	0	5	0	2	8	0	0	1	4	11	1	9	3	0	0	0	0	14	0	0	7	4	0	9	27	0	0	2	14
16日	0	7	0	0	19	0	2	0	4	23	0	0	7	2	0	0	0	15	0	0	7	42	0	49	18	0	0	0	15
17日	0	7	1	1	10	0	0	3	1	24	0	11	4	0	0	0	1	8	0	0	7	16	0	1	38	0	0	0	18
18日	0	11	0	0	14	0	0	0	6	26	0	11	2	0	0	0	0	2	0	0	12	14	0	5	43	1	0	3	7
19日	0	1	0	0	3	2	0	0	6	26	0	5	1	0	0	0	0	1	0	0	14	25	0	19	13	0	0	2	42
20日	0	0	0	2	2	0	0	0	5	12	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	9	0	1	7	0	0	1	17
21日	0	6	0	0	7	0	1	0	6	17	0	0	1	5	0	0	0	2	0	1	11	40	0	29	15	0	0	3	66
22日	0	4	0	2	2	0	0	0	5	8	0	2	0	5	0	0	0	1	0	0	9	51	0	42	6	0	0	2	50
23日	0	3	0	1	0	0	4	0	8	19	0	3	4	2	5	0	0	0	0	0	35	84	0	161	11	0	0	2	4
24日	0	16	1	2	4	1	0	2	23	24	0	3	8	9	7	0	2	2	0	1	37	102	0	66	3	0	0	3	14
25日	0	14	0	0	5	0	0	0	16	14	3	1	4	5	2	0	5	3	0	0	5	25	0	40	5	0	0	2	24
26日	0	1	0	0	2	0	0	0	4	5	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4	23	0	4	0	0	0	0	3
27日	0	15	0	3	2	0	3	1	18	7	0	2	1	3	3	0	0	2	0	1	16	8	0	40	10	0	0	1	25
28日	0	20	0	1	10	0	0	0	19	21	0	2	1	1	4	0	1	2	0	0	10	12	0	86	16	0	0	1	15
29日	0	7	0	2	4	1	0	2	21	14	0	1	0	3	1	0	1	4	1	0	0	8	0	24	3	0	0	0	0
30日	0	2	0	1	5	0	0	0	13	9	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	25	0	55	10	0	0	0	5
31日	0	8	1	1	3	1	1	0	7	6	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	11	16	0	15	31	0	0	1	3

畑地 2017年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ピロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソハリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソドリカスミカメ	ツマゲロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ	
8月1日	0	5	0	0	2	0	0	0	12	7	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	16	10	0	0	6	0	0	0	0	
2日	0	3	0	0	1	0	0	0	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	4	0	2	8	0	0	0	0	
3日	0	2	0	1	0	0	0	0	14	9	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	9	0	9	60	0	0	0	8	
4日	0	4	0	1	0	0	1	1	10	7	0	0	0	2	1	0	0	3	0	0	10	11	0	4	177	0	0	2	8	
5日	0	11	5	0	2	0	0	0	16	4	0	0	0	3	1	0	0	5	0	1	24	9	0	27	45	0	0	4	0	
6日	0	3	2	1	0	0	0	0	10	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	21	0	12	46	0	0	0	0	
7日	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
8日	0	7	0	0	19	2	2	0	12	3	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	5	0	0	10	0	0	0	0	
9日	0	46	6	0	2	2	2	0	18	7	0	2	0	1	23	2	0	10	2	11	0	42	0	43	68	0	0	0	0	
10日	0	69	3	2	10	0	0	0	12	13	0	0	1	0	84	5	1	19	0	8	2	65	0	26	76	2	0	31	2	
11日	0	7	4	3	4	0	0	0	14	8	0	0	0	0	5	0	0	5	0	2	14	38	0	7	100	2	0	18	0	
12日	0	1	0	0	5	0	0	0	0	11	0	0	0	0	3	0	0	5	0	0	1	2	0	0	14	0	0	1	1	
13日	0	10	1	1	9	0	0	0	10	7	0	4	0	0	19	0	1	11	0	22	6	55	0	2	164	0	0	17	0	
14日	0	22	2	1	9	0	0	0	19	4	0	1	0	1	21	0	0	23	0	6	4	87	0	2	221	2	0	6	2	
15日	0	12	2	0	0	0	0	0	11	8	0	0	1	0	2	0	0	2	0	6	11	180	0	2	640	4	0	0	0	
16日	1	23	12	6	0	0	0	0	14	8	0	0	0	1	2	0	0	17	2	7	4	56	0	2	128	2	0	0	2	
17日	0	39	21	8	2	1	0	0	14	14	0	0	0	1	8	0	1	63	3	2	1	30	0	2	66	0	0	0	0	
18日	0	86	20	16	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	14	0	0	38	0	12	3	33	0	4	120	1	0	1	1	
19日	0	39	0	4	4	0	0	0	12	13	0	0	0	0	4	2	0	24	1	11	4	23	0	2	90	0	0	0	0	
20日	0	27	8	4	7	0	1	0	5	8	0	0	0	2	31	0	0	17	4	70	5	63	0	4	25	0	0	8	0	
21日	0	24	6	5	8	0	0	0	5	5	0	0	0	0	12	0	0	67	0	36	2	20	0	5	11	0	0	6	0	
22日	0	69	2	12	6	0	0	0	14	14	0	0	1	1	19	2	0	49	1	53	9	89	0	5	89	0	0	18	1	
23日	0	32	0	5	5	0	0	0	5	6	0	0	14	0	0	0	0	31	0	7	4	9	0	1	15	0	0	7	0	
24日	0	26	3	7	4	0	0	0	6	11	0	0	0	0	9	0	3	78	0	21	0	24	1	0	6	0	0	1	1	
25日	0	50	0	3	5	1	2	0	6	9	0	0	0	0	15	2	9	75	1	15	2	55	0	4	36	0	0	0	0	
26日	0	10	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	19	0	1	2	7	0	2	2	0	0	0	0	
27日	0	35	0	2	3	0	0	0	7	9	0	2	0	1	1	0	0	38	0	11	5	31	0	2	23	0	0	2	0	
28日	0	58	1	3	0	3	1	0	5	11	0	0	0	0	8	1	7	41	0	9	6	25	0	30	27	1	0	3	0	
29日	0	91	2	12	3	0	0	0	1	11	0	0	1	0	15	0	14	73	0	2	1	35	0	49	35	3	0	3	0	
30日	0	15	4	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	1	0	0	33	0	1	3	10	0	2	10	2	0	0	0	
31日	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月1日	0	11	0	0	3	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	1	0	23	0	1	10	10	0	0	5	0	0	0	0	
2日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
3日	0	9	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	6	0	0	2	0	0	0	0	
4日	0	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2	2	10	0	35	4	0	0	1	0	
5日	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	32	0	10	12	74	0	90	30	0	0	20	0	
6日	0	37	4	1	1	0	0	0	2	7	0	0	1	1	0	0	17	64	0	5	3	16	0	158	4	5	0	7	0	
7日	0	55	11	1	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	1	0	4	131	0	1	3	38	0	173	4	5	0	1	0	
8日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	79	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	
9日	0	5	3	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	89	0	2	1	9	0	41	8	0	0	0	0	
10日	0	26	2	0	2	0	1	0	3	6	0	0	0	0	0	0	1	93	0	2	0	31	0	47	14	0	0	3	0	
11日	0	21	4	0	1	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	2	45	0	1	0	26	0	18	5	0	0	0	0	
12日	0	20	0	0	1	0	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0	1	107	0	2	3	12	0	13	5	2	1	0	0	
13日	0	9	3	0	0	0	0	0	1	8	0	0	1	0	0	1	6	39	0	0	2	6	0	16	1	0	0	0	0	
14日	0	4	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	22	0	10	0	0	0	0	0	
15日	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	18	0	0	1	0	0	0	0	
16日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	
17日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
18日	0	18	3	0	1	0	0	0	1	15	0	0	0	0	0	1	1	7	0	2	0	3	0	1	2	0	0	0	0	
19日	0	204	30	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	6	9	0	4	0	15	0	25	22	30	28	4	0	
20日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
21日	0	4	5	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0	26	0	8	0	2	0	1	0	
22日	0	1	7	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4	0	0	1	3	0	0	0	
23日	0	7	6	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
24日	0	34	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	
25日	0	32	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	
26日	0	37	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	23	0	3	0	7	0	0	1	2	0	0	0	
27日	0	9	16	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	10	0	0	0	3	0	0	0	
28日	0	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	
29日	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2017年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ピロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソハリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソドリカスミカメ	ツマゲロヨコバイ	ヒメトビウシカ	セジロウシカ	トビイロウシカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ
10月1日	0	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	4	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	5	0	0	0	0	3	0	0	0
3日	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	52	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	41	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0
10日	0	30	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0
12日	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
14日	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
15日	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
28日	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



地区 2017年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	12
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8
9日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	24
11日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	46
12日	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
14日	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
15日	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
16日	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
17日	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87
18日	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
19日	0	0	0	25	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18
20日	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
21日	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11
22日	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	1	58	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	40
23日	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	87	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	36
24日	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	4	116	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	120
25日	0	0	0	32	0	0	0	1	0	0	5	52	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	113
26日	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109
27日	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	69
28日	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	1	62	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	49
29日	0	0	0	35	0	0	0	1	0	0	1	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	21
30日	0	0	0	21	0	1	0	0	0	0	10	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	21
31日	0	0	0	19	1	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2017年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	0	0	0	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
4日	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	38
5日	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	2	0	0	0	2	5	0	25
6日	0	0	3	7	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
7日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	1	0	3	6	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
9日	0	0	1	12	1	0	0	0	3	0	12	19	0	9	0	0	0	0	0	2	3	0	0	23
10日	1	0	1	8	3	0	1	0	0	0	3	12	0	7	0	0	0	1	0	0	4	3	0	47
11日	2	0	3	8	1	0	0	0	0	0	1	4	0	3	0	0	0	2	0	0	0	2	0	14
12日	2	0	1	6	2	0	0	0	0	0	2	0	0	5	0	0	0	9	0	0	0	1	0	4
13日	2	0	1	3	3	0	0	0	0	0	3	1	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	11
14日	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	8	11	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	20
15日	2	0	3	5	0	0	0	1	0	0	26	2	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	34
16日	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	12	0	3	0	0	0	2	0	0	0	2	0	5
17日	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	0	0	7	0	0	1	1	0	14
18日	1	0	0	3	6	0	0	2	0	0	3	4	0	2	0	0	0	4	0	0	1	0	0	22
19日	3	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	6	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	13
20日	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	54	0	0	0	1	0	6
21日	2	0	6	1	0	1	1	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	41	0	0	0	0	0	34
22日	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	2	6	0	4	0	0	0	27	0	0	0	2	0	14
23日	2	0	3	2	1	0	1	0	0	0	3	0	0	6	0	0	0	28	0	0	0	1	0	11
24日	3	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	11	0	0	0	0	0	14
25日	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	13	0	0	0	0	0	19
26日	2	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	35	0	0	0	0	0	1
27日	3	0	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
28日	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	7
29日	2	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
30日	2	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	2
31日	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
9月1日									0	0	0	0									0	0	0	1
2日									0	0	0	0									0	0	0	0
3日									0	0	0	0									0	0	0	0
4日									0	0	0	0									0	0	0	0
5日									0	0	0	1									0	0	0	8
6日									0	0	0	2									0	0	0	3
7日									1	0	0	2									0	0	0	15
8日									0	0	0	0									0	0	0	1
9日									0	0	0	0									0	0	0	1
10日									0	0	0	0									0	0	0	3
11日									0	0	0	0									0	0	0	3
12日									0	0	0	0									0	0	0	2
13日									0	0	0	0									0	1	0	5
14日									0	0	0	0									0	0	0	0
15日									0	0	0	0									0	0	0	0
16日									0	0	0	0									0	0	0	0
17日									0	0	0	0									0	0	0	0
18日									0	0	0	0									0	0	0	3
19日									0	0	0	0									0	0	0	1
20日									0	0	0	0									0	0	0	0
21日									0	0	0	0									0	0	0	0
22日									0	0	0	0									0	0	0	0
23日									0	0	0	0									0	0	0	0
24日									0	0	0	0									0	0	0	0
25日									0	0	0	0									0	0	0	0
26日									0	0	0	0									0	0	0	3
27日									0	0	0	0									0	0	0	0
28日									0	0	0	0									0	0	0	0
29日									0	0	0	0									0	0	0	0
30日									0	0	0	0									0	0	0	0

d 県予察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀灯)

畑地 2017年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	2	0	0	0
15日	0	0	1	3	0	3	0	0	0
16日	0	0	2	6	0	2	0	0	0
17日	0	0	0	11	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	3	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
24日	0	0	0	11	0	1	0	0	0
25日	0	0	0	4	0	2	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	6	0	0	1	0	0	0
30日	0	0	0	57	0	1	0	0	0
5月1日	0	0	0	12	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	15	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	48	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	47	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	125	0	0	0	0	0
6日	0	0	26	276	1	0	0	0	0
7日	0	0	0	21	1	0	0	0	0
8日	0	0	7	214	0	1	0	0	0
9日	0	0	0	7	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	109	0	0	0	0	0
11日	0	0	4	179	0	0	0	0	0
12日	0	0	2	59	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	46	0	0	0	0	0
14日	0	0	1	168	0	0	0	0	0
15日	0	0	3	216	1	0	0	0	0
16日	0	0	1	32	0	0	1	0	0
17日	0	0	0	15	0	1	0	0	0
18日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
19日	0	0	2	9	0	0	1	0	0
20日	0	0	2	49	0	1	0	0	0
21日	0	0	1	14	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
23日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
24日	0	0	3	4	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
26日	0	0	1	3	0	1	3	0	0
27日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
29日	0	0	1	5	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	8	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	6	0	0	0	0	0

畑地 2017年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	0	9	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	1	0	6	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	2	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	2	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
16日	0	0	0	0	0	2	1	0	0
17日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	2	0	0	0
19日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
20日	0	0	2	1	0	4	2	0	0
21日	0	0	2	1	0	0	0	0	0
22日	0	0	2	3	0	0	4	0	0
23日	0	0	0	0	0	2	5	0	0
24日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	1	0	1	1	3	0	0
26日	0	0	2	1	0	3	4	0	0
27日	0	0	1	0	0	0	5	0	0
28日	0	0	2	0	0	1	3	0	0
29日	0	0	4	1	0	1	5	0	0
30日	0	0	13	1	1	0	0	0	0
7月1日	0	0	10	6	1	0	0	0	0
2日	0	0	13	1	0	0	0	0	0
3日	0	0	24	0	1	0	0	0	0
4日	0	0	8	1	1	0	0	0	0
5日	0	0	17	1	5	0	0	0	0
6日	0	0	3	0	6	0	0	0	0
7日	0	0	6	1	2	0	1	0	0
8日	0	0	10	3	1	0	1	1	0
9日	0	1	1	0	2	0	0	0	0
10日	0	0	9	0	3	0	0	0	0
11日	0	0	5	0	4	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	9	0	0	0	0
13日	0	0	7	2	3	0	2	0	0
14日	0	0	0	2	1	0	4	0	0
15日	0	1	1	0	0	0	0	0	0
16日	0	2	2	0	1	0	1	0	0
17日	0	1	1	1	1	0	1	0	0
18日	0	1	1	0	0	1	0	0	0
19日	0	4	4	0	0	2	0	0	0
20日	0	2	2	0	7	1	2	0	0
21日	0	0	5	0	2	1	3	0	0
22日	0	1	3	0	0	0	5	0	0
23日	0	1	4	0	2	1	0	0	0
24日	0	0	4	0	4	1	1	0	0
25日	0	0	4	0	2	1	1	0	0
26日	0	0	2	0	1	4	0	0	0
27日	0	1	1	0	1	1	3	0	0
28日	0	0	1	0	8	1	3	0	0
29日	0	0	1	0	4	3	4	0	0
30日	0	0	2	2	0	4	1	0	0
31日	0	1	0	2	0	3	4	0	0

畑地 2017年	畑地								
	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
8月1日	0	0	5	1	6	1	2	0	0
2日	0	0	3	0	1	0	0	0	0
3日	0	0	5	2	3	0	1	0	0
4日	0	0	4	1	2	3	3	0	0
5日	0	1	7	0	11	1	1	0	0
6日	0	0	16	3	17	1	4	0	0
7日	0	0	7	2	2	0	0	0	0
8日	0	0	18	8	13	1	0	0	0
9日	0	0	12	1	21	2	0	0	0
10日	0	0	17	5	11	0	1	0	0
11日	0	0	8	0	14	0	0	0	0
12日	0	0	5	2	20	0	2	0	0
13日	0	0	6	2	7	1	0	0	0
14日	0	0	12	3	13	2	0	0	0
15日	0	0	12	1	13	1	2	0	0
16日	0	0	4	1	3	0	0	0	0
17日	0	0	10	1	12	1	0	0	0
18日	0	0	19	4	6	0	0	0	0
19日	0	0	22	6	22	0	0	0	0
20日	0	0	26	6	16	0	0	0	0
21日	0	0	19	7	23	0	0	0	0
22日	0	0	21	6	16	0	0	0	0
23日	0	0	24	10	12	1	0	0	0
24日	0	0	19	4	6	0	0	0	0
25日	0	1	20	6	18	0	0		
26日	0	0	16	9	3	3	1	0	0
27日	0	0	17	11	1	0	0	0	0
28日	0	0	23	9	7	2	0	0	0
29日	0	0	26	6	3	0	1	0	0
30日	0	0	27	10	5	1	1	0	0
31日	0	0	6	4	0	0	0	0	0
9月1日	0	4	31	4	3	0	0	0	0
2日	0	0	24	3	2	0	0	0	0
3日	0	1	37	2	3	0	0	0	0
4日	0	1	14	8	3	1	0	0	0
5日	0	0	6	2	2	2	0	0	0
6日	0	1	38	12	4	0	0	0	0
7日	0	0	3	3	0	0	0	0	0
8日	0	2	16	1	0	1	0	0	0
9日	0	2	11	1	2	1	0	0	0
10日	0	2	20	17	0	0	0	0	0
11日	0	1	9	13	1	0	0	0	0
12日	0	0	13	11	1	1	0	0	0
13日	0	1	12	10	1	0	0	0	0
14日	0	0	11	7	0	0	0	0	0
15日	0	0	19	41	2	0	0	0	0
16日	0	0	1	17	0	0	0	0	0
17日	0	0	2	3	0	0	0	0	0
18日	0	0	67	11	0	0	0	0	0
19日	0	0	23	13	0	0	0	0	0
20日	0	2	23	15	0	0	0	0	0
21日	0	1	30	113	0	0	0	0	0
22日	0	0	47	48	1	1	0	0	0
23日	0	2	181	1,966	2	0	0	0	0
24日	0	1	117	513	2	0	0	0	0
25日	0	0	7	17	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	2	4	0	0	0	0	0
29日	0	0	2	19	0	0	0	0	0
30日	0	0	3	24	0	0	0	0	0

畑地 2017年	畑地								
	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
10月1日	0	0	247	3,570	5	0	0	0	0
2日	0	1	10	197	1	1	0	0	0
3日	0	0	8	164	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
5日	0	0	3	7	0	0	0	0	0
6日	0	0	9	576	2	0	0	0	0
7日	0	1	58	416	1	0	0	0	0
8日	0	1	195	2,142	1	0	1	0	0
9日	0	0	103	848	1	0	0	0	0
10日	0	0	100	790	1	0	0	0	0
11日	0	0	45	853	0	0	0	0	0
12日	0	0	32	1,844	2	0	0	0	0
13日	0	0	6	337	1	0	1	0	0
14日	0	0	1	675	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	316	0	0	0	0	0
16日	0	0	2	506	1	0	0	0	0
17日	0	0	1	13	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	64	0	0	1	0	0
19日	0	1	6	343	0	0	0	0	0
20日	0	0	4	1,886	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	70	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
23日	0	0	1	4	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	38	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	6	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	11	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	38	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	571	0	1	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	34	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	17	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	13	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	43	0	1	0	0	0
10日	0	0	0	6	0	1	0	0	0
11日	0	0	0	6	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	19	0	1	0	0	0
30日	0	0	0	7	0	0	0	0	0

## (1)フェロモントラップ

a ガ類(フェロモントラップ) ハスモンヨトウ以外は粘着板式

2017年

月	半旬	ハスモンヨトウ (箱式)	コナガ	ネギコガ	オオタバコガ	シロイチモジ ヨトウ	チャノコカク モンハマキ	チャハマキ	ナンシメ シンクイ
1月	1		1	2					
	2		0	0					
	3		0	0					
	4		0	0					
	5		1	1					
	6		1	2					
2月	1		0	0					
	2		1	0					
	3		0	1					
	4		1	0					
	5		1	0					
	6		0	0					
3月	1	0	1	1					0
	2	0	1	1					0
	3	0	0	0					0
	4	0	1	0					0
	5	0	2	0					0
	6	0	2	0					3
4月	1	1	4	0	0	1	0	0	4
	2	1	0	0	0	0	6	1	39
	3	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	3	1	0	0	20	19	110
	5	0	3	10	0	0	16	6	14
	6	1	0	7	0	0	3	3	3
5月	1	1	0	12	0	0	28	13	9
	2	2	1	20	0	0	18	11	7
	3	17	2	11	1	0	11	6	1
	4	22	10	32	1	0	0	0	1
	5	11	17	10	1	0	3	3	5
	6	1	1	1	0	0	1	3	19
6月	1	3	3	0	2	2	5	3	4
	2	9	13	2	0	0	2	1	9
	3	24	8	0	0	0	33	9	13
	4	5	6	2	0	2	20	5	10
	5	10	20	111	7	6	16	12	7
	6	10	7	22	11	0	10	15	11
7月	1	37	17	20	4	8	7	25	20
	2	84	17	10	7	12	4	21	47
	3	33	9	3	4	10	0	1	30
	4	29	43	11	4	17	5	6	42
	5	13	16	2	4	5	1	0	15
	6	15	1	0	29	14	7	8	89
8月	1	34	0	0	39	58	0	6	42
	2	42	1	2	12	32	0	11	82
	3	67	1	1	3	38	2	1	35
	4	44	3	6	8	15	1	0	33
	5	34	0	0	1	12	0	0	27
	6	161	0	3	1	46	5	4	89
9月	1	131	0	1	0	22	0	1	11
	2	152	1	3	1	20	1	1	48
	3	218	1	7	1	17	3	3	97
	4	281	5	1	0	47	7	2	89
	5	32	6	7	11	47	4	1	32
	6	41	0	2	1	23	0	0	0
10月	1	250	4	5	4	16	6	6	7
	2	153	5	5	13	5	4	13	0
	3	275	9	0	11	10	1	22	1
	4	400	0	0	5	7	5	3	1
	5	184	0	0	2	2	0	3	3
	6	141	3	7	88	0	1	0	0
11月	1	75	1	0	13	3	6	2	0
	2	27	3	0	4	1	2	1	0
	3	37	4	0	2	0	0	0	0
	4	3	6	0	0	0	0	0	0
	5	0	4	0	0	0	0	0	0
	6	16	11	11	0	0	1	0	0
12月	1	1	1	9	0	0	2		
	2	0	0	5	0	0	0		
	3	0	4	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2017年	平年値	2017年	平年値	2017年	平年値
5月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.6
	中旬	0	0.1	0	0.1	0	1.2
	下旬	0	0.0	1	2.4	5.5	5.2
6月	上旬	0	0.0	11	17.7	10	7.7
	中旬	0	0.4	20	61.9	23	8.6
	下旬	2	1.6	6	33.7	8	8.6
7月	上旬	2	2.8	2	37.1	4	4.7
	中旬	11	6.3	5	55.4	3	1.4
	下旬	50	13.9	3	56.7	1	0.9
8月	上旬	36	20.3	3	38.2	1	0.5
	中旬	15	14.7	6	40.6	0	0.0
	下旬	6	7.8	3	26.0	0	0.0
9月	上旬	6	3.3	2	21.6	0	0.0
	中旬	3	0.8	0	7.3	0	0.0
	下旬	0	0.8	1	3.1	0	0.0
10月	上旬	0	0.1	1	2.5	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		131	72.9	64	404.2	55.5	39.4

c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	6.0	2.1
3	15.2	4.3
4	22.6	31.4
5月.1	51.8	43.9
2	49.8	46.2
3	55.6	39.0
4	53.5	28.9
6月.1	51.1	30.9
2	127.0	62.7
3	148.1	125.6
4	178.1	316.9
7月.1	293.7	638.8
2	381.3	431.7
3	323.7	152.0
4	272.6	42.0
8月.1	302.7	50.7
2	190.4	37.0
3	97.0	14.9
4	54.3	15.7
9月.1	58.8	17.9
2	66.4	45.8
3	82.5	119.0
4	68.7	164.1
10月.1	64.1	141.7
2	45.1	91.0
3	20.9	11.9
4	9.1	43.0
11月.1	8.5	39.6
2	4.1	19.1
3	0.2	0.4
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	3.4	0.7
3	13.1	1.1
4	21.6	26.0
5月.1	91.2	50.6
2	89.0	51.6
3	142.9	78.0
4	135.3	56.9
6月.1	166.1	92.8
2	281.0	109.5
3	336.2	155.9
4	329.1	328.1
7月.1	475.2	576.0
2	558.4	388.7
3	608.1	240.6
4	568.3	42.2
8月.1	551.6	37.3
2	434.1	18.0
3	313.1	11.0
4	143.7	31.2
9月.1	102.6	63.3
2	65.2	46.2
3	37.9	36.0
4	19.1	50.2
10月.1	19.8	34.3
2	14.8	10.6
3	6.5	1.1
4	2.0	4.3
11月.1	1.8	4.5
2	0.9	2.2
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	1.2	0.0
4	1.9	4.2
5月.1	21.8	10.8
2	49.5	17.0
3	87.0	22.0
4	32.8	31.0
6月.1	19.2	9.3
2	19.6	9.8
3	27.0	9.6
4	29.0	43.3
7月.1	60.4	55.5
2	121.6	19.1
3	148.0	4.1
4	112.2	0.7
8月.1	97.9	0.6
2	86.6	3.0
3	53.8	17.3
4	24.6	33.4
9月.1	24.9	47.9
2	19.7	24.4
3	8.7	11.3
4	5.4	14.5
10月.1	6.2	7.7
2	4.3	10.9
3	2.0	1.5
4	1.3	4.4
11月.1	0.8	1.9
2	0.4	0.7
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
5月.1	1.5	5.6
2	2.2	4.4
3	4.6	7.0
4	3.2	1.8
6月.1	3.2	0.9
2	5.8	3.8
3	4.7	5.1
4	2.7	2.3
7月.1	3.2	1.6
2	2.8	0.6
3	3.0	0.0
4	3.5	0.3
8月.1	1.8	0.7
2	1.7	2.0
3	0.8	0.0
4	1.2	0.9
9月.1	2.2	3.3
2	3.4	4.1
3	5.2	9.0
4	5.4	12.3
10月.1	9.9	12.3
2	14.1	32.8
3	11.7	6.3
4	5.1	13.1
11月.1	3.5	18.7
2	1.8	9.5
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	0.4	0.0
4	0.9	1.7
5月.1	3.8	4.1
2	3.5	6.2
3	7.7	10.0
4	9.1	7.9
6月.1	9.4	11.3
2	10.8	13.2
3	4.3	8.1
4	1.9	1.5
7月.1	1.0	0.0
2	0.9	0.4
3	0.6	0.6
4	0.6	0.0
8月.1	0.6	0.0
2	1.0	0.0
3	0.9	0.0
4	0.4	0.7
9月.1	1.1	2.8
2	1.2	2.6
3	2.0	2.5
4	2.1	3.4
10月.1	9.3	4.6
2	11.8	2.3
3	10.2	3.8
4	5.2	2.2
11月.1	1.2	1.6
2	0.8	0.7
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.7
3	0.6	0.3
4	0.8	0.8
5月.1	4.2	3.2
2	4.6	14.0
3	5.7	7.0
4	3.8	20.0
6月.1	1.2	0.7
2	1.1	0.3
3	1.1	0.0
4	0.6	0.0
7月.1	0.4	0.0
2	0.4	0.0
3	0.8	0.0
4	0.7	0.0
8月.1	0.3	0.0
2	0.3	0.0
3	0.2	0.0
4	0.4	1.3
9月.1	1.1	3.0
2	1.5	2.2
3	3.3	6.5
4	4.2	18.9
10月.1	19.9	39.7
2	24.6	18.6
3	22.6	38.9
4	8.7	24.5
11月.1	4.7	18.8
2	2.6	9.3
3	0.5	0.4
4	0.0	0.0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.8	0.0
5月.1	4.9	6.9
2	6.8	7.1
3	8.5	5.0
4	5.7	7.0
6月.1	7.2	2.3
2	12.6	2.4
3	6.8	1.9
4	4.0	1.1
7月.1	5.7	1.6
2	10.1	1.1
3	9.1	1.1
4	6.2	0.4
8月.1	5.9	0.0
2	4.0	1.0
3	3.0	0.9
4	2.5	2.1
9月.1	3.8	0.4
2	5.1	4.6
3	8.8	7.2
4	9.6	17.3
10月.1	23.5	60.6
2	21.3	37.0
3	6.6	4.9
4	3.6	16.4
11月.1	1.1	2.7
2	0.2	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.3	0.0
4	1.9	0.0
5月.1	12.4	5.7
2	21.4	5.3
3	34.6	46.0
4	42.6	57.8
6月.1	53.9	39.4
2	77.5	38.4
3	42.8	19.2
4	17.5	6.8
7月.1	12.3	9.8
2	11.4	4.6
3	8.2	1.7
4	4.4	0.4
8月.1	4.0	0.0
2	3.2	0.0
3	2.0	0.0
4	1.5	0.0
9月.1	2.2	0.0
2	2.2	0.0
3	2.5	1.7
4	2.3	2.5
10月.1	2.7	3.4
2	2.3	2.2
3	0.9	0.3
4	0.4	1.7
11月.1	0.1	0.3
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.0	0.0
5月.1	0.3	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
6月.1	0.1	0.0
2	0.2	0.0
3	0.3	0.0
4	0.1	0.0
7月.1	0.5	0.0
2	0.7	0.0
3	1.6	0.0
4	2.0	0.0
8月.1	1.0	0.0
2	0.3	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
9月.1	0.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.3	0.0
4	1.0	0.0
10月.1	1.4	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
11月.1	0.1	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

### (3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査

2009年4月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下 PPV)の感染が確認された。PPV は我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内に産地が散在するウメおよび観光園地のウメを対象に、発生状況を把握するため、本年度も引き続き調査を実施した。

#### ① 全国発生状況調査

##### a 調査方法

ウメ等を対象樹種とし、新葉が展開して病徴明瞭となる時期に、目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

※調査要領の改正により29年度から果樹生産等地域の調査は県の任意対応となったため、4月～6月の巡回調査で調査を実施することとした。

##### b 調査地点

地区	市町	調査地点数	調査作物	調査時期
津	津市	1	ウメ	2017年4月上旬～ 6月上旬
伊勢志摩	南伊勢町	1	ウメ	2017年4月上旬～ 6月上旬
紀州	御浜町、紀宝町	2	ウメ	2017年4月上旬～ 6月上旬
計		4		

##### c 調査結果

全ての調査区において感染と思われる症状は確認されなかった。

#### ② 発生監視調査

平成28年度の廃棄処分を受けて、感染植物が確認された地域において、一定範囲の全ての宿主植物について感染の有無を調査し、感染の再発・広がりなどを確認した。

##### a 調査方法

感染が確認された観光園地および感染樹から半径500mを含む範囲において、5月下旬～6月中旬に調査を実施した。目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認し、ウメは病徴が認められた樹、その他の宿主植物は病徴の有無にかかわらず全ての樹から、検定試料を採取した。試料は1樹当たり5葉とし、全国発生状況調査と同様に、検定実施のため名古屋植物防疫所へ送付した。

##### b 調査地点

感染樹発生園地は単独で1調査地点とし、5月24日に調査を実施した。

感染樹発生園地を除く調査地域については、6月14日に14地点を調査した。

##### c 調査結果

感染樹発生園地では、調査対象となる宿主植物としてウメ463本、モモ9本を確認した。このうち、ウメ2本

モモ 9 本から試料を採取し名古屋植物防疫所が検定した結果、新たな感染は確認されなかった。

感染樹発生園地を除く調査地域では、ウメ、モモなどの宿主植物計 39 本を調査した。このうちモモ、スモモなどウメ以外の宿主で計 11 本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、全て感染は確認されなかった。

#### (4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014 年 5 月に国内で最初の発生が確認され、2017 年 10 月時点で 13 都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため、調査を実施した。

##### a 調査方法

キウイフルーツを対象樹種とし、6 月に各調査園地内の全樹を対象に目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

##### b 調査地点

地域等	市町名	調査地点数	調査本数	調査日
北 勢	鈴鹿市	1	76	2017 年 6 月 23 日
中 勢	津 市	1	12	2017 年 6 月 26 日
南 勢	多気町	1	30	2017 年 6 月 26 日
計		3	118	

##### c 調査結果

全ての調査区において感染と思われる症状は確認されなかった。

## (5)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これら害虫の海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法： スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールとユーゲルア)を装填し、2017年4月5日に多気町五桂、4月6日に紀北町海野、紀南果樹研究室、4月7日に津市大里窪田町、4月10日に南伊勢町船越、4月11日に桑名市多度町小山に各1器ずつ設置した。1か月に2回程度(原則として、第2週及び第4週)、10月25日まで調査した。誘引用資材は、約1か月おきに交換した。

b 調査結果： 対象種の侵入は確認されなかった。

### 誘引頭数

調査月	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂					南伊勢町船越					紀北町海野					御浜町志原								
	ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール						
	ミカン コミバエ 群	ウリ ミバエ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他	ミ カ ン コ ミ バ エ 群	ウ リ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他	ミ カ ン コ ミ バ エ 群	ウ リ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他	ミ カ ン コ ミ バ エ 群	ウ リ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他	ミ カ ン コ ミ バ エ 群	ウ リ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他	ミ カ ン コ ミ バ エ 群	ウ リ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ	チ チュ ウ カ イ ミ バ エ	ミ ス ジ ミ バ エ 其 他				
4月			1									40	1				2															3		
5月			20				12					237	8				13														7			
6月												7																						
7月			21				1					4																				1		
8月			33				13					8					1																	
9月			29				30					21					1																7	
10月																																	1	
合計			104				56					317	9				17															19		

## (6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

### a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所花植木研究課に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2017年4月から9月まで、1か月に1回調査した。

かなめもちについては、2017年4月から8月まで、1か月に1回調査した。

### b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市笹川町	50
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	50

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所 花植木研究課圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

### c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

## 2. 巡回等データ

### (1) 水稻

#### a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低い(15~25℃でない)が湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15~25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- () : 好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上(数値は湿潤時間)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

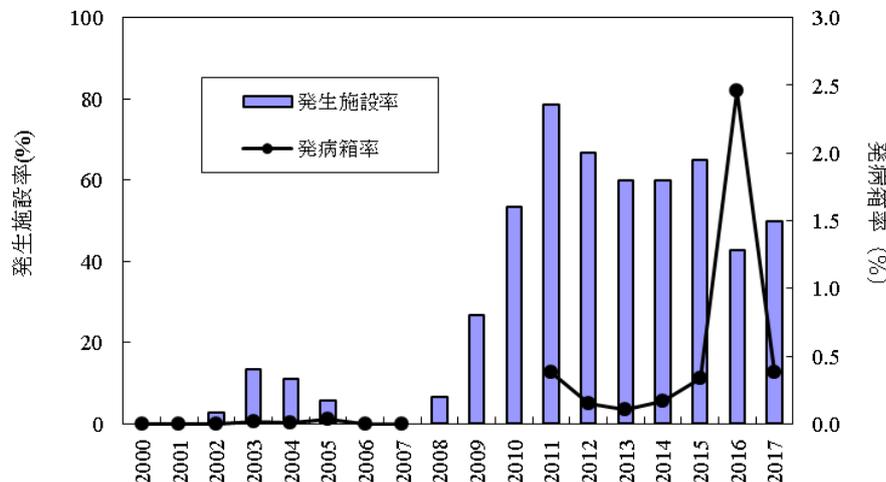
2016年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/05	-	-	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	(5)	△	-
5/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/07	-	-	-	-	◎	△	△	△	△	◎	-	-	-	
5/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/10	◎	-	-	(5)	(5)	(5)	(5)	-	(5)	(6)	(6)	(5)	(5)	
5/11	-	◎	△	(5)	(6)	◎	◎	◎	○	◎	-	-	-	
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/13	-	(5)	(5)	-	(6)	(8)	(5)	(8)	(7)	(6)	(6)	(7)	(7)	
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/25	●	●	●	(9)	●	(5)	-	-	-	-	(9)	-	◎	
5/26	●	●	(8)	(6)	-	(6)	(6)	-	-	(7)	●	(5)	(6)	
5/27	-	-	-	-	-	-	◎	-	●	-	-	-	-	
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/02	(5)	-	(7)	-	-	(5)	-	(6)	(7)	(6)	-	(7)	-	
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/07	-	-	◎	-	-	(9)	-	-	-	-	●	●	-	
6/08	△	(5)	-	(8)	(6)	(5)	(8)	-	◎	-	(9)	(9)	(7)	
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東海地方梅雨入り
6/22	-	-	-	-	-	-	(6)	-	-	-	-	-	-	
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/26	(5)	-	-	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/27	-	-	-	(6)	-	-	-	-	-	(7)	(7)	●	●	
6/28	●	●	●	●	●	(8)	●	(6)	(7)	(6)	●	-	●	
6/29	-	-	-	-	-	(7)	-	-	-	-	-	●	-	
6/30	-	-	-	(9)	-	-	●	(7)	-	(6)	(7)	-	-	

2016年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
7/01	(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	●	(8)	●	(7)	
7/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/03	○	●	—	—	—	—	○	—	●	—	—	—	—	
7/04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(5)	—	—	—	
7/06	—	—	▲	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	
7/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/08	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/10	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/11	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	▲	▲	▲	—	
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	
7/13	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	
7/14	—	—	—	—	—	(6)	—	(8)	—	(6)	(9)	—	—	
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	東海地方梅雨明け
7/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/18	—	—	—	(7)	(8)	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/21	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	(5)	—	—	
7/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/24	—	(7)	(8)	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	
7/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/26	—	—	—	—	—	○	—	—	(9)	—	—	—	—	
7/27	—	—	—	—	—	(9)	—	▲	—	(9)	(6)	—	○	
7/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	▲	—	
7/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	—	—	
7/30	(9)	(8)	(6)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	
8/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	
8/02	—	—	—	—	—	(5)	(8)	(8)	—	—	—	○	—	
8/03	—	▲	▲	—	—	▲	(7)	▲	▲	—	—	(7)	—	
8/04	(7)	(9)	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	
8/05	—	○	(9)	—	—	▲	(9)	(9)	○	—	(6)	—	—	
8/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/07	—	—	—	—	—	(6)	—	(5)	(5)	—	(6)	—	(7)	
8/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(5)	—	—	—	
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/12	○	(8)	○	—	—	—	(6)	—	○	(6)	—	—	—	
8/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	
8/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/15	(8)	(9)	(8)	(6)	▲	—	—	(7)	—	(6)	(6)	—	○	
8/16	▲	—	▲	—	—	▲	▲	▲	(5)	—	—	—	—	
8/17	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	(9)	▲	▲	—	
8/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	
8/19	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	(6)	—	
8/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	
8/23	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/28	—	—	(7)	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	
8/29	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	
8/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

b 5月データ

水稲育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2017年4月)

調査日	JA育苗施設		ばか苗病(コシヒカリ)			その他の品種			種子消毒 床土消毒 播種時散布剤	培土
			発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種		
4/10	鳥羽志摩	鶴方	2.6	13	500	-	-	あきたこまち	温湯消毒(2台中1台調子悪い) タチガレーム液剤	クリーン2号
	伊勢	北部	0.1	1	1,000	-	-	-	モミガード・スミチオン タチガレーム液剤	クリーン2号
	多気郡	多気	0.3	2	600	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤	サンバイド
	松阪	大足	0.9	5	576	2	288	キヌヒカリ	温湯消毒	サンバイド
		機殿	0.3	3	1,000	-	-	-	タチガレーム液剤	
4/12	鈴鹿	南部	0.0	0	1,000	0	1,000	あきたこまち	テクリードC・スミチオン タチガレーム液剤	クリーン2号
	みえきた	員弁	0.0	0	504	-	-	-	モミガードC・スミチオン タチガレーム液剤 播種時同時スタウトダントツ	クリーン2号 覆土三菱軽量
		桑名	1.5	16	1,084	-	-	-	テクリードC・スミチオン 対象によって温湯消毒 タチガレーム液剤	クリーン2号
	津安芸	楡形	0.1	1	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤	クリーン2号
	いがほくふ	阿山	0.0	0	1,000	0	1,000	キヌヒカリ みえのゆめ	温湯消毒 タチガレーム液剤	クリーン2号 一部城南培土
上野南		0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤 採種圃周辺はエコホープDJ追加 原種圃はテクリードC・スミチオン	クリーン2号	
4/13	伊賀南部	名張	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤 一部ルーチンアスピノ処理	クリーン2号
		-	-	-	0	400	みえのゆめ	エコホープDJ 一部モミガードC	クリーン2号	
	三重中央	白山	0.3	3	1,000	2	160	みえのえみ	種子消毒:酸性水 床土消毒:酸性水	クリーン2号
	一志東部	嬉野	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤	クリーン2号
三雲		0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレーム液剤	クリーン2号	
県全体平均(コシヒカリ)			0.4	(昨年2.5%)	発生施設率	8/16=50%	(昨年43%)*4/7巡回分は除く			



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2000年~2017年。巡回調査結果。コシヒカリのみ。2008~2010年は発生箱率未調査)

水稲病害虫の発生状況(2017年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ								葉いもち		
			発生圃場率 (%)	被害程度別圃場割合(%)					株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)
				甚	多	中	少	無					
桑名	5/11	18	55.6	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	0.02	21.8	5.4	0	22.2
四日市鈴鹿	5/8、5/10	47	48.9	0.0	0.0	2.1	46.8	51.1	0.03	10.0	2.9	0	42.6
津	5/10	35	31.4	0.0	0.0	0.0	31.4	68.6	0.01	4.2	1.1	0	42.9
松阪	5/9、5/10	34	44.1	0.0	0.0	5.9	38.2	47.1	0.01	8.5	2.5	0	44.1
伊勢志摩	5/8、5/9、5/12	40	77.5	0.0	0.0	7.5	70.0	22.5	0.07	25.6	6.8	0	15.0
伊賀	5/12	27	7.4	0.0	0.0	0.0	7.4	92.6	0.01	1.0	0.3	0	44.4
紀州	5/11	16	62.5	0.0	0.0	6.3	56.3	37.5	0.13	17.0	4.3	0	37.5
県全体		217	47.0	0.0	0.0	3.2	43.8	51.6	0.04	12.1	3.2	0	35.9
平年値(10年平均)			60.4	0.8	2.3	9.2	47.6	39.4	0.05	23.7	7.6	0	45.0

その他病害虫:紀州地区でスクミンゴガイの卵を確認

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2017年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり虫数(頭)
桑名	いなへ市北勢町阿下喜	キヌヒカリ	5/11	(移植までに使用した農薬…テクリードフロアブル、タチガシエース液剤、アブライバディート粒剤、ネチオン乳剤)	0	0	無	0
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	5/6	オリゼメート粒剤	0	0	無	0
	菟野町竹成	コシヒカリ	5月上旬頃	なし	0	0	無	0
	鈴鹿市天橋町	神の穂	5/6	ツインターボ箱粒剤08	8	2	少	0.08
	鈴鹿市御徳町	コシヒカリ	4/24	ツインターボ箱粒剤08	12	3	少	0
	亀山市山下町	コシヒカリ(予定)	未定植	スタウトダント箱粒剤08(予定)			未定植のため調査不能	
津	津市安東町	コシヒカリ	4/24または25	なし	0	0	無	0
	津市安濃町草生	-	-	-	0	0	無	0
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/26	(タチガシエース液剤)	0	0	無	0
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ(予定)	未定植	ルーチン粒剤(予定)			未定植のため調査不能	
	多気町見国	コシヒカリ	5/2	ジャック箱粒剤	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	4/26または27	ツインターボ箱粒剤08	16	4	少	0
伊勢 志摩	伊勢市門座町	コシヒカリ	4/22	オリゼメートオンコル粒剤	12	3	少	0.04
	玉城町蚊野	コシヒカリ	4/29	なし	56	14	少	0
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/18	バリアード箱粒剤	12	3	少	0.12
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/1または3	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/17	スタウトダント箱粒剤08	0	0	無	0
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
県庁農園	農業研究所	コシヒカリ	4/24	なし	3	1	少	0.01
定点平均	-	-	-	-	6.6	1.7	少	0.01
平年値(10年平均)	-	-	-	-	23.5	7.8	0.04	

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

コムギを指標作物とした、斑点米カメムシ類の発生状況(1圃場あたりのすくい取り成虫数)(2017年5月)

地区	調査地点	ミナミアオカメ ムシ	アオクサ カメムシ	ホソハリ カメムシ	シラホシ カメムシ類	アカスジ カスミカメ	アカヒゲホ ソドリカス ミカメ	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	0	0	0	0	8.5	0	5月24日くもり
四日市	菰野町竹成	0.5	0	0	0	17.5	0	5月24日くもり
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	0	0	0.5	0	12.5	0	5月24日くもり
津	津市殿村	0	0	0	0	1.8	0	5月24日くもり
松阪	松阪市藤之木	0	0	0	0	0.5	0	5月30日晴れ
	多気町兄国	0	0	0	0	1.8	0	5月30日晴れ
伊勢志摩	伊勢市村松	0	0	0	0	6.0	0	5月30日晴れ
伊賀	伊賀市西之澤	0	0	2.0	0	0.5	0	5月24日くもり
	伊賀市畑村	0	0	0	0	2.0	0	5月24日くもり
県全体	発生圃場率(%)	5.6	0	13.9	0	80.6	0	
	すくい取り成虫数	0.1	0	0.28	0	5.7	0	
4年平均	発生圃場率(%)	6.0	0.0	9.1	1.0	28.3	0.0	
	すくい取り成虫数	0.10	0.0	0.1	0.01	0.7	0.0	

すくい取り成虫数(頭/20回振・圃場)、各地点4圃場において調査。

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2017年6月)

地区	調査 月日	本田調査					置き苗調査			
		発生程度別圃場割合(%)					発生無	発病度	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する 割合%)
		発生有								
計	甚	多	中	少						
桑名	6/6,9	0	0	0	0	0	100	0	3.1	0
四日市鈴鹿	6/6,8	0	0	0	0	0	100	0	29.2	0
津	6/8	0	0	0	0	0	100	0	25.0	0
松阪	6/5	0	0	0	0	0	100	0	5.6	0
伊勢志摩	6/6,9	0	0	0	0	0	100	0	10.0	0
伊賀	6/7	0	0	0	0	0	100	0	21.4	0
紀州	6/7	0	0	0	0	0	100	0	6.3	0
県全体		0	0	0	0	0	100	0	15.7	0
10年平均		0	0	0	0	0	100	0	15.9	0.3

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2017年6月) 3地点10圃場について100m2条見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査		置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する 割合%)		
桑名	6/6	桑名市上ノ輪 桑名市長島町下坂手 いなべ市北勢町畑毛	0 0 0	10 30 0	0 0 0	0 0 0	移植日:5月26日頃 品種:キヌヒカリ 一部ほ場で藻の発生が多い。 移植日:4月10日頃 品種:コシヒカリ 一部で除草剤による葉害あり。 移植日:コシヒカリ 5月2~5日、キヌヒカリ 5月15~15日 水不足気味。
鈴鹿	6/2	鈴鹿市算所 鈴鹿市庄野 鈴鹿市須賀	0 0 0	0 10 20	0 0 0	0 0 0	
津市	6/2	一志町井生 一志町八太 白山町二本木	0 0 0	20 30 20	0 0 0	0 0 0	
松阪	6/8	岩内町東出 飯多 小野町字車 美濃田町内浦	0 0 0 0	0 0 0 20	0 0 0 0	0 0 0 0	一部で除草剤による葉害あり。 5圃場でスクミリンゴガイが多く発生、卵も見られる。
伊勢	6/6	伊勢市上地町 玉城町上田辺 度会町大野木	0 0 0	20 20 0	0 0 0	0 0 0	移植時期:5月中旬頃 藻の発生が目立つ。 藻の発生あり。
伊賀	6/8	猪田地区 森寺地区 比自岐地区	0 0 0	10 70 10	0 0 0	0 0 0	移植日:5月2日 品種:コシヒカリ 初期生育良好 ヒエ等雑草が多い。 初期生育良好 雑草少ない。 移植日:5月8日 品種:コシヒカリ 初期生育良好 雑草少なく、よく管理されている。
東紀州	6/8	熊野市金山 御浜町下市木 紀宝町井内	0 0 0	0 30 20	0 0 10	0 0 10	草丈:40cm 中干期 草丈:35~40cm 葉色薄い。生育均一 中干期 草丈:35cm スクミリンゴガイの発生が少ない。
県全体	平年値(10年平均)		0.0	16.2	0.5	0.5	-

水稲病害虫発生状況(2017年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査(虫数/10株)				イネドロオイムシ		イネ ゾウムシ	イネクロ カメムシ	フタオビコ ヤガ	イナゴ類	その他病害虫 (10株はらい落とし調査 および10m見取り調査)	
			セジロウンカ 成虫	ヒメトビウンカ 成虫	ツマグロヨコバイ 成虫	幼虫	イネミズ ゾウムシ	発生 圃場率(%)	被害度	被害発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)		発生 圃場率(%)
桑名	6/6,9	32	0	0	0.06	0.19	0.59	3.1	0.1	0	0	0	53.1	アカスジカスミガメ、ササキリ類、スクミリンゴガイ
四日市鈴鹿	6/6,8	48	0	0.04	0	0.04	0.42	4.2	0.1	4.2	2.1	0	41.7	アカスジカスミガメ、ササキリ類、スクミリンゴガイ
津	6/8	36	0	0.11	0	0.06	0.47	2.8	0.1	0	0	0	47.2	イナヅマヨコバイ、アカスジカスミガメ、ササキリ類、スクミリンゴガイ
松阪	6/5	36	0	0.17	0.03	0	0.33	2.8	0.2	0	0	0	8.3	アカスジカスミガメ、ササキリ類、スクミリンゴガイ
伊勢志摩	6/6,9	40	0	0.03	0.13	0.03	0.45	0	0	0	0	0	17.5	アカスジカスミガメ、アカヒゲホソドリカスミガメ、イネゾウムシ、ニカメイガ、スクミリンゴガイ
伊賀	6/7	28	0	0.04	0	0	0.04	0	0	0	0	0	67.9	アカスジカスミガメ、ササキリ類
紀州	6/7	16	0	0.06	0.00	0.25	0.19	0	0	12.5	0	0	25.0	アカヒゲホソドリカスミガメ、スクミリンゴガイ
県全体		232	0	0.06	0.03	0.06	0.38	2.1	0.1	1.7	0.42	0	36.9	
10年平均(※8年平均)			0.002	0.02	0.06	0.13	0.41	5.3	0.16※	25.8※	3.4	1.0	22.0※	

園場周辺の雑草地における斑点米カメシ類の発生状況(2017年6月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソカイカメシ成幼虫		クモヘリカメシ成幼虫		シラホシカメシ類成幼虫		アカスジカメシ成虫		アカヒゲホソドリカメシ成虫	
			発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数
桑名	6/6,9	16	6.3	0.1	0	0	0	0	56.3	1.9	25.0	0.9
四日市鈴鹿	6/6,8	24	4.2	0.04	0	0	0	0	54.2	2.5	8.3	0.3
津	6/8	16	0	0	0	0	5.6	0.06	22.2	0.9	0	0
松阪	6/5	18	11.1	0.1	0	0	11.1	0.39	38.9	4.0	0	0
伊勢志摩	6/6,9	20	0	0	0	0	0	0	65.0	5.9	5.0	0.3
伊賀	6/7	14	0	0	0	0	0	0	7.1	0.1	0	0
紀州	6/7	8	0	0	0	0	0	0	12.5	0.1	0	0
県全体		116	3.4	0.03	0	0	2.5	0.07	40.7	2.5	5.9	0.2
10年平均			8.7	0.2	0.2	0.01	5.1	0.1	36.8	2.1	9.9	0.3

※畦畔、のり田、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点園場における病害虫発生状況(2016年6月)

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネクロカメシ		その他病害虫 (見取り調査および園場内すくい取り虫数)
		発病度	発病程度	セジロウシカ成虫	ヒメトビウシカ成虫	ツマグロヨコバイ成虫	イネミスズクムシ幼虫	被害度	発生程度	成虫数(25株)	被害株率(%)		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ幼(5)
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ幼(1)、アカスジカメシ成(1)
	菟野町竹成	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	筋状に株枯れ
	鈴鹿市御薮町	0	無	0	0	0	0	3	0	無	0	0	
津	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	ササキリ類幼(1)
	津市安東町	0	無	0	0	1	2	0	0	無	0	0	
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
松阪	津市一志町井生	0	無	0	0	2	3	0	0	無	0	0	イナゴ幼(2)
	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカメシ成(1)、アカヒゲホソドリカメシ成(1)
伊勢志摩	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	1	1	0	無	0	0	ばか苗病、イナゴ幼(4)
	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
紀州	伊賀市甲野	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	0	
	紀北町紀伊長島区赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ幼(13)、アカスジカメシ成(1)
熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0		
県子寮園	農業研究所	0	無	0	0	1	5	1	0	無	0	0	フタオビコヤガ幼(1)

葉いもち発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

(参考)スクマリンゴカイによる被害の発生状況(2017年6月)

地区	調査月日	調査園場数	スクマリンゴカイの被害を確認したほ場の数	被害を確認した園場の割合(%)
桑名	6/6,9	32	3	9.4
四日市鈴鹿	6/6,8	48	2	4.2
津	6/8	36	2	5.6
松阪	6/5	36	2	5.6
伊勢志摩	6/6,9	40	1	2.5
伊賀	6/7	28	0	0.0
紀州	6/7	16	4	25.0
県全体		236	14	5.9

d 7月データ

水稲病害発生状況(2017年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち							紋枯病			
			程度別発生圃場率(%)					発生 無	発病度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/3	32	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/4	48	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
津	6/30,7/6	36	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
松阪	6/30,7/6	36	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	7/3,7	40	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
伊賀	7/7	28	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
紀州	7/5	16	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
県全体		236	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平年(10年平均)			20.4	0.0	0.0	2.1	18.3	79.6	1.9	5.3	3.1	6.8	0.8

水稲害虫発生状況(2017年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	はらい落とし調査(10株当たり)										見取り調査						
			セジロウムカ		トビイロウムカ		ヒメビロウムカ		ツマグロヨコバイ		イネミズノウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカ メイガ	イネ ヨトウ	
			発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	被害発生 圃場率(%)	被害 株率(%)	被害発生 圃場率(%)	被害発生 圃場率(%)
桑名	7/3	32	0	0	0	0	0	0	15.6	0.16	0.03	3.1	0.03	3.1	0	9.4	0.4	0	0
四日市鈴鹿	7/4	48	0	0	0	0	14.6	0.17	14.6	0.19	0.04	0	0	2.1	0.02	0	0	6.3	0
津	6/30,7/6	36	0	0	0	13.9	0.17	22.2	0.25	0.25	2.8	0.03	0	0	0	0	0	0	0
松阪	6/30,7/6	36	0	0	0	22.2	0.31	2.8	0.06	0	0	0	0	5.6	0.2	0	0	0	
伊勢志摩	7/3,7	40	0	0	0	25.0	0.25	32.5	0.20	0.33	7.5	0.08	2.5	0	0	0	2.5	0	
伊賀	7/7	28	0	0	0	0	0	3.6	0.04	0	0	0	7.1	0.07	0	0	0	0	
紀州	7/5	16	6.3	0.06	0	6.3	0.06	31.3	0.25	0.88	0	0	0	6	0	0	0	0	
県全体		236	0.4	0.004	0.0	0.0	13.1	0.15	16.9	0.16	0.17	2.1	0.02	2.1	0.02	2.5	0.1	1.7	0.0
平年(10年平均)			4.3	0.2	0.1	0.0	9.8	0.26	31.4	0.29	2.04	7.9	0.11	6.1	0.08	20.4	2.7	14.3	1.7

虫数は調査圃場あたり

県における水稲病害発生状況(2017年7月)

調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取20回調査					すくい取調査・定点採カメムシ類 【見取り調査・その他病害虫】	
	発病 株率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 株率(%)	発病 程度	発病 程度	セジロ ウムカ	トビイロ ウムカ	ヒメビロ ウムカ	ツマグロヨコ バイ	成虫		幼虫
下北雲町阿下基	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	ホシハシカメムシ成1、イナコ類幼2
市下海老町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	トクソウキシカメムシ成1、アサギカメムシ成1、アサギホシドクカメムシ成1、イナコ類幼1
竹成	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	アサギカメムシ成3、アサギホシドクカメムシ成1
丸橋町	0	0	無	0	0	無	0	0	3	0	0	0	アサギカメムシ成1、カメムシ類幼有、イナコ類幼5、ヒメビロウムカ成1【稲い落し】
海雲町	0	0	無	0	0	無	0	0	2	0	0	0	イナコ類幼2、ササキ類幼1
山下町	0	0	無	0	0	無	0	0	1	1	0	0	アサギホシドクカメムシ成1
東町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	トクソウキシカメムシ成2、ツマグロヨコバイ成1、ツマグロヨコバイ幼3【稲い落し】、ウチカ類幼1【稲い落し】
藤町産生	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	0	トクソウキシカメムシ成1、アサギカメムシ成1、イナコ類幼3、
吉町井生	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	ササキ類幼2
養瀬田町	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	0	アサギカメムシ成3
丸岡	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	アサギカメムシ成1、イナコ類幼5、ヒメビロウムカ成2【稲い落し】、ウチカ類幼7【稲い落し】、ササキカメムシ
荻本	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0	0	イナコ類幼2
馬座町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0	0	アサギホシドクカメムシ成1
次野	0	0	無	0	0	無	0	0	1	1	0	0	
藤原町下之郷	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	0	アサギホシドクカメムシ成1、カメムシ類幼有
大野木	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	アサギカメムシ成2、イナコ類幼4、ササキ類幼3、アサギホシドクカメムシ成1
平野	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	ホシハシカメムシ成1、イナコ類幼2、
紀伊長島区赤羽	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	ササキ類幼1
穴島町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	カメムシ類成1、セジロウムカ成1【稲い落し】
笠所【解防除】	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	0	カメムシ類幼有、イナコ類幼2、ウチカ類幼4【稲い落し】

枯病発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)

成:成虫、幼:幼虫

畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2017年7月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカスミガメ成虫		アカヒゲホソドリカスミガメ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫		その他斑点米カメムシ類
			発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	
桑名	7/3	16	6.3	0.1	0	0	12.5	0.1	81.3	6.4	31.3	1.8	0	0	-
四日市鈴鹿	7/4	24	12.5	0.1	0	0	25.0	0.4	70.8	7.6	33.3	0.9	0	0	-
津	6/30,7/6	17	5.9	0.1	5.9	0.2	5.9	0.1	23.5	0.4	5.9	0.2	5.9	0.06	-
松阪	6/30,7/6	18	22.2	0.2	11.1	0.9	11.1	0.2	72.2	5.3	0	0	0	0	-
伊勢志摩	7/3,7	20	30.0	0.4	15.0	1.1	20.0	0.3	45.0	3.2	10.0	0.4	0	0	-
伊賀	7/7	14	0	0	0	0	28.6	0.3	28.6	0.4	0	0	0	0	-
紀州	7/5	8	12.5	0.1	0	0	0	0	0	0	12.5	0.1	0	0	-
県全体		117	13.7	0.2	5.1	0.4	16.2	0.2	51.3	3.9	14.5	0.5	0.8	0.009	-
平年(10年平均)			22.5	0.5	6.7	0.5	10.2	0.2	29.1	3.5	9.0	0.3	2.7	0.1	-

定点ほ場以外の畦畔、のり面等で調査したものを。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2017年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ成虫数	クモヘリカメムシ成虫数	シラホシカメムシ類成虫数	備考
桑名	7/7	桑名市上ノ輪	0	0	0	雑草少ない。一部ほ場でキシュウスズメノヒエ多い。
		桑名市長島町下坂手	0.4	0	0	キシュウスズメノヒエ、イボクサあり。ミナミアオカメムシ確認。
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	一部のほ場を除き雑草が多い、いもち病なし。
鈴鹿	7/7	鈴鹿市算所	0	0	0	畦畔での調査。ていねいに除草されており、イネ科雑草は少ない。
		鈴鹿市庄野	0.2	0	1.4	畦畔での調査。但し、シラホシカメムシ類が多く捕獲された1ほ場は、雑草の発生多いのり面での調査。
		鈴鹿市須賀	1.2	0	0.6	畦畔での調査。ところどころにヒエ類の発生あり。
津市	7/1	一志町井生	0.2	0.0	0	アカスジカスミガメ2頭捕獲。
		一志町八太	0	0	0.4	アカスジカスミガメ12頭捕獲。イナゴ類の幼虫が散見される。
		白山町二本木	0.2	0	0	アカスジカスミガメ12頭捕獲。イナゴ類の幼虫が散見される。
松阪飯多	7/8	小野町字車	0.4	0.8	0.2	
		美濃田町	10.4	1.4	0	ミナミアオカメムシ1頭捕獲。一部ほ場でヒエの発生が多い。
		岩内町東出	2.4	15.6	2.8	アオクサカメムシ2頭捕獲。畦畔で草丈が長いところはカメムシが多数発生している。畦畔周辺でいもち病が発生している。
伊勢	7/6	伊勢市上地町	0	0	0.6	ツマグロヨコバイ2頭捕獲。イナゴ類の幼虫多い(食害は少しあり)。
		度会町大野木スナゴ	0	0	0	ヨコバイの1種2頭、イナゴ類8頭捕獲。害虫被害は見られない。一部ほ場で出穂(初期)。
		玉城町上田辺	0.2	0	0.2	イナゴ類14頭捕獲。コブノメイガ(幼虫)1頭捕獲。害虫被害は見られない。
伊賀	7/8	猪田地区	0	1.4	0	調査田でイナゴ類、クモ類多い、調査田及び周辺でクログワイ、ホタルイ等の雑草多い。5月3日移植のコシヒカリで、幼穂が5mm程度になっている。
		森寺地区	0	0	0	イナゴ類、クモ類が多く見られる。雑草は少ない。
		比自岐地区	0	0	0	イナゴ類、クモ類が多い。雑草少なく、よく管理されている。5月7日移植のコシヒカリで、平均草丈55cm。
東紀州	7/9	熊野市金山	1.2	0.4	0.2	出穂初期
		御浜町下市木	0.2	0	0	出穂初期
		紀宝町井内	0.6	0.2	0	出穂初期
県全体			0.84	0.94	0.30	-
平年値(10年平均)			0.34	0.26	0.05	-

すくいとり調査(各調査場所において、5ほ場×20回振り)、成虫数は1ほ場当りの頭数

(参考)スクミンゴガイの発生状況(2017年7月)

地区	調査月日	調査圃場数	スクミンゴガイまたはその卵を確認したほ場の数	スクミンゴガイまたはその卵を確認した圃場の割合(%)
桑名	7/3	32	6	18.8
四日市鈴鹿	7/4	48	4	8.3
津	6/30,7/6	36	4	11.1
松阪	6/30,7/6	36	4	11.1
伊勢志摩	7/3,7	40	0	0.0
伊賀	7/7	28	0	0.0
紀州	7/5	16	4	25.0
県全体		236	22	9.3

e 8月データ

水稲病害発生状況(2017年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち			葉いもち <sup>a</sup>			上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病		ごま葉枯 病 <sup>b</sup>	
			発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	計		程度別発生圃場率(%)				発生圃 場率(%)			発生圃 場率(%)			
										甚	多	中	少							
桑名	7/31	32	0	0	0	0	0	0	53.1	0	0	0	53.1	3.3	13.3	0	0			
四日市鈴鹿	7/31,8/2	44	0	0	0	0	0	0	38.6	0	0	0	38.6	3.1	4.9	0	0			
津	7/28,8/2	36	0	0	0	0	0	0	25.0	0	0	0	25.0	1.3	5.0	0	0			
松阪	7/28	36	0	0	0	0	0	0	8.3	0	0	0	8.3	0.3	0.9	0	0			
伊勢志摩	8/1,4	40	0	0	0	0	0	0	20.0	0	0	0	20.0	1.9	2.6	0	0			
伊賀	8/4	28	0	0	0	0	0	0	39.3	0	0	0	39.3	1.2	4.7	0	0			
紀州	8/3	16	25.0	1.5	0.05	6.3	1.0	0	68.8	0	0	0	68.8	3.5	12.0	0	0			
県全体		236	1.7	0.1	0.003	0.4	0.1	0	33.1	0	0	0	33.1	2.0	5.7	0	0			
平年値(10年平均、 <sup>a</sup> 8年平均)			9.1	1.5	0.1	13.6	3.2	25.6	28.7	0.0	0.1	1.9	26.6	1.9	6.2	0.2	3.8			

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2017年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%) <sup>a</sup>	発病穂率(%)			備考
				計	穂首 <sup>a</sup>	枝梗 <sup>a</sup>	
桑員	8/5	桑名市上ノ輪	0	0	0	0	ジャンボタネシ多い。走り穂
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	0	
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	0	一部ほ場で紋枯病多発
鈴亀	8/3	鈴鹿市算所	0	0	0	0	
		鈴鹿市庄野	0	0	0	0	
		鈴鹿市須賀	0	0	0	0	
津市	8/3	一志町井生	0	0	0	0	一部圃場で紋枯病散見
		一志町八太	0	0	0	0	
		白山町二本木	0	0	0	0	一部圃場で紋枯病散見
松阪 飯多	8/1,3,4	松阪市小野町字車	0	0	0	0	メテオウによる被害が少々見受けられた。
		松阪市美濃田町内浦	0	0	0	0	
		松阪市岩内町東出	0	0	0	0	
伊勢	8/4	伊勢市上地町	0	0	0	0	周辺の水田でもいもち病は見当たらない。
		磯部町恵利原B	0	0	0	0	周辺の水田でもいもち病は見当たらない。
		磯部町恵利原C	0	0	0	0	周辺の水田でもいもち病は見当たらない。5ほ場のうちの1ほ場(30a)、1a程度倒伏している。
伊賀	8/6	猪田地区	1.6	0.1	0.1	0	スズメの食害あるほ場が多い。イナゴの発生しているほ場が多い。ホタルイの発生しているほ場が多い。
		森寺地区	0.8	0	0	0	一部で紋枯病が発生している。スズメの食害が多い。
		比自岐地区	1.6	0.1	0.1	0	スズメの食害が多い。イナゴが多い。
東紀州	8/6	熊野市金山	0	0	0	0	
		御浜町下市木	0	0	0	0	もみの白変が目立つ。イナゴ、カメシ類圃場内に多数発生
		紀宝町井内	0	0	0	0	イナゴが多数発生している。近隣に刈取り済みほ場あり。
県全体			0.2	0.01	0.01	0	
平年値(10年平均、 <sup>a</sup> 8年平均)			7.9	0.5	0.2	0.2	

水稲害虫発生状況(2017年8月)

地区	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)												
	セジロウソウカ		トビイロウソウカ		ヒメビロウソウカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネミスノウムシ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセセリ	アワヨトウ	コブノメ	イネク ロカメ ムシ	ササキ リ類	イナゴ類	
	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	幼虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数									
桑名	0	0	0	0	43.8	0.7	87.5	4.5	53.1	6.5	3.7	12.5	0.2	3.1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1
四日市鈴鹿	2.3	0.02	0	0	43.2	0.7	63.6	4.9	84.1	5.3	3.4	2.3	0.02	13.6	0.2	0	0	0	7	0	0	0	6.8
津	0	0	0	0	27.8	0.4	44.4	2.1	58.3	1.7	2.2	2.8	0.03	13.9	0.3	0	2.8	0	0	0	0	2.8	19.4
松阪	2.8	0.03	0	0	30.6	0.4	69.4	3.6	61.1	2.3	1.0	2.8	0.03	5.6	0.06	0	0	0	0	0	0	0	2.8
伊勢志摩	0	0	0	0	55.0	2.0	67.5	3.8	35.0	2.3	2.2	5.0	0.1	12.5	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
伊賀	0	0	0	0	35.7	0.5	53.6	1.1	14.3	0.2	0.1	3.6	0.04	17.9	0.32	0	0	0	0	0	0	32.1	21.4
紀州	12.5	0.3	0	0	75.0	1.7	56.3	2.7	25.0	0.3	0.2	0	0	12.5	0.3	0	0	0	0	0	0	0	6.3
県全体	1.7	0.03	0	0	42.4	0.9	62.7	3.5	49.6	2.9	2.0	4.2	0.05	11.0	0.2	0	0.8	0	0	1.3	0	4.7	7.6
平年値(10年平均)	7.8	0.3	0.1	0.001	20.8	0.5	50.1	2.9	38.0	0.9	4.9	11.8	0.4	21.5	0.7	1.1	15.3	0.7	5.8	9.2	3.2	11.9	19.0

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2017年8月、20回振り返りすくい取り調査)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハラカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ 類成幼虫		アカスジカスミ カメ成虫		ミナミアオ カメムシ 成幼虫		その他 斑カメ
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
桑名	7/31	32	71.9	0	0	21.9	50.0	25.0	0.3	3.1	0.03	3.1	0.03	53.1	1.2	9.4	0.2	イネカメムシ
四日市鈴鹿	7/31,8/2	48	56.3	0	2.1	12.5	41.7	8.3	0.1	10.4	0.1	10.4	0.1	50.0	1.3	0	0	アカヒゲホソドリカスアカメ
津	7/28,8/2	36	47.2	0	2.8	5.6	38.9	16.7	0.17	0	0	8.3	0.1	33.3	1.0	2.8	0.03	
松阪	7/28	34	58.8	2.9	8.8	11.8	35.3	29.4	0.8	14.7	0.2	29.4	0.4	35.3	3.0	0	0	
伊勢志摩	8/1,4	40	27.5	0	0	7.5	20.0	7.5	0.2	12.5	0.3	5.0	0.05	15.0	0.4	0	0	
伊賀	8/4	28	46.4	0	0	0	46.4	14.3	0.1	7.1	0.1	3.6	0.04	25.0	0.3	0	0	アカヒゲホソドリカスアカメ
紀州	8/3	16	37.5	0	0	12.5	25.0	12.5	0.2	31.3	0.9	0	0	0	0	6.3	0.1	
県全体		234	50.0	0.4	2.1	10.3	37.2	15.8	0.3	9.8	0.2	9.4	0.1	33.3	1.1	2.1	0.04	
平年値(10年平均)			37.8	0.5	1.5	7.3	28.7	18.1	0.3	10.2	0.9	5.9	0.1	14.9	0.4	1.9	0.04	

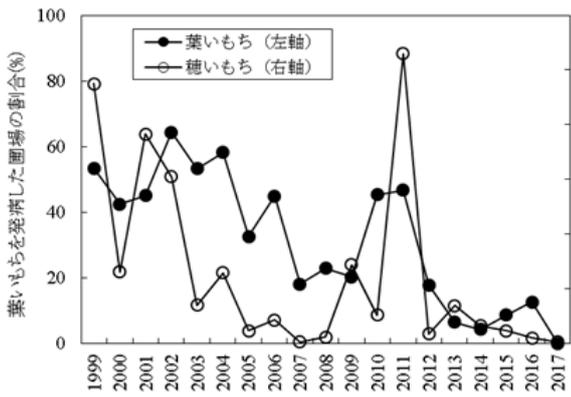
発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)0

定点圃場におけるイネ病害虫発生状況(2017年8月)

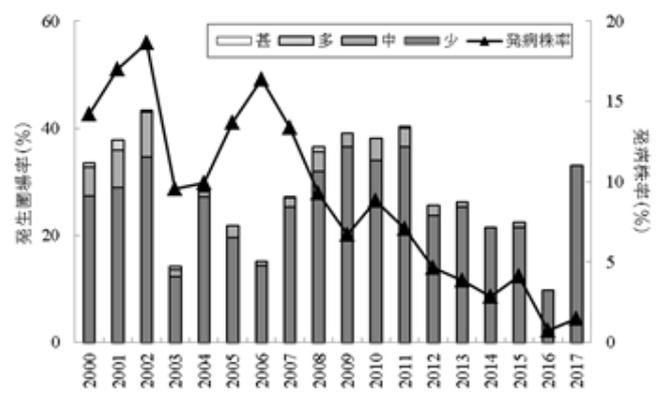
地区	調査場所	穂いもち				紋枯病				すくい取り虫数20回				その他病害虫 (払落し、見取り)	
		発病 圃場率(%)	発病 程度	発病 圃場率(%)	発病 程度	センジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	フマゲロヨコバイ 成虫	幼虫	斑点米カメムシ類ほか				
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	13	少	0	0	1	2	0	0	0	0	ウンカ類幼虫、イネスズメ成虫	
四日市 鈴鹿	四日市下海老町	0	無	2	少	0	0	2	25	0	0	0	0	アカヒゲ類幼虫1	
	菟野町竹成	0	無	0	無	0	0	0	5	2	1	0	0	アカスジカスミ成虫2、付着類成虫1、ササキ類成虫1幼虫2	
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	0	2	0	1	0	0	アカヒゲ類成虫2、幼虫1、アカスジカスミ成虫14、アカヒゲ類成虫11、ササキ類成虫2	
	鈴鹿市御園町	0	無	0	無	0	0	2	15	4	9	0	0	クモヘリカスミ成虫1、アカスジカスミ成虫4、アカヒゲ類成虫2	
津	亀山山下町	0	無	0	無	0	0	3	1	7	0	0	0	アカヒゲ類成虫1、ササキ類成虫1	
	津市安東町	0	無	0	無	0	0	0	4	10	5	0	0	トゲシカスミ成虫、幼虫、アカヒゲ類成虫	
	津市安濃町草生	0	無	2	少	0	0	0	1	1	3	0	0	付着類成虫	
松阪	津市一志町井生	0	無	5	少	0	0	1	1	46	48	0	0	アカヒゲ類成虫1、アカスジカスミ成虫1	
	松阪市美濃田町	0	無	0	無	0	0	3	29	2	1	0	0	アカスジカスミ成虫2	
	多気町兄国	0	無	0	無	0	0	2	7	8	0	0	0	付着類成虫3、ササキ類成虫2	
	明和町坂本	0	無	0	無	0	0	2	7	9	5	0	0	ササキ類成虫1、幼虫2	
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	2	0	5	0	0	0	ササキ類成虫	
	玉城町蚊野	0	無	0	無	0	0	7	10	3	5	0	0	クモヘリカスミ成虫1、アカスジカスミ成虫6、アカヒゲ類成虫2、ササキ類成虫2	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミ成虫1	
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	1	2	0	2	0	0	付着類成虫1	
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	1	0	4	0	0	0	クモヘリカスミ成虫	
紀州	紀北町赤羽	0	無	10	少	0	0	5	12	0	0	0	0	ササキ類	
	熊野市飛鳥町	0	無	0	無	0	0	1	1	2	0	0	0	センジロ成虫	
平均		0	1.68	0	0	1.74	6.53	5.42	4.21						
平年値(10年平均)		0.2	2.8	0.8	0	3.1	10.7	10.5	8.7						
県庁農園 農業研究所(無防除)		0	無	8	少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	クモヘリカスミ成虫1、アカスジカスミ成虫1、付着類成虫1、ササキ類成虫1

穂いもち発病圃場率(発病程度):0(無)、1-10(少)、11-30(中)、31-60(多)、61以上(甚)

紋枯病発病圃場率(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)



7月上旬における葉いもち発生状況の推移および、  
8月上旬における穂いもち発生状況の推移(巡回調査結果)



8月上旬における紋枯病発生状況の推移(巡回調査結果)

f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2017年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂いもち		紋枯病			ごま葉枯病		白葉枯病	稲こうじ病
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発病 株率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)
桑名	9/7	11	0	0	63.6	10.1	30.5	18.2	2.5	0	0
四日市鈴鹿	9/5	1	0	0	100	5.0	20.0	0	0	0	0
津	9/4	4	0	0	75.0	4.0	16.0	0	0	0	0
県全体		12	0	0	68.8	5.8	26.3	12.5	0.6	0	0
10年平均			14.9	0.5	43.9	3.8	9.9	37.0 (8年平均)	6.0 (5年平均)	5.4	4.0 (8年平均)

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2017年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数								
桑名	11	36.4	0.5	0	0	9.1	0.1	18.2	0.3	27.3	0.3	9.1	0.1
四日市鈴鹿	1	0	0	100	8.0	100	1.0	0	0	100	11.0	0	0
津	4	75.0	0.8	100	1.5	0	0	50.0	0.5	50.0	2.0	75.0	1.8
県全体	16	43.8	0.6	31.3	0.9	12.5	0.1	25.0	0.3	37.5	1.4	25.0	0.5
10年平均		21.1	0.3	25.8	1.5	9.1	0.1	12.6	0.3	12.9	0.4	29.0 (7年平均)	1.0

水稲(普通期)害虫発生状況(2017年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)									
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	ササキリ	イナゴ	アワヨトウ	イチモンジセセリ	コブノメ	
		発生圃場率 (%)	成虫数	発生圃場率 (%)	成虫数	発生圃場率 (%)	成虫数	発生圃場率 (%)	幼虫数	発生圃場率 (%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率 (%)	成虫数								
桑名	9/7	11	0	0	0	0	54.5	3.0	100	11.5	63.6	3.3	0.6	0	0	0	0	27.3	0	0	0	
四日市鈴鹿	9/5	1	0	0	0	0	100	1.0	100	18.0	100	27.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津	9/4	4	0	0	0	0	50.0	0.8	50.0	2.0	75.0	4.3	2.8	0	0	0	0	100	0	0	0	
県全体		16	8.3	0.1	0	0	56.3	2.3	87.5	9.6	68.8	5.0	1.4	0	0	0	0	43.8	0	0	0	
10年平均			14.9	0.2	0.0	0.0	27.4	0.8	52.4	3.7	69.7	5.4	3.8	6.8	0.1	3.5	24.6	30.4	33.9	11.0	0.6	12.4

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2017年)

地区	調査場所	品種	採取日	斑点米発生率(%)					斑点米カメムシ類 20回振すくいとり虫数 8月巡回調査(菰野町竹成は9月)
				カメムシ被害粒発生率	斑紋型変色	くさび型加害	頂部の黒変	側部加害・鉤合部の黒点	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	キヌヒカリ	9/7	1.01	0.90	0.11	0	0	ホソバカメムシ成虫1、クモヘリカメムシ成虫1、アカシジカメムシ成虫2、
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/14	0.34	0	0.23	0	0.11	カスカメ類幼虫1
	菰野町竹成	コシヒカリ	9/27	4.92	3.28	0.51	0.92	0.2	アカシジカメムシ成虫2
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	-	-	-	-	-	-	ホソバカメムシ成虫2、幼虫1、アカシジカメムシ成虫14、カスカメ類幼虫11
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	8/14	0.33	0.11	0.11	0.11	0	クモヘリカメムシ成虫1、アカシジカメムシ成虫4、カスカメ類幼虫2
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/25	0.53	0.21	0.11	0.21	0	-
津	津市安東町	コシヒカリ	8/14	0.10	0	0	0.1	0	-
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/14	2.31	0.52	0.1	1.68	0	アカシジカメムシ成虫22、カスカメ類幼虫8
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/14	0.22	0.11	0	0.11	0	ホソバカメムシ幼虫1、アカシジカメムシ成虫1
大阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/14	1.06	0.53	0.11	0.32	0.11	アカシジカメムシ成虫2
	多気町兄国	コシヒカリ	8/14	0.23	0.11	0	0	0.11	-
	明和町坂本	コシヒカリ	8/14	1.13	0.91	0	0.11	0.11	-
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/14	0.11	0.11	0	0	0	-
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/14	1.15	0.92	0.23	0	0	クモヘリカメムシ成虫1、アカシジカメムシ成虫6、カスカメ類幼虫2
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/14	0	0	0	0	0	アカシジカメムシ成虫1
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	8/25	0.22	0.11	0	0.11	0	-
	伊賀市甲野	コシヒカリ	8/25	1.02	0.91	0	0.11	0	-
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	8/14	0	0	0	0	0	-
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/25	0.12	0	0	0.12	0	-
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/15	0.67	0.33	0	0.33	0	ホソバカメムシ成虫1、アカシジカメムシ成虫1、
	定点平均	-		0.82	0.49	0.08	0.22	0.04	斑点米カメムシ類成虫数・定点平均4.4頭
	平年値(10年平均)	-		0.33	0.17	0.04	0.08	0.05	同上・平年1.3頭

農産物規格規定における、水稲うるち玄米の着色粒混入の最高限度:1等 0.1%まで、2等 0.3%まで、3等 0.7%まで、規格外 0.7%を超えるもの。

定点圃場におけるいもち病菌保菌状況(2017年)

地区	調査場所	品種	採取日	籾100粒調査	
				いもち保菌率(%)	その他
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	キヌヒカリ	9/7	0.0	アルタナリア
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
	菰野町竹成	コシヒカリ	9/27	0.0	アルタナリア、リゾクトニア、カーブラリア
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	-	-	未調査
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/25	0.0	アルタナリア
津	津市安東町	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、カーブラリア
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、カーブラリア
大阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
	多気町兄国	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、カーブラリア
	明和町坂本	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア、カーブラリア
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、カーブラリア
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	8/25	0.0	アルタナリア、カーブラリア
	伊賀市甲野	コシヒカリ	8/25	0.0	アルタナリア、カーブラリア
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	8/14	0.0	アルタナリア、リゾクトニア、カーブラリア
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/25	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/15	0.0	アルタナリア、リゾクトニア
	定点平均	-		0.0	
	平年値(5年平均)	-		0.7	

いもち病菌保菌調査は、籾100粒を素寒天培地に置床し、25℃環境下で3日間培養後、検鏡により行なった。

## (2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2017年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率(%)	縞萎縮病 発病率(%)	アブラムシ類 寄生程度	ハモグリ ハエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈80cm
四日市	菰野町竹成	4/10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈75cm
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	4/10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈70cm
津	津市殿村	4/7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈65cm
松阪	松阪市藤之木	4/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈75cm
	多気町兄国		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈75cm、湿害による生育不良、畔付近に縞萎縮病症状様の株あり
伊勢志摩	伊勢市村松	4/5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈80cm、畔付近に縞萎縮病症状様の株あり
伊賀	伊賀市西之澤	4/11	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	タマイズミ	草丈30cm、縞萎縮病約50㎡、動物食害あり
	伊賀市畑村		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミR	草丈40cm
県全体			0.0	0.0	0.0	0.1 0.5(伊賀タマイズミ)	0.0	0.0		—
平年(10年平均)			0.2	0.0	0.4	4.9 6.4(伊賀タマイズミ)	0.1	0.6		—

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2017年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカタ マハエ寄 生率(%)	赤かび病		品種	備考
								発生 圃場率(%)	発病 率(%)		
桑名	いなべ市大安町片樋	5/11	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	
四日市	菰野町竹成	5/8	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	5/10	0	0	0	1.3	0	0	0	あやひかり	区外で赤かび病1穂
津	津市殿村	5/10	0	0	0	0.5	0	0	0	ニシノカオリ	
松阪	松阪市藤之木	5/9	0	0	0	1.0	0	0	0	あやひかり	
	多気町兄国	5/9	0	0	0	1.8	0	0	0	ニシノカオリ	白穂目立つ、株腐れ病
伊勢志摩	伊勢市村松	5/12	0	0	0	0.3	0	0	0	ニシノカオリ	
伊賀	伊賀市西之澤	5/12	0	0	0	0.5	0	0	0	タマイズミ	縞萎縮病発生地点はマスキングされて分かりにくい
	伊賀市畑村		0	0	0	0.5	0	0	0	タマイズミR	
県全体			0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	—	—
平年値(10年平均)			0.4	0.2	0.0	0.8	0.0	28.0	0.3	—	—

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2017年。発生率(%)

地区	調査地点	品種	5月第2週	5月第4週	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	あやひかり	0	0.006	5月24日
四日市	菰野町竹成	あやひかり	0	0	5月24日
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	あやひかり	0	0.008	5月24日
津	津市殿村	ニシノカオリ	0	0	5月24日
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	0	0	5月30日
	多気町兄国	ニシノカオリ	0	0	5月30日
伊勢志摩	伊勢市村松	ニシノカオリ	0	0	5月30日
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミ	0	0	5月24日
	伊賀市畑村	タマイズミR	0	0	5月24日、イネヨトウによる穂枯れ散見
県全体			—	0.001	
平年値			—	0.340	

各地点4圃場において50m見取り調査。

コムギ縞萎縮病の発生状況(2018年3月)

地区	調査地点	調査日	被害率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	3/9	0	さとのそら	20	昨年24cm
四日市	菰野町池底	3/5	0	あやひかり	25	昨年25cm
鈴鹿	鈴鹿市下大久保		0	あやひかり	20	昨年25cm
津	津市殿村	3/6	0	あやひかり	14	昨年28cm
松阪	松阪市藤之木	3/8	0	あやひかり	25	昨年31cm
	多気町兄国		0	ニシノカオリ	27	昨年37cm
伊勢志摩	伊賀市西之澤	3/7	0	ニシノカオリ	15	昨年30cm
伊賀	伊賀市西之澤	3/9	0	タマイズミ	10	昨年15cm
	伊賀市畑村		0	タマイズミ	11	昨年25cm
県全体平均			0	伊賀タマイズミ・平均0.0%		
平年値(10年平均)			2.2	伊賀タマイズミ・平年値2.0%		

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

### (3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2017年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類	ハスモンヨトウ・シロイチモジトウ		コガネムシ類	カメムシ類	草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(/1a)	葉食害度	寄生虫数(25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	7/31	0	0	0	0.0	0	草丈30~40cm
四日市	四日市市江村町	8/2	0	0.3	0.4	2.0	0	草丈30~45cm 区外でタバコガ類
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	7/31	0	0.3	0.4	0.0	0	草丈20cm 立枯れ散見
津	津市白山町川口	7/28	0	0	0	0.0	0	草丈15cm
松阪	松阪市藤之木町	7/28	0	0	0	0.0	0	草丈10~15cm やや発芽ばらつき
	松阪市保津町		0	0	0	1.5	0	草丈20~30cm 立枯れ散見 区外でタバコガ類
伊賀	伊賀市木興	8/4	0	0.3	0	2.0	0	草丈20~25cm 区外でタバコガ類
	伊賀市千戸		0	0.3	0	3.5	0	草丈20~30cm 区外でダイズサヤムシガ及びハモグリバエ類
	県全体	—	0.0	0.1	0.1	1.1	0.0	—
	平年値(10年平均)	—	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1	—

ダイズ病害虫発生状況(2017年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズアブ ラムシ発生 程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジトウ		コガネムシ 類 葉食害度	吸食性カメムシ類			その他 病害虫
				白変か所数(/1a)	葉 食 害 度		寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町大井田	9/7	2.3	0.4	0.3	0.0	11.0	3.3	ミナミアオ(成)・ホソヘリ(成)	草高80cm、マドクガ、ウワバ類
四日市	四日市市江村町	9/5	0.0	1.4	11.5	1.8	7.0	6.3	ミナミアオ(成・幼)・ホソヘリ(成)	草高90cm、タバコガ類、マドクガ、フタスジヒメムシ、マメコガネ、チャバネカメムシ
	鈴鹿市下大久保	9/6	0.0	1.4	1.0	3.0	9.0	3.3	ミナミアオ(成)・ホソヘリ(成)	草高90cm、ハスモンヨトウ死虫多、マメコガネ、タバコガ類、フタスジヒメムシ、ハモグリバエ類、シャクトリムシ類、マルカメムシ
津	津市白山町川口	9/4	0.0	2.1	0.8	0.0	13.0	4.0	ミナミアオ(成)・イチモンジ(成)・ホソヘリ(成)	草高80cm、ウワバ類
松阪	松阪市藤之木町	9/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	草高80cm、べと病散見、タバコガ類
	松阪市保津町		0.0	0.4	0.0	0.0	4.0	1.0	ミナミアオ(成・幼)	草高80~100cm
伊賀	伊賀市木興	9/8	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.5	アオクサ(成)・イチモンジ(成)	草高70cm、べと病初期、ハモグリバエ類、立ち枯れ数株、湿潤土壌
	伊賀市千戸		0.0	1.1	1.5	0.0	2.0	0.5	イチモンジ(成)	草高90cm、べと病散見、フタスジヒメムシ、シロイチモジトウ、ウワバ類、シャクトリムシ類、ハモグリバエ類
	県全体	—	0.3	0.8	1.9	0.6	5.9	2.3	—	—
	10年平均	—	2.3	1.4	3.6	1.5	1.8	1.3	—	—

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2017年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (/1a)	備考
桑名	9/4	桑名市長島町千倉	10.4	生育良好
		桑名市志知	9.4	生育良好
		いなべ市北勢町治田外面	9.2	生育ばらつきあり、マドクガ、シャクトリムシ
鈴鹿	9/11	鈴鹿市野辺町	0.4	生育良好、防除されたのか幼虫の死骸あり、白変は初期で広がっていない
		鈴鹿市算所町	5.8	生育良好、防除されており幼虫はいない
		鈴鹿市須賀	6.2	生育良好、ハスモンヨトウ初期が多い圃場では全体に確認される
津市	9/1	津市南河路	0.4	
		津市一志町庄村	0.0	
		津市安濃町荒木	0.4	コガネムシ類食害散見
松阪 飯多	9/5	小阿坂町ふけ	0.8	
		美濃田町浦沖	2.0	ツヤアオカメムシ確認、全体にバッタ多し、圃場2でヨトウムシ1.5mm多発生
		深長町田中	6.6	全体にバッタ(イナゴ)多し、圃場4でハスモンヨトウ幼虫1~1.5mm多発生
伊勢	9/7	伊勢市中村町	5.2	草丈65cm、カメムシ類散見、圃場2でハスモンヨトウ2~4cm
		伊勢市小俣町明野	4.6	生育良好草丈70~75cm、ハスモンヨトウ2~3cm
		玉城町朝久田	0.6	圃場1で湿害により苗立半分程度、圃場1.2.3は草丈40~55cm雑草目立つ、圃場4.5は草丈65cm
伊賀	9/9	猪田(大東)地区	0.0	雑草多、一部圃場で黄色斑点あり
		依那具地区	0.0	雑草少なく管理、イナゴ多
		比自岐地区	0.0	雑草少なく管理、イナゴ多、鹿による食害あり
		県全体	3.4	
		10年平均	2.2	

ダイズ病害虫発生状況(2017年10月)

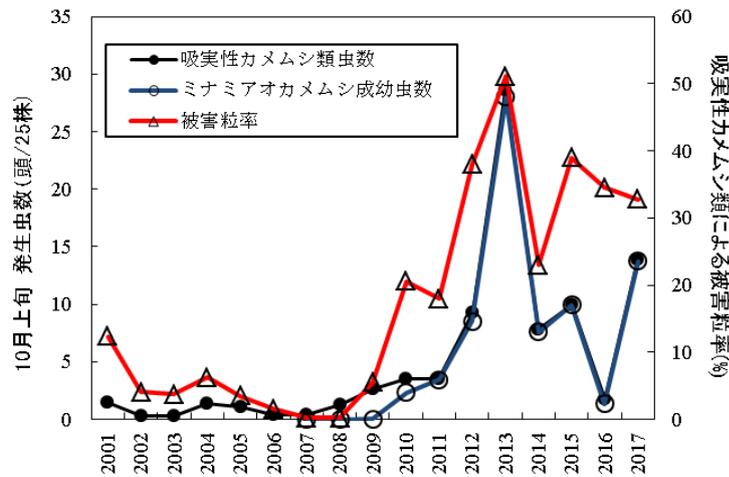
地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		吸実性カメムシ類		
				白変か所数(1/a)	葉食害度※	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)	種類
桑名	いなべ市大安町大井田	10/6	2.0	0.0	0.3	60.0	27.3	ミナミアオ成、ミナミアオ幼
四日市	四日市市江村町	10/6	0.0	0.0	0.0	18.0	13.5	ミナミアオ成、ミナミアオ幼、イチモンジ成
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/5	0.3	0.4	0.0	8.0	4.5	ミナミアオ成、ミナミアオ幼
津	津市白山町川口	10/4	0.0	0.0	0.0	71.0	58.8	ミナミアオ成、ミナミアオ幼
松阪	松阪市藤之木町	10/3	0.0	0.4	0.0	2.0	0.8	ミナミアオ成
	松阪市保津町		0.0	0.0	0.0	11.0	5.5	ミナミアオ成、ミナミアオ幼
伊賀	伊賀市木興	10/5	1.5	0.0	0.5	1.0	0.3	イチモンジ成
	伊賀市千戸		1.0	0.0	0.3	2.0	0.5	アオクサ成、イチモンジ幼
県全体			0.6	0.1	0.1	21.6	13.9	—
10年平均			5.4	2.7	6.6	9.9	6.9	—

葉食害度※:25株中の被害株数

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2017年12月)

地区	調査地点	採取月日	莢調査被害率(%)		被害粒調査(篩選別前の子実について調査・著しい未熟粒を除く)										その他被害粒(腐敗粒)(%)			
			虫害1	虫害2	フタスジメハムシ				吸実性カメムシ類									
					紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	黒斑粒率(%)	腐敗粒率(%)	被害粒率(%)		9月		10月					
桑名	いなべ市大安町大井田	11/16	0.4	4.3	0.0	0.0	1.3	0.3	67.0	18.6	6.2	16.0	32.4	11.0	3.3	60.0	27.3	5.6
四日市	四日市市江村町	11/13	0.0	3.3	0.0	0.0	2.5	1.5	49.3	6.2	16.0	27.1	7.0	6.3	18.0	13.5	3.0	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	11/13	0.0	2.0	0.0	0.0	1.2	0.7	18.4	3.2	5.8	9.4	9.0	3.3	8.0	4.5	1.4	
津	津市白山町川口	11/13	0.8	0.8	0.0	0.0	1.8	0.4	48.0	2.4	7.0	38.5	13.0	4.0	71.0	58.8	0.7	
松阪	松阪市藤之木	11/13	1.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	5.3	0.2	0.2	4.8	0.0	0.0	2.0	0.8	1.7	
	松阪市保津町	11/13	0.0	1.8	0.0	0.0	0.7	0.0	49.3	3.5	13.6	32.2	4.0	1.0	11.0	5.5	1.2	
伊賀	伊賀市木興	11/16	0.0	3.1	0.0	0.5	1.2	0.0	11.5	2.6	2.6	6.4	1.0	0.5	1.0	0.3	1.9	
	伊賀市千戸	11/16	0.0	4.8	0.0	0.0	3.6	0.3	15.7	3.1	4.1	8.5	2.0	0.5	2.0	0.5	4.6	
県全体平均			0.3	2.5	0.0	0.1	1.6	0.4	32.7	4.8	8.0	19.9	5.9	2.3	21.6	13.9	2.4	
10年平均			0.9	1.9	0.4	0.3	1.4	0.4	23.0	3.2	15.1	15.6	1.8	1.3	9.9	6.9	3.2	

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5莢ずつを採取(200莢程度)。  
被害莢調査・虫害1:莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。  
同・虫害2:莢内部における食害、シロイチモジメダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001~2017年・病害虫防除所巡回調査)

県予察圃(カンキツ・紀南果樹研究室)における発消生長

そうか病発病率 葉

	初発	4月			5月			6月			7月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4月16日	1.6	18.5		43.9	56.1	61.9	64.2	66.4	68.1	68.7	69.0	69.3
2017年	4月17日	0.0	15.5		37.0	59.5	77.5	79.5	82.0	85.5	86.0	86.5	87.0

そうか病発病率 果実

	初発	5月			6月			7月			8月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月17日	7.3	38.7		54.5	72.7	80.1	84.3	85.9	92.3	93.8	95.8	96.3
2017年	5月14日	1.7	64.2		85.0	88.3	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	初発	6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病率	平年	6.4	22.4	48.0	80.5	92.4	93.3	96.1	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2017年発病率	5月25日	0.8	13.3	19.2	60.0	97.5	100.0	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平年果実発病度	2017年	3.5	11.1	23.9	33.8	40.5	46.0	54.2	62.6	69.0	71.1	72.7	75.9	77.4	81.7	83.2
2017年果実発病度	5月25日	1.9	2.7	10.7	25.6	34.3	24.6	39.8	53.3	56.2	58.6	61.7	68.3	58.8	78.6	81.2

かいよう病発病率 葉

	初発	5月			6月			7月			8月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月15日	0.2	0.8		1.8	2.3	2.8	3.1	3.3	3.6	3.7	3.8	4.1
2017年	発生なし	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

かいよう病発病率 果実

	初発	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	6月6日	0.0			0.5	0.9	2.1	3.4	7.8	17.1	21.6	20.9	23.2	23.2	23.5	23.9	25.0	25.8	24.6
2017年	7月23日	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.3	2.5	3.3	4.2	3.3	2.5	4.2	5.8	5.8

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		慣行防除区	そうか病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	75.9	45.3	100.0	75.9	13.7	7.2	平年	0.6	0.2	61.7	15.6	5.5	2.0
2017年	100.0	65.9	99.8	68.7	1	0	2017年	2.5	0	24.2	3.5	1.2	0.3

ハダニ発消生長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	95.1	81.5	30.2	39.1	30.4	47.5	33.2	29.7	27.7	10.3	4.5	5.7	5.5	12.4	30.4	59.7	49.1	44.2
2017年	44.4	63.3	51.3	41.4	84.4	77.8	224.4	228.9	194.4	7.8	1.1	1.1	0.0	0.0	4.4	16.6	16.6	15.6
	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	37.2	51.1	67.2	69.6	77.7	82.3	62.0	63.9	53.0	43.2	44.0	—	27.8	28.6	—	21.7	67.4	—
2017年	26.7	25.6	1.1	2.2	2.2	1.1	11.1	5.6	8.9	6.7	0.0	—	6.7	8.9	—	2.2	0.0	—

ハダニ発消生長調査結果(慣行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.3	0.3	0.6	0.8	0.9	4.7	13.4	6.8	3.7	7.4	4.7	19.2	22.2	93.1	16.2	128.8	30.4	40.0
2017年	1.1	1.1	0.0	4.5	0.0	3.3	23.3	97.8	7.8	4.4	0.0	1.1	4.4	2.2	5.6	140.0	208.8	307.8
	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	53.6	82.1	186.4	86.1	69.8	62.1	63.1	71.8	51.1	6.2	5.1	—	4.6	1.9	—	0.8	0.4	—
2017年	3.3	6.7	1.1	1.1	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0	3	—	0.0	0.0	—	0.0	0	—

チャバネアオカメムシ発生消長調査結果 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.8	16.3	72.5	525.5	4844.5	5211.6	971.6	1133.7	2422.6	3425.3	9075.0	3507.7	1293.3	802.2	630.2	939.1	1500.1	3735.8
2017年	0.0	3.0	7.0	33.0	16.0	8.0	0.0	2.0	28.0	101.0	23.0	27.0	94.0	124.0	218.0	200.0	180.0	389.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	2186.2	132.4	27.8	2.3	0	0.2												
2017年	733.0	97.0	2.0	1.0	0.0	0.0												

ツヤアオカメムシ発生消長 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	6.8	46.1	131.5	957.3	656.6	411.1	97.3	98.2	73.3	21.1	13.0	19.5	20.6	37.7	79.8	258.5	736.4	2554.2
2017年	1.0	24.0	72.0	874.0	778.0	48.0	11.0	2.0	8.0	13.0	5.0	4.0	23.0	26.0	82.0	53.0	141.0	2704.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3502.1	495.4	300.2	84.5	12.6	3.4												
2017年	8712.0	6837.0	749.0	117.0	8.0	28.0												

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.5	2.4	5.9	9.4	15.1	6.8	7.0	3.3	5.8	6.7	10.5	9.3	2.3	0.4
2017年	1.7	0	4.2	2	7.5	0.0	1	0	0.8	0.0	2.5	0	5.0	0.0	0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.5	0.6	0.4	1.0	1.7	1.5	3.0	3.2	7.7	8.1	13.1	10.2	11.9	13.3	8.0	3.8	1.4	0.3
2017年	0.3	0.5	1.0	1.2	2.5	1.6	1.4	1.5	0.4	1.1	0.9	1.4	5.0	11.0	7.9	4.7	1.8	0.7

県予察圃(ナシ・農業研究所)における発生消長

ナシヒメシクイ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	28.5	40
2	38.8	35
3	42.6	6
4	27.1	9
5	17.7	20
6	13.9	0
5月.1	12.0	8
2	9.2	3
3	5.2	0
4	2.8	1
5	3.8	10
6	10.3	24
6月.1	18.1	26
2	23.2	7
3	21.5	18
4	11.6	10
5	8.8	3
6	4.9	9
7月.1	11.7	9
2	21.3	58
3	40.2	33
4	34.5	44
5	26.9	22
6	31.5	16
8月.1	29.4	63
2	32.7	71
3	42.3	36
4	43.1	12
5	42.4	28
6	41.2	60
9月.1	43.1	18
2	57.5	57
3	50.0	171
4	40.3	4
5	21.3	23
6	12.5	26
10月.1	6.0	22
2	2.3	7
3	1.6	0
4	0.9	6
5	0.2	1
6	0.1	3
11月.1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.1	2
4	0.1	1
5	0.1	0
6	0.0	0

チャハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	0.4	1
2	1.6	23
3	2.4	9
4	2.8	7
5	4.8	7
6	3.8	0
5月.1	11.0	15
2	5.9	4
3	4.8	3
4	3.3	0
5	1.0	1
6	0.9	0
6月.1	2.6	0
2	1.2	0
3	2.1	0
4	2.5	3
5	1.1	1
6	1.1	12
7月.1	4.4	3
2	2.5	8
3	2.1	1
4	1.2	2
5	0.9	1
6	1.1	1
8月.1	1.0	1
2	0.8	4
3	0.9	2
4	0.4	0
5	1.0	2
6	0.3	1
9月.1	1.0	2
2	1.0	4
3	1.2	1
4	1.3	0
5	1.5	2
6	1.3	0
10月.1	2.4	7
2	5.4	7
3	4.8	4
4	4.8	5
5	3.6	3
6	2.0	5
11月.1	2.6	0
2	0.9	0
3	0.2	6
4	0.6	2
5	0.1	1
6	0.2	3

チャノコカクモンハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	5.1	5
2	7.1	18
3	12.1	35
4	24.8	44
5	43.9	46
6	46.8	10
5月.1	52.6	35
2	37.1	1
3	20.7	25
4	9.8	3
5	5.3	7
6	4.1	10
6月.1	11.6	46
2	22.0	19
3	38.8	75
4	43.2	24
5	39.4	10
6	28.2	7
7月.1	20.7	0
2	12.3	3
3	7.7	5
4	9.6	9
5	13.8	3
6	18.9	3
8月.1	13.2	8
2	9.8	4
3	6.7	0
4	6.0	0
5	3.1	2
6	2.8	1
9月.1	4.5	2
2	10.1	4
3	13.9	12
4	20.7	5
5	22.3	14
6	17.6	13
10月.1	28.3	14
2	29.8	16
3	31.9	10
4	21.3	12
5	19.6	9
6	11.3	5
11月.1	13.7	0
2	13.3	8
3	6.2	9
4	3.7	4
5	2.1	4
6	4.0	4
12月.1	1.5	5
2	1.2	1
3	1.9	0
4	0.9	0
5	0.6	0
6	0.1	0

予察灯(畑・農業研究所)における発生消長

チャバネアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.1	0
6	0.3	0
5月.1	11.9	8
2	45.5	3
3	425.4	12
4	83.4	0
5	343.0	40
6	488.6	11
6月.1	176.6	0
2	127.7	8
3	80.3	5
4	309.5	15
5	107.9	10
6	71.0	13
7月.1	112.3	49
2	118.3	18
3	234.2	9
4	233.5	4
5	261.4	3
6	182.7	12
8月.1	114.8	10
2	95.7	5
3	234.4	14
4	140.1	59
5	105.5	84
6	131.1	168
9月.1	163.1	153
2	193.4	98
3	101.5	47
4	56.8	27
5	69.3	131
6	24.2	251
10月.1	29.7	24
2	89.0	25
3	19.7	0
4	0.1	2
5	0.2	0
6	0.0	0

ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.3	1
6	0.2	0
5月.1	3.1	0
2	4.6	1
3	15.6	3
4	7.2	0
5	27.0	3
6	35.6	3
6月.1	18.0	0
2	43.5	14
3	40.9	34
4	155.5	17
5	61.9	3
6	88.9	2
7月.1	86.2	2
2	22.2	1
3	27.9	0
4	19.2	0
5	13.9	0
6	18.7	0
8月.1	8.2	3
2	10.2	2
3	16.6	5
4	12.5	9
5	7.2	10
6	11.3	14
9月.1	19.8	3
2	21.6	24
3	34.5	43
4	22.4	66
5	95.9	85
6	30.0	101
10月.1	107.9	101
2	114.8	92
3	74.0	11
4	32.0	21
5	59.4	3
6	14.3	1

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2016年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.0	0
6	0.0	0
5月.1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.2	0
4	0.0	0
5	0.6	0
6	2.2	1
6月.1	0.5	0
2	1.4	0
3	2.6	0
4	5.3	2
5	6.0	2
6	13.8	2
7月.1	13.4	0
2	32.3	3
3	74.9	1
4	107.1	3
5	142.4	1
6	122.4	4
8月.1	42.8	7
2	28.1	3
3	27.9	7
4	21.0	8
5	10.3	5
6	7.6	4
9月.1	4.5	2
2	2.6	1
3	1.3	1
4	0.5	2
5	0.2	0
6	0.0	3
10月.1	0.0	0
2	0.3	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.0	0
6	0.0	0

カンキツ巡回調査結果

4月														
地区	調査場所	そうか病	かいよう病				ミカンハダニ		カイガラムシ類	ヤノネ	カメムシ類	品 種	生育状況等	調査月日
		旧葉発病度	温州(旧葉)		中晩柑(旧葉)		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	カイガラムシ	叩き落し数			
			発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度								
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	早生温州	4月11日	
津	津市大里窪田	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	早生温州	4月7日	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	早生温州	4月5日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	普通温州	4月5日	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	普通温州	4月10日	
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	袋かけ。果実径9cm。	4月10日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	10	5.2	0	0	0	0	0	カラ	袋かけ。果実径10cm。	4月10日
紀州	紀北町海野	0	—	—	12	5.6	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径9cm。	4月6日
	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	26	3.92	10	0	0	早生温州	ミカンハダニは幼虫多い。	4月6日
	御浜町下市木	0	—	—	12	5.6	0	0	0	0	0	カラ		4月6日
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	6	0	0	早生温州		4月6日
	御浜町中立	0	—	—	0	0	8	0.18	0	0	0	新甘夏		4月6日
	紀宝町大里	0	—	—	4	0.8	8	0.10	4	0	0	セミノーブル		4月6日
平 均		0	0	0	6.3	2.9	3.2	0.32	1.5	0	0			
平 年(10年平均)		0.02	0.4	0.1	9.5	4.6	6.3	0.25	1.2	0.2	0			

5月												
地区	調査場所	そうか病		かいよう病				品 種				
		旧薬 発病度	新薬 発病度	温州(旧薬)		中晩柑(旧薬)						
				発病率率(%)	発病度	発病率率(%)	発病度					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	—	—	早生温州				
津	津市大里窪田	0	0	0	0	—	—	早生温州				
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	—	—	早生温州				
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	—	—	普通温州				
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	—	—	普通温州				
	南伊勢町泉	0	0	—	—	0	0	セミノーブル				
	南伊勢町五カ所浦	0	0	—	—	8	1.6	カラ				
紀州	紀北町海野	0	0	—	—	8	1.6	新甘夏				
	熊野市久生屋	0	0	0	0	—	—	早生温州				
	御浜町下市木	0	0	—	—	4	0.8	カラ				
	御浜町阿田和	0	0	0	0	—	—	早生温州				
	御浜町中立	0	0	—	—	0	0	新甘夏				
	紀宝町大里	0	0	—	—	4	0.8	セミノーブル				
平均		0	0	0	0	4.0	0.8					
平年(10年平均)		0.03	0.008 (8年平均)	0.1	0.02	8.4	3.3					
5月続き												
地区	調査場所	ミカンハダニ				ヤノネカイガラムシ 旧薬寄生率(%)	カメムシ類 叩き落とし 虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	品 種	生育状況等	調査月日	
		旧薬		新薬								
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉							
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	着花少ない。コナジラミ確認。	5月11日	
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	着花少ない。マイマイガ幼虫確認。	5月10日	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	着花少ない。局所的にアブラムシの発生確認。	5月9日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	着花少ない。	5月9日	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	開花はじめ	5月9日	
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	開花はじめ	5月9日	
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	カラ	開花はじめ	5月9日	
紀州	紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	着花少ない。開花はじめ。ハムシ類食害目立つ。	5月11日	
	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	8	早生温州	着花数平年並。開花終期。	5月11日	
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	カラ	開花前。区外でアカマルカイガラムシ確認。	5月11日	
	御浜町阿田和	2	0.02	0	0	0	0	2	早生温州	着花少ない。開花盛期すぎ。	5月11日	
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	着花少ない。開花盛期。	5月11日	
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	2	セミノーブル	着花多い。開花はじめ。	5月11日	
平均		0.2	0.002	0	0	0	0	0.9				
平年(10年平均)		10.0	0.81	6.4	0.20	0.5	0.2	1.2				

6月												
地区	調査場所	そうか病		かいよう病				黒点病 春葉発病度	ミカンハダニ(春葉)		アブラムシ類 新梢寄生率 (%)	品 種
		春葉発病度		温州(春葉)		中晩柑(春葉)			寄生率(%)	寄生虫数 (/葉)		
		発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	30	早生温州	
津	津市大里窪田町	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	30	早生温州	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	4	普通温州	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	2	普通温州	
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	0	0	0	2	セミノール	
	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	2	0.4	0	0	0	10	カラ	
紀州	紀北町海野	0	—	—	6	1.2	1.6	2	0.02	0	新甘夏	
	熊野市久生屋町	0	0	0	—	—	0	2	0.02	0	早生温州	
	御浜町下市木	0	—	—	6	1.2	0	2	0.02	0	カラ	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	8	0.12	0	早生温州	
	御浜町中立	0	—	—	0	0	0	6	0.08	0	新甘夏	
	紀宝町大里	0	—	—	0	0	0.4	8	0.08	0	セミノール	
平 均	0	0	0	2.3	0.5	0.2	2.2	0.03	6.0			
平年(10年平均)	0.04	0.1	0.08	3.0	1.2	1.2	11.5	0.44	4.3			
6月 続き												
地区	調査場所	チャノキイロ アザミウマ	ヤノネカイガラムシ	カメムシ類	アカマル	カイガラムシ類	品 種	生育状況等			調査月日	
		被害果率(%)	春葉寄生率(%)	叩き落とし 虫数	カイガラムシ 新梢寄生率(%)	新梢寄生率(%)						
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	早生温州	果実径1~1.5cm。アブラムシかなり多い。			6月9日	
津	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	早生温州	果実少ない。			6月8日	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	早生温州	アブラムシ局所的に激発。果実少ない。			6月5日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	普通温州	アブラムシ局所的に激発。果実少ない。			6月8日	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	1	0	0	普通温州	果実径1cm。ボソリカメムシ確認。			6月9日	
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	セミノール	アゲハの幼虫やや目立つ。白いコナジラミ確認。			6月9日	
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	カラ	アブラムシによる新葉の葉巻多い。コナジラミ確認。			6月9日	
紀州	紀北町海野	0	0	0	0	0	新甘夏	新葉でハモグリガ食害目立つ。黒点病区外で確認。			6月7日	
	熊野市久生屋町	0	0	0	2	2	早生温州	果実径1.5cm。			6月7日	
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	カラ	新葉でハモグリガ食害目立つ。黒点病区外で確認。			6月7日	
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	早生温州	果実径1.5cm。新葉でハモグリガ食害あり。			6月7日	
	御浜町中立	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径1cm。ハマキムシ食害あり。			6月7日	
紀宝町大里	0	0	0	0	0	セミノール	果実径0.3cm。新葉でハモグリガ食害あり。			6月7日		
平 均	0	0	0.08	0.2	0.2							
平年(10年平均)	0.5	0	0.07	0.2	0.4							

7月											
地区	調査場所	そうか病		かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病	品 種
		果実発病度	温州		中晩柑		温州	中晩柑	果実発病度		
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州	
津	津市大里窪田	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州	
松阪	多気町五桂	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	—	0	普通温州	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	—	0	普通温州	
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	—	0	0	セミノーブル	
	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	0	0	—	0	0	カラ	
紀州	紀北町海野	0	—	—	0	0	—	1.2	0	新甘夏	
	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州	
	御浜町下市木	0	—	—	4	0.8	—	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州	
	御浜町中立	0	—	—	0	0	—	0	0	新甘夏	
	紀宝町大里	0	—	—	2	0.4	—	0	0	セミノーブル	
平 均	0	0	0	1.0	0.2	0	0.2	0	0		
平年(10年平均)	0.1	0.2	0.03	8.1	3.6	0.06	1.5	1.5			
7月 続き											
地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ	カメムシ類	ミカンサビダニ	アカマル	ハマキムシ類	品 種	生育状況等	調査月日
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	アザミウマ 被害果率(%)	叩き落とし 虫数	被害果率(%)	カイガラムシ 寄生新梢率(%)	被害新梢率(%)			
桑名	桑名市多度町小山	10	0.12	0	0	0	0	0	早生温州	果実径2cm。	7月3日
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径2.5cm。早生温州はかかなり着果少ない。	7月6日
松阪	多気町五桂	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径2cm。着果少ない。アブラムシ若干確認。	7月3日
	松阪市小阿坂町	12	0.30	0	0	0	0	2	普通温州	果実径1.5cm。	6月30日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径3cm。葉に黒点病確認。	7月3日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径1cm。区外でハマキムシ類とアゲハ幼虫確認。	7月3日
	南伊勢町五カ所浦	6	0.18	0	0	0	0	0	カラ	果実径1.5cm。区外で葉にかいよう病確認。	7月3日
紀州	紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径1~2cm。	6月30日
	熊野市久生屋	2	0.02	0	0	0	2	0	早生温州	果実径3cm。	7月5日
	御浜町下市木	8	0.24	0	0	0	0	2	カラ	果実径1cm。着果少ない。葉に黒点病確認。	7月5日
	御浜町阿田和	4	0.06	0	0	0	0	0	早生温州	果実径3cm。アブラムシ類による葉巻確認。	7月5日
	御浜町中立	70	3.00	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径4cm。防除のあとはあるがハダニ多発。	7月5日
	紀宝町大里	6	0.14	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径1.5cm。	7月5日
平 均	9.1	0.31	0	0	0	0.2	0.3				
平年(10年平均)	8.6	0.34	1.0	0.03	0	0.2	0.1				
								(6年平均)			

8月												
地区	調査場所	そうか病		かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病	品 種	
		果実発病度		温州		中晩柑		温州	中晩柑	果実発病度		
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病度	発病度					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州		
津	津市大里窪田町	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州		
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州		
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	—	0	普通温州		
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	—	1.6	普通温州		
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	—	0	0	セミノール		
	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	2	0.4	—	0	0	カラ		
紀州	紀北町海野	0	—	—	10	2.0	—	0	0	新甘夏		
	熊野市久生屋町	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州		
	御浜町下市木	0	—	—	14	4.4	—	0.4	0	カラ		
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	—	0	早生温州		
	御浜町中立	0	—	—	0	0	—	0	0	新甘夏		
	紀宝町大里	0	—	—	4	0.8	—	0.4	0	セミノール		
平 均	0	0	0	5.0	1.3	0	0.1	0.1				
平年(10年平均)	0.3	0.2	0.04	8.2	3.0	0.006	3.9	5.4				
8月続き												
地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミウマ	ミカンハモグリガ	カラムシ類	カイガラムシ類	アカマル カイガラムシ	ハマキムシ類	品 種	備 考 生育状況等	調査月日
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害新梢率 (%)	叩き落とし 虫数	寄生枝率(%)	寄生果率(%)	被害果率(%)				
桑名	桑名市多度町小山	8	0.08	4	6	0	0	0	0	早生温州	果実径4cm。ハダニは死亡虫も多かった。着果少ない。	7月31日
津	津市大里窪田町	0	0	0	6	0	0	0	0	早生温州	果実径4cm。	8月2日
松阪	多気町五桂(定)	14	2.40	0	2	0	0	0	0	早生温州	果実径3cm。新葉にアブラムシ類寄生。	7月28日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	2	0	0	0	0	普通温州	果実径4cm。着果少ない。アブラムシ類局所的に発生。	7月28日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	2	0.02	0	2	0	0	0	0	普通温州	果実径4cm。	8月1日
	南伊勢町泉	0	0	0	2	0	0	0	0	セミノール	果実径2.5cm。	8月1日
	南伊勢町五カ所浦	38	1.88	0	2	0	0	0	0	カラ	果実径3cm。アオバハコ'ロモ・スケハハコ'ロモ局所的に発生。	8月1日
紀州	紀北町海野	14	0.52	0	52	0	0	0	0	新甘夏	果実径2~4cm。	8月1日
	熊野市久生屋町	26	0.44	0	8	0	2	0	0	早生温州	果実径4cm。	8月3日
	御浜町下市木	0	0	0	10	0	2	0	0	カラ	果実径1cm。着果少ない。アブラムシ類局所的に発生。	8月3日
	御浜町阿田和	4	0.04	0	4	0	2	0	0	早生温州	果実径5cm。アケハ幼虫確認。	8月3日
	御浜町中立	2	0.02	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径7cm。	8月3日
紀宝町大里	0	0	2	2	0	0	0	0	セミノール	果実径3.5cm。ハダニ食害あり。	8月3日	
平 均	8.3	0.42	0.5	7.5	0	0.5	0	0				
平年(10年平均)	5.6	0.30	1.2	44.4	0.008	0.2	0.1	0				
										(6年平均)		

9月												
地区	調査場所	かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率(%)	品 種		
		温州		中晩柑		温州 発病度	中晩柑 発病度					
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度							
桑名	桑名市多度町小山	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州		
津	津市大里窪田町	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州		
松阪	多気町五桂(定)	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州		
	松阪市小阿坂町	0	0	—	—	0	—	0	0	普通温州		
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	—	—	0	—	8.0	0	普通温州		
	南伊勢町泉	—	—	0	0	—	0	0	0	セミノーブル		
	南伊勢町五カ所浦	—	—	4	0.8	—	0	0	0	カラ		
紀州	紀北町海野	—	—	10	2.0	—	0	8.0	0	新甘夏		
	熊野市久生屋町	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州		
	御浜町下市木	—	—	12	2.4	—	1.2	0	0	カラ		
	御浜町阿田和	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州		
	御浜町中立	—	—	0	0	—	0	0	0	新甘夏		
	紀宝町大里	—	—	2	0.4	—	0	0.8	0	セミノーブル		
平 均		0	0	4.7	0.9	0	0.2	1.3	0			
平年(10年平均)		0.3	0.2	9.4	3.7	0.05	6.4	10.5	0			
9月続き												
地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミウマ 被害果率(%)	ミカンハモグリガ 被害新梢率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉									
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	86	0	0	0	0	早生温州	果実径7~8cm。	9月7日
津	津市大里窪田町	14	0.26	0	10	0	0	0	0	早生温州	果実径5.5cm。着果少ない。新葉でアブラムシ確認。	9月4日
松阪	多気町五桂(定)	2	0.02	0	10	0	0	0	0	早生温州	果実径7~8cm。新葉でアブラムシ確認。	9月4日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	70	0	0	0	0	普通温州	果実径7~8cm。	9月4日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	10	0.10	0	6	0	0	0	0	普通温州	果実径6cm。	9月7日
	南伊勢町泉	0	0	0	2	0	0	0	0	セミノーブル	果実径4cm。	9月7日
	南伊勢町五カ所浦	4	0.10	0	10	0	0	0	0	カラ	果実径4.5cm。一部でアブラムシ多発。	9月7日
紀州	紀北町海野	0	0	4	50	0	2	0	0	新甘夏	果実径6.5cm。	9月5日
	熊野市久生屋町	2	0.02	0	2	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm。	9月5日
	御浜町下市木	2	0.04	0	10	0	0	0	0	カラ	果実径3cm。	9月5日
	御浜町阿田和	58	1.46	0	2	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm。新葉でアブラムシ確認。	9月5日
	御浜町中立	44	0.64	0	10	0	0	0	0	新甘夏	果実径8cm。	9月5日
紀宝町大里	30	0.46	0	10	0	0	0	0	セミノーブル	果実径4.5cm。	9月5日	
平 均		12.8	0.24	0.3	21.4	0	0.2	0	0			
平年(10年平均)		6.4	0.17	2.8	43.1	0.02	0.4	0.07	0.2			

10月											
地区	調査場所	かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病	褐色腐敗病	品 種	
		温州		中晩柑		温州 発病度	中晩柑 発病度	果実発病度	発病果率		
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度						
桑名	桑名市多度町小山	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
津	津市大里窪田	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	0	0	—	—	0	—	0	0	普通温州	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	—	—	0	—	12.0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	—	—	0	0	—	0	0	0	セミノーブル	
	南伊勢町五カ所浦	—	—	2	0.4	—	0	0	0	カラ	
紀州	紀北町海野	—	—	4	0.8	—	0	14.0	0	新甘夏	
	熊野市久生屋	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
	御浜町下市木	—	—	6	1.2	—	1.2	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
	御浜町中立	—	—	0	0	—	0	12.0	0	新甘夏	
	紀宝町大里	—	—	4	0.8	—	0	0.4	0	セミノーブル	
	平 均	0	0	2.7	0.5	0	0.2	3.0	0		
	平年(10年平均)	0.06	0.01	9.1	4.5	0.06	6.3	17.1	0		
10月続き											
地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミウマ	カメムシ類	カイガラムシ類	ヤノネカイガラムシ	アカマル カイガラムシ	品 種	生育状況等	調査月日
		寄生率率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	叩き落とし 虫数	寄生枝率(%)	寄生率率(%)	寄生果率(%)			
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		10月6日
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外でハダニ確認。	10月4日
松阪	多気町五桂(定)	32	1.64	0	0	0	0	0	早生温州		10月2日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		10月2日
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	2	0.02	0	0	0	0	0	普通温州	吸蛾類の被害散見。	10月3日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル		10月3日
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	カラ	旧葉でハダニ類食害痕多い。	10月3日
紀州	紀北町海野	0	0	0	1	0	0	0	新甘夏		10月4日
	熊野市久生屋	0	0	0	0	2	0	0	早生温州	区外でアカマルカイガラムシ寄生果確認。	10月4日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	カラ		10月4日
	御浜町阿田和	2	0.02	0	0	4	0	0	早生温州		10月4日
	御浜町中立	68	1.50	0	0	0	0	0	新甘夏		10月4日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル		10月4日
	平 均	8.0	0.24	0	0.08	0.5	0	0			
	平年(10年平均)	4.3	0.10	4.1	0.2	0.8	0.1	0.9			

3月														
地区	調査場所	そうか病		かいよう病				ミカンハダニ		カイガラムシ類	ヤノネカイガラムシ	品 種	生育状況等	調査月日
		旧葉発病度	温州(旧葉)		中晩柑(旧葉)		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生葉率(%)				
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度								
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	ワタアブラムシ1頭確認。	3月9日	
津	津市大里窪田	0.4	0	0	—	—	2	0.02	0	0	早生温州	近隣にそうか病常発園地あり。	3月6日	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	2	0.04	0	0	早生温州		3月7日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	0	普通温州		3月7日	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	普通温州		3月5日	
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	0	0	0	0	セミノール	袋かけあり。	3月5日	
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	4	2.4	0	0	0	0	カラ	袋かけあり。	3月5日	
紀州	紀北町海野	0	—	—	4	2.4	0	0	0	0	新甘夏		3月8日	
	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	6	0.08	0	0	早生温州		3月8日	
	御浜町下市木	0	—	—	6	2.8	0	0	0	0	カラ	袋かけあり。	3月8日	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州		3月8日	
	御浜町中立	0	—	—	0	0	0	0	0	0	新甘夏	収穫済み。	3月8日	
	紀宝町大里	0	—	—	2	0.4	0	0	0	0	セミノール	袋かけあり。	3月8日	
平 均		0.03	0	0	2.7	1.3	0.8	0.01	0	0				
平年(10年平均)		0	0.1	0.02	8.5	3.8	4.7	0.15	1.6	0.2				

ナシ巡回調査結果

4月										
地区	調査場所	黒星病	黒星病	赤星病	ハダニ類		アブラムシ類	品 種	生育状況等	調査月日
		発病芽率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	幸水	展葉・開花はじめ。	4月10日
津	津市久居小野辺町(定)	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉	4月7日
	津市香良洲町(定)	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉	4月7日
松阪	松阪市笹川町	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉	4月5日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉	4月5日
伊賀	伊賀市羽根1	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉	4月11日
	伊賀市羽根2	0	—	—	—	—	0	幸水	未展葉。	4月11日
平 均		0	0	0	0	0	0			
平 年(10年平均)		0	0	0	0	0	0.3			
				(6年平均)	(6年平均)	(6年平均)	(8年平均)			

5月										
地区	調査場所	黒星病	赤星病	ハダニ類		アブラムシ類	品 種	生育状況等		調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	幸水			5月8日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	幸水			5月10日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	幸水			5月10日
松阪	松阪市笹川町	6	0	0	0	0	幸水	果実の黒星病も目立つ。区外でアブラムシ1頭あり。		5月9日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	幸水	果実に黒星病1か所あり。		5月12日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	幸水			5月12日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	幸水			5月12日
平 均		0.9	0	0	0	0				
平年(10年平均)		0.4	0.6	0.04	0.0004	1.6				

6月											
地区	調査場所	黒星病	赤星病	ハダニ類		アブラムシ類	カメムシ類	品 種	生育状況等		調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	2	2	0	0	6	0	幸水	アブラムシは上向きの枝の葉先に密集。		6月6日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	区外で赤星病あり。		6月8日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水			6月8日
松阪	松阪市笹川町	4	4	0	0	0	0	幸水	黒斑病も多発。袋掛けあり。		6月5日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	幸水			6月6日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	幸水			6月7日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	幸水			6月7日
平 均		0.9	0.9	0	0	0.9	0				
平年(10年平均)		2.2	0.4	0.02	0.0002	5.5	0				

7月														
地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病率率(%)	発病果率(%)	発病率率(%)	発病果率(%)	寄生率率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率率(%)	被害果率率(%)	見取り虫数				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	10	0.20	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。赤星病も確認。	7月4日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。赤星病も確認。	7月6日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。	7月6日
松阪	松阪市笹川町	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。黒斑病ひどい。赤星病も確認。	6月30日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	2	0	66	1.82	0	0	0	0	0	0	幸水	南半分袋かけあり。黒斑病散見。	7月7日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水		7月7日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水		7月7日
平均		1.1	0	10.9	0.29	0.6	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		2.4	0.1	1.1	0.06	0.9	0.04	0	0	0	0			

8月																
地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		疫病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	備 考 生育状況等	調査月日
		発病率率(%)	発病果率(%)	発病率率(%)	発病果率(%)	寄生率率(%)	寄生虫数/葉	寄生新梢率率(%)	被害果率率(%)	見取り虫数						
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	—	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	幸水(有袋)	ハダニ食害痕あり。	8月2日
津	津市久居小野辺町(定)	0	—	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	幸水(有袋)	区外でうどんこ病あり。赤星病散見。	8月2日
	津市香良洲町(定)	0	—	2	0	0	0	0	0	—	0	0	0	幸水(有袋)	ハダニ食害痕あり。	8月2日
松阪	松阪市笹川町	4	—	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	幸水(有袋)	黒斑病目立つ。	7月28日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	—	2	0	0	0	0	0	—	0	0	0	幸水(有袋)		8月4日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		8月4日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	萎縮病、黒斑病あり。	8月4日
平均		0.6	0	0.6	0	0.3	0.003	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		2.0	1.6	1.5	0	3.9	0.28	0.2	1.4	0	0	0	0			

9月																
地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		疫病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病率率(%)	発病果率(%)	発病率率(%)	発病果率(%)	寄生率率(%)	寄生新梢率率(%)	寄生率率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率率(%)	被害果率率(%)	見取り虫数				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	—	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	幸水(有袋)	区外で黒星病確認。	9月5日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		9月4日
	津市香良洲町(定)	0	—	4	0	0	0	0	0	2	—	0	0	幸水(有袋)	収穫済み。ハスモンヨトウ卵塊確認。	9月4日
松阪	松阪市笹川町	10	—	0	0	0	0	6	0.80	0	—	0	0	幸水(有袋)	区外でうどんこ病あり。収穫済み。	9月4日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	区外で黒星病確認。	9月8日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	10	0.26	0	0	0	0	幸水(無袋)	一部でハダニかなりひどい。	9月8日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	10	0.14	0	0	0	0	幸水(無袋)	ニセナシバハダニ食害痕確認。	9月8日
平均		1.4	0	1.1	0	0	0	3.7	0.17	0.3	0	0	0			
平年(10年平均)		1.3	1.2	8.9	0	0.02	0	3.7	0.13	8.9	1.3	0.4	0.02			
			(9年平均)													

カキ巡回調査結果

4月				
地区	調査場所	炭疽病	備考	調査月日
		発病枝率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0		4月10日
	松阪市嬉野川北町1	0		4月10日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0		4月5日
	玉城町蚊野1	0		4月5日
平均		0		
平年(10年平均)		0		
		(9年平均)		

5月						
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	病斑数/枝		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	蕾	5月8日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	蕾	5月8日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	開花はじめ	5月12日
	玉城町蚊野1	0	0	0	開花はじめ	5月12日
平均		0	0	0		
平年(10年平均)		0	0.05	0.0005		

6月						
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病	カメムシ類	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	2	0	0	果径1.5cm。	6月5日
	松阪市嬉野川北町1	2	0	5	チャハネ幼虫。	6月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	2	0	0		6月6日
	玉城町蚊野1	0	0	0		6月6日
平均		1.5	0	1.3		
平年(10年平均)		1.4	0.05	0		

7月										
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		カキノヘタムシガ	カメムシ類		生育状況等		調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数			
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	6	0	0	4	0	0			7月5日
	松阪市嬉野川北町1	6	0	0	2	0	0			7月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	果実径4.5cm <sub>0</sub>		7月3日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	果実径4.5cm <sub>0</sub>		7月3日
平均		3.0	0	0	1.5	0	0			
平年(10年平均)		10.0	0	0	0.2	0.8	0			

8月										
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ	備考 生育状況等		調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	叩落し虫数	被害果率(%)			
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4	0	0	0	0	0			8月1日
	松阪市嬉野川北町1	4	0	0	0	0	2			8月1日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0			8月4日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0			8月4日
平均		2.0	0	0	0	0	0.5			
平年(10年平均)		8.7	0	0	0.7	0.03	0			

9月										
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ	生育状況等		調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)			
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4	0	0	0	0	0			9月8日
	松阪市嬉野川北町1	2	0	0	0	0	0			9月8日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0			9月7日
	玉城町蚊野1	2	0	0	0	0	0			9月7日
平均		2.0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		17.7	0	0	1.8	0	0.5			

10月								
地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病	カメムシ類		カキノヘタムシガ	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4	0	4	0	0	角斑落葉病あり	10月5日
	松阪市嬉野川北町1	4	0	2	0	0	角斑落葉病あり	10月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	円星落葉病あり	10月2日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	円星落葉病あり	10月2日
平均		2.0	0	1.5	0	0		
平年(10年平均)		19.8	0.3	5.6	0.03	0.05		

#### ブドウ巡回調査結果

4月							
地区	調査場所	黒とう病	品種	生育状況等			調査月日
		発病葉率(%)					
津	津市久居明神町	—	安芸クイーン				調査未実施
伊勢志摩	玉城町勝田	—	デラウェア				〃
伊賀	伊賀市森寺(定)	—	安芸クイーン				〃
	伊賀市森寺1	—	巨峰				〃
	伊賀市上ノ庄(定)	—	巨峰				〃
	伊賀市上ノ庄1	—	巨峰				〃
	名張市下小波田1	—	デラウェア				〃
	名張市下小波田2	—	巨峰				〃
平均							
平年(8年平均)		—					

5月										
地区	調査場所	べと病	黒とう病	ハダニ類		品種	生育状況等			調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉					
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン				5月10日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア				5月12日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン				5月12日
	伊賀市森寺1	0	4	0	0	巨峰	殺菌剤無処理区。			5月12日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰				5月12日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰				5月12日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア	クビアカスカシバ食害痕あり。			5月12日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰				5月12日
	平均	0	0.5	0	0					
	平年(10年平均)	0	0.7	0.03	0.003					

6月											
地区	調査場所	べと病	黒とう病	ハダニ類		チャノキイロアザミウマ	品種	生育状況等			調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数(/葉)	被害穂軸率(%)					
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	安芸クイーン				6月8日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	デラウェア				6月6日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	安芸クイーン				6月7日
	伊賀市森寺1	0	2	0	0	0	巨峰				6月7日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	巨峰				6月7日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	巨峰				6月7日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	デラウェア				6月7日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	巨峰				6月7日
	平均	0	0.3	0	0	0					
	平年(10年平均)	0.05	1.0	0.1	0.0009	0					

7月											
地区	調査場所	べと病	黒とう病	ハダニ類		品種	生育状況等				調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉						
津	津市久居明神町	0	0	4	0.04	安芸クイーン	袋かけあり。ハダニ類の食害はカンザワハダニ。				7月6日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	8	0.10	デラウェア	袋かけあり。ハダニ類の食害はカンザワハダニ。				7月7日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン					7月7日
	伊賀市森寺1	0	4	0	0	巨峰	殺菌剤無処理区。マメコガネ食害痕あり。				7月7日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰					7月7日
	伊賀市上ノ庄 1	0	0	0	0	巨峰	袋かけ途中。				7月7日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア	袋かけあり。				7月7日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰	袋かけあり。マメコガネ食害痕有。区外でべと病確認。				7月7日
	平均	0	0.5	1.5	0.02						
	平年(10年平均)	3.9	1.2	1.7	0.03						

8月											
地区	調査場所	べと病	黒とう病	晩腐病	ハダニ類		チャノキイロアザミウマ	カメムシ類	品種	備考 生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病房率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害穂軸率(%)	寄生房率(%)			
津	津市久居明神町	0	0	—	0	0	—	—	安芸クイーン	マメコガネ、ハスモンヨトウ一部で確認。	8月2日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	—	0	0	—	—	デラウェア	収穫済み。	8月4日
伊賀	伊賀市森寺(定)	2	0	—	0	0	—	—	安芸クイーン		8月4日
	伊賀市森寺1	0	4	—	0	0	—	—	巨峰	殺菌剤無処理区	8月4日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	—	0	0	—	—	巨峰		8月4日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	—	0	0	—	—	巨峰	園内のクイーンコーナではべと病やアザミウマ確認。	8月4日
	名張市下小波田1	0	0	—	0	0	—	—	デラウェア	褐斑病あり。園地外側でコカネムシ類食害痕目立つ。	8月4日
	名張市下小波田2	2	0	—	2	0.08	—	—	巨峰	褐斑病確認。	8月4日
	平均	0.5	0.5		0.3	0.01					
	平年(10年平均)	9.9	1.4	11.2 (9年平均)	2.7	0.10	4.0 (7年平均)	0.1 (9年平均)			

9月										
地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ 被害穂軸率(%)	品 種	生育状況等		調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数(/葉)					
津	津市久居明神町	0	0	0	0	—	安芸クイーン	有袋。ハスモンヨトウ卵塊、食害痕、マメカネ食害確認。		9月4日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	—	デラウェア	収穫済み。		9月8日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	—	安芸クイーン	ハスモンヨトウ卵塊、食害痕あり。		9月8日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	—	巨峰	有袋+ネット。		9月8日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	—	巨峰			9月8日
	伊賀市上ノ庄1	2	0	0	0	—	巨峰			9月8日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	—	デラウェア	収穫済み。褐斑病散見。		9月8日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	—	巨峰	褐斑病散見。		9月8日
	平 均	0.3	0	0	0					
	平年(10年平均)	9.7	0.7	0.8	0.01	20.5 (4年平均)				

10月										
地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類		品 種	生育状況等			調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数(頭/葉)					
津	津市久居明神町	0	0	4	0.08	安芸クイーン	褐斑病確認。			10月4日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア	区外でハダニ確認。			10月2日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン	収穫済み。			10月5日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。褐斑病確認。			10月5日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。一部で褐斑病確認。			10月5日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。			10月5日
	名張市下小波田1	0	0	40	0.96	デラウェア	収穫済み。褐斑病確認。			10月5日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。褐斑病目立つ。			10月5日
	平 均	0	0	5.5	0.13					
	平年(10年平均)	9.5	0.1	0.8	0.01					

ウメ巡回調査結果

4月											
地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病		アブラムシ類		ウメシロ カイガラムシ		品種	生育状況等	調査月日
			葉発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	0	—	0	—	0	—	14	白加賀	葉未展葉	4月7日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	0	8	五ヶ所小梅	果実長は約1.5cm。	4月10日
紀州	御浜町中立	0	—	0	—	0	—	6	南高	果実長は約1cm、未展葉。	4月6日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	6	南高	果実は大豆粒程度。	4月6日
	平均	0	0	0	0	0	0	8.5			
	平年(8年平均)	0	0.04	0	0	0	0	14.8			
			(7年平均)								

5月											
地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		品種	生育状況等	調査月日
			葉発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	0	0	0.3	0	0	0	14	白加賀	着花少ない。	5月10日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0.3	0	0	0	4	五ヶ所小梅	果実2cm程度。	5月9日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	南高	着花平年並。	5月11日
	紀宝町大里	0	0.3	0.6	0	0	0	0	南高	着花平年並。	5月11日
	平均	0	0.07	0.3	0	0	0	4.5			
	平年(8年平均)	2.6	0.4	0.1	0	0.3	0	12.7			

6月											
地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		品種	生育状況等	調査月日
			果実発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	0	0	0	0	0	0	4	白加賀	収穫残(区外)で黒星病あり。	6月8日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	—	—	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	収穫済み。ダニ目立つ。	6月9日
紀州	御浜町中立	0.9	0	0	0	0	0	0	南高		6月7日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	2	南高	果実の区外、葉でかいよう病あり。	6月7日
	平均	0.3	0	0	0	0	0	1.5			
	平年(8年平均)	13.1	1.4	0.05	0.6	0.6	0.6	7.3			

## 果樹カメムシ類越冬個体数調査

### a. チャバネアオカメムシ越冬量調査

単位:頭

調査地点\調査年月	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.2	10年平均
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	3	2	4	0	1	0	1	1	0	0	5	1.2
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	0	1	9	0	17	1	13	9	0	0	3	5.0
松阪市大阿坂町 (広葉樹林)	1	0	0	0	4	1	27	1	0	1	14	3.5
松阪市小阿坂町 (ヒノキ林)	0	2	6	3	2	2	36	28	0	6	11	8.5
平均	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	1.8	8.3	4.6
採集地点率(%)	50	75	75	25	100	75	100	100	0	50	100	65.0

※1地点あたり1m<sup>2</sup>範囲内の落葉を3カ所採取し(計3m<sup>2</sup>)、捕獲した数を計測。

※調査は、例年1月～3月に実施。

### b. クサギカメムシ越冬量調査

単位:頭

調査地点\調査年月	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.1	10年平均
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	6	3	14	3	17	1	12	9	7	4	6	7.6
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	52	23	174	23	294	8	658	543	46	38	172	185.9
南伊勢町船越 (カンキツ園)	2	1	33	0	5	0	55	5	4	30	27	13.5
御浜町志原 (カンキツ園)	0	1	1	0	1	0	3	10	1	0	3	1.7
平均	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	52.2
採集地点率(%)	75	100	100	50	100	50	100	100	100	75	100	85.0

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

※2008年2月までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。

広域病害虫防除員調査結果

カンキツ 6月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病果率	寄生葉率	虫数/葉			
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○切原(船越) 新梢多、花芽多、開花期5月上中旬、1次生理落果中。	6月6日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3か所とも山の中のほ場。管理状態は良好。	6月6日
	南伊勢町船越3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	○五ヶ所浦 1・2は海辺近くで3よりやや生育早い。1ではアブラムシも1頭あり。	6月6日
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3はやや山の中で切原地区に近い場所。管理は良好。	6月6日
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1・2:新梢・花芽は並、開花期5月上旬、1次生理落果済み。	6月6日
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3:新梢・花芽多、開花期5月上中旬、1次生理落果中。	6月6日
	平均		0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1		
	過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.5 10	0.0 5	0.0 5	0.0 10	0.0 10	0.0 5	0.0 5	0.0 5	0.0 5	0.0 5	2.8 10	0.11 10		
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	7.93	早生温州:樹勢良、着果やや少、新梢多、果径10~15mm	6月8日	
	熊野市金山町2	極早生温州	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	極早生温州:樹勢やや良、着果並、新梢やや多、果径10~15mm	6月8日
	熊野市金山町3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	2.84	不知火:樹勢弱、生理落果多	6月8日	
	御浜町神木1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.50	早生温州:樹勢良、着果・新梢並、果径8~12mm、半樹摘果	6月8日	
	御浜町神木2	伊予柑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	2.33	伊予柑:樹勢弱、着果少 樹勢低下	6月8日	
	御浜町神木3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	6.68	極早生温州:樹勢やや良、着果少、果径8~12mm、ハダニ被害大、新梢がほぼ全て吸汁害により白い。	6月8日	
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	極早生温州:樹勢良、着果・新梢並、果径15~20mm	6月8日	
	御浜町下市木2	セミノール	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	40	1.80	セミノール:樹勢やや弱、着果多、果径5~10mm、葉色悪い	6月8日	
	御浜町下市木3	カラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	3.25	カラ:樹勢並、着果バラツキ	6月8日	
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1.13	甘夏:樹勢良、着果少、有葉果主体	6月8日	
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	6.39	極早生温州:樹勢良、着・新梢並、果径15mm、ハダニ多発	6月8日	
	御浜町阿田和3	極早生温州	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1.33	極早生温州:樹勢やや弱、着果やや多、新梢少(ハモグリガ被害多)、果径10~20mm	6月8日	
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.00	極早生温州:樹勢良、着果やや多	6月8日	
	紀宝町井田2	甘夏	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	甘夏:樹勢良、着果やや少、新梢並、果径15~23mm	6月8日	
	紀宝町井田3	不知火	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	不知火:樹勢並、着果少、生理落果期	6月8日
	平均		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	32.3	2.55			
過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.5 10	0.0 5	0.0 5	0.6 10	1.1 10	0.0 5	0.0 5	0.0 5	0.0 5	0.0 5	8.6 10	0.34 10			

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは5月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果  
カンキツ 8月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数/葉			
伊勢	南伊勢町船越1(切原)	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	31ほ場とも薬剤散布跡が見られ管理状態は良好である。 果実横径35～45mm 夏芽少ない。 ほ場1:かいよう病は周辺では見当たらない。	8月3日	
	南伊勢町船越2(切原)	早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0.00		8月3日	
	南伊勢町船越3(切原)	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		8月3日	
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		8月3日	
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		8月3日	
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		8月3日	
	平均		0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0			
	過去の平均値 (データ数)		0.1 10	0.2 10	0.2 10	0.4 10	0.0 10	0.0 10	0.0 10	0.0 10	0.4 10	0.8 10	2.0 10	0.06 10			
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4	24	2.67	早生温州:樹勢良、着果並、肥大良、マルチ栽培 不知火:樹勢やや弱、着果極少 極早生:樹勢良、着果並、マルチ栽培	8月5日	
	熊野市金山町2	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	1.50		8月5日	
	熊野市金山町3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2.00		8月5日	
	御浜町神木1	伊予柑	0	0	0	0	0	0	4	8	1	2	2	1.00		伊予柑:樹勢良、着果少、肥大良好	8月5日
	御浜町神木2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0.00		極早生温州:樹勢良、着果やや多、肥大並、マルチ栽培	8月5日
	御浜町神木3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		早生温州:樹勢良、着果少、半樹摘果、マルチ栽培	8月5日
	御浜町下市木1	カラ	0	0	0	0	2	4	2	4	1	2	8	1.75		カラ:樹勢並、着果少 セミノール:樹勢やや弱、着果多、肥大少、キズ果目立つ 極早生温州:樹勢良、着果並、マルチ栽培	8月5日
	御浜町下市木2	セミノール	3	6	0	0	3	6	1	2	0	0	0	0.00			8月5日
	御浜町下市木3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0.00			8月5日
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0.00		甘夏:樹勢良、着果やや少、マルチ栽培	8月5日
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0.00		極早生温州:樹勢並、着果並、肥大良、マルチ栽培、キズ果多	8月5日
	御浜町阿田和3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	0	0.00		極早生温州:樹勢並、着果並、肥大並、マルチ栽培、キズ果多、春葉小さい	8月5日
	紀宝町井田1	不知火	0	0	0	0	1	2	8	16	1	2	0	0.00		不知火:樹勢並、着果少、肥大遅れ、マルチ栽培、夏芽多	8月5日
	紀宝町井田2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	4	1.00		極早生温州:樹勢良、着果やや多、肥大良、マルチ栽培、キズ果多	8月5日
	紀宝町井田3	早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	4	8	2	1.00		早生温州:樹勢良、着果多、肥大遅れ、キズ果多、未摘果	8月5日
	平均		0.2	0.4	0	0	0.4	0.8	1.3	2.7	1.5	3.1	3.2	0.73			
	過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.3 10	0.0 10	0.0 10	0.8 10	1.6 10	0.7 10	1.4 10	2.7 10	5.3 10	8.3 10	0.56 10			

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果  
カンキツ 10月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	寄生葉率	虫数/葉			
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5~6.5cm(仕上がり摘果済みの樹)。1/3程度が摘果済み・着色はじめ。 病害虫の発生はほぼ見られない。仕上がり摘果の最中で着果数、生育共に良好である。	10月5日	
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月5日	
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月5日	
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		果実横径5.5~7cm(仕上がり摘果済みの樹)。全体の半分程度が摘果済み・着色はじめ。	10月5日
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		病害虫の発生はほぼ見られない。周辺のカラで葉にか	10月5日
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		いよう病が小発生していた。着果数、生育共に良好である。	10月5日
	平均		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000			
過去の平均値 (データ数)		0.1 10	0.2 10	0.1 10	0.2 10	0.0 10	0.0 10	0.0 10	0.0 10	18.6 10	37.1 10	2.9 10	0.06 10				
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	8	16	0	0.00	早生温州:樹勢良、着果やや少、肥大良、マルチ栽培 不知火:樹勢弱、着果少、バラつき、枯枝多い 極早生温州:樹勢良、着果やや少、肥大良、マルチ栽培、着色6~7分、収穫前	10月7日		
	熊野市金山町2	不知火	0	0	0	0	0	6	12	10	20	2	1.00		10月7日		
	熊野市金山町3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0.00		10月7日		
	御浜町神木1	伊予柑	0	0	0	0	0	0	12	24	5	10	2	1.00	伊予柑:樹勢並、着果バラつき、潰瘍性コホン症多発 極早生温州:樹勢良、着果並、肥大やや少、マルチ栽培、着色7分、黒点病多発	10月7日	
	御浜町神木2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	37	74	6	1.00	早生温州:樹勢並、着果やや多、肥大並、半樹摘果、マルチ栽培	10月7日	
	御浜町神木3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	19	38	52	5.80		10月7日	
	御浜町下市木1	カラ	0	0	0	0	7	14	16	32	0	0	2	2.00	カラ:樹勢やや弱、着果少、バラつき、かいよう病部分的に多発	10月7日	
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	0	0	2	4	4	8	0	0.00	セミノール:樹勢良、着果やや多、肥大良 極早生温州:樹勢並、着果並、肥大良、マルチ栽培、着色5分、収穫前	10月7日	
	御浜町下市木3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	14	28	0	0.00		10月7日	
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	0	0	7	14	36	72	70	3.51	甘夏:樹勢並、着果並、肥大良、ハダニ多い、摘果作業中	10月7日	
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	11	22	2	1.00	極早生温州:樹勢やや弱、着果少、肥大並、マルチ栽培、着色5分、収穫前	10月7日	
	御浜町阿田和3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	極早生温州:樹勢並、マルチ栽培、着色7分、収穫1巡後	10月7日	
	紀宝町井田1	不知火	0	0	0	0	12	24	10	20	0	0	0	0.00	不知火:樹勢並、着果少、肥大良、夏秋梢にハモグリ被害多数	10月7日	
	紀宝町井田2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1.00	極早生温州:樹勢良、マルチ栽培、着色6~8分、収穫1巡後、キズ果目立つ	10月7日	
	紀宝町井田3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	23	46	0	0.00	早生温州:樹勢並、着果多、肥大やや少、マルチ栽培、アザミ被害・キズ果多数、裂果多い	10月7日	
	平均		0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.5	3.5	7.1	11.4	22.8	9.1	1.09			
過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.5 10	0.0 10	0.0 10	0.9 10	1.8 10	1.2 10	2.5 10	5.4 10	10.8 10	4.6 10	0.13 10				

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは9月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	春先からの低温でハウスについては約1週間遅れている。5月に入ってから雨よけハウス、露地等は晴天に恵まれ生育が進んだが、6月に入って再び低温が続き、全体に1週間程度の遅れとなっている。病害虫については発生は見られない。	7月9日
	伊賀市上之庄2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市上之庄3	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市予野2	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	平均		0.0	0.0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.8 (9)	3.3% (9)	0.9 (9)	1.9% (9)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	ハウス・露地とも1週間程度生育遅れ。降雨量が少ないため病害虫の発生は少ない。収穫時期においてもハウスは1週間遅れのスタートとなった。	8月8日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市予野2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	平均		0	0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		6.4 (9)	12.3% (9)	8.3 (9)	16.5% (9)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	3	6%	12	24%	春先の低温でハウス・露地とも1週間程度の生育遅れ。収穫時期においても酸抜けが悪く1週間遅れ。8月下旬からべと病・晩腐病が発生している。	9月5日
	伊賀市上之庄2	巨峰	5	10%	10	20%		9月5日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	2	4%	9	18%		9月5日
	伊賀市予野1	巨峰	5	10%	8	16%		9月5日
	伊賀市予野2	巨峰	4	8%	6	12%		9月5日
	平均		3.8	7.6%	9.0	18.0%		
	過去の平均値 (データ数)		11.3 (9)	23.0% (9)	17.7 (6)	25.0% (6)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

(5)茶

茶巡回調査結果(2017年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ ヒメヨコバイ		チャノキイロ アザミウマ		ハマキムシ類		クワシロカイ ガラムシ		チャトゲコナジラミ		調査月日	備考
		発病枚 数	旧葉寄 生率(%)	旧葉寄 生虫数 /葉	たたき落 し虫数	たたき落 し虫数	巻葉数 /㎡	幼虫数 (頭/葉)	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉率 (%)	寄生度	発生程度					
	四日市市水沢町(定)	0	4	0.04	0	0	0	0	6	28	10.7	少	4月7日				
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	60	52	18.7	少	4月7日				
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	26	64	23.3	少	4月7日				
	鈴鹿市山本町(定)	0	2	0.02	0	0	0	0	14	6	2.0	少	4月7日				
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	0	0	12	12	4.0	少	4月7日				
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	1	0	0	0	0	0	0	10	14	5.3	少	4月7日	古葉に炭疽病確認			
	鈴鹿市山本町3	1	0	0	0	0	0	0	8	28	10.0	少	4月7日	古葉に炭疽病確認			
	亀山市太森町1	0	0	0	0	1	0	0	6	74	27.3	少	4月7日				
	亀山市太森町2	0	2	0.02	0	0	1	0	10	32	10.7	少	4月7日				
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	16	26	8.7	少	4月7日				
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	8	60	20.7	少	4月5日				
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	1	0	20	70	30.0	少	4月5日				
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	6	76	25.3	少	4月5日				
	大台町栃原(定)	0	10	0.86	0	0	0	0	14	22	7.3	少	4月5日	カンザワハダニは幼虫			
	大台町栃原1	0	0	0	0	0	0	0	14	58	19.3	少	4月5日				
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	0	10	30	10.0	少	4月5日	たたき落としてカンザワハダニ確認			
伊勢	度会町棚橋	1	0	0	0	0	0	0	54	80	32.7	少	4月5日	古葉に炭疽病確認			
志摩	度会町牧戸	0	2	0.04	0	0	0	0	6	90	38.7	少	4月5日				
	平均	0.2	1.1	0.05	0	0.06	0.1	0	16.7	45.7	16.9	少					
	前年(2016年)	0	8.7	0.17	0.7	0.5	0.7	0.06	10.4	42.7	15.9						
	平年(10年平均)	2.7	4.0	0.13	0.4	2.5	0.4	0.1	15.0	41.8	18.4						
	平年値計算データ数	10	10	10	10	10	10	7	10	8	7						

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭

寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}×100

発生程度のランク分けは右表による

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年5月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ	チャノミドリ ヒメヨコバイ	チャノキイロ アザミウマ	チャノホソガ	ハマキム シ類	クワシロカ イガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考	
		新葉発病 枚数/m <sup>2</sup>	発病枚数 /m <sup>2</sup>	新葉寄 生率(%)	新葉寄生 虫数/葉	たたき落と し虫数	たたき落とし 虫数	巻葉数/ m <sup>2</sup>	幼虫数/ m <sup>2</sup>	巻葉数/ m <sup>2</sup>	雌成虫寄 生株率(%)	寄生葉率%			寄生程度
四日市	四日市市水沢町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中	
	四日市市水沢町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中	
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中	
	鈴鹿市山本町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中	
	鈴鹿市山本町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中	
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	14	4.7	少	5月8日 摘採前
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	16.0	少	5月8日 摘採後
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	18	54	19.3	少	5月10日 手摘み後
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	22	7.3	少	5月10日 摘採後(被覆中につき隣接茶園を調査)
亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	2	2	0	6	42	14.0	少	5月10日 摘採前(被覆中につき隣接茶園を調査)	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	18	42	14.0	少	5月8日 摘採後	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.02	3	0	0	0	4	44	17.3	少	5月8日 摘採後	
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	40	13.3	少	5月8日 摘採後	
	大台町栃原(定)	0	0	14	0.16	0	0	0	0	10	34	11.3	少	5月8日 摘採前	
	大台町栃原1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	46	16.0	少	5月8日 摘採前、叩き落としでマダラカサハラハムシ	
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14	4.7	少	5月8日 摘採後	
伊勢 志摩	度会町棚橋	0	0	0	0	1	0	0	0	32	8	2.7	少	5月8日 摘採前	
	度会町牧戸	0	0	2	0.02	0	0	0	1	12	62	29.3	少	5月8日 摘採後	
平均		0	0	1.5	0.02	0.4	0	0.4	0.4	0.08	10.5	35.2	13.1	少	
前年(2016年)		0	0	4.9	0.15	2.3	0.4	0.6	0.3	0.3	1.3	18.3	6.1		
平年(10年平均)		0.1	0	5.2	0.12	1.0	4.2	0.1	0.08	0.1	13.1	40.2	21.6		
データ数		10	10	10	10	10	10	6	4	10	10	8	7		

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1/8m<sup>2</sup>×8ヶ所=1m<sup>2</sup>)による。  
 ※チャトゲコナジラミ掘葉裏幼虫寄生程度;A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
 寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}×100  
 発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年6月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ		チャノミドリ ヒメヨコバイ	チャノキイロ アザミウマ	ハマキ ムシ類	チャノ ホソガ	ツマグロア オカスミカ メ	クワシロ カイガラムシ	チャトゲコナジラミ			調査日	備考
		新葉発病 枚数/m <sup>2</sup>	発病枚 数/m <sup>2</sup>	新葉寄 生率(%)	新葉寄生 虫数/葉	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	巻葉数 /m <sup>2</sup>	巻葉数 /m <sup>2</sup>	被害芽数 /m <sup>2</sup>	雄マユ寄 生株率(%)	雌成虫寄 生株率(%)	裾葉幼虫 寄生率(%)	寄生 度		
	四日市市水沢町(定)	0	0	12	0.46	0	0	0	0	0	2	2	4	1.3	少	6月5日 萌芽~1葉期、古葉に炭疽病
	四日市市水沢町1	0	0	2	0.02	0	0	1	0	0	0	18	20	7.3	少	6月5日 0.5萌芽~1葉期、古葉に炭疽病
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	24	8.0	少	6月5日 0.5萌芽~1葉期
	鈴鹿市山本町(定)	1	0	2	0.02	1	0	0	1	0	2	2	4	1.3	少	6月5日 萌芽前
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2	6	2.0	少	6月5日 萌芽前
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	4	1.3	少	6月5日 0.5萌芽~1葉期
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3	少	6月5日 1葉期
	亀山市太森町1	0	0	2	0.06	2	0	0	2	0	0	2	4	1.3	少	6月8日 1葉期
	亀山市太森町2	0	0	16	0.34	0	0	2	1	0	0	0	6	2.0	少	6月8日 萌芽前
	亀山市太森町3	0	0	4	0.06	0	0	1	0	0	0	4	2	0.7	少	6月8日 萌芽前
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	12	4	18	6.0	少	6月5日 萌芽期
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	9	4	0	0	0	2	2	28	13.3	少	6月5日 0.5葉期
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	8	2	24	8.0	少	6月5日 1葉期
	大台町栃原(定)	0	0	6	0.08	1	0	0	0	1	6	2	18	6.0	少	6月5日 萌芽期、カンザワハダニ天敵を確認
	大台町栃原1	1	0	18	0.36	0	4	0	0	0	8	0	32	10.7	少	6月5日 萌芽期
	大台町栃原2	0	0	14	0.32	1	1	1	1	0	6	2	22	7.3	少	6月5日 1葉期、区外でもち病
伊勢	棚橋	0	0	0	0	10	1	0	0	0	6	2	26	8.7	少	6月5日 0.5葉期
志摩	度会町牧戸	0	0	4	0.06	0	0	1	0	0	12	2	32	14.7	少	6月5日 0.5葉期
	平均	0.1	0	4.6	0.10	1.7	0.6	0.7	0.3	0.1	3.6	2.8	15.8	5.7	少	
	前年(2016年)	0.1	0	0.8	0.01	5.8	8.8	2.0	0.4	0	17.4	2.1	5.3	1.8		
	平年(10年平均)	0.2	0.01	4.0	0.09	1.8	11.2	0.5	0.2	2.9	8.5	7.4	25.9	11.4		
	データ数	10	10	10	10	10	10	10	10	6	10	7	7	6		

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類、ツマグロアオカスミカメは、枠調査(1m<sup>2</sup>)による。  
 ※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度; A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
 寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}×100  
 発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ幼虫	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年7月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノドリヒメ ヨコバイ	チャノキイロア ザミウマ	ハマキム シ類	チャノホ ソガ	ツマグロカ スミカメ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		発病枚数 (当年葉)/ ㎡	発病枚数 (新葉)/㎡	発病枚数 (当年葉)/ ㎡	寄生葉 率(%)	寄生虫 数/葉	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	被害芽数 /㎡	雄マユ寄生 株率(%)	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率%	寄生度	発生程 度		
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	76	8.94	1	0	0	0	0	6	6	24	8.0	少	7月5日	摘採後、ハダニ多発
	四日市市水沢町1	0	0	1	30	2.12	0	0	0	0	0	24	10	58	19.3	少	7月5日	整枝後
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	28	10	40	13.3	少	7月5日	摘採後
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	8	0.08	1	12	0	0	0	0	0	24	8.0	少	7月5日	摘採後
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	0	4	20	6.7	少	7月5日	摘採後
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	26	8.7	少	7月5日	摘採前
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	16	0.54	0	0	0	0	0	0	0	28	9.3	少	7月5日	整枝後
	亀山市太森町1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	18	8	28	9.3	少	7月5日	摘採後
	亀山市太森町2	0	0	1	2	0.02	0	0	0	1	0	20	8	24	8.0	少	7月5日	摘採後(被覆中につき隣接茶園)
亀山市太森町3	0	0	0	2	0.02	0	0	0	2	1	16	4	38	12.7	少	7月5日	摘採前(被覆中につき隣接茶園)、 ヨモギエダシヤク散見	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	22	7.3	少	6月30日	摘採前
	松阪市飯南町粥見2	0	0	1	0	0	28	45	0	0	0	8	0	74	28.0	少	6月30日	摘採後
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	2	20	0	0	0	44	2	44	14.7	少	6月30日	摘採前
	大台町栃原(定)	0	0	1	2	0.02	1	2	0	0	0	8	0	28	9.3	少	6月30日	摘採後、区外でもち病
	大台町栃原1	0	0	0	2	0.02	1	0	0	0	0	12	2	22	7.3	少	6月30日	整枝後
	大台町栃原2	1	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	12	2	18	6.0	少	6月30日	摘採後
伊勢 志摩	度会町牧戸1	0	0	0	2	0.02	5	4	0	1	1	16	18	12	4.0	少	6月30日	摘採前
	度会町牧戸2	0	0	0	6	0.06	0	0	0	0	0	4	4	52	20.0	少	6月30日	摘採前
平均		0.06	0	0.3	8.3	0.66	2.6	5.1	0	0.3	0.2	12.1	4.3	32.3	11.1	少		
前年(2016年)		0.6	0.06	0.8	1.0	0.01	1.2	10.7	0.1	0	0.1	3.8	15.1	36.0	14.3			
平年(10年平均)		2.4	0.01	1.2	0.3	0.007	2.3	17.9	0.1	0.5	1.1	10.4	18.3	42.2	17.6			
データ数		10	5	10	10	10	10	10	10	10	5	10	10	7	7			

※炭疽病、輪斑病、ホソガ、ハマキムシ類については、枠調査(1㎡)による。

※クワシロカイガラムシ雄マユ寄生程度程度:A:株の1/2以上かつ幹に環状、B:株の1/4以上又は枝幹の一部に環状、C:枝幹に転々、D:寄生なし、寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)}]/[3×(調査株数)]×100

※チャトゲコナジラミ一葉当たり寄生程度:A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭(裾葉当年春葉~前年最終葉)、寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)}]/[3×(調査葉数)]×100

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年8月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノドリヒ	チャノキイロ	ハマキム	チャノホソ	ツマグロアオ	ヨモギエ	クロシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫		調査月日	備考	
		新葉発 病葉数/ ㎡	新葉発 病葉数/ ㎡	新葉発 病葉数/ ㎡	寄生葉 率(%)	寄生虫数 /葉	たたき落 し虫数	たたき落 し虫数	巻葉数/ ㎡	巻葉数/ ㎡	被害葉数/ ㎡	幼虫数 /㎡	雄マユ寄 生株率(%)	雌成虫寄 生株率(%)	寄生葉 率%	寄生度			発生 程度
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	6	2	4	1.3	少	8月3日 3~4葉期	
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	5	22	0	0	0	0	0	4	26	8.7	少	8月3日 3~4葉期	
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	36	1	0	0	0	10	2	74	24.7	少	8月3日 1~2葉期	コカクモン成虫
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	2	6	2.0	少	8月3日 1~2葉期	
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	1	55	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	8月3日 2~3葉期	コカクモン成虫多
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	15	2	0	0	1	0	4	0	16	5.3	少	8月3日 深刈のため隣接茶園調査	4~5葉期
	鈴鹿市山本町3	1	0	0	0	0	20	8	0	0	0	0	0	0	16	5.3	少	8月3日 4葉期	
	亀山市太森町1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	6	4	10	3.3	少	8月3日 3葉期	区外でシャクトリムシ
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	10	6	4	1.3	少	8月3日 2葉期	
亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	8	2	4	1.3	少	8月3日 2~3葉期	区外でシャクトリムシ	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	24	8.0	少	8月1日 1~2葉期	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	10	0.50	3	0	0	0	0	0	0	2	64	21.3	少	8月1日 1~2葉期	旧葉に炭疽病・輪斑病目立つ
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	52	17.3	少	8月1日 1~2葉期	
	大台町栃原(定)	0	0	0	2	0.02	4	5	0	0	0	0	14	10	28	9.3	少	8月1日 0.5~1.5葉期	
	大台町栃原1	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	2	18	6.0	少	8月1日 2~3葉期	アオバハゴロモ多発生
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	10	16	5.3	少	8月1日 2~4葉期	アオバハゴロモ多発生 叩き落としてカサハラハムシ類確認
伊勢 志摩	度会町牧戸1	0	0	0	8	0.18	1	0	0	0	0	0	2	40	13.3	少	8月1日 1~3葉期	旧葉に炭疽病・輪斑病目立つ ハダニアザミウマ確認	
	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	2	48	16.0	少	8月1日 1~3葉期	旧葉に輪斑病目立つ
平均		0.1	0	0.06	1.1	0.04	3.0	8.9	0.06	0.1	0.06	0.06	4.6	3.2	25.7	8.6	少		
前年(2016年)		0.2	0.06	0.3	0.4	0.01	0.6	4.6	0.1	0	0.6	0	9.6	1.7	16.0	6.0			
平年(10年平均)		1.4	0.1	3.1	1.4	0.03	1.1	7.6	0.5	1.1	1.5	0.02	5.4	7.6	23.9	12.4			
データ数		10	5	10	10	10	10	10	10	10	6	5	10	10	7	8			

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガ、ウスミドリカスミカメ、ヨモギエダシヤクについては、稈調査(1㎡)による。

※チャトゲコナジラミ:一葉当たり寄生程度(裾葉当年春葉):A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭

寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)} / {3×(調査葉数)}]×100、発生程度は右表によりランク分け

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年9月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		新葉発病葉数/㎡	新葉発病葉数/㎡	寄生率率(%)	寄生虫数(頭/葉)	たたき落とし虫数(頭)	たたき落とし虫数(頭)	巻葉数/㎡	巻葉数/㎡	雄繭寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生率率(%)	寄生度	発生程度		
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	2	0	0	1	1	0	0	2	4	8	2.7	少	9月5日	新梢枯死症散見
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	4	1.3	少	9月5日	
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	2	10	0	0	6	12	4.0	少	9月5日	
	鈴鹿市山本町(定)	0	1	0	0	0	0	5	0	0	4	12	4.0	少	9月6日	新梢枯死症散見
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	1	1	12	0	2	10	0	0	無	9月5日	
	鈴鹿市山本町2	0	2	0	0	2	15	5	3	2	6	20	6.7	少	9月5日	新梢枯死症散見
	鈴鹿市山本町3	0	2	2	0.02	0	0	0	0	0	4	24	8.0	少	9月6日	新梢枯死症散見
	亀山市太森町1	1	7	4	0.12	0	0	0	1	0	2	16	5.3	少	9月6日	新梢枯死症やや多
	亀山市太森町2	0	2	0	0	0	0	0	18	4	14	18	6.0	少	9月6日	新梢枯死症散見、シャクトリ被害葉あるも虫おらず
亀山市太森町3	0	2	4	0.04	0	0	0	3	10	14	14	4.7	少	9月6日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	5	0	0	0	1	0	0	6	4	62	20.7	少	9月4日	新梢枯死症やや多
	松阪市飯南町粥見2	0	5	0	0	2	1	0	0	2	8	68	24.7	少	9月4日	新梢枯死症やや多、マダラカサハラハムシ被害葉散見
	松阪市飯南町粥見3	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	56	18.7	少	9月4日	新梢枯死症散見
	大台町栃原(定)	0	2	0	0	1	1	0	0	2	12	34	11.3	少	9月4日	新梢枯死症散見、マダラカサハラハムシ被害葉散見
	大台町栃原1	0	7	6	0.12	0	0	0	0	6	14	6	2.0	少	9月4日	新梢枯死症やや多
	大台町栃原2	0	4	0	0	1	0	0	1	6	12	24	8.0	少	9月4日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ
伊勢 志摩	度会町牧戸1	1	4	12	0.14	6	0	0	0	0	4	26	8.7	少	9月4日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ多
	度会町牧戸2	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2	48	16.0	少	9月4日	新梢枯死症散見、三番茶芽切れ葉に輪斑病多数
平均		0.1	2.8	1.6	0.02	0.8	1.3	1.8	1.5	2.3	6.9	25.1	8.5	少		
前年(2016年)		1.4	1.9	6.6	0.10	2.7	4.4	2.9	0.2	10.2	2.3	28.2	15.6			
平年(10年平均)		1.6	3.1	2.2	0.04	1.6	6.9	1.2	3.4	4.2	5.0	17.3	6.4			
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	7			

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガ、ツマグロアオカスミカス、ヨモギエダシヤクは、枠調査(1㎡)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトゲコナジラミ: 寄生程度: 裾葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり: A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭、寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/(3×(調査葉数))×100

発生程度: 右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年10月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ		チャノキイロアザミウマ		ハマキムシ類		チャノホソガ		ツマグロアオカスミカメ		クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		発病枚数/m <sup>2</sup>	発病枚数/m <sup>2</sup>	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	叩き落し虫数	叩き落し虫数	巻葉数/m <sup>2</sup>	幼虫数/m <sup>2</sup>	巻葉数/m <sup>2</sup>	幼虫数/m <sup>2</sup>	被害葉数/m <sup>2</sup>	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率(%)	寄生度	発生程度							
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	12	4.0	少	10月5日	摘採後			
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	4	0	18	6.0	少	10月5日	摘採後					
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	2	0	2	0	2	1	0	6	0	6	2.0	少	10月5日	摘採前					
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	18	8	2	0.7	少	10月5日	摘採前					
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	20	10	6	2.0	少	10月5日	摘採後					
	鈴鹿市山本町2	0	0	12	0.12	0	1	0	0	18	3	0	16	12	4	1.3	少	10月5日	摘採前					
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6	2.0	少	10月5日	摘採後					
	亀山市太森町1	0	0	6	0.10	0	0	0	0	11	5	0	28	2	18	6.0	少	10月5日	摘採前					
	亀山市太森町2	0	0	0	0	1	0	0	0	13	4	0	18	2	14	4.7	少	10月5日	摘採前					
亀山市太森町3	0	0	10	0.20	1	0	3	0	3	1	0	10	6	6	2.0	少	10月5日	摘採後						
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	1	10	0.28	0	0	0	0	0	0	0	16	0	14	4.7	少	10月2日	摘採後					
	松阪市飯南町粥見2	0	0	6	0.24	0	0	0	0	0	0	0	38	10	38	12.7	少	10月2日	摘採後					
	松阪市飯南町粥見3	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	12	4	32	10.7	少	10月2日	摘採後					
	大台町栃原(定)	0	0	2	0.06	0	0	0	0	1	0	0	26	8	4	1.3	少	10月2日	摘採前、マダラカサハラハムシ確認					
	大台町栃原1	0	0	34	1.48	1	0	0	0	0	0	0	28	8	2	0.7	少	10月2日	摘採前					
	大台町栃原2	0	0	10	0.40	0	0	0	0	0	0	0	24	12	0	0	無	10月2日	摘採後					
伊勢志摩	度会町牧戸1	1	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	2	26	8.7	少	10月2日	摘採前、マダラカサハラハムシ確認、旧葉に炭疽病					
	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	2.0	少	10月2日	摘採前					
平均		0.06	0.6	5.1	0.16	0.3	0.06	0.3	0	3.0	0.8	0	15.7	4.9	11.9	4.0	少							
前年(2016年)		0.1	1.7	0.2	0	1.2	0.2	0	0	2.3	1.7	0	8.0	1.4	22.8	10.5								
平年(10年平均)		2.0	2.0	1.1	0.02	1.2	2.9	0.05	0.02	3.4	1.9	1.1	11.0	3.0	20.5	10.0								
データ数		10	10	10	10	10	10	10	8	10	10	6	10	10	9	8								

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1㎡)による。

※チャトゲコナジラミ: 寄生程度: 裾葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり:A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭、

寄生度= $(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1) / \{3 \times (\text{調査葉数})\} \times 100$

発生程度: 右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2018年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイ ガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/ 葉	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	発生程度		
	四日市市水沢町(定)	2	0.02	4	24	8.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	四日市市水沢町1	6	0.18	4	14	4.7	少	3月6日	
	四日市市水沢町2	8	0.16	0	10	4.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	4	16	5.3	少	3月6日	
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	16	12	4.0	少	3月6日	
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	20	1.12	10	6	2.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	8	2.7	少	3月6日	
	亀山市太森町1	0	0	0	14	4.7	少	3月6日	
	亀山市太森町2	0	0	10	4	1.3	少	3月6日	
	亀山市太森町3	4	0.08	30	4	1.3	少	3月6日	
	松阪市飯南町粥見1	4	0.16	2	10	3.3	少	3月7日	
	松阪市飯南町粥見2	2	0.02	2	26	11.3	少	3月7日	
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	14	4.7	少	3月7日	
松阪	大台町栢原(定)	0	0	8	8	2.7	少	3月7日	
	大台町栢原1	8	0.14	12	4	1.3	少	3月7日	
	大台町栢原2	0	0	10	10	3.3	少	3月7日	
伊勢	度会町牧戸1	0	0	0	18	6.0	少	3月7日	荒廃茶園化の始まり
志摩	度会町牧戸2	0	0	0	18	6.0	少	3月7日	
	平均	3.0	0.10	6.3	12.2	4.3	少		
	前年(2017年)	0.8	0.02	5.6	34.4	12.2			
	平年(10年平均)	1.3	0.03	12.7	42.3	16.2			
	データ数	10	10	10	8	7			

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;  
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
寄生度= $(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / 3N \times 100$   
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

## 広域防除員報告(茶)

### 調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)  
 カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。  
 新葉がない場合は、旧葉を調査する。  
 生育状況、特記事項等を記録する。

### 調査結果

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	平成29年5月8日						調査日	平成29年7月4日							
対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考	対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考
	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生 葉率 (%)				発病葉 数(枚 /㎡)	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数		
	1	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	0	0		2	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0		3	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0		4	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0		6	0	0	0	0	0		
	7	0	0	0	0	0		7	0	0	0	0	0		
	8	0	0	0	0	0		8	0	0	0	0	0		
	9	0	0	0	0	0		9	0	0	0	0	0		
	10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	0		
平均	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0		平均	0	0	0	0	0.0		
5年平均	2.1	0.04	0.7	1.4	0			5年平均	1.2	0.02	0.7	1.4	13.5		
生育状況等 一番茶芽は長いもので15cm程度伸び、病虫害がついていなく良質のものと思われる。 「チャトゲジラミ」が圃場全体に発生している。 「コミカンアブラムシ」一部圃場で少々確認された。 穴の開いた葉が見られた。							生育状況等 ほとんど刈取り前でよく管理されている。								





イチゴ 《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椽本	1月9日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	かおり野	土耕	株枯れ確認(約1%程度)
	津市一志町石橋	1月9日	0	0.5	0	0	2	0.5	2	0.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
松阪	松阪市曾原町	1月12日	0	0	0	0	20	11.0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市總野権現前町	1月12日	0	5.0	0	0	10	4.0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市藤之木町	1月12日	0	0	0	0	10	4.0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	1月12日	0	0	0	0	30	19.0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢	玉城町岩出	1月10日	2	2.5	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	小動物による果実食害確認
	伊勢市小俣町相合	1月10日	2	0	0	0	30	12.5	0	0	0	2	2	2	かおり野	ベンチ	菌核病確認(多)、天敵確認
	玉城町勝田	1月10日	0	0	0	0	40	20.0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	炭そ病確認、菌核病確認、天敵確認
志摩	鳥羽市聖神町	1月12日	0	0	0	0	12	6.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	1月12日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			0.4	0.7	0.2	0.05	14.2	7.1	0.4	0.09	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0.8	0.4	0.9	0.03	18.6	9.5	1.0	0.4	0.1	0.1					

イチゴ 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椽本	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	津市一志町石橋	2月8日	0	0.5	0	0	10	3.5	2	2.0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
松阪	松阪市曾原町	2月5日	0	0	0	0	30	11.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	松阪市總野権現前町	2月5日	0	2.5	0	0	6	3.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	松阪市藤之木町	2月5日	0	0	0	0	70	25.0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認
	松阪市新開町	2月5日	0	0	0	0	20	10.0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	玉城町岩出	2月7日	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
伊勢	伊勢市小俣町相合	2月7日	0	0.5	0	0	30	12.5	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵確認
	玉城町勝田	2月7日	0	0	0	0	40	15.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
志摩	鳥羽市聖神町	2月7日	0	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	2月7日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			0	0.4	0	0	19.6	7.6	0.4	0.2	0	0	0	0			
平年(10年平均)			1.4	0.6	0.7	0.07	17.3	7.6	1.0	0.3	0.8	0.2					

イチゴ 《2018年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミクマ類	備考					
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)		品種	栽培形式	その他		
津	津市芸濃町椽本	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	津市一志町石橋	3月6日	0	1	0	2	70	50.0	10	7.0	0	0	0	1	0	0	かおり野	ベンチ	ヒズバハナアザミクマ
松阪	松阪市曾原町	3月8日	0	0	0	0	10	4.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ハダニ類天敵多(確認)
	松阪市總野権現前町	3月8日	0	1	0	0	20	13.0	0	0	0	0	0	1	0	0	章姫	ベンチ	ヒズバハナアザミクマ
	松阪市藤之木町	3月8日	0	0	0	0	10	4.0	0	0	0	0	0	1	0	0	章姫	土耕	ハダニ類天敵多(確認)、ヒズバハナアザミクマ
	松阪市新開町	3月8日	0	0	0	0	20	8.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	株枯れ(約5%程度)確認
伊勢	玉城町岩出	3月7日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	かおり野	ベンチ	ヒズバハナアザミクマ
	伊勢市小俣町相合	3月7日	10	10	0	0	20	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
	玉城町勝田	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	章姫	ベンチ	ヒズバハナアザミクマ
志摩	鳥羽市聖神町	3月5日	0	0	0	0	12	6.0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	3月5日	0	0	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	区外:うどんこ病確認
平均			0.9	1.1	0	0.1	15.1	9.1	0.9	0.6	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			3.5	0.6	0.4	0.04	16.3	7.2	0.9	0.5	1.3	0.7	2.8						

2. トマト

トマト 《2017年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	アブラムシ類	備考			
				発病株率(%)	発病果率(%)	発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度						寄生株率(%)	発生程度	品種
桑名	木曾岬町新緑輪中	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	純太郎はるか	1月24日	アブラムシ有翅虫確認
	木曾岬町見入	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス純太郎	1月21日	うどんこ病確認、黄色結着板コナジラミ確認
	桑名市長島町	4月11日	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	純太郎プレミアム	10月7日	
四日市	四日市市貝家町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月29日	コナジラミ類成虫確認
	松阪市總野一志町	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	ハウス純太郎	11月24日	
伊勢	明和町佐田	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こほりび	1月12日	
	伊勢市小俣町相合	4月5日	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	ハウス純太郎	9月1日	
平均			0	0.9	0	0	0.3	0.6	0	0.3	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	6.8	0.3	0.5	11.9	1.0	0.7	0.2	0.3	0.03							

トマト 2017年5月

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	アブラムシ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	蛹寄生率 (%)	蛹寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	5月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	1月24日	
	木曾岬町見入	5月11日	0	0	0	0	20	2	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月21日	うどんこ病確認(多い)
	桑名市長島町	5月11日	0	0	0	0	20	40	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	うどんこ病確認
四日市	四日市市貝家町	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	9月29日	うどんこ病確認(少ない)
	松阪市郷野一志町	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	アブラムシ類有虫確認
伊勢	明和町佐田	5月9日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	こぼび	1月12日	ゴーストスポット確認、コナジラミ類成虫確認
	伊勢市小保町相合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月1日	作付け終了
平均			0	0	0	0	6.7	7.7	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	9.4	2.4	1.6	17.3	1.0	0.08	0.9	4.4	0.09			

トマト 《2017年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンコトウ	オオタバコガ	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蛹寄生率 (%)	蛹寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日		
	木曾岬町見入	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	CFハウス桃太郎	8月15日	0	
	桑名市長島町	9月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植		
四日市	四日市市貝家町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら86	未定植		
	松阪市郷野一志町	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植		
伊勢	明和町佐田	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	こぼび	未定植		
	伊勢市小保町相合	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	1.3	0			
平年(9年平均)			0	0	0.9	0.03	0	0	0	0.08	0	0.08	0			

トマト 《2017年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンコトウ	オオタバコガ	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蛹寄生率 (%)	蛹寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	みそら64	8月10日		
	木曾岬町見入	10月6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月15日	コナジラミ類成虫確認	
	桑名市長島町	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植		
四日市	四日市市貝家町	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら86	未定植		
	松阪市郷野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植		
伊勢	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	こぼび	未定植		
	伊勢市小保町相合	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	区外、黄化葉巻病	
平均			0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	
平年(10年平均)			0	0	0.8	0.6	0	0	0.2	0.7	0	0	0.04	0		

トマト 《2017年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンコトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蛹寄生率 (%)	蛹寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期
桑名	木曾岬町源緑輪中	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	区外、黄化葉巻病、灰色かび病(果実)確認
	木曾岬町見入	11月6日	0	0	0	2	0	0	0	0	20	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月15日	すす病確認
	桑名市長島町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月8日	調査ハウス変更
四日市	四日市市貝家町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	10月15日	
	松阪市郷野一志町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	未定植	
伊勢	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	こぼび	未定植	
	伊勢市小保町相合	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
平均			0	0	0	0.3	0	0	0	0	3.3	0.3	0	0	0		
平年(10年平均)			0	1.2	0.7	0.9	0.09	0.06	0.06	0.03	0.7	3.2	0	0	0.2	0.07	

トマト 《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蛹寄生率 (%)	蛹寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	12月8日	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月9日	株の黄化確認	
	木曾岬町見入	12月8日	0	0	20	2	2	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月18日		
	桑名市長島町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日		
四日市	四日市市貝家町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	9/29-30定植	区外、糸状菌で心止まり株確認	
	松阪市郷野一志町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月1日		
伊勢	明和町佐田	12月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	こぼび	1月上旬	未定植	
	伊勢市小保町相合	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日		
平均			0	0	8.3	0.3	0.3	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			0	0.3	7.3	1.1	1.8	0.03	0.09	0.2	0.9					

トマト 《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 発病株率 (%)	タバコ コナジラミ 発病株率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	品種	定植時期	備考	
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)							その他
桑名	木曾町源録輪中	1月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みそ64	8月9日	収穫終了	
	木曾町見入	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	8月18日		
	桑名市長島町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日		
四日市	四日市市貝家町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそ86	1/29-30定植		
松阪	松阪市穂野一志町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月1日	生育遅れあり	
	明和町佐田	1月12日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	1月15日	未定植	
伊勢	伊勢市小俣町相合	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	6.7	8.0	0.7	6.6	0.06	0.03	0.7	0.5				

トマト 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 発病株率 (%)	タバコ コナジラミ 発病株率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	品種	定植時期	備考	
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)							その他
桑名	木曾町源録輪中	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	1月24日	うどんこ病確認	
	木曾町見入	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	1月21日	うどんこ病確認	
	桑名市長島町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日		
四日市	四日市市長島町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそ86	9月29日	うどんこ病、チビダニ確認	
松阪	松阪市穂野一志町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	生育遅延あり	
	明和町佐田	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	生育不良あり	
伊勢	伊勢市小俣町相合	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	チビダニ確認	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.03	6.8	7.3	0.5	6.3	0.4	0.03	0.9	1.5				

トマト 《2018年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 発病株率 (%)	タバコ コナジラミ 発病株率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	品種	定植時期	備考	
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)							その他
桑名	木曾町源録輪中	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	1月24日		
	木曾町見入	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	1月21日	うどんこ病確認	
	桑名市長島町	3月9日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	うどんこ病確認	
四日市	四日市市貝家町	3月5日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	TVみそ86	9月29日		
松阪	松阪市穂野一志町	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	生育遅延	
	明和町佐田	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	生育遅延	
伊勢	伊勢市小俣町相合	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	うどんこ病確認	
平均			0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.06	10.2	0.7	0.1	6.0	0.4	1.3	0.6	0.04				

3.ハクサイ

ハクサイ 《2017年9月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病		アブラムシ類		コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)				
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	四日市市下海老1	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	四日市市下海老2	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	菟野町池底	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	鈴鹿市国分町1	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
津	鈴鹿市国分町2	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	津市須ヶ瀬町1	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	津市須ヶ瀬町2	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
松阪	明和町志貴	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	多気町丹生	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
平均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平 年(7年平均)			0	0	0	0	0	1.9	0.2	0.0007	0.6	0.1	0			
県予察ほ	松阪市穂野川北町(場内)	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植

ハクサイ 《2017年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	アブラムシ類		コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度		発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)		寄生株率 (%)	被害株率 (%)		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	結福	9月11日	17葉期		
	四日市市水沢町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月15日	16葉期	欠株確認(13程度)	
	四日市市下海老	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月15日	16葉期		
	菟野町千草	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月15日	16葉期		
	鈴鹿市国分町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	結福	9月18日	12葉期	ハムシ類確認	
鈴鹿市国分町2	10月5日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月26日	8葉期			
津	津市一志町庄村	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月25日	7葉期		
	津市一志町高野	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月13日	17葉期		
松阪	明和町志貴	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月13日	15葉期	ハムシ類確認	
	多気町丹生	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月25日	8葉期	ハムシ類確認	
平均			0	0	0	0	0	0.2	0.002	0.2	0	0	0	0	0					
平 年(10年平均)			0.7	0.3	4.5	1.2	0.1	1.4	0.2	0.01	0.1	0.7	0.5	0.09						
(2年平均)																				
県予察ほ	松阪市菟野川北町(場内)	10月6日	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月20日	8葉期	ハムシ類、カブラハバチ、ゾウムシ類確認	

ハクサイ 《2017年11月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	アブラムシ類		コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度		発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)		寄生株率 (%)	被害株率 (%)		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町1	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月11日	生育期	黒腐病罹病率100%確認、欠株10%確認	
	四日市市水沢町2	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月15日	生育期	黒腐病罹病率100%確認	
	四日市市下海老	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月15日	生育期	黒腐病罹病率100%確認(軽微)	
	菟野町千草	11月7日	2	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月15日	生育期	黒腐病罹病率100%確認	
	鈴鹿市国分町1	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	結福	9月18日	生育期	黒腐病罹病率100%確認(軽微)	
鈴鹿市国分町2	11月7日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月26日	生育期		
津	津市一志町其村	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月25日	生育期	黒腐病罹病率20%確認	
	津市一志町高野	11月8日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月13日	生育期	黒腐病罹病率20%確認	
松阪	明和町志貴	11月9日	2	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月13日	生育期	黒腐病罹病率100%確認(軽微)	
	多気町丹生	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月25日	生育期		
平均			0.6	0.4	0.2	0.05	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0					
平 年(10年平均)			3.2	1.1	11.8	3.1	0.5	4.2	0.2	0.002	0.1	0.4	0	0.07						
(2年平均)																				
県予察ほ	松阪市菟野川北町(場内)	11月10日	0	0	0	0	0	0	10	0.1	4	0	0	2	黄ごころ85	9月20日	生育期	白サビ病確認		

ハクサイ 《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	アブラムシ類		コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度		発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町1	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月11日	生育期	区外:軟腐病確認
	四日市市水沢町2	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月15日	生育期	
	四日市市下海老	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月15日	生育期	区外:軟腐病確認
	菟野町千草	12月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	結福	9月15日	収穫終了	
	鈴鹿市国分町1	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月18日	生育期	
鈴鹿市国分町2	12月6日	0	0	10	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月26日	生育期		
津	津市一志町庄村	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月25日	生育期	
	津市一志町高野	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月13日	収穫期	苗枯れ確認
松阪	明和町志貴	12月8日	2	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月13日	生育期	白サビ病確認
	多気町丹生	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月25日	生育期	
平均			0.2	0.2	1.1	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			1.4	0.4	16.7	4.5	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0				
(2年平均)																			
県予察ほ	松阪市菟野川北町(場内)	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月20日	生育期	白サビ病確認

4.冬キャベツ

冬キャベツ 《2017年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ	ヨトウガ	ハスモンヨトウ		備考						
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)			寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
	四日市市下海老町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
	菟野町千草	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
	鈴鹿市国分町1	9月6日	0	0	36	90.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝風	8月28日		
	鈴鹿市国分町2	9月6日	0	0	2	5.0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	冬蜜	8月28日		
津	津市芸濃町椋本1	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月3日	定植直後	欠株あり
	津市芸濃町椋本2	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
	津市久居野口町	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
	津市新家町(久居)	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月28日	3葉期	干ばつきあり
松阪	松阪市菟野森本町	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			
伊勢	玉城町岡出	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月23日	8葉期	
平均			0	0	7.6	19.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				
平 年(9年平均)			0	0	2.5	0.9	0.4	0.006	0.5	0.006	0.3	0.7	0.2						
(2年平均)																			
県予察ほ	松阪市菟野川北町(場内)	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植			

冬キャベツ《2017年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種		定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月11日	12葉期	
	四日市市下海老町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月5日	17葉期	
	菟野町千草	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月15日	10葉期	
	鈴鹿市国府町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝風	8月28日	20葉期以上	
	鈴鹿市国府町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	8月28日	20葉期以上	タバコガ類確認(多)
津	津市芸濃町椋本	10月4日	0	0	0	0	2	0.08	0	0	2	0	0	0	松波	9月3日	20葉期以上	ウツバ類確認
	津市芸濃町萩野	10月4日	0	0	2	0.5	2	0.04	0	0.02	6	0	0	0	松波	9月5日	20葉期以上	
	津市久居野口町	10月4日	0	0	4	1.5	10	0.2	2	0.02	0	0	0	0	松波	9月15日	8葉期	シンクイムシ、ウツバ類確認
	津市新家町(久居)	10月4日	0	0	0	0	2	0.1	0	0	0	2	0	0	松波	8月28日	12葉期	
松阪	松阪市郷野森本町	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月8日	10葉期		
伊勢	玉城町岡出	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月23日	20葉期以上		
平均			0	0	0.5	0.2	1.5	0.04	0.2	0.004	0.7	0.2	0					
平 年(10年平均)			0.3	0.08	4.4	1.6	1.3	0.02	2.3	0.03	1.0	4.8	2.1					
			(8年平均)				(2年平均)											
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	10月6日	0	0	0	0	0	0.02	0	0.08	2	0	0	0	夢ごころ	9月21日	8葉期	

冬キャベツ《2017年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況		その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月11日	生育期
	四日市市下海老町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月5日	生育期
	菟野町千草	11月7日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月15日	生育期
	鈴鹿市国府町1	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝風	8月28日	収穫期
	鈴鹿市国府町2	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	8月28日	生育期
津	津市芸濃町椋本	11月10日	0	0	2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月3日	生育期
	津市芸濃町萩野	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月5日	生育期
	津市久居野口町	11月10日	0	0	0	0	0	10	0.1	0	0	2	0	0	0	0	松波	9月15日	生育期
	津市新家町(久居)	11月10日	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月28日	生育期
松阪	松阪市郷野森本町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	冬藍	9月8日	生育期
伊勢	玉城町岡出	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月23日	生育期
平均			1.1	0.3	0.2	0	0	1.1	0.01	0	0	0.4	0	0					
平 年(10年平均)			6.6	1.8	0.4	5.6	2.3	0.8	0.01	1.3	0.01	0.8	0.9	0.2					
			(8年平均)				(2年平均)												
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	2	0.5	6	0.06	20	0.2	0	0	0	0	0	夢ごころ	9月21日	生育期

冬キャベツ《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	生育状況		その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月11日	生育期
	四日市市下海老町	12月7日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月5日	生育期
	菟野町千草	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月15日	生育期
	鈴鹿市国府町1	12月7日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	輝風	8月28日	生育期
	鈴鹿市国府町2	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	8月28日	収穫期
津	津市芸濃町椋本	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月3日	生育期
	津市芸濃町萩野	12月5日	2	0.5	2	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月5日	生育期
	津市久居野口町	12月5日	2	0.5	2	16	0.4	0	0	0	0	0	松波	9月15日	生育期
	津市新家町(久居)	12月5日	2	0.5	2	2	0.02	0	0	0	0	0	松波	8月28日	生育期
松阪	松阪市郷野森本町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月8日	生育期
伊勢	玉城町岡出	12月6日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月23日	生育期
平均			0.6	0.1	1.1	1.6	0.04	0	0	0					
平 年(10年平均)			8.4	2.6	1.3	0.4	0.005	0.7	0.2	1.0					
			(2年平均)												
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	12月7日	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	夢ごころ	9月21日	生育期

冬キャベツ《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考			
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月11日	—	夢舞台	9月11日	生育期	細菌性病害確認(約1%程度)	
	四日市市下海老町	1月11日	—	冬親方	9月5日	生育期	菌核病確認(約4%程度)	
	菟野町千草	1月11日	—	冬親方	9月15日	生育期	凍害確認(約90%程度)	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	—	輝風	8月28日	収穫済み		
	鈴鹿市国府町2	1月11日	—	冬藍	8月28日	収穫済み		
津	津市芸濃町椋本	1月9日	0	松波	9月3日	収穫期		
	津市芸濃町萩野	1月9日	—	松波	9月5日	生育期	菌核病確認(約10%程度)	
	津市久居野口町	1月9日	—	松波	9月15日	生育期	菌核病確認(約10%程度)	
	津市新家町(久居)	1月9日	—	松波	8月28日	生育期	菌核病確認(約3%程度)	
松阪	松阪市郷野森本町	1月12日	0	冬藍	9月8日	収穫期		
伊勢	玉城町岡出	1月10日	—	TCA-517	8月23日	収穫済み		
平均			0					
平 年(10年平均)			1.2					
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	1月12日	—	夢ごころ	9月21日	生育期		

冬キャベツ 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	2月6日	0	夢舞台	9月11日	収穫期	
	四日市市下海老町	2月6日	5	冬親方	9月5日	収穫期	
	菟野町千草	2月6日	0	冬親方	9月15日	収穫期	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	—	輝風	8月28日	収穫済み	
	鈴鹿市国府町2	1月11日	—	冬藍	8月28日	収穫済み	
津	津市芸濃町椋本	1月9日	0	松波	9月3日	収穫済み	
	津市芸濃町家野	2月8日	—	松波	9月5日	収穫済み	
	津市久居野口町	2月8日	—	松波	9月15日	生育期	
	津市新家町(久居)	2月8日	0	松波	8月28日	収穫期	
松阪	松阪市總野森本町	1月12日	0	冬藍	9月8日	収穫期	
伊勢	玉城町岡出	1月10日	—	TCA-517	8月23日	収穫済み	
平均			0.8				
平 年(10年平均)			1.1				
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	2月5日	—	夢ごころも	9月21日	生育期	

冬キャベツ 《2018年3月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	2月6日	0	夢舞台	9月11日	収穫済み	
	四日市市下海老町	2月6日	5	冬親方	9月5日	生育期	
	菟野町池底	2月6日	0	冬親方	9月15日	収穫中	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	—	輝風	8月28日	耕起済み	
	鈴鹿市国府町2	1月11日	—	冬藍	8月28日	耕起済み	
津	津市芸濃町椋本1	1月9日	0	松波	9月3日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本2	2月8日	—	松波	9月5日	収穫中	
	津市久居野口町	3月6日	—	松波	9月15日	収穫初期	
	津市新家町(久居)	2月8日	0	松波	8月28日	収穫済み	
松阪	松阪市總野森本町	1月12日	0	冬藍	9月8日	収穫済み	
伊勢	玉城町岡出	1月10日	—	TCA-517	8月23日	収穫済み	
平均			0.8				
平 年(10年平均)			1.2				
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	3月9日	—	夢ごころも	9月21日	生育期	

5.春キャベツ

春キャベツ 《2017年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考			
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	若女将	12月10日	生育期	
	四日市市下海老町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	石井中早生	12月9日	生育期	モンシロチョウ卵確認
津	津市川方町1(久居)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	雑草多い
	津市川方町2(久居)	4月7日	0	0	0	2	0.02	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	雑草多い
	津市新家町1(久居)	4月7日	2	0	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	灰色かび病確認
	津市新家町2(久居)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	収穫終了	収穫後調査:根こぶ病なし
平均			0.3	0	0	0.3	0.003	0	0					
平 年(10年平均)			1.8	4.7	1.2	0.1	0.001	0.1	0.001					
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	4月10日	0	4	1.0	0	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	モンシロチョウ卵確認

春キャベツ 2017年5月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	5月8日	0	若女将	12月10日	収穫済み	
	四日市市下海老町	5月8日	0	石井中早生	12月9日	収穫中期	
津	津市川方町1(久居)	5月10日	—	味春	11月中旬	収穫初期	
	津市川方町2(久居)	5月10日	—	味春	11月中旬	収穫初期	
	津市新家町1(久居)	5月10日	—	味春	11月中旬	収穫済み	
	津市新家町2(久居)	5月10日	—	味春	11月中旬	収穫済み	
平均			0				
平 年(10年平均)			0.2				
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	5月8日		若女将	11月17日	生育期	

春キャベツ 《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	12月7日	0	0	0	0	石井中早生	11月26日	定植期	
	四日市市平尾町2	12月7日	0	0	0	0	若女将	11月15日	生育期	
津	津市川方町1(久居)	12月5日	0	0	0	0	味春	12月5日	定植期	
	津市川方町2(久居)	12月5日	-	-	-	-	味春	-	未定植	
	津市新家町1(久居)	12月5日	0	0	0	0	味春	12月1日	定植期	
	津市新家町2(久居)	12月5日	0	0	0	0	味春	12月1日	定植期	べと病確認
	平均		0	0	0	0				
平 年(10年平均)			2.6	0.7	0.1	0.001				
県子寮ほ	松阪市緑野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	

春キャベツ 《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	1月11日	0	0	0	0	0	石井中早生	11月26日	生育期	低温による生育遅れ
	四日市市平尾町2	1月11日	0	0	0	0	0	若女将	11月15日	生育期	低温による生育停止
津	津市川方町1(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	味春	12月5日	生育期	低温による生育遅れ
	津市川方町2(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	味春	12月28日	生育期	低温による生育遅れ
	津市新家町1(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	低温による生育遅れ
	津市新家町2(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	低温による生育遅れ
	平均		0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	1.9	0.5	0.1	0.001				
県子寮ほ	松阪市緑野川北町(場内)	1月12日	0	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	低温による生育停止

春キャベツ 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	2月6日	0	0	0	0	0	石井中早生	11月26日	生育期	生育停止
	四日市市平尾町2	2月6日	0	0	0	0	0	若女将	11月16日	生育期	生育停止
津	津市川方町1(久居)	2月8日	0	0	0	0	0	味春	12月6日	生育期	生育不良
	津市川方町2(久居)	2月8日	0	0	0	0	0	味春	12月28日	生育期	生育不良
	津市新家町1(久居)	2月8日	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	生育停止
	津市新家町2(久居)	2月8日	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	生育停止
	平均		0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	3.3	0.9	0.04	0.001				
県子寮ほ	松阪市緑野川北町(場内)	2月5日	0	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	生育停止

春キャベツ 《2018年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	3月5日	0	0	0	0	0	石井中早生	11月26日	生育期	生育遅延、株枯れ(約1%程度)
	四日市市平尾町2	3月5日	0	0	0	0	0	若女将	11月15日	生育期	生育遅延、株枯れ(約1%程度)
津	津市川方町1(久居)	3月6日	0	0	0	0	0	味春	12月5日	生育期	生育遅延、生育ムラあり
	津市川方町2(久居)	3月6日	0	0	0	0	0	味春	12月28日	生育期	生育遅延、生育ムラあり
	津市新家町1(久居)	3月6日	0	0	0	0	0	輝みさき	12月1日	生育期	生育遅延
	津市新家町2(久居)	3月6日	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	生育遅延
	平均		0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.6	1.5	0.4	0.04	0.001				
県子寮ほ	松阪市緑野川北町(場内)	3月9日	0	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	生育遅延

## 6.青ネギ

### ネギ 《2017年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							その他	
松阪	松阪市柿木原町1	4月6日	0	0	0	0	2	0.6	0	0	0	0	0	30cm	3月調査は場と別ほ場で実施	
	松阪市柿木原町2	4月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫済み	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	35cm	ネギアザミウマ成虫多い	
	伊勢市東豊浜町2	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	30cm	ネギアザミウマ成虫確認、黒斑病核病確認	
	伊勢市小保町1	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	ネギアザミウマ成虫確認	
	伊勢市小保町2	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm		
	平均		0	0	0	0	0.4	0.1	0	0	0	0	0.4			
平 年(10年平均)			0.05	0.01	7.3	2.6	5.0	1.3	0.1	0	0	0.1	1.2			
(1年平均)																
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	4月10日	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	2.0	60cm		

### ネギ 2017年5月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							その他	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	66.7	40cm	アザミウマ類虫数多い	
	伊勢市東豊浜町2	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	86.7	40cm	アザミウマ類虫数多い	
	伊勢市小保町1	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	20.0	40cm		
	伊勢市小保町2	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	50cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	44.2			
平 年(10年平均)			0	0	4.5	1.2	0	0	0.3	0.08	0.04	7.0	21.3			
(1年平均)																
(9年平均)																
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	5月11日	0	0	2.0	0.5	0	0	4	0	0	10.0	0	60cm		

### 青ネギ 《2017年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							その他	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	60.0	25cm		
	伊勢市東豊浜町2	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	33.3	35cm		
	伊勢市小保町1	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	6.7	55cm	区外:さび病確認	
	伊勢市小保町2	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	70cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7	25.8			
平 年(10年平均)			0.05	0.01	14.1	4.8	0	0	0.05	0.3	0	5.7	35.4			
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	6月5日	0	0	2	1.5	0	0	10	0	0	6.7	90.0	25cm		
平 年(10年平均)			0	0.08	12	3.3	0	0	16.7	2.2	0.2	7.1	73.2			

### 青ネギ 《2017年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	品	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								その他	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	66.7	30cm	4条白マルチ			
	伊勢市東豊浜町2	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	40cm	4条白マルチ、葉枯れ確認			
	伊勢市小保町1	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	40cm	4条白マルチ、区外:ネギハモグリハエ確認			
	伊勢市小保町2	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.0	30cm	4条白マルチ			
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	32.5					
平 年(10年平均)			1.0	0.2	8.9	2.4	0	0	0.5	0.2	5.3	19.1					
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	66.7	30cm				
平 年(10年平均)			2.2	0.6	2.6	1.0	0	0	10.2	7.7	0	9.3	59.7				

### 青ネギ (2017年8月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ 被害率 (%)	草丈	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								その他		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	4.7	3.3	0.0	0	0	20cm	白マルチ4条	□	
	伊勢市東豊浜町2	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	3.3	1.3	0.7	0	0	30cm	白マルチ4条	□	
	伊勢市小保町1	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	100	0	0	35cm	白マルチ4条、ネギアザミウマ成虫多い□		
	伊勢市小保町2	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	1.3	1.3	30.0	0	0	40cm	白マルチ4条、区外:黒斑病確認□		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	2.3	1.8	32.7	0	0				
平 年(10年平均)			0	0	0.04	0.01	0	0	0	0.1	0.9	9.6	25.0	0.3	0.3			
(3年平均)																		
県下全域	松阪市磯野川北町(場内)	8月1日	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	20.0	0	0	50cm	露地、無防除		
県予察ほ	平 年(10年平均)		1.4	0.4	0	0	0	0	9.3	0	9.1	68.7	0	0				
(3年平均)																		

青ネギ 《2017年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町1	9月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	3.3	0	0	35cm		
	松阪市柿木原町2	9月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0.7	0	0	25cm		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	30cm		
	伊勢市東豊浜町2	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6.7	0.7	0	0	50cm		
	伊勢市小保町1	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	0	0	0	50cm		
	伊勢市小保町2	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.3	0	0	0	25cm	欠株あり	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	24.8	0.8	0	0			
平年(10年平均)			0.03	0.008	0	0	0	0	0	0	0.3	3.6	18.6	18.5	0.4	0.3		
県予察ほ 松阪市鶴野川北町(場内)			9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	80.0	0	0	0	0	60cm	

青ネギ 《2017年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町1	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	35cm	
	松阪市柿木原町2	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	0	30cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市東豊浜町2	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小保町1	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	35cm	
	伊勢市小保町2	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	25cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	4.4	10.8	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.5	0.1	0.2	0.04	0	0	0	0	0.05	2.4	29.4	18.8	2.0	1.8		
県予察ほ 松阪市鶴野川北町(場内)			10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0	50cm

青ネギ 《2017年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		草丈	その他	
松阪	松阪市柿木原町1	11月9日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	台風による葉折れ確認	
	松阪市柿木原町2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	50cm	台風による葉折れ確認	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25cm	台風による葉折れ確認	
	伊勢市東豊浜町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	台風による葉折れ確認	
	伊勢市小保町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	台風による葉折れ、トビシムシ類確認	
	伊勢市小保町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	台風による葉折れ確認	
平均			0.3	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0			
平年(10年平均)			0.2	0.05	0	0	0	0	0	0	0.1	0.4	5.3	9.9	0.1	0.3			
県予察ほ 松阪市鶴野川北町(場内)			11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	6.7	0	0	0	40cm	台風による葉折れ確認

青ネギ 《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町1	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	松阪市柿木原町2	12月8日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	欠株約1%程度確認
	伊勢市東豊浜町2	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小保町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	しおれ株確認(原因不明)
	伊勢市小保町2	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
平均			0.3	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.3	0.08	0.8	0.2	0	0	0	0.09	0.2	1.1	5.5	0.1	0.1			
県予察ほ 松阪市鶴野川北町(場内)			12月7日	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

青ネギ 《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	被害率 (%)		草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町1	1月10日	2	0.5	0	0	0	0	0	30cm	収穫終了	
	松阪市柿木原町2	1月10日	2	0.5	0	0	0	0	0	60cm		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	株枯れ確認(約1%程度)	
	伊勢市東豊浜町2	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	株枯れ確認(約1%程度)	
	伊勢市小保町1	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	株枯れ確認(約1%程度)	
	伊勢市小保町2	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	30cm		
平均			0.7	0.2	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	0	1.9	0.5	0	0	2.1			
県予察ほ 松阪市鶴野川北町(場内)			1月12日	0	0	0	0	0	0	0	15cm	

青ネギ 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ		備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	被害率 (%)	被害率 (%)	
松阪	松阪市柿木原町1	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm
	松阪市柿木原町2	2月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
伊勢	伊勢市東豊浜町1	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm
	伊勢市東豊浜町2	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	25cm
	伊勢市小俣町1	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm
	伊勢市小俣町2	2月7日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	40cm
平均			0	0	0.4	0.1	0	0	0	0	
平年(10年平均)			0	0	0.3	0.08	0	0	0	2.1	(9年平均)
県子寮ほ	松阪市藤野川北町(場内)	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	15cm

ネギ 《2018年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
松阪	松阪市柿木原町1	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	50cm	
	松阪市柿木原町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫済み
伊勢	伊勢市東豊浜町1	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	ネダニ、黒腐菌核病確認
	伊勢市東豊浜町2	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	黒腐菌核病確認
	伊勢市小俣町1	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	伊勢市小俣町2	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	
平年(10年平均)			0	0	1.4	0.4	-	-	0	0	0	0	0.4	(9年平均)
県子寮ほ	松阪市藤野川北町(場内)	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	

7.白ネギ

白ネギ 《2017年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	6月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	25cm	5月22日 ; 関羽一本太 アザミウマ成虫確認
	鈴鹿市岸田町	6月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	25cm	5月17日 ; 関羽一本太 アザミウマ成虫確認
松阪	明和町富宮	6月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10cm	6月13日 ; 吉宗
	多気町東池上	6月14日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月15日 ; 龍翔 未定植
松阪	多気町三足田	6月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10cm	6月14日 ; 龍翔
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.5		
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
県子寮ほ	松阪市藤野川北町(場内)	6月14日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10cm	6月15日 ; 石倉一本太 未定植(育苗中)
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

白ネギ 《2017年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	7月12日	0	0	0	0	0	0	6.7	0	0	60.0	40cm	関羽一本太
	鈴鹿市岸田町	7月12日	2	5.0	2	5.0	0	0	66.7	0	6.7	66.7	50cm	関羽一本太 ネギアザミウマ成虫確認(多)
松阪	明和町富宮	7月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	66.7	30cm	吉宗 ネギアザミウマ成虫確認
	多気町東池上	7月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	30cm	龍翔
松阪	多気町三足田	7月12日	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	13.3	30cm	龍翔
	平均	0.4	1.0	0.4	1.0	0	0	0	14.8	0	2.8	39.6		
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
県子寮ほ	松阪市藤野川北町(場内)	7月12日	0	0	0	0	0	0	2.0	0	10.0	80.0	50cm	石倉一本太
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

白ネギ 《2017年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	ハスモンコトウ	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)			
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	8月9日	2	5	0	0	0	0	0	1.3	0.0	66.7	0	0	60cm	関羽一本太	
	鈴鹿市岸田町	8月9日	2	5	0	0	0	0	0	0.7	0.7	93.3	0	0	50cm	関羽一本太 アザミウマ類成虫多い	
松阪	明和町富宮	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	66.7	13.3	0	0	30cm	吉宗 ハモグリハエ類成虫多い
	多気町東池上	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.7	6.7	0	0	45cm	龍翔
松阪	多気町三足田	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1.3	50.0	0	0	30cm	龍翔
	平均	0.8	2.0	0	0	0	0	0	0	0.5	11.9	46.0					
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
県子寮ほ	松阪市藤野川北町(場内)	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	66.7	0	0	50cm	石倉一本太	
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2017年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨウトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	9月15日	2	5	0	0	0	0	0	20.0	0.0	26.7	46.7	0	0	50cm	5月22日	関羽一本太
	鈴鹿市岸田町	9月15日	2	5	0	0	0	0	0	10.0	0.0	20.0	20.0	0	0	60cm	5月17日	関羽一本太
	明和町富宮	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	80.0	3.3	0	0	40cm	6月13日	吉宗
松阪	多気町東池上	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	3.3	3.3	0	0	50cm	6月15日	龍翔
	多気町三疋田	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	80.0	80.0	0	0	40cm	6月14日	龍翔
平均			0.8	2	0	0	0	0	0	6.0	0	42	30.7	0	0			
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0.0	66.7	66.7	0	0	50cm	6月15日	石倉一本太
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2017年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨウトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	10月18日	2	5	0	0	0	0	0	3.3	0	20.0	1.3	0	0	70cm	5月22日	
	鈴鹿市岸田町	10月18日	2	0	0	0	0	0	0	5.3	0	13.3	0.0	0	0	70cm	5月17日	
	明和町富宮	10月13日	2	5	0	0	0	0	0	0.0	0	50.0	2.0	0	0	50cm	6月13日	
松阪	多気町東池上	10月13日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	1.3	0.0	0	0	60cm	6月15日	
	多気町三疋田	10月13日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	66.7	10.0	0	0	60cm	6月14日	
平均			1.2	2	0	0	0	0	0	1.7	0	30.3	2.7	0	0			
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	10月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	6.7	0	0	60cm	6月15日	
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2017年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨウトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	11月16日	10	15	0	0	0	0	0	0.0	0	10.0	0.0	0	0	60cm	5月22日	収穫中
	鈴鹿市岸田町	11月16日	2	5	0	0	0	0	0	0.0	0	0.7	0.0	0	0	65cm	5月17日	茎の黄化・軟化、根の虫害確認
	明和町富宮	11月16日	4	10	0	0	0	0	0	0.0	0	2.0	0.0	0	0	60cm	6月13日	
松阪	多気町東池上	11月16日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	60cm	6月15日	
	多気町三疋田	11月16日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.7	0.0	0	0	60cm	6月14日	
平均			3.2	6	0	0	0	0	0	0.0	0	2.7	0.0	0	0			
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	11月16日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.0	0	0	60cm	6月15日	
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2017年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨウトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	12月14日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	70	5月22日	関羽一本太
	鈴鹿市岸田町	12月14日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	70	5月17日	関羽一本太
	明和町富宮	12月14日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	6月13日	吉宗
松阪	多気町東池上	12月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	6月15日	龍翔
	多気町三疋田	12月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	60	6月14日	龍翔
平均			1.2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0			
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	12月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	6月16日	石倉一本太
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2018年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度		草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	1月19日	0	0	0	0	0	0	53.3	65	関羽一本太	キノコバエ科幼虫確認
	鈴鹿市岸田町	1月19日	0	0	0	0	0	0	26.7	65	関羽一本太	キノコバエ科幼虫確認
	明和町富宮	1月19日	0	0	0	0	0	0	0	70	吉宗	
松阪	多気町東池上	1月19日	0	0	0	0	0	0	0	65	龍翔	
	多気町三疋田	1月19日	0	0	0	0	0	0	0	60	龍翔	
平均			0	0	0	0	0	0	16			
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-			
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	1月19日	0	0	0	0	0	0	0	65	石倉一本太	
平年(10年平均)			-	-	-	-	-	-	-			

白ネギ 《2018年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミシマ 被害率 (%)	備考			
			発病率 (%)	発生程度	発病率 (%)	発生程度	発病率 (%)	発生程度		草丈	定植日	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市柳一宮町	2月6日	-	-	-	-	-	-	-	60	5月22日	関羽一本太	収穫終了
	鈴鹿市岸田町	2月6日	0	0	0	0	0	0	3.3	60	5月17日	関羽一本太	
松阪	明和町富富	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	60	6月13日	吉宗	
	多気町東池上	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	70	6月15日	龍翔	
	多気町三疋田	2月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	6月14日	龍翔	収穫終了
	平均		0	0	0	0	0	0	1.1				
	平年(10年平均)		-	-	-	-	-	-	-				
果予線ほ	松阪市藤野川北町(堀内)	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	50	6月15日	石倉一本太	
	平均		-	-	-	-	-	-	-				
	平年(10年平均)		-	-	-	-	-	-	-				

広域防除員聞き取り調査結果（野菜）

作物名：トマト  
2017年10月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	10月2日	木曾岬町加路戸	ハウス桃太郎	無	無	やや少（前年比）	無	無	作型：抑制、定植日：8月20日(日) 開花段数：3段目、収穫段数：1段目 着果数：3～4果、最終：5段、 生育良好、2本仕立て 2月中旬に半促成栽培へ切り替え
	2	10月2日	木曾岬町外平喜	CF桃太郎はるか	無	無	無	無	無	作型：促成、定植日：9月15日(金) 開花段数：1段、 収穫予定：11月20日頃～ 今年は苗が軟弱であった コナジラミの防除回数を多くしている
	3	10月2日	木曾岬町小和泉	みそら64	無	無	やや少（前年比）	無	無	作型：抑制、定植日：8月18日(金) 開花段数：4段目、着果数：3～4果 収穫予定：10月中旬～ ロックワール栽培、2本仕立て長段取り、生育良好
	4	10月2日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	無	やや少（前年比）	無	無	作型：抑制、定植日：8月30日(水) 開花段数：2段目、着果数：3～4果、 収穫予定：10月下旬～ 2本仕立て、長段取り、生育良好
	5	10月2日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	-	-	-	-	-	作型：半促成、定植日：11月上旬以降 本ぼ未定植

作物名：トマト  
2018年2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	2月1日	木曾岬町加路戸	CF桃太郎はるか	無	無	やや少（前年比）	無	無	作型：半促成、定植日：11月5日 開花段数：4～5段目、収穫まだ 着果数：3～4果、最終：8～9段 かん水して作業遅れる
	2	2月1日	木曾岬町外平喜	CF桃太郎はるか	無	無	やや少（前年比）	無	無	作型：促成、定植日：9/10 開花段数：5～6段 着果数：4～5果
	3	2月1日	木曾岬町小和泉	CFハウス桃太郎	無	無	無	無	無	作型：促成、定植日：9/25 収穫段数：1段、着果数：4～5果 12段でやめる
	4	2月1日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	やや少（前年比）	やや少（前年比）	無	無	作型：抑制、定植日：9/5 収穫段数：3段 最終22段 台風時にかん水しておよそ半分植え替える。
	5	2月1日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	無	少（前年比）	やや多（前年比）	無	無	作型：半促成、定植日：11/3 開花段数5～6段摘心、収穫段数1段、 着果数：4～5果

### 3. 気象データ

#### (1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2017 1	上	●	●	○	冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れ多く、気温高。
	中	△	△	○	中頃まで冬型の気圧配置持続。北中部で大雪。気温低。
	下	□	○	□	冬型の気圧配置の日多く、強い寒気で北中部中心に大雪。
2	上	□	□	△	冬型の気圧配置により北中部では曇り、雪や雨。
	中	□	△	○	前半は冬型の気圧配置。後半は高気圧に覆われ晴天。
	下	□	△	○	冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴天。
3	上	□	▲	□	前半は周期的に天気が変わり、後半は冬型の気圧配置。
	中	□	▲	●	冬型の気圧配置や高気圧で晴れ多く、少雨。
	下	□	○	□	低気圧と高気圧が交互に通過し天気が周期的に変化。
4	上	○	□	△	前半は高気圧で晴れ多く、後半は前線の影響で多雨。
	中	□	○	△	天気は周期的に変化。低気圧や気圧の谷の影響で多雨。
	下	□	▲	○	高気圧に覆われて晴天。少雨。
5	上	○	△	□	高気圧に覆われ晴天。雨量は少ない。7日～8日黄砂。
	中	●	□	○	高気圧に覆われたが中旬曇り。後半は高温。
	下	●	△	□	高気圧に覆われて晴れ多く、高温、少雨。
6	上	△	□	●	高気圧に覆われて晴れ多く、日照時間かなり多。
	中	△	▲	●	降水量かなり少なく、中旬以降は日照時間かなり多。
	下	□	○	□	梅雨前線や湿った空気の影響でぐずついた天気。
7	上	●	△	□	前線や湿った空気の影響でぐずついた天気。高温。
	中	○	▲	○	前線や湿った空気の影響でぐずついた天気。大気不安定。
	下	□	△	△	湿った空気の影響でぐずついた天気。日照時間少。
8	上	□	●	△	湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	中	△	○	△	湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	下	●	□	○	曇りの日もあったが、高気圧に覆われ晴天。
9	上	△	□	□	はじめは晴天。その後は曇り。7日は一部で雷雨。
	中	□	○	△	晴れ・曇り多。16～17日は台風18号の影響で暴風雨。
	下	□	△	○	天候は周期的に変化。雨量少なく、日照時間多。
10	上	□	○	△	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	中	□	●	▲	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	下	△	●	△	台風21号・22号の影響で日照時間少。多雨。
11	上	□	□	○	高気圧に覆われ晴天。日照時間は平年より多。
	中	△	○	□	高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変動。
	下	△	□	□	高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変動。
12	上	△	▲	□	平年より平均気温が低く、少雨。7日に初霜・初氷。
	中	▲	▲	○	晴れた日が多く、平均気温はかなり低。14日に初雪。
	下	□	○	□	高気圧に覆われた日もあり、冬型の気圧配置。

気 温: ▲かなり低い    △低い    □平年並    ○高い    ●かなり高い  
 降 水 量: ▲かなり少ない    △少ない    □平年並    ○多い    ●かなり多い  
 日 照: ▲かなり少ない    △少ない    □平年並    ○多い    ●かなり多い

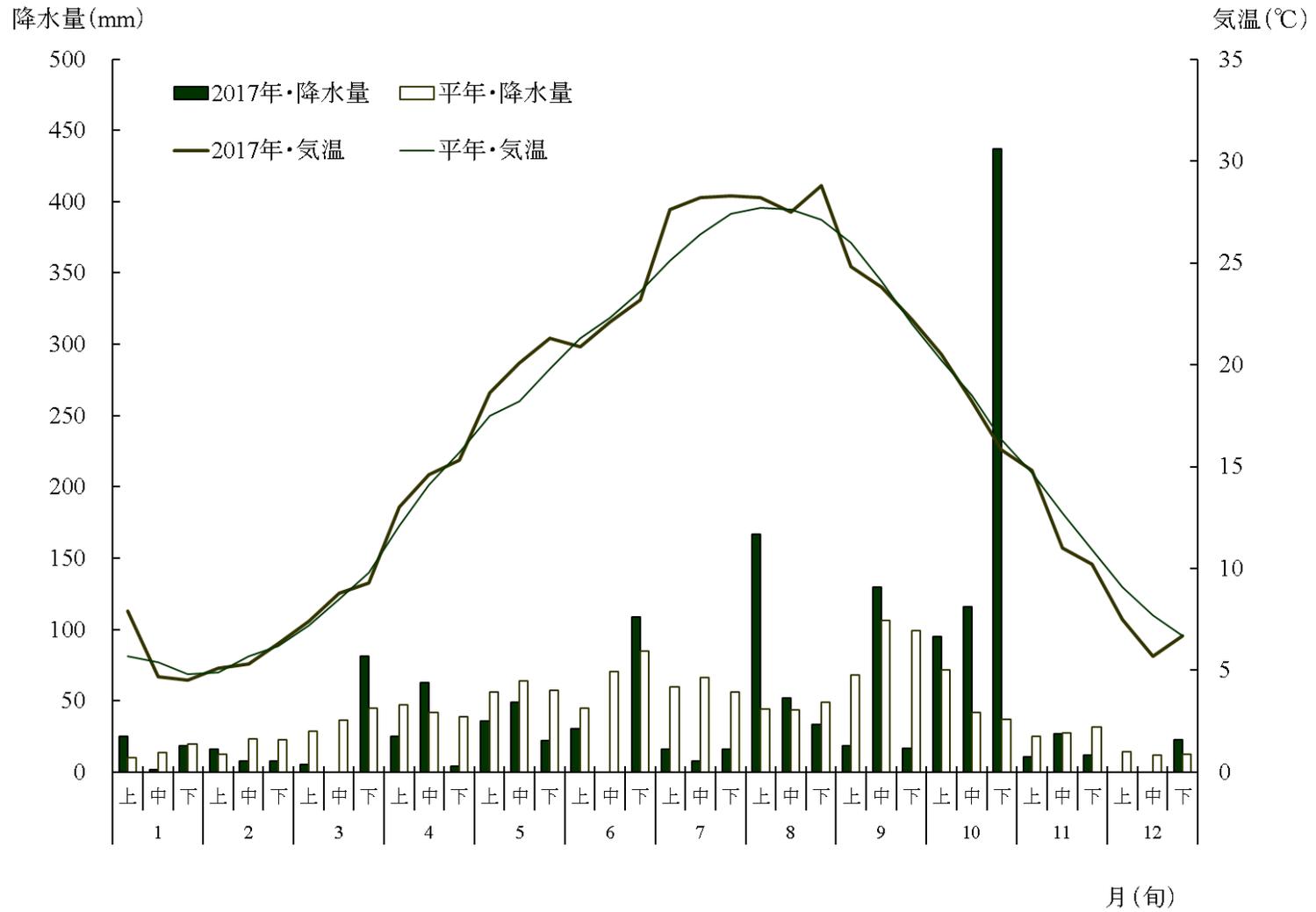
## (2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2017年	平年	2017年	平年	2017年	平年
1	上	7.9	5.7	25.0	10.3	62.8	52.7
	中	4.7	5.4	2.0	13.7	57.8	52.5
	下	4.5	4.8	18.5	19.9	59.3	58.0
2	上	5.1	4.9	16.0	12.7	43.3	56.0
	中	5.3	5.7	7.5	23.5	62.3	53.7
	下	6.3	6.2	8.0	22.9	56.1	47.2
3	上	7.4	7.2	5.5	28.8	62.6	58.0
	中	8.8	8.5	0.0	36.6	79.7	58.0
	下	9.3	9.8	81.5	44.6	61.8	59.9
4	上	13.0	12.1	25.0	47.0	48.5	60.1
	中	14.6	14.1	63.0	41.9	60.7	63.2
	下	15.3	15.7	4.0	38.9	77.3	65.8
5	上	18.6	17.5	36.0	55.9	58.5	58.2
	中	20.1	18.2	49.0	64.1	74.2	54.7
	下	21.3	19.8	22.0	57.2	81.5	72.4
6	上	20.9	21.3	30.5	44.9	91.3	59.1
	中	22.1	22.3	0.0	70.8	98.4	47.1
	下	23.2	23.6	108.5	84.8	29.1	36.5
7	上	27.6	25.1	16.0	60.0	56.9	52.7
	中	28.2	26.4	8.0	66.6	69.0	54.2
	下	28.3	27.4	16.0	56.2	58.0	81.9
8	上	28.2	27.7	167.0	44.5	47.6	72.8
	中	27.5	27.6	52.0	43.4	55.2	69.6
	下	28.8	27.1	33.5	49.1	88.3	72.4
9	上	24.8	26.0	18.5	67.9	64.7	66.0
	中	23.8	24.1	129.5	106.1	39.3	54.6
	下	22.2	22.0	16.5	99.1	59.1	48.2
10	上	20.5	20.2	95.0	71.9	38.7	47.7
	中	18.2	18.5	116.0	41.7	13.1	55.0
	下	15.8	16.3	437.0	37.1	43.2	62.1
11	上	14.8	14.7	11.0	24.8	74.5	54.8
	中	11.0	12.7	27.0	27.4	60.3	53.0
	下	10.2	10.9	12.0	31.4	57.0	55.6
12	上	7.5	9.1	0.0	14.4	62.0	58.9
	中	5.7	7.7	0.0	11.9	65.4	58.3
	下	6.7	6.7	22.5	12.3	63.5	62.7

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



平成29年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

## 平成 29 年度植物防疫年報

発行 2019 年 3 月 12 日  
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568